

# 沖縄県立博物館・美術館年報

(令和6年度 実績報告)

No. 18

2025

沖縄県立博物館・美術館

# 目 次

概要	1	
I 沿革	2	
II 日誌抄	10	
III 施設・設備	12	
IV 組織	15	
V 沖縄県立博物館・美術館協議会	22	
VI 予算	22	
VII 収蔵資料現在高	23	
利用統計	25	
I 入館者統計	26	
1. 総入館者集計	2. 団体別入館者集計	3. 展覧会別入館者集計
4. 2024年度（令和6）月間別入館者数	5. 年間入館者数の年次推移	6. 減免申請集計
7. 団体入館内訳		
II 施設利用者統計	32	
1. 月別施設利用集計	2. 当館主催事業及び施設貸出内訳	3. 県民ギャラリー貸出件数
博物館	55	
I 調査研究等の活動	56	
1. 調査研究の概要	2. 博物館総合調査 一宮古諸島総合調査一	
3. 一括交付金活用事業 「琉球王国文化遺産集積・再興事業（第2期）」		
4. 在外琉球王国文化財調査研究事業	5. 博物館・美術館費事業	
6. 博物館共同研究事業	7. 調査・研究・講演・著作論文等	
8. 職員研修		
II 展示活動	74	
1. 展示活動概要	2. 常設展	
3. 常設展 部門展示替え／ミニ企画展／エントランスホール展示		
4. 企画展 「新収蔵品展 令和5年度収蔵資料」		
5. 特別展 「芭蕉布展 一績まれる苧から生まれる思い」		
6. 企画展 「琉球列島 地質・化石展」		
7. 企画展 大嶺薫コレクション展「戦後80年 大嶺薫と東恩納博物館」		
8. 出張展示会		
III 教育普及活動	89	
1. 博物館教育普及活動の概要	2. 学校連携事業	3. 博物館体験学習教室
4. 博物館文化講座	5. 学芸員講座	6. 学芸員による常設展示解説会
7. 学芸員によるバックヤードツアー	8. 夏休み！子どもフェスタ2024	9. 博物館ボランティア活動
10. ふれあい体験室	11. 常設展に関する取り組み	12. 普及資料の活用
13. 指定管理者による10分間ガイド		
IV 資料の収集・保存管理	96	
1. 収蔵資料現在高	2. 2024年度（令和6）新収蔵資料高	
3. 2024年度（令和6）新収蔵資料目録	4. 所蔵指定文化財	5. 修理事業
6. 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作（生物資料）		7. 資料収集事業
8. 資料貸出	9. 写真貸出	
美術館	109	
I 調査研究等の活動	110	
1. 調査研究の概要	2. 調査・研究・講演・著作論文等	
II 展示活動	115	
1. 展示活動概要	2. コレクション展（常設展）	
3. 企画展 「〇でも×でもないもの！ ～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～」		
III 教育普及活動	122	
1. 美術館教育普及活動の概要	2. 鑑賞活動支援	3. ミュージアムツアー
4. コレクション・企画展 関連催事	5. ワークショップ	6. アートコンクール
7. 慰霊の日関連催事	8. ボランティア活動	9. 教職員等、研修の受け入れ

IV	資料収集・保存管理	135
	1. 収蔵作品現在高	2. 2024年度（令和6）新収蔵作品高
	3. 2024年度（令和6）新収蔵作品目録	4. 作品収集事業
	5. 保存管理事業	
	6. 作品貸出	
<b>一般財団法人 沖縄美ら島財団（指定管理者）</b> 143		
I	沖縄美ら島財団概要	144
II	運営方針	144
	1. 管理運営の基本方針	2. 管理運営方針
III	組織図	146
IV	展示活動	147
	1. 展示活動概要	
V	教育・イベント活動	154
	1. ワークショップ・イベント等	
VI	広報事業に関する業務	158
VII	調査・研究・講演・著作論文等の活動	159
	1. 調査・研究等	2. 職員研修
<b>全館共通事業</b> 161		
I	学芸員実習	162
	1. 博物館実習	2. 美術館実習
		3. 職場体験
II	国際博物館の日	164
III	移動展	165
IV	燻蒸・消毒処理	169
V	全体研修	169
VI	刊行物	170
VII	展示会一覧	171
<b>その他の活動</b> 175		
I	沖縄県博物館協会	176
II	全国の組織との関わり	176
	1. 日本博物館協会	2. 九州博物館協議会
	3. 全国歴史民俗系博物館協議会	
	4. 全国科学博物館協議会	
III	沖縄県立博物館友の会	177
<b>関係法規抄録</b> 181		
	○博物館法（抄）	182
	○博物館法施行令	186
	○博物館法施行規則（抄）	186
	○博物館の登録に関する規則（抄）	190
	○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（抄）	192
	○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則	193
	○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例	194
	○沖縄県立博物館・美術館管理規則（抄）	198
	○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領	203
	○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領	207
	○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱	208



# 概 要

- I 沿革
- II 日誌抄
- III 施設・設備
- IV 組織
- V 沖縄県立博物館・美術館協議会
- VI 予算
- VII 収蔵資料現在高

# I 沿革

## 【前史】

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・A・ハンナ少佐とJ・T・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）8月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）3月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

## 【創設】

1946年（昭和21）4月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年（昭和22）12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

## 【発展】

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。5月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）9月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に2階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）3月に閉館した。

2007年（平成19）11月1日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

## 【あゆみ】

- |            |     |  |
|------------|-----|--|
| 1946（昭和21） | 4月  | 沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日）   |
| 1947（昭和22） | 12月 | 前年3月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。   |
| 1953（昭和28） | 3月  | 「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。   |
|            | 5月  | 「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日） |
| 1954（昭和29） | 8月  | ハワイから三線「江戸与那」が返還される。   |
| 1955（昭和30） | 9月  | 「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。  |
| 1963（昭和38） | 4月  | 米国民政府から河島コレクションが贈呈される。   |
| 1965（昭和40） | 9月  | 大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。   |
| 1966（昭和41） | 10月 | 米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。  |
|            | 11月 | 新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（3日）   |
| 1968（昭和43） | 9月  | 太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日）   |
| 1970（昭和45） | 10月 | 沖縄タイムス社及びG. H. カー博士より前庭に花園を贈呈される。  |
| 1971（昭和46） | 2月  | 八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。   |
| 1972（昭和47） | 2月  | サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日）   |
|            | 5月  | 琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日）<br>日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。   |
| 1973（昭和48） | 2月  | 国庫補助により2階部を増築し、展示室を3室増設する。   |
|            | 5月  | 「田名家文書」の寄託をうける。（9日）  |
|            | 7月  | 琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日）  |
|            | 12月 | 琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の3巻を寄贈される。（17日）  |

- 1973 (昭和48) 12月 多和田真淳氏考古資料の寄託をうける (19日) のち、1978年寄贈。
- 1974 (昭和49) 11月 大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける (27日) のち、寄贈。  
糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。
- 1976 (昭和51) 4月 創立30周年記念式典を行う。(24日)  
7月 大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。  
12月 『博物館30年の歩み展』開催。
- 1977 (昭和52) 9月 玉陵石獅子を玉陵へ移管。  
11月 円覚寺の鐘、前庭に展示。
- 1978 (昭和53) 3月 G. H. カー博士より資料寄贈。  
7月 円覚寺の鐘楼が前庭に完成。
- 1979 (昭和54) 2月 尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ 2体が寄贈される。  
6月 特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。
- 1980 (昭和55) 1月 特別展『日本の美—救世熱海美術館名品展—』及び『沖縄県立博物館名品展』開催。  
2月 「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する。(2008年度からは「移動展」に改称)  
8月 特別展『琉球のシダ植物』開催。  
11月 特別展『失われた生物たち—大恐竜展』開催
- 1981 (昭和56) 3月 博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。(3月30日付け)  
5月 仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。  
8月 G.H. カー博士より図書、写真等が寄贈される。  
10月 特別展『沖縄の美—日本民芸館蔵—』及び『戦前の沖縄写真展』開催。
- 1982 (昭和57) 5月 新たに常設展として自然部門を設置。  
7月 企画展『沖縄の昆虫』開催。  
10月 特別展『熊本県・沖縄県交流展—熊本の歴史と文化』開催。
- 1983 (昭和58) 5月 企画展『琉球の漆工芸』開催。  
11月 特別展『沖縄県・熊本県交流展—沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。
- 1984 (昭和59) 6月 企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展—琉球芸能の世紀』開催。  
7月 企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。  
10月 企画展『今帰仁グスク展』開催。
- 1985 (昭和60) 2月 企画展『紅型衣装と型紙展』開催。  
3月 大嶺薫コレクションが贈呈される。  
11月 特別展『グスク—グスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。
- 1986 (昭和61) 2月 特別展『大嶺薫コレクション—美術工芸の美を求めて』開催。  
12月 天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。
- 1987 (昭和62) 7月 「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。  
天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。  
10月 スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然・歴史・文化』『沖縄近代の絵画—物故作家』開催。  
企画展『田名家収蔵品展—ある首里士族の400年』開催。  
12月 企画展『現代沖縄の陶芸—天野鉄夫コレクション』開催。
- 1988 (昭和63) 8月 特別展『ヤンバルの自然』開催。  
11月 特別展『三線名器100挺展』開催。
- 1989 (平成元) 11月 特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。  
12月 企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。
- 1990 (平成2) 1月 特別展『大アンデス文明展』開催。  
6月 湧田窯搬入。  
8月 企画展『沖縄の野鳥』開催。  
11月 企画展『沖縄の祭り』開催。
- 1991 (平成3) 2月 企画展『技と美—大城志津子の世界—』開催。  
8月 企画展『沖縄のチョウ展』開催。  
9月 企画展『壺屋陶工遺作展』開催。  
10月 特別展『アジアの祭りと芸能』開催。
- 1992 (平成4) 2月 企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。  
3月 仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。  
4月 旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第1次埋蔵文化財発掘調査開始。(～7月3日)  
6月 特別展『古代メキシコ至宝展』開催。

- 1992 (平成4) 8月 特別展『沖縄の貝類—海からの贈りもの』開催。  
10月 復帰20周年記念特別展『琉球王国—大交易時代とグスク』開催。
- 1993 (平成5) 1月 特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。  
2月 企画展『謝花雲石展』開催。  
3月 ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクションが寄贈される。  
7月 旧中城御殿石垣工事にかかる第2次発掘調査開始。(～9月2日)  
企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。  
8月 特別展『沖縄の川と生きもの』開催。  
10月 企画展『刻まれた歴史—沖縄の石碑と拓本』開催。  
企画展『琉球王朝時代の楽器—三線と御座楽』開催。
- 1994 (平成6) 7月 特別展『子どもの世界』開催。  
旧中城御殿石垣工事にかかる第3次発掘調査開始。(～8月20日)
- 1995 (平成7) 3月 横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。  
6月 戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
- 1996 (平成8) 3月 栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。  
7月 特別展『大久米島展—しぜん・ひと・もの』開催。  
10月 『新収藏品展・ワラザン展』開催。  
福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈  
12月 企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
- 1997 (平成9) 4月 特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
- 1998 (平成10) 7月 企画展『琉球王国時代の植物標本—ペリーが持ち帰った植物たち』開催。  
11月 特別展『包むこころ ふろしき』開催。
- 1999 (平成11) 8月 特別展『三線のひろがり可能性』開催。  
10月 企画展『日本の技—伝統のかたち』開催。  
(第7回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展)  
11月 ホノルル美術館からG.H.カー博士コレクション(考古資料6,000点余)寄贈。
- 2000 (平成12) 2月 企画展『工芸王国—さらめく手わざの世界を沖縄から』開催。  
7月 サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。  
11月 ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民1世紀展—From Bento to Mixed Plate』開催。
- 2001 (平成13) 2月 企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。  
3月 企画展『工芸王国—人・技・心』開催。  
11月 特別展『かざりとかたち』開催。
- 2002 (平成14) 8月 特別展『港川人展』開催。  
10月 企画展『沖縄の文化財展』開催。
- 2003 (平成15) 2月 企画展『おきなわナースものがたり』開催。  
7月 企画展『旅する種子—運ばれるための巧妙なしかけ』開催。  
10月 企画展『あじまあ 沖縄の伝統とくらし—沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。  
特別企画展『沖縄織物へのメッセージ—田中俊雄の研究』開催。
- 2004 (平成16) 2月 企画展『戦前・戦後の文化財保護—仲座久雄の活動をとおして』開催。  
3月 企画展『工芸王国—てわざの今、そして未来へ』開催。  
8月 企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』(沖縄コレクター友の会主催)開催。  
11月 企画展『自然界のエイリアン—海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
- 2005 (平成17) 2月 特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会—入江正彦 児童文化史コレクション』開催。
- 2006 (平成18) 2月 閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼—柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。  
3月 『ありがとう・さよなら』キャンペーン。(22日～31日 無料入館)  
企画展『わたしの宝もの展』(博物館友の会主催)開催。  
4月1日から博物館新館移転準備のため2007年(平成19)10月末まで休館する。  
7月 博物館新館展示工事安全祈願祭。(於:波之上)  
8月 宮城宏友氏より鳥籠7点寄贈。(11日)  
10月 尚順男爵関係資料寄贈。(19日)  
謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。(26日)  
12月 稲嶺一郎関係資料寄贈。(26日)
- 2007 (平成19) 2月 坂口總之輔氏カメラ寄贈。(16日)

- 2007（平成19） 3月 新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
- 4月 新館での事務を開始する。（1日）
- 7月 沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
- 8月 指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめ。
- 11月 那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。（1日）  
同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅ー港川人の来た道ー』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
- 2008（平成20） 2月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成17・18年度収蔵資料』開催。
- 3月 指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。  
美術館常設展開会式。（25日）
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成19年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間でー無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。  
美術館企画展『新収蔵品展 ポリエドールー沖縄・アジアの多様性』開催。
- 7月 指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。  
指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
- 9月 博物館企画展『ずしがめの世界』開催。  
開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
- 11月 美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
- 2009（平成21） 1月 博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。  
博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。  
美術館企画展『移動と表現ー変容する身体・言語・文化』開催。
- 4月 指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ in 沖縄』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成20年度資料』開催。  
指定管理者自主事業『王昭展』開催。
- 7月 指定管理者企画展『豊潤の美を求めてー金城安太郎と高島華宵』開催。  
指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
- 9月 指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
- 10月 博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く！』開催。  
美術館企画展『名渡山愛順展ー名渡山愛順が愛した沖縄』開催。
- 12月 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 2010（平成22） 1月 美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
- 2月 博物館企画展『造礁サンゴ展ー楽園をつくった偉大な建築家』開催。  
博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
- 4月 総務班が設置され、3班体制となる。  
指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。  
指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成21年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『遠き道ーはて無き精進の道程』開催。
- 7月 指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
- 9月 指定管理者企画展『風土と建築』開催。  
博物館特別展『海のクロスロード 八重山展』開催。
- 11月 美術館企画展『母たちの神ー比嘉康雄』展開催。
- 12月 博物館・指定管理者企画展『アイヌー美を求める心』開催。
- 2011（平成23） 1月 美術館企画展『安谷屋正義』展開催。  
博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
- 2月 博物館企画展『骨の科学』開催。
- 3月 博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
- 4月 博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。  
指定管理者企画展『國吉清尚』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成22年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『生誕100年記念展 岡本太郎と沖縄ーここが世界の中心だ』開催。
- 7月 指定管理者企画展『ロボット展』開催。  
指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
- 9月 美術館企画展『東松照明展<太陽へのラブレター>』開催。

- 2011 (平成23) 10月 博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。  
博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国－受けつがれる琉球のわざと美」』開催。
- 11月 博物館特別展『宇宙－遙かなるロマンを求めて』開催。
- 2012 (平成24) 1月 博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人－エイサーの起源をさぐる」』開催。  
美術館企画展『沖縄の美術シリーズ3 玉那覇正吉』開催。
- 3月 指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展－琉球弧で開花した美の世界」』開催。
- 4月 博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型BINGATA 琉球王朝のいろとかたち」』開催。
- 5月 指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
- 6月 博物館企画展『新収蔵品展－平成23年度収蔵資料』開催。  
博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 7月 指定管理者企画展『旅する仮面』開催。  
指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。(沖縄テレビ共催)
- 9月 美術館企画展『山田實展－人と時の往来』開催。  
博物館特別展『本土復帰40周年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。
- 11月 美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐ－境界を生きる女たち1984-2012」』開催。
- 12月 博物館企画展『大山盛保生誕100年記念 発見への情熱』開催。
- 2013 (平成25) 2月 指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。(沖縄タイムス共催)  
指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
- 5月 博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』展開催。  
博物館企画展『新収蔵品展－平成24年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『佐川美術館蔵 平山郁夫－大唐西域画への道－』開催。
- 7月 博物館特別展『海山川のおくりもの 目からウロコの生き物展－生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。  
指定管理者自主事業『ジミー大西作品展－挑戦と革新－』開催。
- 9月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ4 安次嶺金正展－緑の抒情－』開催。
- 11月 指定管理者企画展『京都 清水寺展』開催。
- 2014 (平成26) 1月 美術館企画展『森山大道 終わらない旅 北/南』開催。
- 2月 博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。  
博物館企画展『三線のチカラ－形之美と音の妙－』開催。
- 4月 指定管理者企画展『木下晋展 生命の旅路』開催。
- 5月 指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶－鎌倉芳太郎が発見した“美”』開催。  
博物館企画展『新収蔵品展－平成25年度収蔵資料』開催。
- 7月 指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展－山形美術館 服部コレクション－』開催。
- 9月 博物館企画展 久米崇聖会創立100周年記念『久米村(クニダ)－琉球と中国の架け橋－』開催。  
美術館企画展『色彩と風のシンフォニー 内間安理の世界』開催。
- 11月 博物館企画展『大嶺薫コレクション－アジアへの眼差し－』開催。  
博物館特別展『水中文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～』開催。
- 2015 (平成27) 1月 美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展 こどもを通して見る世界』開催。
- 2月 博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。
- 3月 指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展－二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。
- 4月 博物館企画展『うちくい－沖縄のふろしき－』開催。  
指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展－ミッキーマウスからピクサーまで』開催。
- 6月 美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。
- 7月 指定管理者企画展『深海探検 海底二万里の世界』開催。  
指定管理者自主事業『大哺乳類展 ぼくらのなかまたち』開催。
- 9月 美術館企画展『石田尚志 渦まく光』開催。  
博物館特別展『琉球弧の葬墓制－風とサンゴの吊い－』開催。

- 2015（平成27） 11月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ5 大嶺政寛展－情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて－』開催。
- 12月 博物館企画展『新収蔵品展－平成26年度収蔵資料－』開催。  
博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』開催。
- 2016（平成28） 1月 博物館企画展『大気と気象～見えない空気の“力と技”～』開催。  
九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館 企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』を九州歴史資料館にて開催。
- 2月 美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。  
沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展～ものとひとをつくる～』開催。
- 3月 美術館企画展『パブロ・ピカソ ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考える－』開催。
- 4月 沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として一般財団法人沖縄美ら島財団が指定を受ける。  
美術館企画展 文化勲章受章記念『志村ふくみー母衣への回帰－』開催。
- 5月 博物館企画展『大嶺コレクション展－美をもとめて－』開催。  
博物館企画展『新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－』開催。
- 7月 博物館企画展『目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン！』開催。
- 9月 博物館企画展 日本民藝館80周年『沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄』開催。
- 11月 博物館特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－』開催。
- 12月 美術館企画展『夢の美術館－めぐりあう名画たち－ 福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション』開催。
- 2017（平成29） 1月 博物館企画展『琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～』開催。
- 2月 博物館常設展示の充実強化を図るため、県指定文化財の梵鐘7口を加えて展示をリニューアル。屋外に大聖禅寺鐘（実物）を設置。
- 3月 美術館企画展 沖縄の美術シリーズVI『山元恵一展－まなざしのシュルレアリスム－』開催。
- 4月 美術館特別展『写真家が見つめた沖縄1972～2017』開催。  
美術館特別企画展『開館十周年企画 安次富長昭展』開催。
- 5月 指定管理者企画展『やんばるの森の美』開催。  
博物館企画展『新収蔵品展－平成28年度収蔵資料－』開催。  
博物館企画展『博物館70年のあゆみ』開催。  
美術館『《今帰仁城盛衰記》－知られざる金城安太郎の仕事』開催。  
指定管理者企画展『やんばるの森の美－写真展－』開催。
- 7月 美術館『ベトナム絵画展』開催。  
指定管理者企画展『Learn&Play！ TeamLab Future Park-チームラボアイランド 学！未来の遊園地-』開催。  
指定管理者企画展『水族館でも出会えない、海のビックリ生物展』開催。  
大阪府立弥生博物館共催『沖縄の旧石器人と南島文化』（場所：弥生博物館）開催。
- 9月 指定管理者企画展『首里城公園開園25周年 博物館・美術館開館10周年記念特別展－首里城の25年 平成の復元－』開催。  
博物館企画展『ウィルソンが見た沖縄』開催。
- 11月 博物館特別展『開館10周年特別展 海の沖縄』開催。  
美術館企画展『開館10周年特別企画展 彷徨の海－旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』開催。
- 12月 美術館企画展『開館10周年特別企画展 邂逅の海－交差するリアリズム』開催。
- 2018（平成30） 1月 人間国宝島袋正雄氏より県指定有形文化財「三線 与那城型 名玉城與那」の寄贈を受ける。
- 2月 博物館企画展『大嶺コレクション展－かざる－』開催。  
美術館『大和コレクションⅧ』開催。
- 4月 美術館企画展『涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－』開催。  
指定管理者企画展『懐かさん戦前の首里城～森政三コレクション古写真展～』開催。
- 7月 美術館『儀間比呂志の世界』開催。  
指定管理者企画展『追悼水木しげる ゲゲゲの人生展』開催。

- 2018（平成30） 7月 指定管理者企画展『ティラノサウルス展－進化の謎に迫る』開催。  
 9月 美術館企画展『宮城健盛展』開催。  
 10月 指定管理者企画展『MONGOL800 go EXHIBITION モンパチ展』開催。  
 11月 博物館特別展『縄文と沖縄－火焰型土器のシンボリズムとヒスイの道』開催。  
 サキタリ洞遺跡の発掘調査で、県内最古となる5500年前（縄文時代前期）の赤色顔料を確認。  
 12月 新島ユキ氏より、亡き夫で植物学者の新島義龍氏の植物関係写真資料9,881点が寄贈される。  
 指定管理者企画展『新海誠展－『ほしのこえ』から『君の名は。』まで－』開催
- 2019（平成31） 1月 美術館『伊志嶺隆と平敷兼七』開催。  
 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－吉祥－』開催。  
 2月 博物館企画展『琉球三線楽器保存・育成会創立30周年記念事業 沖縄が誇る家宝の三線展』開催。  
 4月 指定管理者企画展『ホキ美術館名品展』開催。  
 博物館企画展『新収蔵品展－平成30年度収蔵資料－』開催。  
 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－探求する心とその世界－』開催。
- 2019（令和元） 7月 美術館コレクション展『金城安太郎展』、『沖縄を描いた画家 1930 - 1950's』開催。  
 博物館収蔵資料、琉球国時代石碑22基が国の重要文化財として指定を受ける。（23日）  
 9月 博物館企画展『台湾－黒潮でつながる隣（とうない）ジマー』開催。  
 美術館企画展『上條文穂と波多野泉 現代彫刻展』開催。  
 美術館コレクション展『真喜志勉 ドローイング展』開催。  
 10月 美術館コレクション展『作家の視点、作品の視点』開催。  
 11月 博物館特別展『グスク・ぐすく・城－動乱の時代に生み出された遺産－』開催。  
 12月 美術館企画展『作家と現在』開催。
- 2020（令和2） 2月 博物館特別展『手わざ－琉球王国の輝き－』開催。  
 美術館コレクション展『石田尚志展』開催。  
 美術館コレクション展『大城精徳の仕事』開催。  
 指定管理者企画展『みんなのレオ・レオーニ展』開催。  
 4月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、4月10日から臨時休館。（～5月20日）  
 5月 博物館企画展『激動の明治・大正の沖縄 第11代齋藤用之助の足跡から』開催。  
 博物館企画展『新収蔵品展－令和元年度収蔵資料－』開催。  
 7月 指定管理者企画展『描かれた首里城』開催  
 8月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、8月2日から臨時休館。（～9月5日）  
 9月 博物館特別展『岩石 THE ROCK ー石ころから見える地球のダイナミズムー』開催。  
 美術館企画展『稲嶺成祚 The Exhibition of INAMINE Seiso』開催。  
 博物館所蔵資料「中山世鑑」、「蔡鐸本 中山世譜」、「蔡温本 中山世譜」の3件が国の重要文化財として指定を受ける。（30日）  
 12月 博物館企画展『沖縄の藍 ー自然と人の織りなす製藍の技ー』開催。  
 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。  
 指定管理者企画展『名画を読み解く－珠玉の東京富士美術館コレクション－』開催。
- 2021（令和3） 2月 指定管理者企画展『よみがえる正倉院宝物 ー再現模造にみえる天平の技ー』開催。  
 3月 美術館企画展『石川真生展 醜くも美しい人の一生、私は人間が好きだ。』開催。  
 5月 博物館企画展『新収蔵品展－令和2年度収蔵資料－』開催。  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、5月23日から臨時休館。（～7月11日）  
 7月 博物館特別展『みんなの進化展～命はつながっている～』開催。  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、7月22日から臨時休館。（～9月30日）  
 9月 琉球王国文化遺産集積・再興事業、模造復元品「円覚寺仁王像」（初公開）に関する記者発表。（17日）  
 10月 博物館企画展『海とジュゴンと貝塚人』開催。  
 サキタリ洞遺跡調査成果記者発表「日本最古の着色された装飾品の発見について」。（21日）  
 11月 釣鐘（米国フロリダ州）の返還式典。（2日）  
 美術館企画展『琉球の横顔－描かれた「私」からの出発』開催。

- 2021（令和3） 11月 NPO法人琉米歴史研究会寄贈、「米国から返還された大黒様」に関する記者発表。  
（24日）
- 12月 博物館企画展『かたつむり展ーラセン館巡回展ー』開催。
- 2022（令和4） 3月 今良子氏より、今英男資料（平成の首里城復元資料〈木彫〉）が寄贈され、感謝状贈呈式を行う（知事出席）。（6日）
- 4月 指定管理者企画展『悠久のシルクロード展』開催
- 7月 博物館特別展『復帰50年 沖縄、復帰後。展ーいちまでいん かなさ オキナワー』開催。  
美術館『復帰50年コレクション展 FUKKI QUALIA 「復帰」と沖縄美術』開催。  
指定管理者企画展『スケスケ展』開催。  
指定管理者企画展『さがそう！自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～』開催
- 8月 「現存最古の附胴三線」の寄贈について、記者発表。（24日）
- 10月 博物館企画展『復帰50年展 琉球ー美とその背景ー』開催。
- 11月 美術館企画展『平良孝七展』開催。  
「沖縄武徳殿開殿式関係資料」寄贈について、記者発表。（29日）
- 12月 『平良孝七展』について、「平良孝七展の修正を求める会」から展示に対する抗議・修正要請を受ける。（21日）
- 2023（令和5） 1月 博物館企画展『宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室の美と沖縄ゆかりの品々』開催。  
博物館企画展『大嶺薫コレクション 琉球歴史探訪』開催。  
「よみがえる沖縄1935」写真パネル等寄贈に係る記者発表。（30日）
- 3月 指定管理者企画展『奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 世界自然遺産展』開催。
- 4月 博物館企画展『新収蔵品展ー令和3・4年度収蔵資料ー』開催。  
指定管理者企画展『ジミー大西 画業30年記念作品展「POP OUT」』開催。
- 6月 指定管理者企画展『みんなの進化展～命はつながっている～』開催。  
博物館所蔵資料「銘苅家文書（四通）」、「琉球国王朱印状」が国の重要文化財として指定を受ける。（27日）
- 7月 指定管理者企画展『MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界』開催。
- 9月 博物館企画展『海を越える人々（前期）琉球と倭寇のもの語り』開催。
- 11月 美術館企画展『照屋勇賢展』開催。
- 12月 博物館特別展『海を越える人々（後期）旧石器時代の人々』開催。
- 2024（令和6） 1月 改正博物館法に基づき「登録博物館」として登録される（1月23日付）
- 2月 恐竜化石（カムイサウルス）骨格レプリカ寄贈にかかる感謝状贈呈式。（20日）
- 3月 指定管理者企画展『キングダム展 ー信ー』開催。
- 4月 指定管理者企画展『アートと虫の美しい世界』開催。  
指定管理者企画展『科学の目で見る美ら海の生き物展』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展 令和5年度 収蔵資料』開催。
- 7月 指定管理者企画展『明和電機 ナンセンスマシーン展 in 沖縄』開催。
- 8月 博物館所蔵資料「聞得大君御殿雲龍黄金簪」が、名称「金銅雲龍文簪」として国の重要文化財指定を受ける。（27日）
- 10月 博物館特別展『芭蕉布展 ー積まれる苧から 生まれる思い』開催。
- 11月 美術館企画展『『○（マル）でも×（バツ）でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～』開催。
- 12月 博物館企画展『琉球列島のちのキ・セ・キ 地質・化石展』開催。
- 2025（令和7） 3月 指定管理者企画展『Hello Kitty展 わたしが変わるとキティも変わる』開催。  
博物館企画展『大嶺薫コレクション展 戦後80年 大嶺薫と東恩納博物館』開催。  
東京大学史料編纂所「15世紀の日本図・琉球図デジタルアーカイブに係る記者発表。（25日）

#### 【歴代館長】

##### 東恩納博物館

大嶺 薫（1946年4月～1953年3月）

##### 首里博物館

豊平 良頭（1947年12月～1948年3月）

原田 貞吉（1948年8月～1953年3月）

##### 沖縄民政府立首里博物館

原田 貞吉（1953年3月～1955年5月）

## 琉球政府立博物館

山里 永吉 (1955年5月～1958年8月)

大城 知善 (1962年2月～1969年11月)

金城増太郎 (1958年9月～1961年12月)

外間 正幸 (1969年12月～1972年4月)

## 沖縄県立博物館

外間 正幸 (1972年5月～1981年3月)

大城 立裕 (1983年4月～1986年3月)

宜保榮治郎 (1992年4月～1994年3月)

當間 一郎 (1996年4月～1999年3月)

平田 與進 (2000年4月～2002年3月)

名嘉 政修 (2005年4月～2006年3月)

新垣 隆雄 (2007年4月～2007年10月)

大城徳次郎 (1981年4月～1983年3月)

大城 宗清 (1986年4月～1992年3月)

糸数 兼治 (1994年4月～1996年3月)

大城 将保 (1999年4月～2000年3月)

當眞 嗣一 (2002年4月～2005年3月)

宮城 清志 (2006年4月～2007年3月)

## 沖縄県立博物館・美術館

牧野 浩隆 (2007年11月～2011年3月)

安里 進 (2013年5月～2016年3月)

里井 洋一 (2023年4月～ )

白保 台一 (2011年4月～2013年2月)

田名 真之 (2016年4月～2023年3月)

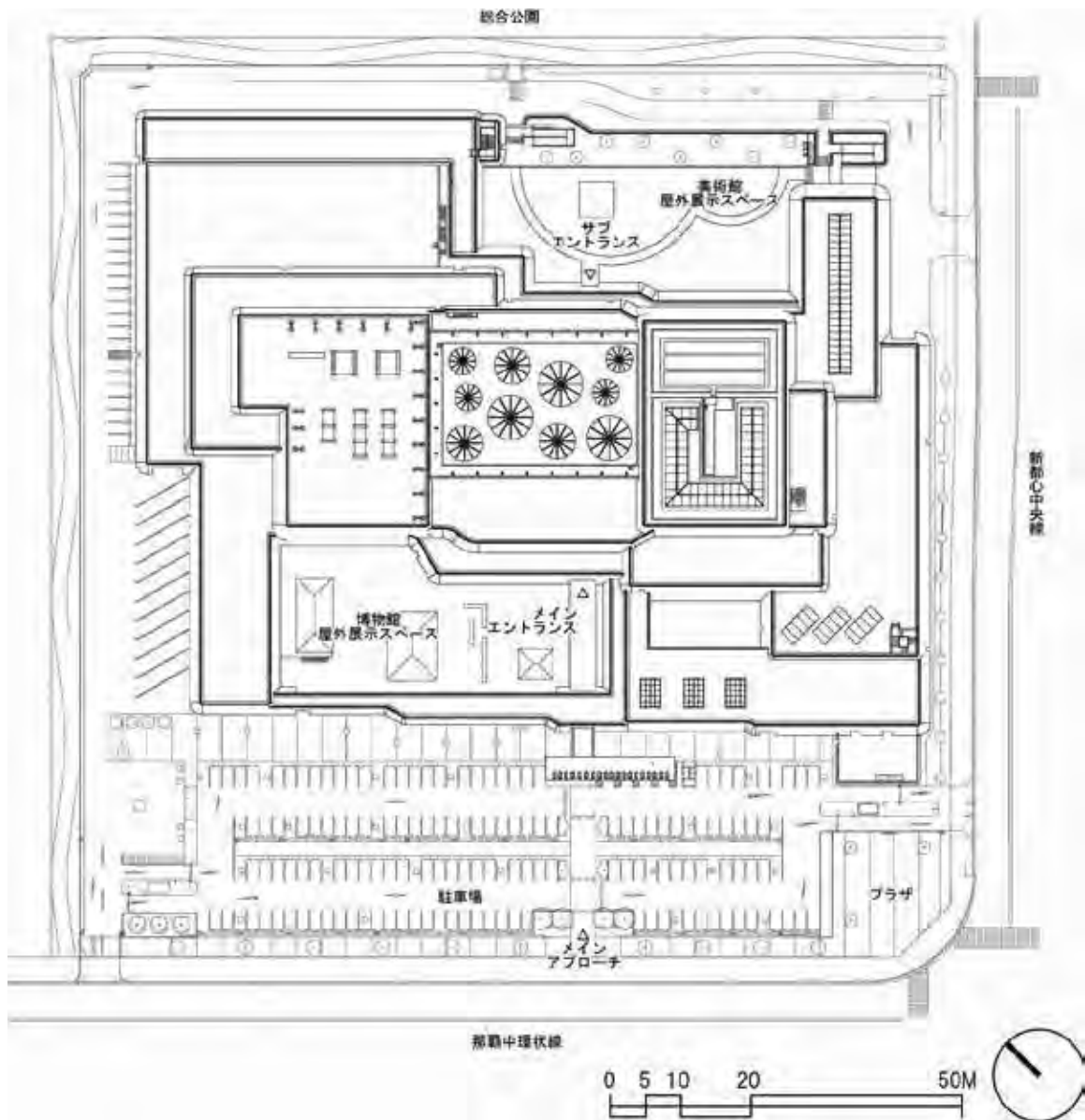
## II 日誌抄 (2024年4月1日～2025年3月31日)

2024年 (令和6)

- 4月 1日 定期人事異動発令式 (博物館実習室)  
2日 指定管理者企画展「アートと虫の美しい世界」開幕 (博物館エリア／～5月6日)  
2日 指定管理者企画展「科学の眼で見る美ら海の生き物展」開幕 (博物館エリア／～5月6日)  
8日 職員全体顔合わせ、消防設備等の説明会、IPM研修会 (講堂)  
16日 博物館ボランティア全体会 (講堂)  
30日 流出文化財返還に伴うお披露目式
- 5月 14日 国際博物館の日パネル展 (エントランスホール) 開催 (～6月2日)  
15日 千葉県市川市議会視察  
16日 九州博物館協会総会 (～17日、於：鹿児島県)  
17日 琉球古刺繍保存会総会 (博物館会議室)  
18日 「国際博物館の日」博物館常設展示・美術館コレクション展無料開放実施  
21日 博物館企画展「新収蔵品展」開幕 (～6月23日)  
23日 会計実地検査受検  
24日 兵庫県立歴史博物館一行来館  
30日 沖縄博物館協会総会・春の研修会 (講堂・首里城公園) (～31日)
- 6月 4日 博物館 学芸員実習 (前期) (～17日)  
17日 総合消防訓練  
24日 夜間消防訓練 (伝達訓練等) の実施  
25日 指定管理 美ら島財団 新理事長館長表敬訪問  
26日 ボランティア研修会・養成講座修了式 (登録証交付式)
- 7月 2日 全館燻蒸・消毒の実施 (～7月10日)  
2日 日本博物館協会参加会 (東京)  
3日 全国博物館 館長会 (東京)  
4日 全国科学博物館協議会 (オンライン)  
13日 指定管理者企画展「明和電機 ナンセンスマシーン展 in 沖縄」開幕 (美術館エリア／～9月16日)  
14日 琉球放送主催「タッチ ザ ダイナソー」開幕 (博物館エリア／～9月1日)  
19日 琉球古刺繍保存会会長来館  
23日 中堅教諭研修 (小・中学校)
- 8月 8日 宜野湾市立博物館館長・実習生来館  
9日 令和6年度指定管理者制度運用委員会の開催  
13日 博物館 学芸員実習 (後期) (～26日)  
19日 美術館 学芸員実習 (～30日)  
22日 県委員監査受検  
27日 「おでかけ！沖縄県議会×おきみゅー」パネル展 (～9月1日)

8月	27日	夜間消防訓練（伝達訓練等）の実施
	28日	韓国・光州市立美術館館長表敬訪問
10月	1日	博物館特別展「芭蕉布展」開幕（～12月1日）
	4日	故宮オンラインシンポジウム
	10日	スウェーデン大使来館
	16日	ハワイ大学 照屋氏来館
	17日	ボランティア全体会（講堂）
	23日	指定管理者 美ら島財団 理事長来館
	29日	兵庫県明石市議員一行来館
	30日	台湾・国立政治大学染織調査団 芭蕉布展見学
11月	1日	美術館企画展「〇でも×でもないもの！」開幕（～1月13日）
	1日	琉球歴史文化の日 博物館常設展・美術館コレクション展無料開放
	3日	指定管理者事業「おきみゅー誕生祭2024」
	3日	美術館アートコンクール表彰式
	8日	中国第一歴史档案館 表敬訪問
	8日	牡丹郷公所「2024日本宮古島交流視察団」表敬訪問
	8日	国立工芸館館長来館
	11日	総合消防訓練
	15日	照屋副知事芭蕉布展観覧
	18日	九州博物館協議会（～20日）
	19日	中央研究院台湾史研究所研究員来館
	19日	北谷町立博物館開館記念式典及び内覧会
	22日	会計課によるかい指導
	25日	博物館・美術館収集委員会（美術作品）の開催
	26日	文化観光拠点計画策定支援事業コンサル、文化庁事務局来館、視察と協議
12月	17日	韓国・国立海洋博物館一行来館
	20日	博物館企画展「琉球列島 地質・化石展」開幕（～2月24日）
	24日	慶良間環境省職員来館
	24日	韓国国立海洋博物館副館長、学芸員来館
	27日	仕事納め
2025年（令和7）		
1月	6日	仕事始め、仕事初め式
	7日	指定管理 美ら島財団役員 館長表敬訪問
	15日	カンボジア研修生 館長表敬訪問、博物館研修
	23日	文化庁日本遺産・文化観光拠点計画常設展視察
	24日	令和6年度移動展（多良間村）（～28日）
	24日	美術館コレクション展「岸本一夫 オキナワデザイン」オープニングセレモニー・内覧会
2月	6日	沖縄博物館協会 秋の研修会（北谷町立博物館）（～7日）
	12日	令和6年度沖縄県立博物館・美術館協議会の開催（実習室）
	13日	文化庁 文化観光拠点計画関連現地視察
	19日	博物館企画展「琉球列島 地質・化石展」来場者1万人達成セレモニー
	20日	日本財団表敬訪問
	25日	夜間消防訓練（伝達訓練等）の実施
	25日	ポーラ伝統文化振興財団職員来館
3月	7日	指定管理者企画展「Hello Kitty展」開幕（美術館エリア／～5／11）
	8日	令和6年度 琉球王国文化遺産集積・再興事業報告会
	9日	在外琉球王国文化遺産調査研究事業 報告会（講堂）
	10日	テニアン市長表敬訪問、レール贈呈
	12日	県定期監査受検
	22日	琉球王国文化遺産集積・再興事業 ロゴマーク発表・トークイベント
	25日	博物館企画展「令和6年度 大嶺薫コレクション展」開幕（～5／11）
	25日	東大表敬訪問、東大史料編纂所 記者発表（博物館講座室）

### III 施設・設備



#### 建築概要

●敷地面積	31,287㎡
●建築面積	13,452㎡
●延床面積	23,721㎡
博物館専有面積	10,478㎡
美術館専有面積	7,537㎡
共有面積	5,708㎡
●高さ・最高高さ	GL+21.8m
●駐車場	
一般駐車場	158台
(うち身障者用4台)	
大型バス駐車場	10台
駐輪場	25台
関係者駐車場	22台
供用施設	
●エントランスホール	724㎡
●情報センター	217㎡
●講堂 (212席)	349㎡

#### 博物館の主たる施設

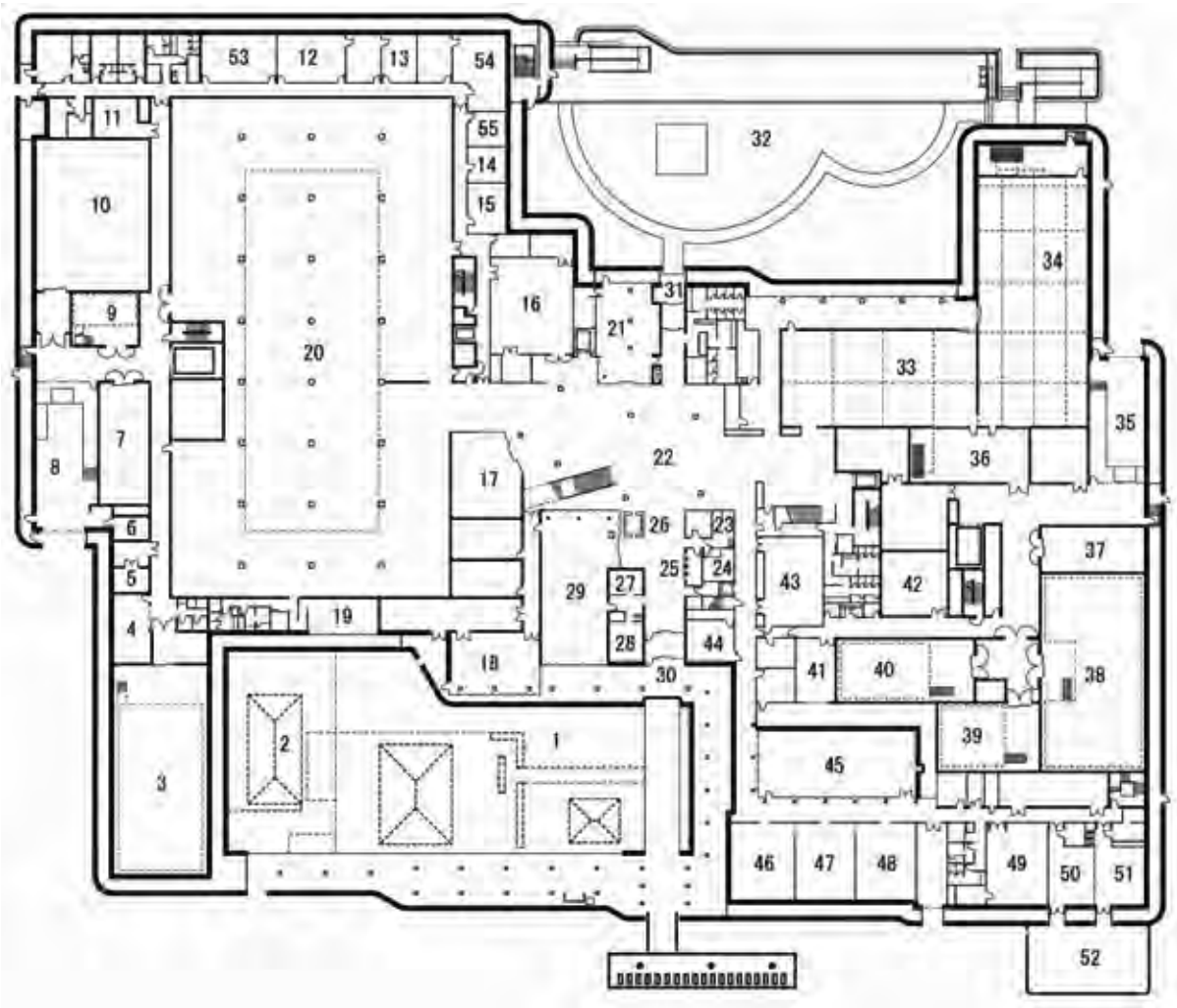
●展示施設	
総合展示室	1,252㎡
部門展示室	1,344㎡
自然史部門	360㎡
考古部門	262㎡
美術工芸部門	180㎡
歴史部門	120㎡
民俗部門	421㎡
屋外展示場	1,425㎡
企画展示室	351㎡
特別展示室	459㎡
●教育普及施設	
ふれあい体験室	110㎡
博物館講座室	191㎡
実習室	108㎡

#### ●収蔵施設 (ダブルデッキ含む)

自然史収蔵庫	417㎡
化石収蔵庫	245㎡
考古・陶磁器収蔵庫	613㎡
特別収蔵庫	439㎡
民俗収蔵庫	668㎡
大型収蔵庫	358㎡
液浸標本室	97㎡
一時保管庫	119㎡
●調査研究施設	
研究室	176㎡
研究資料室	111㎡
会議室	72㎡

#### 美術館の主たる施設

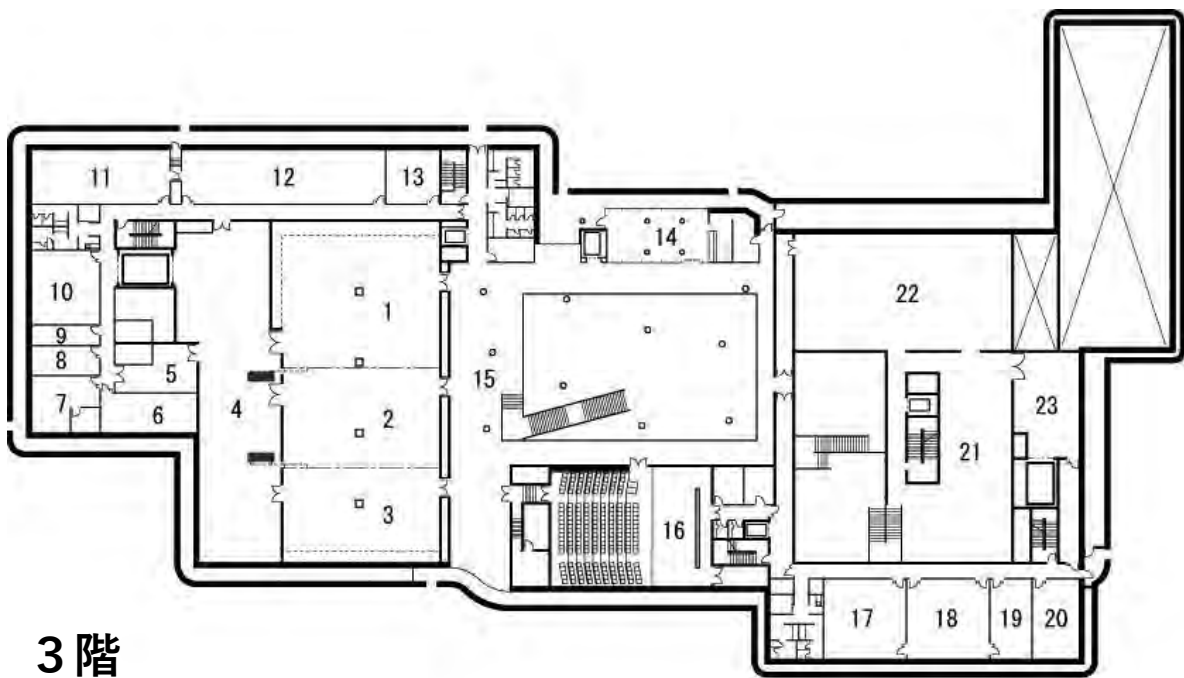
●展示施設	
企画ギャラリー1	394㎡
企画ギャラリー2	490㎡
コレクションギャラリー1	164㎡
コレクションギャラリー2	284㎡
コレクションギャラリー3	370㎡
県民ギャラリー(1~3)	277㎡
県民ギャラリー(スタジオ)	111㎡
県民アトリエ	65㎡
こどもアトリエ	70㎡
屋外展示場	1,368㎡
●教育普及施設	
美術館講座室	109㎡
●収蔵施設 (ダブルデッキ含む)	
収蔵庫A	683㎡
収蔵庫B	248㎡
収蔵庫C	204㎡
●調査研究施設	
研究室	98㎡
研究資料室	98㎡
会議室	58㎡



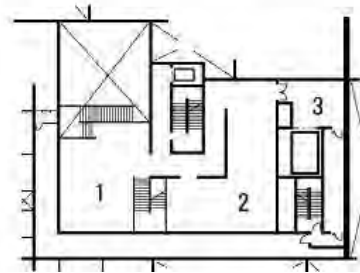
# 1階

## 1階

(博物館)	(共有)	(美術館)	(指定管理者)
1 博物館野外展示	21 ミュージアムショップ	32 美術館野外展示	53 会議室
2 湧田古窯	22 エントランスホール	33 美術館企画ギャラリー1	54 事務室
3 民俗収蔵庫	23 授乳室	34 美術館企画ギャラリー2	55 展示交流員控室
4 写真撮影室	24 託児室	35 トラックヤード	
5 冷凍庫	25 券売	36 展示準備室	
6 石工室	26 総合案内	37 一時保管庫	
7 一時保管庫	27 救護室	38 収蔵庫A	
8 トラックヤード	28 コインロッカー	39 収蔵庫B	
9 液浸標本室	29 情報センター	40 収蔵庫C	
10 大型収蔵庫	30 メインエントランス	41 保存修復室	
11 修理修復室	31 サブエントランス	42 工作室	
12 博物館・美術館庶務室		43 美術館講座室	
13 館長室		44 美術館ボランティア室	
14 支援会室		45 中庭	
15 博物館ボランティア室		46 県民ギャラリー1	
16 博物館講座室		47 県民ギャラリー2	
17 博物館ふれあい体験室		48 県民ギャラリー3	
18 博物館実習室		49 県民ギャラリー (スタジオ)	
19 博物館常設展示休憩室		50 県民アトリエ	
20 博物館常設展示室		51 こどもアトリエ	
		52 屋外活動スペース	



3階



2階



地階

**3階**

(博物館)

- 1 企画展示室
- 2 特別展示室 1
- 3 特別展示室 2
- 4 展示準備室
- 5 工作室
- 6 自然史実験室
- 7 保存科学室
- 8 フィルム保管庫
- 9 映像編集室
- 10 学芸員会議室
- 11 研究資料室
- 12 学芸員研究室
- 13 研修室

(共有)

- 14 喫茶室
- 15 ホワイエ
- 16 講堂
- (美術館)
- 17 研究資料室
- 18 学芸員研究室
- 19 情報処理室
- 20 学芸員会議室
- 21 コレクションギャラリー 2
- 22 コレクションギャラリー 3
- 23 展示準備室

**地階**

(博物館)

- 1 特別収蔵庫
- 2 考古陶磁器収蔵庫
- 3 自然史収蔵庫
- 4 劣化フィルム収蔵庫
- 5 写真パネル収蔵庫
- 6 化石収蔵庫

**2階**

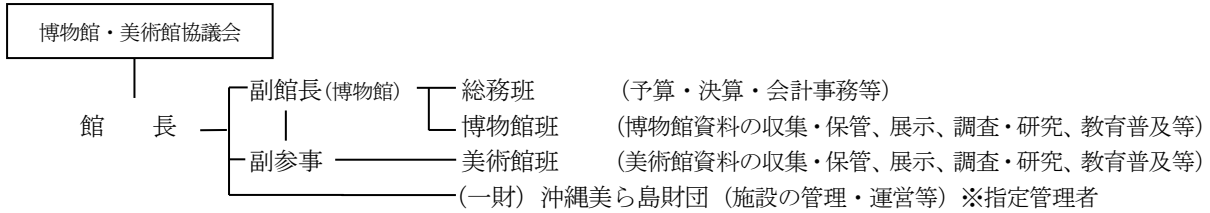
(美術館)

- 1 ホワイエ
- 2 コレクションギャラリー 1
- 3 展示準備室

## IV 組 織

### 【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団の4つにより構成されている。なお、（一財）沖縄美ら島財団に関しては別項にて記述しているので参照いただきたい。



### 【職員構成】 ※◎は主担当業務、○は副担当業務

2024年4月1日現在

職名	氏名	担当業務
館長	里井 洋一	◎博物館・美術館の総括に関する事
副館長	親富祖 ちか	◎博物館・美術館業務の統括に関する事 ◎総務班・博物館班の指揮監督に関する事
副参事	與那覇 政直	◎美術館班の運営に関する事 ◎美術館班の指揮監督に関する事

(総務班)

職名	氏名	担当業務
総務班長	金城 次男	◎総務班の総括に関する事 ◎出納員に関する事 ◎指定管理者との調整に関する事 ◎組織・定数に関する事 ◎沖縄振興推進特別交付金の計画・評価の取りまとめ ◎21世紀ビジョン、教育基本計画等施策とりまとめに関する事 ◎博物館・美術館協議会に関する事 ◎視察対応の総括に関する事 ◎博物館・美術館広報宣伝に関する事 ◎防災・危機管理に関する事 ○その他、特に上司が命ずる事項に関する事
主査	松永 利絵子	◎出納業務に関する事 ◎職員の給与、福利、サービス及び研修業務に関する事 ◎会計年度任用職員に関する事 ◎博物館班の会計業務に関する事 ◎監査に関する事 ◎文書の管理業務に関する事 ◎労働安全衛生業務に関する事 ◎物品に関する事 ○予算（歳入・歳出）及び決算に関する事（副） ○その他、特に上司が命ずる事項に関する事
主査	渡久地 盛之	◎予算（歳入・歳出）及び決算に関する事（正） ◎博物館・美術館保全・修繕事業に関する事 ◎美術館班の会計業務に関する事 ◎施設・財産関連業務に関する事（施設利用許可、使用料関係） ◎公印の管理に関する事 ◎公用車の管理業務（支出含む）に関する事 ○その他、特に上司が命ずる事項に関する事
会計年度職員 (事務補助)	西川 美由紀	○文書受付に関する事。 ○業務補助に関する事。 ○その他、特に上司が命ずる事項に関する事

(博物館班) ※◎は主担当業務、○は副担当業務、△全学芸員に関わること

職 名	氏 名	担 当 業 務
博物館班 全学芸員		△IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること △新収蔵品展に関すること △学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること △常設展・各部門展示室・企画展示室、特別展示室、収蔵庫等のメンテナンスに関すること △移動博（多良間村）に関すること △博物館総合調査に関すること
班 長 (地 学)	宇佐美 賢	◎博物館班の総括に関すること ◎令和6年度博物館班予算に関すること ◎県議会対応に関すること ◎視察対応に関すること ◎博物館活動の全体計画に関すること ◎学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること ◎博物館特別展示室・企画展示室の管理・運営、常設展・各部門展示室、収蔵庫等のメンテナンスに関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎博物館協会・協議会（沖博協・日博協・九博協・歴民協等）に関すること ◎次期中長期計画（2026年以降の計画）に関すること ○文化観光拠点計画に関すること ○令和6年度企画展「琉球列島 地質・化石展」に関すること ○移動博（多良間村）、教育普及に関すること ○毒物劇物管理責任者（博物館班）に関すること ○首里城被災資料の管理に関すること ○学芸員ゼミの運営に関すること ○一括交付金事業「琉球王国文化遺産集積・再興事業」に関すること ○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること ○博物館友の会に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (生 物)	菊川 章	◎自然史（生物・地学・人類）グループの総括に関すること ◎生物資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（生物分野）に関すること ◎屋外展示（植生）に関すること ◎「坂口総一郎等当館植物標本整理・発信事業」に関すること ◎博物館総合調査に関すること ◎S-NETの登録に関すること ◎毒物劇物管理担当者（博物館班担当） ◎令和7年度「生物企画展」に関すること ◎博物館協会（沖博協・日博協・九博協・科博協）に関すること ○移動博（多良間村）、教育普及に関すること ○令和6年度企画展「琉球列島 地質・化石展」に関すること ○文化観光拠点計画に関すること ○学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること ○在外琉球王国文化財調査研究事業に関すること ○常設展・各部門展示室・企画展示室、特別展示室、収蔵庫等のメンテナンスに関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (人 類)	山崎 真治	◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関すること ◎図書の入受・整理に関すること ◎写真資料等の整理に関すること ◎博物館ホームページに関すること ◎港川人骨の管理に関すること ◎科学研究費受託機関の認定に関すること

職 名	氏 名	担 当 業 務
主任学芸員 (人 類)	山崎 真治	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「国際博物館の日」関連事業に関すること</li> <li>◎広報連絡会議に関すること</li> <li>◎文化観光拠点計画に関すること</li> <li>○常設展・各部門展示室・企画展示室、特別展示室、収蔵庫等のメンテナンスに関すること</li> <li>○共同研究事業に関すること</li> <li>○公開承認施設申請に関すること</li> <li>○学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること</li> <li>○次期中長期計画（2026年以降の計画）に関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
主 任 (人 類)	澤浦 亮平	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関すること</li> <li>◎収蔵品データの総括管理（データベース、収蔵品台帳）に関すること</li> <li>◎博物館紀要の編集・発行に関すること</li> <li>◎共同研究事業に関すること</li> <li>◎新収蔵品展に関すること</li> <li>◎情報化推進リーダーに関すること</li> <li>○文化観光拠点計画に関すること</li> <li>○港川人骨の管理に関すること</li> <li>○博物館ホームページに関すること</li> <li>○常設展・各部門展示室・企画展示室、特別展示室、収蔵庫等のメンテナンスに関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
学 芸 員 (地質・化石)	新山 颯大	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地質・化石資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示（地質化石等）・屋外展示（岩石）に関すること</li> <li>◎IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること</li> <li>◎岩石鉱物WEB図鑑に関すること</li> <li>◎沖縄県博物館協会（情報発信）に関すること</li> <li>◎令和6年度企画展「琉球列島 地質・化石展」に関すること</li> <li>○博物館情報化推進リーダーに関すること</li> <li>○毒物劇物管理担当者（博物館班担当）</li> <li>○収蔵品データの総括管理(データベース、収蔵品台帳)に関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
学 芸 員 (歴 史)	大城 直也	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示（歴史分野）に関すること</li> <li>◎屋外鐘楼に関すること</li> <li>○劣化フィルム保管庫の空調設備の修理及び映像資料の管理公開に関すること</li> <li>○資料収集事業に関すること</li> <li>○重要文化財保存管理（修理種服）事業に関すること</li> <li>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること</li> <li>○博物館協会（沖博協・日博協・九博協）に関すること</li> <li>○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること</li> <li>○令和7年度特別展「戦後80年」に関すること</li> <li>○新収蔵品展に関すること</li> <li>○移動展（多良間村）、教育普及に関すること</li> <li>○視察対応に関すること</li> <li>○琉球三線楽器保存・育成会に関すること</li> <li>○台湾故宫博物院への資料貸出・展示協力に関すること</li> <li>○写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること</li> <li>○大嶺薫コレクション展に関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員 (歴 史)	崎原 恭子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎人文系（歴史・美工）グループの統括に関すること</li> <li>◎歴史資料（近・現代）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合展示・部門展示（歴史分野）に関すること</li> </ul>

職 名	氏 名	担 当 業 務
主任学芸員 (歴 史)	崎原 恭子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料収集事業に関すること</li> <li>◎劣化フィルム保管庫の空調設備の修理及び映像資料の管理公開に関すること</li> <li>◎重要文化財保存管理（修理修復）事業に関すること</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること</li> <li>◎兵庫・沖縄友愛締結40周年事業に関すること</li> <li>◎令和7年度特別展「戦後80年」に関すること</li> <li>◎フレッシュマントレーナーに関すること</li> <li>○屋外鐘楼に関すること</li> <li>○視察対応に関すること</li> <li>○在外琉球王国文化財調査研究事業に関すること</li> <li>○常設展・各部門展示室・企画展示室、特別展示室、収蔵庫等のメンテナンスに関すること</li> <li>○大嶺薫コレクション展に関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
主 任 (美術工芸)	篠原 あかね	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術工芸資料（染織・陶芸・三線）の収集・保管・整理・調査研究・公開に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関すること</li> <li>◎博物館資料収集事業（博物館美術品購入基金）に関すること</li> <li>◎写真資料の貸出及び貸出に係る法規改正、博物館資料の撮影等に関すること</li> <li>○在外琉球王国文化財調査研究事業に関すること</li> <li>○文化観光拠点計画に関すること</li> <li>○次期中長期計画（2026年以降の計画）に関すること</li> <li>○博物館ホームページに関すること</li> <li>○台湾故宮博物院への資料貸出・展示協力に関すること</li> <li>○令和6年度特別展「芭蕉布展」に関すること</li> <li>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること</li> <li>○博物館資料修理事業に関すること</li> <li>○首里城被災資料の管理に関すること</li> <li>○大嶺薫コレクション展に関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
主 任 (美術工芸)	伊禮 拓郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術工芸資料（絵画・書跡・彫刻・漆芸）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関すること</li> <li>◎大嶺薫コレクション展に関すること</li> <li>◎博物館資料修理事業に関すること</li> <li>◎首里城被災資料の管理に関すること</li> <li>◎公開承認施設申請に関すること</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること</li> <li>◎台湾故宮博物院への資料貸出・展示協力に関すること</li> <li>○兵庫・沖縄友愛締結40周年事業に関すること</li> <li>○情報化推進リーダーに関すること</li> <li>○常設展・各部門展示室・企画展示室、特別展示室、収蔵庫等のメンテナンスに関すること</li> <li>○博物館資料収集事業（博物館美術品購入基金）に関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員 (考 古)	山本 正昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎民俗・考古・教育普及グループの総括に関すること</li> <li>◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示（考古分野）・屋外展示（湧田窯）に関すること</li> <li>◎考古資料の複製・修復に関すること</li> <li>◎令和9年度開館20周年特別展に関すること</li> <li>◎博物館『年報』の編集・発行に関すること</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること</li> <li>◎博物館協会（沖博協・日博協・九博協）に関すること</li> <li>○博物館ホームページに関すること</li> </ul>

職名	氏名	担当業務
主任学芸員 (考古)	山本 正昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「国際博物館の日」関連事業に関する事</li> <li>○広報連絡会議に関する事</li> <li>○兵庫・沖縄友愛締結40周年事業に関する事</li> <li>○博物館友の会に関する事</li> <li>○大嶺薫コレクション展に関する事</li> <li>○情報センターの図書・データに関する事</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関する事</li> </ul>
学芸員 (民俗)	大城 沙織	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事</li> <li>◎博物館総合・部門展示（民俗資料）、収蔵庫のメンテナンスに関する事</li> <li>◎屋外展示（民家・高倉）に関する事</li> <li>◎デジタルミュージアム事業の管理・運営に関する事</li> <li>◎民俗文化財調査（厨子甕）に関する事</li> <li>◎屋外展示有用植物園の管理に関する事</li> <li>◎令和6年度特別展「芭蕉布展」に関する事</li> <li>○博物館ホームページに関する事</li> <li>○沖縄県博物館協会（情報発信）に関する事</li> <li>○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事</li> <li>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関する事</li> <li>○大嶺薫コレクション展に関する事</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関する事</li> </ul>
主任学芸員 (教育普及)	平川 信幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育普及の統括に関する事</li> <li>◎教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理に関する事</li> <li>◎博物館学習等の調査研究に関する事</li> <li>◎常設・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関する事</li> <li>◎博物館友の会に関する事</li> <li>◎ボランティア活動に関する事</li> <li>◎展示ガイド養成に関する事</li> <li>◎体験学習教室・夏休み子ども教室の企画及び野外展示の活用に関する事</li> <li>◎文化講座・学芸員講座の企画調整に関する事</li> <li>◎ふれあい体験室の運営に関する事</li> <li>◎学校連携及び博物館教育普及モデル事業に関する事</li> <li>◎移動展（多良間村）に関する事</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関する事</li> </ul>
主任学芸員 (再任用・学芸業務補佐)	大湾 ゆかり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎琉球三線楽器保存・育成会に関する事</li> <li>◎在外琉球王国文化財調査研究事業に関する事</li> <li>◎令和4年度以前の民俗資料のレファレンス、収集・保管・整理に関する事</li> <li>○民俗資料の保管・整理に関する事</li> <li>○令和6年度特別展「芭蕉布展」の支援に関する事</li> <li>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関する事</li> <li>○屋外展示有用植物園の管理の支援に関する事</li> <li>○全国歴史民俗系博物館協議会に関する事</li> <li>○学芸員ゼミに関する事</li> <li>○博物館班業務全般の支援に関する事</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関する事</li> </ul>
会計年度職員 (学芸業務補助)	勝連 涼子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館『年報』の編集・発行に関する事</li> <li>○寄贈図書類の回覧に関する事</li> <li>○写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関する事</li> <li>○公文書の整理に関する事</li> <li>○写真資料等の整理に関する事</li> <li>○発送業務等の集約に関する事</li> <li>○展示公開事業の補佐に関する事</li> <li>○学芸員業務の補佐に関する事</li> <li>○学芸研究資料室の図書に関する事</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関する事</li> </ul>

職名	氏名	担当業務
会計年度職員 (教育普及業務補助)	城間 智子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア活動の連絡調整に関する事</li> <li>○視聴覚機器の整理・保管に関する事</li> <li>○博物館学習への各種照会事項対応に関する事</li> <li>○教育普及担当学芸員の補佐に関する事</li> <li>○教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関する事</li> <li>○博物館学習等の調査研究に関する事</li> <li>○文化講座の企画等に関する事</li> <li>○ふれあい体験室の運営に関する事</li> <li>○常設・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関する事</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関する事</li> </ul>
会計年度職員 (事務補助・一括交付金業務)	大底 ひろみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一括交付金事業「琉球王国文化遺産集積・再興事業」の事務補助（事業の旅費、需用費の執行補助等）に関する事</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関する事</li> </ul>

(美術館班) ※◎は主担当業務、○は副担当業務

職名	氏名	担当業務
班 長	前田 比呂也	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学芸業務の総括に関する事</li> <li>◎展示室の管理運営・メンテナンスに関する事</li> <li>◎学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関する事</li> <li>◎関係団体等への対応に関する事</li> <li>◎指定管理者との連絡調整に関する事</li> <li>○その他、特に上司が命じる事項に関する事</li> </ul>
主任学芸員	豊見山 愛	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎調査研究活動に関する事</li> <li>◎沖縄美術史の研究に関する事</li> <li>◎美術館紀要に関する事</li> <li>◎調査研究の照会に関する事</li> <li>○企画展「○でも×でもないもの！」に関する事</li> <li>○展示公開に関する事</li> <li>○その他、特に上司の命じる事項に関する事</li> </ul>
主任学芸員	玉城 早苗	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育普及活動に関する事</li> <li>◎教育普及活動の調査・研究に関する事</li> <li>◎企画展「○でも×でもないもの！」に関する事</li> <li>◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等に関する事</li> <li>○移動展に関する事</li> <li>○その他、特に上司の命じる事項に関する事</li> </ul>
主 任	梶原 正史	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料保存管理活動に関する事</li> <li>◎保存修復の研究に関する事</li> <li>◎コレクション展「沖縄の彫刻たち」に関する事</li> <li>◎移動展に関する事</li> <li>○企画展「○でも×でもないもの！」に関する事</li> <li>○その他、特に上司が命じる事項に関する事</li> </ul>
主 任	亀海 史明	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎展示公開活動に関する事</li> <li>◎コレクション展「沖縄美術の流れ」に関する事</li> <li>◎近代美術の研究に関する事</li> <li>◎美術館資源発信基盤整備事業に関する事</li> <li>◎展覧会計画策定に関する事</li> <li>○共催、協力、後援事業に関する事</li> <li>○その他、特に上司が命じる事項に関する事</li> </ul>
学 芸 員	大城 さゆり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料収集活動に関する事</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事</li> <li>◎コレクション展「岸本一夫展」に関する事</li> <li>○展覧会計画策定に関する事</li> <li>○その他、特に上司が命じる事項に関する事</li> </ul>

職名	氏名	担当業務
会計年度職員 (美術品調査員)	喜納 祥子	○作品（新規収蔵予定・展覧会出品作品）及び作家の調査に関すること ○収蔵品のデータベース及び画像管理・貸出に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること
会計年度職員 (学芸業務補助)	又吉 貴美子	○展示公開事業の補佐に関すること ○教育担当学芸員の補佐に関すること ○保存修復担当学芸員の補佐に関すること ○美術館資料調査、収集及び整理に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること
会計年度職員 (事務補助)	奥平 こずえ	○文書の収受、発送に関すること ○図書の受付、整理に関すること ○文書等の整理、保管に関すること ○業務補助に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること
会計年度職員 (事務補助)	長嶺 勝磨	○美術館二次資料の整理、データ化に関すること ○業務補助に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること

【人事異動】

2025年3月1日 現在

	班名	職名	氏名	摘要
転出	総務班 総務班 博物館班	博物館副館長	中里 智子	住宅課
		美術館副館長兼 美術館班長	大川 剛	安謝小学校
		班長	具志 幸昌	農林水産総務課
		主任	比嘉 友章	市町村課
転入	総務班 総務班 総務班 美術館班 美術館班 博物館班 博物館班 博物館班	主任学芸員	宮城 修	あげな中学校
		副館長	親富祖 ちか	統計課
		副参事	與那覇 政直	道路街路課
		班長	金城 次男	中小企業支援課
		主査	渡久山 盛之	埋蔵文化財センター
		臨時任用職員	屋比久 宮野	任期付採用（令和6年8月1日付）
		班長	前田 比呂也	任期付採用（令和6年4月1日付）
		主任学芸員	豊見山 愛	文化財課
学芸員	大城 直也	新採用（令和6年4月1日付）		
臨時任用職員	國吉 史乃	任期付採用（令和6年7月26日付）		
臨時任用職員	景山 千裕	任期付採用（令和7年3月1日付）		

## V 沖縄県立博物館・美術館協議会

日 時：2025年2月12日（水）14:00～15:30

議 題：令和6年度事業報告及び、令和7年度事業計画について（指定管理者、県博物館班、県美術館班）、その他

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿

（任期：2024年7月10日～2026年7月9日）

分 野	氏 名	所 属	職 名	
学識経験者	自然史	◎濱口 寿夫	中城村護佐丸歴史資料図書館	館 長
	歴 史	秋山 道宏	沖縄国際大学総合文化学部	准 教 授
	考 古	上原 静	沖縄国際大学	名誉教授
	民 俗	稲福みき子	沖縄国際大学	名誉教授
	人 類	石田 肇	琉球大学医学部	元医学部長
	美術（漆芸）	宮里 正子	浦添市美術館	元 館 長
	美術（立体）	西村 貞雄	琉球大学	名誉教授
	美術（写真）	○仲本 賢	沖縄県立芸術大学美術工芸学部	教 授
	観光行政学	下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー	会 長
学校教育関係者	小学校教育	玉城 有	沖縄県小学校長会	副 会 長
	中学校教育	又吉 直正	沖縄県中学校長会	副 会 長
	高校教育	津野 良信	沖縄県高等学校長会	副 会 長
社会教育・家庭教育関係者	社会教育	田端 一正	沖縄県社会教育委員連絡協議会	会 長
	家庭教育	松田 伸	沖縄県高等学校PTA連合会	会 長

（◎会長、○副会長 2025年3月31日現在）

## VI 予 算

2024年度 歳出状況（決算）

単位：千円

	博物館・美術館指定管理費	博物館・美術館費	博物館・美術館保全修繕事業	琉球王国文化遺産集積・再興事業	美術館資源発信基盤整備事業	在外琉球王国文化財里帰り事業	沖縄県立博物館・美術館重要文化財保存管理（修理修復）事業	合 計
報 酬		13,007		2,166	2,166			17,339
職員手当等		4,173		818	538			5,529
報償費		168		17				185
旅 費		6,277		792	165	1,127	189	8,550
需用費		16,491		74	1,965		11	18,541
役務費		1,561		20				1,581
委託料	355,650	27,871		69,948		1,779	3,576	458,824
使用料及び賃借料		3,744						3,744
備品購入費		9,248	1,170		391			10,809
負担金、補助及び交付金		95		35				130
繰出金		1						1
合 計	355,650	82,636	1,170	73,870	5,225	2,906	3,776	525,233

※本庁執行分を含む

	収入金額	説 明
土地使用料	43	自動販売機土地使用料等
建物使用料	1,966	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料等
国庫補助金	62,117	沖縄振興特別推進交付金、文化庁補助金
不要品売払代	29	公用車2台の売却代金
展示会等助成金	400	全国科学博物館活動等助成金
雑 入	2,315	土地使用に係る電気料金、雇用保険料等
合 計	66,870	※本庁収納分を除く

## VII 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2025年3月31日 現在

	分 類	件 数	小 計
博 物 館	自 然 史	77,838	122,115
	人 類	132	
	美 術 工 芸	11,140	
	歴 史	15,221	
	考 古	9,777	
	民 俗	8,007	
美 術 館	平 面	1,977	5,039
	立 体	285	
	写 真 ・ 映 像	2,748	
	そ の 他	29	
総 計			127,154



# 利用統計

- I 入館者統計
- II 施設利用者統計

# I 入館者統計

## 1 総入館者集計

(単位：人)

年 月	博物館						美術館						全体						全体			総入館者		
	常設展			企画展/特別展			全 体			コレクション展			企 画 展			全 体			展示室合計					
	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	合計		展示室外(貸付)	
4	6,836	2,195	9,031	5,670	287	5,957	12,506	2,482	44,988	2,344	1,095	3,439	7,774	570	8,344	10,118	1,665	11,783	22,624	4,147	26,771	13,263	40,034	
5	7,554	3,285	10,839	3,807	409	4,216	11,361	3,694	15,055	2,754	1,813	4,567	6,059	638	6,697	8,813	2,451	11,264	20,174	6,145	26,319	11,712	38,031	
6	7,560	1,769	9,329	2,603	217	2,820	10,163	1,986	12,149	3,270	848	4,118	0	0	3,270	848	4,118	13,433	2,834	16,267	12,024	28,291		
7	5,480	1,945	7,425	0	0	7,425	5,480	1,945	7,425	1,759	615	2,374	5,327	236	5,563	7,086	851	7,937	12,566	2,796	15,362	25,460	40,822	
8	8,751	3,436	12,187	0	0	12,187	8,751	3,436	12,187	3,449	1,314	4,763	10,293	434	10,727	13,742	1,748	15,490	22,493	5,184	27,677	55,947	83,624	
9	6,896	2,202	9,098	0	0	9,098	6,896	2,202	9,098	2,874	911	3,785	8,725	433	9,158	11,599	1,344	12,943	18,495	3,546	22,041	16,135	38,176	
10	8,441	2,033	10,474	3,877	357	4,234	12,318	2,390	14,708	3,601	1,353	4,954	0	0	3,601	1,353	4,954	15,919	3,743	19,662	16,829	36,491		
11	8,113	3,934	12,047	4,552	445	4,997	12,665	4,379	17,044	2,658	1,373	4,031	2,113	273	2,386	4,771	1,646	6,417	17,436	6,025	23,461	21,355	44,816	
12	8,956	2,576	11,532	1,824	147	1,971	10,780	2,723	13,503	2,901	1,118	4,019	2,095	191	2,286	4,996	1,309	6,305	15,776	4,032	19,808	14,846	34,654	
1	8,342	3,468	11,810	4,304	370	4,674	12,646	3,838	16,484	2,890	1,207	4,097	1,126	295	1,421	4,016	1,502	5,518	16,662	5,340	22,002	13,837	35,839	
2	9,314	2,747	12,061	6,114	655	6,769	15,428	3,402	18,830	4,543	1,438	5,981	0	0	4,543	1,438	5,981	19,971	4,840	24,811	19,438	44,249		
3	9,185	2,031	11,216	0	0	11,216	9,185	2,031	11,216	1,138	1,138	2,276	18,420	1,055	19,475	22,493	2,193	24,686	31,678	4,224	35,902	20,120	56,022	
合 計	95,428	31,621	127,049	32,751	2,887	35,638	128,179	34,508	162,687	37,116	14,223	51,339	61,932	4,125	66,057	99,048	18,348	117,396	227,227	52,856	280,083	240,966	521,049	
目 標	80,900			24,300		105,200				30,000		109,000			139,000				244,200					520,000
達成率(%)	117.96%			134.78%		121.84%				123.72%		56.82%			71.26%				93.05%					

## 2 団体別入館者集計

(単位：人)

項目	県内						県外						国外						合計									
	高 大 生			小 中 生			高 大 生			小 中 生			高 大 生			小 中 生			その他									
	団体数	人数	小計	団体数	人数	小計	団体数	人数	小計	団体数	人数	小計	団体数	人数	小計	団体数	人数	小計	団体数	人数								
4月	3	333	0	0	0	13	389	16	722	2	97	3	264	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	1,105		
5月	8	517	6	108	0	3	76	17	701	2	396	1	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	81	23	1,234	
6月	7	143	4	65	0	3	36	14	244	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	41	15	285	
7月	3	233	4	94	2	23	19	596	28	946	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	964	
8月	3	70	2	70	0	0	75	2,236	80	2,376	0	0	2	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	2,405
9月	6	603	3	55	0	0	3	82	12	740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	740
10月	4	105	5	128	1	43	2	129	12	405	2	69	4	851	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1,325
11月	29	2,273	5	411	2	61	2	42	38	2,787	2	169	6	483	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	25	47	3,464	
12月	13	909	4	75	3	51	2	25	22	1,060	0	0	6	1,351	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	39	29	2,450	
1月	26	1,926	3	161	2	45	2	85	33	2,217	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	2,217	
2月	9	569	3	187	2	69	1	25	15	850	1	191	1	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1,246
3月	2	51	0	0	0	0	6	186	8	237	1	43	3	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	32	13	400	
合計	113	7,732	39	1,354	12	292	131	3,907	285	13,285	11	983	26	3,327	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	240	340	17,835

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体。

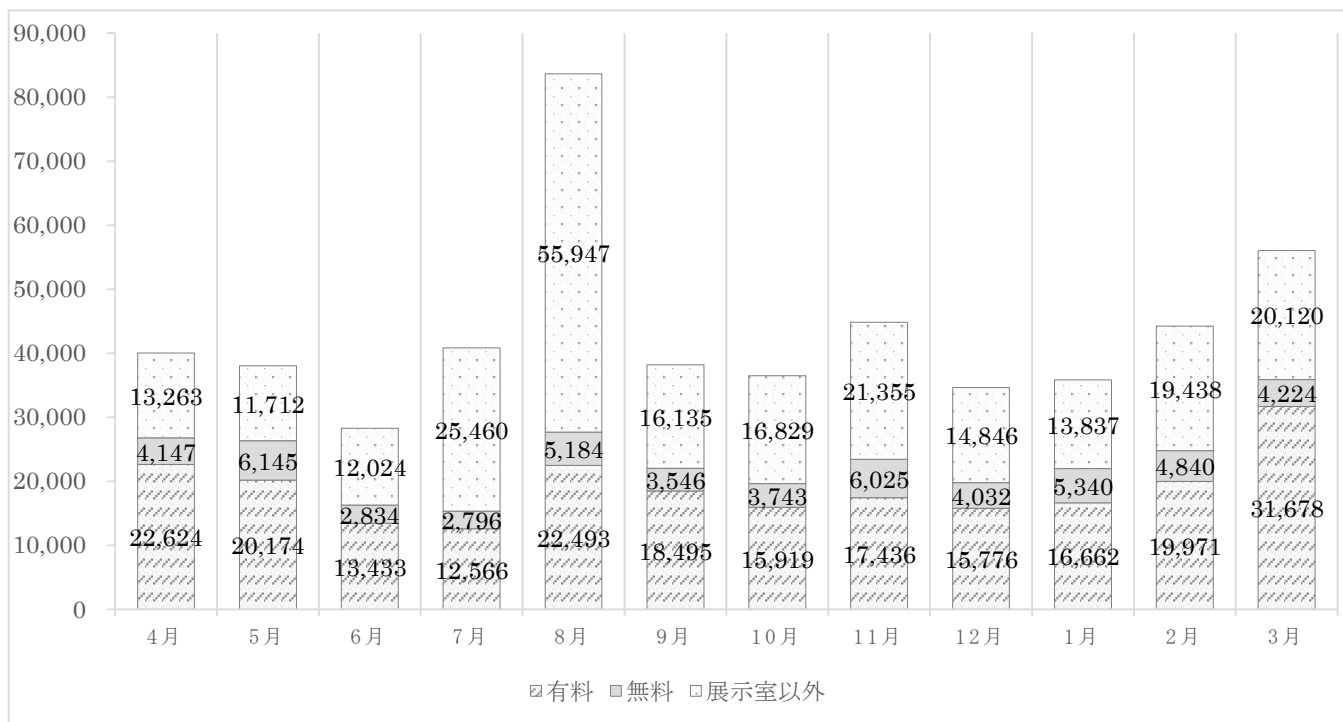
### 3 展覧会別入館者集計

(単位：人)

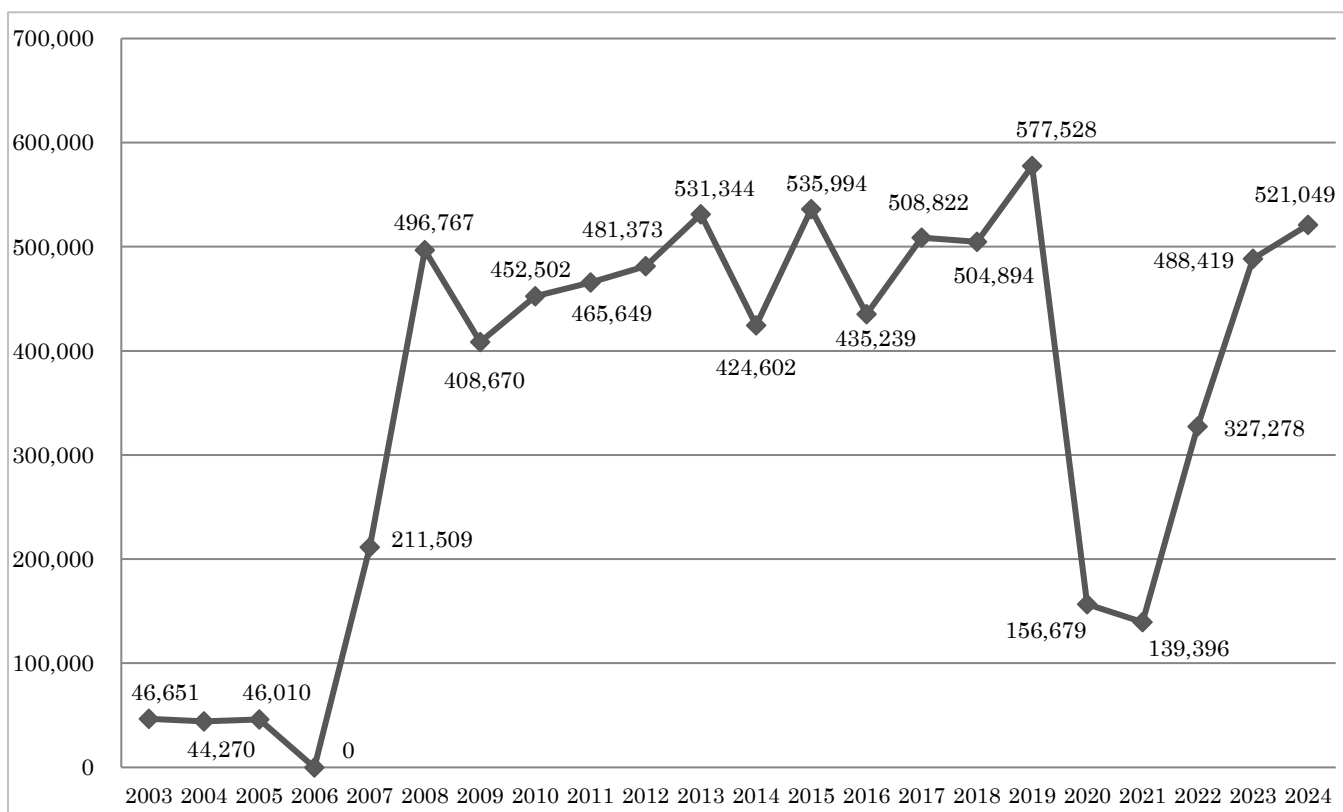
展覧会名	開催期間	一日平均 入場者数	有料 入場者数	無料 入場者数	合計 入場者数
博物館	企画展 「新収蔵品展 令和5年度収蔵資料」	141	3,743	498	4,241
	特別展 「芭蕉布展 ～續まれる苧から生まれる思い～」	179	8,789	856	9,645
	企画展 「琉球列島 地質・化石展 いのちのキ・セ・キ」	245	11,882	1,118	13,000
	企画展 「大嶺黨コレクション展 ～大嶺黨と東恩納博物館～」	2024年12月20日～ 2025年2月24日 会期：53日間 2025年3月25日～5月11日 会期：42日間 (2024年度は6日間)	9	16	38
美術館	企画展 「〇でも×でもないもの！ ～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～」	103	5,334	759	6,093
	企画展 「アートと虫の美しい世界」	282	8,337	415	8,752
指定管理者	企画展 「キングダム展 -信-	418	13,833	1,208	15,041
	企画展 「明和電機 ナンセンスマシーン展 in 沖繩」	446	24,345	1,103	25,448
	企画展 「Hello Kitty展 -わたしが変わるとキティも変わる-」	927	18,420	1,055	19,475
	合 計		94,699	7,050	101,749

※企画展「Hello Kitty展」、「大嶺黨コレクション展」については、2025年3月末日時点での実績を記載。

#### 4 2024年度（令和6）月間別入館者数



#### 5 年間入館者数の年次推移



6 減免申請集計

(単位：人)

項目		学校関係 (下見)		旅行社関係 (視察・引率)		マスコミ関係 (視察)		福祉関係 (引率)		博物館・美術館 関係者 (視察)		その他		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
2024	4月	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	14
	5月	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	6月	0	0	3	4	0	0	1	2	0	0	0	0	4	6
	7月	12	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	40
	8月	16	59	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	18	61
	9月	5	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	13
	10月	4	7	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	8	13
	11月	11	22	4	7	0	0	0	0	0	0	1	19	16	48
2025	12月	6	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14
	1月	6	11	1	1	0	0	0	0	0	0	17	16	24	28
	2月	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	27	35	29	40
	3月	5	13	3	5	0	0	0	0	0	0	22	27	30	45
合計		73	199	18	26	0	0	1	2	0	0	67	97	159	324

7 団体入館内訳

県内 小学校

のべ96校 6,129名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	10	ホープインターナショナルアカデミーオキナワ	21	33	11	19	豊崎小学校	116	65	1	15	小緑南小学校	118
2		26	垣花小学校	109	34			神原小学校	66	66		16	松田小学校	30
3	5	1	津堅小中学校	20	35		20	金城小学校	117	67			小緑小学校	61
4			Busy bee school	37	36		21	上田小学校	175	68		17	上原小学校	19
5		3	沖縄ミッショントーチアップスクール	40	37			漢那小学校	32	69			松島小学校	103
6		10	内間小学校	93	38			とよみ小学校	113	70			安謝小学校	114
7		15	Busy bee school	11	39		22	辺土名小学校	18	71			垣花小学校	29
8		24	城辺小学校	22	40			城西小学校	111	72		21	浦城小学校	154
9		31	多良間小学校	19	41		26	北美小学校	118	73			城東小学校	98
10	6	7	海星小学校	16	42			渡名喜小学校	16	74		23	さつき小学校	76
11		11	北小学校	41	43		27	仲里小学校	19	75			城北小学校	98
12		18	オキナワインターナショナルスクール	10	44		28	大山小学校	108	76		24	大原小学校	9
13		21	上野小学校	33	45			奥小学校	11	77			垣花小学校	41
14			オキナワインターナショナルスクール	18	46			奥間小学校	16	78		28	真嘉比小学校	101
15	7	30	あけぼの小(先生のみ)	23	47		29	今帰仁小学校	49	79			恩納小学校	49
16	8	2	神縄カワク小学校ベアシック	37	48			天妃小学校	71	80		29	大名小学校	32
17		16	ピージーピースクール	13	49			曙小学校	57	81			兼城小学校	119
18	9	6	下地小学校	40	50			百名小学校	26	82		30	松川小学校	79
19		12	天久小学校	31	51	12	3	潮平小学校	105	83		31	内間小学校	79
20		25	比屋根小学校	139	52		4	玉城小学校	89	84			東江小学校	71
21	10	11	新城小学校	63	53			天久小学校	124	85			沖縄 AMICUS 小学校	56
22			阿波連小学校	7	54		11	比川小学校	6	86	2	5	大道小学校	61
23		24	宮良小学校	21	55			久部良小学校	12	87		7	泊小学校	111
24	11	6	大里南小学校	197	56		13	与那国小学校	15	88		14	神森小学校	95
25		7	古蔵小学校	113	57			羽地小学校	70	89		18	真壁小学校	16
26		8	沢岨小学校	114	58			真喜屋小学校	13	90		19	宇栄原小学校	80
27			津嘉山小学校	166	59		19	西原小学校	94	91		26	中川小学校	15
28			曙小学校	42	60		20	高嶺小学校	54	92		27	天久小学校	62
29		9	南大東小学校	12	61	1	7	津覇小学校	41	93		28	天久小学校	58
30		12	高嶺小学校	47	62		8	天久小学校	132	94			開南小学校	71
31		14	天久小学校	123	63		9	銘苅小学校	116	95	3	4	仲泊小学校	21
32		19	伊良波小学校	90	64		10	城岳小学校	95	96		14	コザ小学校	30

県内 中学校

のべ17校 1,603名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	19	那覇中学校	203	7	8	9	琉大付属中学校	20	13	11	22	南大東中学校	53
2	5	2	仲西中学校	275	8	9	20	松島中学校(3年生)	215	14	12	6	長嶺中学校	26
3	6	12	オキナワインターナショナルスクール	9	9			松島中学校(1年生)	173	15			安岡中学校	247
4			オキナワインターナショナルスクール	16	10			阿嘉中学校	5	16		19	神森中学校	54
5	7	17	小緑中学校	38	11	10	9	桑江中学校	14	17	1	10	慶留間中学校	6
6		18	興南中学校	172	12	11	21	大宜味中学校	77					

県内 高校

のべ26校 882名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	1	陽明高校	24	10	9	19	美里高校	11	19	12	3	小禄高校	27
2		2	真和志高校	17	11			陽明高校	30	20		6	那覇高校	9
3			陽明高校	13	12	10	4	陽明高校	21	21		12	首里高校	26
4		21	真和志高校	14	13		16	浦添高校	44	22		20	小禄高校	13
5			沖縄水産高校	17	14		17	美里高校	12	23	1	9	沖縄水産高校	20
6		31	陽明高校	23	15		18	陽明高校	8	24		21	小禄高校	27
7	6	19	浦添高等学校	14	16	11	1	前原高校	337	25	2	13	浦添工業高校	77
8	7	11	沖縄尚学高校	43	17		19	真和志高校	9	26		18	石川高校	8
9		12	陽明高校	19	18		22	小禄高校	19					

県内 専門学校・大学

のべ13校 472名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	8	沖縄大学	20	6	8	1	沖縄国際大学 基本ゼミ	33	10	11	15	沖縄県立芸術大学	26
2		11	サイ・テク・カレッジ沖縄	15	7		22	沖縄国際大学	37	11			沖縄大学	20
3		27	沖縄国際大学(山川ゼミ1年)	16	8	9	3	沖縄大学	14	12	1	31	ステップワールド日本語学院	114
4	7	18	沖縄国際大学経済学部砂川ゼミ	13	9	10	29	琉球大学人文社会科学部	43	13	2	4	尚学院国際ビジネスアカデミー	102
5		27	エルケア医療保育専門学校	19										

県内 特別支援学校

のべ12校 292名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	7	12	鏡ヶ丘特別支援学校	7	5	11	26	那覇みらい支援学校	26	9	1	22	南風原高等支援学校	24
2			森川特別支援学校	16	6	12	3	鏡ヶ丘特別支援学校	18	10		29	那覇みらい支援学校	21
3	10	9	大平特別支援学校	43	7		6	沖縄盲学校	9	11	2	20	大平特別支援学校	32
4	11	21	島尻特別支援学校(小学部)	35	8		20	那覇みらい支援学校	24	12		27	大平特別支援学校(中学部)	37

県内 幼稚園・保育園・その他

のべ131校 3,907名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	5	長田児童クラブ	48	41	8	1	はなぞの児童クラブ	73	81	8	15	ながやま児童クラブ	38
2		10	那覇市教育委員会きらぼし学級	3	42			こどもるーむ ぎふとぎさきり	13	82			放課後等デイサービス じぶんらいこコロ	11
3		16	ちやちやま保育園	16	43		2	こどもクラブガジュマル	28	83			沖縄インターナショナルデイサービス 藍南	16
4		18	コスモス保育園	21	44			平安幼稚園	66	84			放課後等デイサービス このまなび	17
5			ドレミ認定こども園	39	45			みらいきつぷ学童クラブ	43	85			児童クラブ merry attic laputa	36
6		19	ひらやすこども園	27	46			そらまめ学童クラブ	28	86			城北児童クラブ	36
7		23	のびる保育園	24	47			未来キッズ学童クラブ	43	87			児童デイサービス えん	19
8		24	つぼみ保育園・長嶺こども園	54	48		6	中城みなみ学童クラブ	44	88			報徳保育園	18
9		25	伊良波こども園	35	49			FES インターナショナル	22	89			ハイジこども園	18
10		26	伊良波こども園	32	50			城南児童クラブ	72	90		16	泊スマイル児童クラブ	26
11			中城ひらやすこども園	26	51			馬天保育園	21	91			ばれっとおもろまち	12
12		29	子育て相談保育室 バク	49	52			放課後デイサービスリック	34	92			little デイジー	12
13			チャイルドサポートうらそえ	15	53			つかざん学童	31	93			放課後等デイサービス ウィズユー-具志	8
14	5	1	しらかわこども園	41	54		7	にこにこ学童クラブ	29	94			放課後等デイサービス このひかり 西原	18
15		6	児童デイサービスまはる真玉橋	20	55			識名さつき学童クラブ	34	95			ハイジこども園	15
16			コロニー児童デイサービスちばな	15	56			童夢認定こども園	43	96		20	風のうた児童クラブ	36
17	6	1	放課後デイサービスふれあいキッズ内間	8	57			児童デイサービスすてつが天久2	12	97			おひさまきつぷ	31
18			すたあキッズトヨブラ保育園	14	58			コロニー児童デイサービスとみぐすく	16	98			じどうくらぶ KANASA	21
19		19	赤道あおぞら保育園	14	59		8	宮里キッズ学童クラブ	59	99			放課後等デイサービス ミライよなほる	17
20	7	20	児童デイサービスほーぶジュニア	13	60			みやざとキッズ学童クラブ	57	100		21	しゅりの泉児童クラブ	71
21			Racucuru	14	61			津嘉山うむさ学童クラブ	52	101			仲西児童クラブ	34
22			株式会社 AZOK PRO	12	62			たばる児童クラブ	36	102			放課後等デイサービス デラ NEXT	29
23			デイサービス オールスター	11	63			コロニーのぼりかわ発達	17	103		22	放課後デイサービス レッツ	18
24		23	ゆうゆう児童クラブ	140	64		9	中城みなみ学童クラブ	38	104			沖縄県マザーズスクエア ゆいはあと	11
25		24	放課後デイサービス Wa はーと	12	65			多機能事業所リズム	27	105			沖縄コロニー児童デイサービスやまうら	17
26		25	ふてんま青空児童クラブ	72	66			(一社)いろは仲西にこにこ学童クラブ	47	106			NPO 法人 エンカレッジ	17
27			学童塾 琉童	43	67			認定こども園 シャローム	15	107		23	すず風こども園	32
28		26	やまだ子供会	75	68			こじか保育園	15	108			ほとんどのきこども園	26
29			児童デイサービスほーぶ	16	69			さぼーとせんたーiすてつが	17	109			放課後デイサービス ふれあいきつぷ	19
30			風の子学童	49	70		10	にじ学童クラブ	34	110		27	中城南保育園幼稚園	29
31		30	すず風こども園	29	71		12	放課後デイサービスウィズ・ユ-具志	12	111			白浜学童	23
32			よなは学童クラブ	25	72		14	中城みなみ学童クラブ	38	112		28	中城南保育園幼稚園	33
33			放課後デイサービス Laugh Base	11	73			こざくら児童クラブ	13	113		30	浜田ハビネス認定こども園	27
34			みらいりんく糸満大里	17	74			こざくら児童クラブ No.2	8	114	9	3	ちやちやま保育園	16
35		31	那覇市教育委員会きらぼし学級	3	75			北丘学童クラブ	35	115		10	二葉保育園	20
36			よなは学童クラブ	23	76			第2北丘学童クラブ	27	116		13	いしだ丘保育園	46
37			みらい児童館	15	77		15	泊児童クラブ	43	117	10	22	那覇市教育委員会 相談課 きらぼし学級	4
38			児童デイサービスまはる高良	16	78			金城児童クラブ	41	118		27	沖縄県高等学校文化連盟美術工芸専門部	125
39	8	1	児童クラブ なないろキッズ	23	79			童夢児童クラブ	62	119	11	9	神森しろつめ草学童クラブ	14
40			第二はなぞの児童クラブ	40	80			(一社)なまき学童かやきクラブ	37	120		16	B&G わらびいくらぶ	28

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
121	12	26	琉大ハカセ塾	13	125	2	12	認定こども園 美ら夢	25	129	3	21	なはっ子児童クラブ	45
122			児童クラブ NIOW	12	126			おおな愛児保育園	20	130			内間学童クラブ	20
123	1	31	うむさ保育園・名護さくら保育園	32	127			コザ児童相談所	26	131		27	くじら After School 学童くらぶ	28
124			中原こども園	53	128		18	あめく児童クラブ	47					

県外 小学校 のべ1校 51名

No.	月	日	学校名	人数
1	10	25	知名小・下平川小学校(鹿児島県)	51

県外 中学校 のべ10校 932名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	26	木之子中学校(岡山県)	63	5	7	28	ながさき東そのぎ子どもの村中学校(長崎県)	18	8	11	13	東京学芸大学付属国際中等教育学校(東京都)	33
2		27	智頭中学校(鳥取県)	34	6	10	18	桜の聖母学院中学校(福島県)	18	9	2	18	和歌山高校中等部(和歌山県)	191
3	5	16	津名中学校(兵庫県)	135	7	11	6	近江兄弟社中学校(滋賀県)	136	10	3	6	新潟大学附属中学校(新潟県)	43
4		28	青山学院中等部(東京都)	261										

県外 高校学校 のべ21校 3,250名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	4	晃華学園高校(東京都)	148	8	11	7	鎌倉女学院高校(神奈川県)	153	15	12	6	創進学園高校(新潟県)	35
2		17	神奈川工業高校(神奈川県)	105	9		10	栃木翔南高校(栃木県)	202	16		13	槻の木高校(大阪府)	240
3	5	14	国際共立学園高校専修学校(東京都)	56	10		17	千葉女子高校(千葉県)	45	17		15	守山北高校(滋賀県)	125
4	10	19	君津高校(千葉県)	41	11		20	桃谷高校(大阪府)	18	18		21	明治学院高校(東京都)	120
5		20	北千里高校(大阪府)	324	12		26	川越工業高校(埼玉県)	40	19	2	19	和歌山高校(和歌山県)	205
6		25	大垣西高校(岐阜県)	199	13	12	1	宇都宮短期大学付属高校(栃木県)	759	20	3	6	京都暁星高校(京都府)	34
7		29	清水谷高校(大阪府)	287	14			湖西高校(静岡県)	72	21		7	向陽高校(和歌山県)	42

県外 専門学校・大学 のべ5校 77名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	16	東洋きもの専門学校(大阪府)	11	3	8	29	神奈川大学(神奈川県)	11	5	3	11	名古屋大学(愛知県)	12
2	8	27	宮城学院女子大学(宮城県)	18	4	11	3	芝浦工業大学(東京都)	25					

国外 その他(基地内含む) のべ8校 240名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	23	嘉諾徹聖心書院(香港)	22	4	5	29	香港理工大学(香港)	24	7	12	11	飛騰	39
2	5	15	梁省徳中学(香港)	39	5	6	20	ズケランエレメンタリースクール(基地内)	41	8	3	2	MCCS TOURS(基地内)	32
3		26	ソウル・フォーリン・スクール(韓国)	18	6	11	10	Canadian International School of HongKong(香港)	25					

## II 施設利用者統計

### 1 月別施設利用集計

(単位：日数)

項目	博物館					美術館										共有		その他			計	貸出可能日	
	企画展示室	特別展示室	博物館講座室	博物館実習室	博物館屋外展示場	企画ギャラリー1	企画ギャラリー2	美術館講座室	県民アトリエ	こどもアトリエ	スタジオ	県民ギャラリー1	県民ギャラリー2	県民ギャラリー3	美術館屋外展示場	中庭	講堂	エントランス	3階回廊	講堂前ホワイエ			正面玄関雨端
4月	25	25	18	9	0	25	25	23	13	3	8	8	12	0	0	0	12	25	0	0	0	231	25
5月	22	23	18	14	0	14	14	27	7	4	6	17	12	12	0	0	9	27	3	0	0	229	27
6月	24	24	23	15	0	0	0	23	11	8	9	19	14	11	0	0	11	26	0	0	0	218	26
7月	18	18	16	16	0	18	18	17	8	6	10	15	16	5	0	0	13	0	0	18	0	212	18
8月	27	27	25	19	0	27	27	22	24	22	27	27	22	19	0	0	11	27	0	27	0	380	27
9月	20	20	22	16	0	19	23	23	7	5	25	13	6	5	0	0	16	25	0	4	0	249	25
10月	27	27	24	14	0	27	27	25	11	10	18	25	25	25	0	0	22	27	0	2	0	336	27
11月	26	26	23	20	0	26	26	25	12	10	13	23	20	18	0	0	24	26	0	0	0	318	26
12月	22	22	19	18	0	24	24	19	9	14	13	18	13	19	0	0	12	0	0	0	0	246	24
1月	24	24	20	17	0	9	9	22	4	7	10	14	14	16	0	0	22	0	0	0	0	212	24
2月	20	20	24	20	0	8	8	24	6	5	12	19	17	14	0	0	20	4	0	0	0	221	24
3月	5	23	24	16	0	24	24	21	17	14	16	23	21	20	0	0	19	13	0	0	0	280	26
貸出件数	260	279	256	194	0	221	225	271	129	108	167	221	192	164	0	0	191	200	3	51	0	3,132	299
今年度稼働率	87.0%	93.3%	85.6%	64.9%	0.0%	73.9%	61.9%	90.6%	43.1%	36.1%	55.9%	73.9%	64.2%	54.8%	0.0%	0.0%	63.9%	66.9%	1.0%	17.1%	0.0%		

※3階回廊、講堂前ホワイエ、正面玄関、博物館屋外展示場、美術館屋外展示場、中庭は県または指定管理者主催イベントのみ稼働。

### 2 当館主催事業及び施設貸出内訳

【2024年4月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	2	火	講堂	学校法人大智学園 大智国際ビジネス専門学校 令和6年度 大智国際ビジネス専門学校 入学式	19	7	日	美術館講座室	琉球岳風会 琉球岳風会定例会
2	2	火	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展 関係者控室	20	9	火	美術館講座室	フォーデイズ株式会社 核酸スタジオ
3	3	水	美術館講座室	アーゲル 環境保全研究所「2代目社長講習会」	21	10	水	博物館実習室	BNI 沖縄リージョン トレーニング
4	4	木	美術館講座室	オム・ファム株式会社 第30期経営計画発表会	22	10	水	美術館講座室	沖盛塾 勉強会
5	5	金	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議	23	11	木	スタジオ	イノスグループ沖縄支部 2024年 イノスグループ沖縄支部総会
6	5	金	博物館実習室	(株)ピータイム 店長会議(営業に関する会議)	24	12	金	スタジオ	白 美希 メタバースと働きかた
7	5	金	美術館講座室	株式会社サン・エージェンシー 令和6年度 経営計画発表会	25	12	金	美術館講座室	株式会社 学習受映社 第49期上期運営方針策定会議
8	5(金)～7(日)		県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展 関係者控室	26	12	金	美術館講座室	株式会社沖縄ミツヤマ電気 株式会社ミツヤマ電気 全体会議
9	6	土	講堂	岡田弘隆 キャサリン・ジェーン・フィッシャー講演会	27	12(金)～13(土)		講堂	エフアンドエム・ビジネススクール エフアンドエム・ビジネススクール 修了式&成果および研究発表会
10	6	土	博物館講座室	株式会社タイムスアドネクスト 女性のためのマネーセミナー	28	12(金)～14(日)		県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 関係者控室
11	6	土	博物館講座室	Office Weegaa 先住民文化マオリが考えるビジネスと人権	29	13	土	博物館講座室	博物館学芸員講座「遺跡から見た沖縄の墓と葬制ー先史・古代から中世までー」
12	6	土	博物館実習室	日本皮膚科学会沖縄地方会 第101回沖縄地方会控室	30	13	土	博物館講座室	沖縄県ママさんバレーボール連盟 令和6年度沖縄県ママさんバレーボール連盟定期総会
13	6	土	美術館講座室	日本皮膚科学会沖縄地方会 日本皮膚科学会 第101回沖縄地方会	31	13	土	博物館実習室	赤嶺 知見 save henoko 上映会
14	7	日	スタジオ	株式会社Eアファン 非分解プレゼンタ 勉強会	32	13	土	美術館講座室	学校法人 尚学院国際ビジネスアカデミー SIBA 留学説明会
15	7	日	博物館講座室	表千家同門会沖縄県支部 役員・教授者連絡会議	33	13	土	美術館講座室	株式会社玄米酵素 沖縄営業所 (株)玄米酵素 食と健康セミナー
16	7	日	博物館講座室	有限会社 ビビアン ガイアの水 135	34	14	日	こどもアトリエ	ワールドピースキャンペーン ヨグマタ 瞑想の集い
17	7	日	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団サイエンストークその①「科学の眼で深海生物の謎に迫る」	35	14	日	講堂	株式会社ディック学園 令和6年度 マイン高等学院 入学式
18	7	日	美術館講座室	株式会社みらいのタネ FPセミナー お金のきほん講座	36	14	日	博物館講座室	沖縄国税事務所 第4回泡盛仕次古酒・秘蔵酒コンクール 感謝状贈呈式(仮称)

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
37	14	日	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	64	24	水	博物館 実習室	博物館班 三線調査会
38	16	火	講堂	博物館ボランティア全体会	65	24	水	美術館 講座室	美術館ボランティア研修会
39	16	火	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド	66	25	木	スタジオ	日新火災海上保険株式会社 令和6年度 沖縄日新会総会
40	16	火	美術館 講座室	株式会社 SUN 健康セミナー サンパール	67	25	木	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 2024年度 事業計画キャラバン
41	16	火	博物館 講座室	琉球ファンド1号投資事業有限責任組合 琉球ファンド1号投資事業有限責任組合員集会	68	25	木	美術館 講座室	大光電機株式会社 DAIKO ライティングセミナー
42	17(水)～ 18(木)		博物館 講座室	Aky 合同会社 BHK ATR 6	69	26	金	スタジオ	株式会社アール・ピー・アイ 沖縄営業所 令和6年度沖縄県地域農林水産物活用支援事業・6次産業化スタートアップ事業第一回事業推進委員会
43	17(水)～ 18(木)		美術館 講座室	Aky 合同会社 ATR	70	26	金	博物館 講座室	西日本自動車共済協同組合 進発会議
44	19(金)～ 21(日)		県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展 関係者控室	71	26	金	美術館 講座室	株式会社ソフィア通信 令和5年度 決算報告書
45	19	金	スタジオ	アフラック アフラックエリア研修会	72	26(金)～ 29(月)		県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展 関係者控室
46	19	金	博物館 講座室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR18 期	73	27	土	講堂	山城 香苗 春の小さな音楽会
47	19	金	美術館 講座室	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会	74	27(土)～ 28(日)		博物館 講座室	国際交流 NGO ビースポート ビースポート地球一周の船旅説明会
48	20	土	こども アトリエ	トランジション株式会社 トランジションコーチ養成講座	75	27	土	美術館 講座室	高光優海 FP セミナー お金のきほん講座
49	20	土	講堂	博物館文化講座「展示づくりの舞台裏-民俗展示と船-」	76	27	土	美術館 講座室	久米島研究会「2024年度総会並びに定例の研究発表会」(2024年度第1回研究会)
50	20	土	博物館 講座室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR18 期	77	28	日	スタジオ	福岡医健・スポーツ専門学校 出張オープンキャンパス
51	20	土	美術館 講座室	株式会社太悟道場 有限会社丸豊商事未来会議	78	28	日	講堂	SITY 株式会社 平和劇
52	21	日	こども アトリエ	トランジション株式会社 トランジションコーチ養成講座	79	28	日	博物館 講座室	高光優海 FP セミナー お金のきほん講座
53	21	日	スタジオ	改憲戦争阻止！大行進沖縄「沖縄へのミサイル配備は沖縄に何をもたらすのか」	80	28	日	美術館 講座室	沖縄県美術家連盟 理事会
54	21	日	講堂	株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2024/4月会	81	28	日	美術館 講座室	高光優海 FP セミナー お金のきほん講座
55	21	日	博物館 講座室	高光優海 FP セミナー お金のきほん講座	82	29	月	講堂	いしかわピアノ教室 ピアノ発表会
56	21	日	博物館 講座室	真栄平房昭・西里喜行氏の人と学問を語る会 故真栄平房昭さん、故西里喜行さんの学問と人を語る会	83	29	月	博物館 講座室	博物館班 収蔵品展準備
57	21	日	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団科学の眼で見る美ら海の生き物展関連催事サイエンストークその②「画像診断技術をもちいた飼育生物の健康管理」	84	29	月	博物館 講座室	沖縄工業高等専門学校 沖縄高専学校説明会
58	21	日	美術館 講座室	沖縄の教育をよくする会 テレビ「生命の光」上映会	85	29	月	美術館 講座室	中江 園子 LIFEWAVE 沖縄事業説明会
59	21	日	美術館 講座室	家庭倫理の会那覇市 純粋倫理基礎講座第10講	86	2(火)～ 29(月)		エントランス ホール	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」
60	23	火	講堂	沖縄書店大賞実行委員会 沖縄書店大賞授賞式&発表会	87	2(火)～ 29(月)		博物館 企画展示室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 動物研究室 科学の眼で見る美ら海の生き物展
61	23	火	博物館 講座室	株式会社アール・ピー・アイ 沖縄営業所 令和6年度沖縄県観光コンテンツ開発支援事業事業説明会	88	2(火)～ 29(月)		博物館特別 展示室1	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートと虫の美しい世界
62	23	火	美術館 講座室	株式会社 WOLFE セミナー	89	2(火)～ 29(月)		美術館企画 ギャラリー1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展
63	24	水	博物館 講座室	株式会社 AS ファクトリー サロンワーク専用 脳科学セミナー					

## 【2024年5月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	水	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 企画展関係者控室	10	8	水	美術館 講座室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ
2	1	水	美術館 講座室	楽天生命保険株式会社 研修	11	8(水)～ 10(金)		博物館特別 展示室2	沖縄県「返還文化財一般展示会」
3	2(木)～ 3(金)		博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 GW 催事 ふれあい体験室キット広場/ちむどんどん紙芝居	12	9	木	博物館 講座室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 小規模事業者等デジタル化支援事業 事業説明会
4	2(木)～ 6(月)		美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 企画展関係者控室	13	9	木	美術館 講座室	アチーブメント株式会社 MBA では教えない人間学セミナー
5	3	金	博物館 常設展示室	一般財団法人沖縄美ら島財団/博物館班 GW 催事 万国津梁の鐘プロジェクト 解体見聞 vol.11 沖縄最古の鐘を鳴らそう「鐘の見どころ徹底解説！」	14	10	金	博物館 講座室	博物館班 ガイド基礎①ボランティア養成
6	3(金)～ 4(土)		博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 GW 催事 関係者控室	15	10	金	博物館 実習室	沖縄労働局職業安定課職業紹介係 人材確保対策推進協議会
7	3(金)～ 5(日)		3階回廊	一般財団法人沖縄美ら島財団 アポロサイエンス PRESENTS アートと虫の美しい世界 関連イベント「ムシ・ムシワークショップ」	16	10	金	美術館 講座室	アチーブメント株式会社 MBA では教えない人間学セミナー
8	4	土	ふれあい 体験室前	一般財団法人沖縄美ら島財団 GW 催事 沖縄象棋(チェンジー) サロン	17	11	土	講堂	沖縄県地域医療支援センター 第10回九州地区医療教育研究会
9	4	土	博物館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 GW 催事 はじめてのお抹茶点て体験イベント	18	11(土)～ 12(日)		こども アトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ 2024

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
19	11(土)～12(日)		県民アトリエ	美術館班 OKINAWAアートワークショップ2024	57	23	木	博物館 講座室	沖縄県文化協会 令和5年度 定期総会
20	11	土	スタジオ	沖縄県地域医療支援センター 第10回九州地区医療教育研究会	58	23	木	美術館 講座室	一般社団法人沖縄オーブンラボラトリ 沖縄オーブンラボラトリ 理事会・社員総会
21	11	土	美術館 講座室	中江 園子 LIFEWAVE 沖縄事業説明会	59	24	金	博物館 講座室	博物館班 ガイド基礎③ボランティア養成
22	11	土	美術館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会 会員向けセミナー	60	24	金	美術館 講座室	公益財団法人日本国際問題研究所 2024年度資料検討会
23	12	日	講堂	鈴木勢子ピアノ教室 ピアノ発表会	61	25	土	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 琉球文化財研究室 『科学の目でみる琉球王国の色とその色材』シンポジウム
24	12	日	スタジオ	株式会社Eアファン 非分解プラセンタ勉強会	62	25	土	スタジオ	仲松典子 憲法ユンタク会
25	12	日	博物館 実習室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	63	25	土	県民アトリエ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 5月 定例理事会
26	12	日	美術館 講座室	沖縄女流美術家協会 総会	64	25	土	県民アトリエ	公益財団法人沖縄県女範・一高女ひめゆり平和祈念財団 2024年度第1回理事会
27	12	日	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 通常総会	65	25	土	博物館 講座室	沖縄戦の記憶継承プロジェクト実行委員会 沖縄戦継承プロジェクト第2期終了式
28	14	火	博物館 講座室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	66	25	土	博物館 実習室	La Souriante 実践型フットケア技術セミナー
29	14	火	美術館 講座室	(株)SUN 健康セミナー サンパール	67	25	土	美術館 講座室	真和志遺族会 総会
30	15	水	博物館 実習室	千葉県市川市議会 行政視察	68	25	土	美術館 講座室	唐沢祐香 コムジェストから学ぶ正しい投資
31	15	水	美術館 講座室	沖盛塾 勉強会	69	26	日	講堂	沖縄県立看護大学 公開講座「看護師の仕事を知ろう！」
32	16	木	博物館 講座室	沖縄労働局職業安定課職業紹介係 学卒求人確保に係る各経済団体への要請等	70	26	日	講堂	株式会社 WOLFE 経済セミナー
33	16(木)～17(金)		博物館 実習室	博物館班 ボランティア作業(封入作業)	71	26	日	県民アトリエ	創元会沖縄支部 支部総会
34	16	木	美術館 講座室	株式会社アール・ピー・アイ 令和6年度沖縄県地域農林水産物活用支援事業令和6年度6次産業化スタートアップ事業 公募説明&相談会	72	26	日	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 海洋文化館のお仕事 資料保全と普及啓発 守り・残し・伝える
35	17	金	スタジオ	株式会社アフラック沖縄支社 アフラックエリア別研修会	73	26	日	博物館 実習室	La Souriante 実践型フットケア技術セミナー
36	17	金	博物館 講座室	沖縄県中学校進路指導・キャリア教育研究会 全九州中学校進路指導・キャリア教育研究協議会第1回役員研修会	74	26	日	美術館 講座室	東郷 宗徳 講演会
37	17	金	美術館 講座室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 安全衛生協議会	75	26	日	美術館 講座室	株式会社ガクアル 京都光華女子大学 沖縄おでかけ説明会
38	18	土	講堂	博物館文化講座「沖縄のヤモリ・トカゲ-爬虫類を通して島を見る-	76	26	日	美術館 講座室	AT WEEK 2024 OKINAWA AT WEEK2024 OKINAWA ガイド育成研修(準備)
39	18	土	講堂	公益財団法人対馬丸記念会 理事 嶋田玲子 対馬丸記念館 開館20周年 祈念シンポジウムの自主リハーサル	77	28	火	博物館 講座室	株式会社アールピーアイ 令和5年度沖縄県観光コンテンツ開発支援事業説明会
40	18	土	スタジオ	白 美希 メタバース空間革命	78	28	火	美術館 講座室	株式会社日本旅行 AT WEEK2024 OKINAWA ガイド育成研修
41	18	土	県民アトリエ	関西街歩きの会 那覇街歩きの会	79	29	水	講堂	一般社団法人琉球経済戦略研究会 CCIC と連携した沖縄県の輸出課題の解決と促進-中国を中心として
42	18	土	博物館 講座室	公益社団法人 青年海外協力協会 沖縄事務所 2024年度 JICA 海外協力隊 春募集説明会	80	29	水	こどもアトリエ	株式会社アールピーアイ 令和5年度沖縄県観光コンテンツ開発支援事業相談会
43	18(土)～19(日)		博物館 実習室	体軸コンディショニング協会 体感アナトミー	81	29	水	県民アトリエ	株式会社アールピーアイ 令和5年度沖縄県観光コンテンツ開発支援事業相談会
44	18	土	博物館 実習室	(有)MB ライフカンパニー 素人名人会	82	29	水	博物館 講座室	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会
45	18	土	美術館 講座室	長尾 康代 地形描画連絡会議	83	29	水	美術館 講座室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー
46	19	日	講堂	株式会社海燕社 映画の上映会	84	30	木	講堂	沖縄県博物館協会 令和6年度沖縄県博物館協会総会および春の研修会
47	19	日	スタジオ	福岡医健・スポーツ専門学校 福岡医健・スポーツ専門学校、福岡ベルエポック美容専門学校 学校説明会	85	30	木	博物館 講座室	大阪中小企業投資育成株式会社 九州支社 投資育成ビジネスフォーラム
48	19	日	博物館 講座室	日本痺身医学協会ハイサイ事務局 日本痺身医学協会ハイサイセミナー	86	30	木	美術館 講座室	沖縄県エステティック・スパ協同組合 通常総会
49	19	日	博物館 実習室	旧美栄橋町一丁目近隣会 臨時総会	87	31	金	講堂	沖縄県業務生活衛生課 ハブ・ハブクラゲ等危険生物講習会
50	19	日	美術館 講座室	公益社団法人沖縄県柔道整復師会 令和6年度(公社)沖縄県柔道整復師会 定時総会	88	31	金	博物館 講座室	沖縄弁護士会 第22回民暴研究会
51	21	火	博物館 実習室	國吉 功 血管血流の健康セミナー	89	31	金	美術館 講座室	株式会社プラスキャリア 正規雇用採用力向上モデル事業 採用力向上セミナー
52	21(火)～22(水)		美術館 講座室	沖縄労働局 需給調整事業室 労働者派遣事業報告書 書き方セミナー(仮)	90	1(水)～31(金)		エントランスホール	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」
53	22	水	博物館 講座室	沖縄県立博物館友の会 総会	91	8(水)～31(金)		エントランスホール	博物館班 国際博物館の日パネル展
54	22	水	博物館 実習室	博物館班 三線調査会	92	1(水)～6(月)		博物館 企画展示室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所動物研究室 科学の眼で見る美ら海の生き物展
55	23	木	こどもアトリエ	博物館班 文化財検討委員会	93	1(水)～8(水)		博物館特別展示室1	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートと虫の美しい世界
56	23	木	県民アトリエ	博物館班 文化財検討委員会	94	1(水)～16(木)		美術館企画ギャラリー 1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
95	14（火）～ 31（金）		博物館特別 展示室 1・2	博物館企画展 新収蔵品展 令和5年度 収蔵資料	96	14（火）～ 31（金）		博物館 企画展示室	博物館企画展 新収蔵品展 令和5年度 収蔵資料

【2024年6月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	土	こども アトリエ	新垣 元気 体軸セラピストレベル5	36	12	水	博物 館実 習室	（株）琉球補聴器 補聴器相談会
2	1	土	県民 アトリエ	第2回 琉球楽器のワークショップ	37	12	水	美術 館講 座室	沖盛塾 勉強会
3	1	土	県民 アトリエ	沖縄ウォーターセーフティ協会 臨時理事会	38	13	木	こども アトリエ	イノスグループ沖縄支部会 全体会議、勉強会等
4	1	土	講 堂	公益財団法人対馬丸記念会 対馬丸事件80周年・小桜の塔 建立から70年・対馬丸記念館開館20周年記念シンポジウム	39	13	木	県民 アトリエ	有限会社テレマーケティング沖縄 管理者会議
5	1	土	博物 館講 座室	池間秀栄 宇宙サミット	40	13	木	博物 館講 座室	支負担担当行担当官 沖縄労働局総務部長 人材 確保推進協議会
6	1	土	博物 館実 習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 絵本読み聞かせ控室	41	13	木	博物 館実 習室	沖縄県経営品質研究会 定例会
7	1	土	美術 館講 座室	ヒューマンライフ少額短期保険（株）2024年度 春季コンプライアンス研修会	42	13	木	美術 館講 座室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー
8	2	日	こども アトリエ	新垣 元気 体軸セラピストレベル5	43	14	金	こども アトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ「漆喰 シーサー」 準備
9	2	日	県民 アトリエ	第2回 琉球楽器のワークショップ	44	14	金	スタジオ	アブラック エリア別研修会
10	4	火	こども アトリエ	エーザイ株式会社 E 社内会議	45	14	金	県民 アトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ「漆喰 シーサー」 準備
11	4	火	博物 館講 座室	博物館班 博物館学芸員実習（前期）	46	14	金	博物 館講 座室	那覇公共職業安定所 令和6年度障害者雇用連絡 会議
12	4	火	美術 館講 座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 令和6年度国保 担当新任職員研修会	47	14	金	博物 館講 座室	第一三共株式会社 第31回沖縄心血管エコー図研 究会
13	5	水	博物 館実 習室	株式会社学研エデュケーション 学研教室 リ ーダー会	48	14	金	美術 館講 座室	株式会社CSDコンサルティング 令和6年度島工藝おきな わ販路拡大推進事業「工芸品販売促進支援補助金」審査会
14	5	水	美術 館講 座室	SKK 住宅施工店会 2024年度上期住宅安全大会及 び職長研修会	49	15（土）～ 16（日）		こども アトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ⑥「漆 喰シーサーづくり」に挑戦！
15	6	木	博物 館講 座室	博物館班 ガイド基礎④ボランティア養成	50	15	土	スタジオ	株式会社ガクアル 神戸電子専門学校 沖縄説明 会
16	6	木	美術 館講 座室	フォーデイズ株式会社 核酸スタジオ	51	15（土）～ 16（日）		県民 アトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ⑥「漆 喰シーサーづくり」に挑戦！
17	7	金	博物 館講 座室	官署支出官 沖縄労働局長 人材確保対策推進協 議会	52	15	土	講 堂	博物館文化講座『渡閩航路図』の世界ー琉球王国 の海上交通を探るー
18	7	金	美術 館講 座室	弁護士法人琉球法律事務所 事務所懇親イベント （チームビルディング）	53	15	土	博物 館講 座室	株式会社玄米酵素（株）玄米酵素 食と健康セ ミナーIN 那覇
19	8	土	こども アトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ2024 ⑤「ウージ染めの糸で木枠織り」	54	15	土	博物 館実 習室	琉球大学学長企画室 懇談会
20	8	土	県民 アトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ2024 ⑤「ウージ染めの糸で木枠織り」	55	15	土	美術 館講 座室	株式会社みらいのタネ 初級編 お金のきほん講 座
21	8	土	講 堂	博物館学芸員講座「新たに収蔵した琉球王国時代の家譜～毛姓 家譜（諸久村家）、元姓家譜（知念家）、楊氏家譜（古堅家）～」	56	15	土	美術 館講 座室	サボ住®講演会実行委員会 やさしい街づくり講 演会
22	8	土	美術 館講 座室	合同会社 SANGA 睡眠美容について（琉球クワン ソウ）	57	16	日	スタジオ	福岡医健・スポーツ専門学校 出張オープンキャン パス
23	8	土	美術 館講 座室	家庭倫理の会那覇市 ステップアップセミナー	58	16	日	博物 館講 座室	株式会社タイムスアドネクスト『タイムス海外ホ ームステイ』全体オリエンテーション
24	9	日	講 堂	中外製薬株式会社 第152回 沖縄県眼科集談会	59	16	日	博物 館講 座室	NPO 法人 統合医療と健康を考える会 がん治療 の鍵 講演会
25	9	日	博物 館講 座室	琉球古典音楽安富祖流絃琴会 師範・教師研修会	60	16	日	博物 館実 習室	一般社団法人 全国事業協会 自立するための 勉強会
26	9	日	博物 館講 座室	株式会社チナジュン沖縄 DDE WFC プロジェク ト	61	16	日	美術 館講 座室	株式会社みらいのタネ 初級編 お金のきほん講 座
27	9	日	美術 館講 座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	62	16	日	美術 館講 座室	全国膠原病友の会沖縄県支部 令和6年度全国膠 原病友の会沖縄県支部総会&医療講演会
28	9	日	美術 館講 座室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	63	18	火	スタジオ	ソニー生命株式会社 九州営業部拠点長会議
29	11	火	スタジオ	YKK AP 株式会社 ロイヤルハウス研修会	64	18（火）～ 19（水）		県民 アトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 実技研修会
30	11	火	県民 アトリエ	ひめゆり平和祈念財団 2024年度定時評議員会	65	18	火	博物 館講 座室	沖縄総合事務局総務部長 第1回 下請法基礎講 習会
31	11	火	博物 館講 座室	ディスカバリーライフ合同会社 株式会社 WOLFE セミナー	66	18	火	博物 館実 習室	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 事業推進検討委員会
32	11	火	博物 館実 習室	（株）琉球補聴器 補聴器相談会	67	18	火	美術 館講 座室	沖縄県知事 沖縄県企画部 統計課 令和6年度全 国家計構造調査「市町村・指導員事務打ち合わせ会」
33	11	火	美術 館講 座室	送配電網協議会 送配電業務課題検討会議	68	19	水	博物 館講 座室	株式会社 Ridilover 社会問題スタディツアーの実 施
34	12	水	講 堂	ケセラセラ 不登校からはじまる。いきかた選択肢	69	19	水	博物 館講 座室	株式会社琉球キャピタル 第4期定時株主総会
35	12	水	博物 館講 座室	博物館班 ガイド基礎⑤ボランティア養成	70	19	水	博物 館実 習室	BNI 沖縄リージョン

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
71	20	木	講 堂	公益財団法人沖縄県建設技術センター 令和6年度 災害復旧事業実務講習会	98	27	木	美 術 館 講 座 室	株式会社 Niche 「はじめての外国人雇用セミナー」
72	20	木	博 物 館 講 座 室	博物館班 ガイド基礎⑥ボランティア養成	99	28	金	講 堂	一般社団法人REIONE 令和6年度 沖縄県DX人材養成講座 オープニングセミナー
73	21	金	博 物 館 講 座 室	第一三共株式会社 沖縄県民の為の「DIET」	100	28	金	博 物 館 講 座 室	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会
74	21	金	博 物 館 講 座 室	沖縄県立学校事務長会 合同部会	101	28	金	美 術 館 講 座 室	慶應義塾大学 石川昌治 ホモトビー論シンポジウム
75	21	金	美 術 館 講 座 室	日本教育大学協会九州地区技術教育部門研究協議会 令和6年度日本教育大学協会九州地区技術教育部門研究協議会	102	29	土	スタジオ	沖縄県障がい者ITサポートセンター コミュニケーション支援機器講座
76	21	金	美 術 館 講 座 室	第一三共株式会社 沖縄県民の為の「DIET」	103	29	土	県 民 アトリエ	沖縄タンゴサークル ミロンガ那覇
77	22	土	スタジオ	学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校 沖縄出張学校説明会	104	29	土	講 堂	NPO法人mネット・民法改正情報ネットワーク シンポジウム「日本のジェンダー平等を推進するために」～選択的夫婦別姓から考える～
78	22	土	講 堂	株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2024/6月会「ふじ学徒隊」「はだしのゲンが伝えたいこと」	105	29	土	博 物 館 講 座 室	沖縄弁護士会 貧困問題対策特別委員会 生活保護受給者の自動車保有問題に関するシンポジウム(仮)
79	22	土	博 物 館 講 座 室	株式会社琉球新報開発 令和6年度「女性の就職総合支援事業」キックオフセミナー	106	29	土	博 物 館 講 座 室	琉球大学医学部第二内科同門会 琉球大学医学部第二内科 同門会「温故知新会」
80	22	土	博 物 館 講 座 室	株式会社琉球新報開発 令和6年度「女性の就職総合支援事業」キックオフセミナー(託児利用)	107	29	土	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ふれあい体験室 勉強会
81	22	土	美 術 館 講 座 室	ロボロボの会 自律型ロボットプログラミング初心者無料体験教室 in 沖縄	108	29	土	美 術 館 講 座 室	慶應義塾大学 石川昌治 ホモトビー論シンポジウム
82	22	土	美 術 館 講 座 室	琉球大学長 学術変革領域A「統合生物考古学」B03 班拡大大会議	109	30	日	スタジオ	Birds 星と浄化を学ぼう
83	23	日	スタジオ	合同会社 燦 健康セミナー	110	30	日	スタジオ	WHO-net 沖縄学習会 第45回 VHO-net 沖縄学習会
84	23	日	博 物 館 講 座 室	首里城公園友の会 令和6年度首里城公園友の会 定期総会および総会記念講演会	111	30	日	講 堂	ミュージックツリー音楽教室 ミュージックツリー音楽教室 ピアノ発表会
85	23	日	美 術 館 講 座 室	沖縄の教育をよくする会 テレビ「生命の光」を観る会	112	30	日	博 物 館 講 座 室	D'クラディア新都心マークブランカ管理組合第17期通常総会
86	23	日	美 術 館 講 座 室	宮城 信次 新事業 説明会	113	30	日	博 物 館 講 座 室	しまくとぅばプロジェクト しまくとぅば鼎談
87	25	火	講 堂	公益財団法人 沖縄県文化振興会 伝統芸能の観光コンテンツ活用～組踊漫才の巻～	114	30	日	博 物 館 講 座 室	株式会社 E アファン 非分解プラセンタ勉強会
88	25	火	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	115	30	日	美 術 館 講 座 室	慶應義塾大学 石川昌治 ホモトビー論シンポジウム
89	25	火	博 物 館 講 座 室	株SUN 健康セミナー サンペール	116	30	日	美 術 館 講 座 室	with SMLE トークイベント Vol.2 「あなたの使命は何ですか？」
90	25	火	博 物 館 講 座 室	一般財団法人全国福利厚生共済会 勉強会	117	1(土)～30(日)		エントランスホール	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」
91	25	火	博 物 館 講 座 室	沖縄 JTB 株式会社 令和6年度琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業 第1回有識者委員会	118	1(土)～9(日)		エントランスホール	国際博物館の日パネル展
92	25	火	美 術 館 講 座 室	一般財団法人全国福利厚生共済会 説明会	119	11(火)～16(日)		エントランスホール	博物館班 博物館学芸員実習(前期) ミニ展示
93	25	火	美 術 館 講 座 室	株SUN 健康セミナー サンペール	120	18(火)～30(日)		エントランスホール	美術館班 漆喰シーサー展示会
94	26	水	博 物 館 講 座 室	博物館班 養成講座修了式	121	1(土)～23(日)		博 物 館 企画展示室	博物館企画展 新収蔵品展 令和5年度 収蔵資料
95	26	水	博 物 館 講 座 室	株式会社公文教育研究会 那覇事務局 公文式の原点講座	122	25(火)～28(金)		博 物 館 企画展示室	博物館企画展 新収蔵品展 令和5年度 収蔵資料 撤収
96	26	水	博 物 館 講 座 室	博物館班 三線調査会	123	1(土)～23(日)		博物館特別展示室 1・2	博物館企画展 新収蔵品展 令和5年度 収蔵資料
97	27	木	博 物 館 講 座 室	博物館班 ガイド基礎⑦ボランティア養成	124	25(火)～28(金)		博物館特別展示室 1・2	博物館企画展 新収蔵品展 令和5年度 収蔵資料 撤収

【2024年7月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	11(木)～12(金)		スタジオ	具志堅ゆりか きのご展 Between Us	10	12	金	博 物 館 講 座 室	公益財団法人沖縄県建設技術センター 第87回建設材料品質管理試験実務研修
2	11	木	講 堂	沖縄県文化協会 令和6年度 沖縄県文化協会事務局研修会	11	12	金	博 物 館 講 座 室	博物館班 こどもフェスタボランティア勉強会
3	11	木	博 物 館 講 座 室	株式会社イオス コーポレーション EOSビジネスセミナー	12	12	金	美 術 館 講 座 室	株式会社海邦総研 「新たなアクティビティえお活用したスポーツツーリズムコンテンツ創出事業補助金」事前説明会及び個別相談会
4	11	木	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ビアノ保守点検	13	13	土	県 民 アトリエ	沖縄国税労働組合 第6回常任委員会
5	11	木	美 術 館 講 座 室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	14	13	土	スタジオ	合同会社 SANGA 旬のエイジングケア美容
6	12	金	県 民 アトリエ	有限会社テレマーケティング沖縄 新人～中堅研修	15	13	土	スタジオ	沖縄県マンション管理組合連合会 マンション管理組合のための情報交換会
7	12	金	こどもアトリエ	アフラック沖縄支社 研修	16	13	土	博 物 館 講 座 室	公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 令和6年度地域支援事業等市町村支援アドバイザー事業市町村地域包括支援センター等職員向け初任者研修
8	12	金	講 堂	公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 令和6年度市町村地域包括支援センター等職員向け初任者研修	17	13(土)～14(日)		博 物 館 講 座 室	株SUN 健康セミナー サンペール
9	12	金	博 物 館 講 座 室	ディスカバーライフ WOLFE 事業説明会	18	13	土	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスマシーン展 in 沖縄関連催事「オタマトーンが弾けるワークショップ」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
19	13	土	美術館 講義室	ジブラルタ生命労働組合 沖縄分会大会	57	24	水	講 堂	沖縄県教育庁保健体育課 令和6年度 学校安全指導者養成講習会
20	13	土	美術館 講義室	学生団体 ALOHA 東大生による保護者対象 難関大学受験セミナー	58	24(水)～25(木)		スタジオ	株式会社リベル 一次面接
21	14	日	博物館 講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスマシン展 in 沖縄関連催事「ヤマザキビスケットプレゼンツ チワワ缶をつくろう！」	59	24	水	スタジオ	株式会社琉球新報開発 合同説明会のまわりかた
22	14	日	美術館 講義室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 2024年度第4回理事会	60	24	水	博物館 講義室	株式会社琉球新報開発 GLOBR JOB FAIR
23	14	日	美術館 講義室	琉球岳風会 指導者研修及びび吟和会	61	24	水	博物館 講義室	博物館班 夏休み！こどもフェスタ2024「①香りを聞こう！香り袋と開香体験」「②考古学者体験」「③洞窟遺跡の堆積物を調査せよ！」
24	15	月	講 堂	株式会社 ME.Link 講演会 「ユニファイプラットフォームが生み出す未来 金融革命と未来の医療」	62	24	水	美術館 講義室	官署支出官 沖縄労働局長 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座&就労パスポート活用セミナー
25	15	月	博物館 講義室	PFAS 汚染から市民の生命を守る会 映画上映のための会議と学習会	63	25	木	講 堂	沖縄県立開邦高等学校 美術コース 九州大学芸術工芸学部教授による出前授業 「受験勉強のやる気がアップするデザイナーの考え方」
26	15	月	博物館 講義室	博物館班 こどもフェスタボランティア勉強会	64	25	木	博物館 講義室	株式会社レキサス DX人材養成講座2024
27	15	月	美術館 講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスマシン展 in 沖縄関連催事「ゴムベースワークショップ」	65	25	木	博物館 講義室	博物館班 夏休み！こどもフェスタ2024「④貝のアクセサリ作り」「⑤身近なカタツムリの不思議にせまってみよう！」
28	17	水	博物館 講義室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	66	25	木	美術館 講義室	ジブラルタ生命保険株式会社 ジブラルタ生命代理店研修セミナー
29	17	水	博物館 講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ピアノ保守点検	67	25	木	美術館 講義室	全日本年金者組合沖縄県本部 年金・介護・健康保険・マイナ保険証学習会
30	17	水	美術館 講義室	沖盛塾 勉強会	68	26	金	県民アトリエ	美術館班 夏休み！こどもフェスタ2024 準備
31	18	木	講 堂	ソニー生命保険株式会社 JAIFA ソニー 沖縄分会	69	26	金	講 堂	土木学会西部支部沖縄会 講演会
32	18	木	講 堂	無名の有名人プロジェクト実行委員会 無名の有名人プロジェクト 第1回夢追い人 in 沖縄	70	26	金	こどもアトリエ	美術館班 夏休み！こどもフェスタ2024 準備
33	18	木	博物館 講義室	内閣府沖縄総合事務局農林水産部農政課 令和5年度「食料・農業・農村白書」、「食育白書」、「森林・林業白書」、「水産白書」沖縄ブロック説明会	71	26	金	スタジオ	沖縄県商業教育研究会 商業教育マネジメント分野研修会
34	18(木)～19(金)		博物館 講義室	博物館班 こどもフェスタボランティア勉強会	72	26	金	博物館 講義室	博物館班 夏休み！こどもフェスタ2024「⑥地図を持って歩こう 那覇のまち」「⑦オリジナル家系図をつくろう！」
35	18	木	美術館 講義室	沖縄県知事(沖縄県企画部統計課) 令和6年全国家計構造「市町村・指導員事務打ち合わせ会」	73	27	土	県民アトリエ	美術館班 夏休み！こどもフェスタ2024「⑧ミニ漆喰シーサーづくりに挑戦！」「⑨アートなダンボール作品作り」
36	19	金	スタジオ	合同会社 SANGA 幹細胞治療の勉強会、体験会	74	27	土	こどもアトリエ	美術館班 夏休み！こどもフェスタ2024「⑧ミニ漆喰シーサーづくりに挑戦！」「⑨アートなダンボール作品作り」
37	19	金	博物館 講義室	株式会社バスコ沖縄支店 沖縄地区固定資産セミナー	75	27	土	スタジオ	株式会社 ガクアル 上田安子服飾専門学校 沖縄説明会
38	19	金	美術館 講義室	株式会社バスコ沖縄支店 沖縄地区固定資産セミナー	76	27	土	美術館 講義室	ロボロボの会 ロボットプログラミング組立講座2024 自分のロボットを作ってプログラミングに挑戦！
39	20(土)～21(日)		県民アトリエ	琉球放送株式会社 タッチ ザ デザイナー ～恐竜アドベンチャー展～関連催事「自分たちだけの恐竜をつくってみよう！」	77	27	土	美術館 講義室	久米島研究会 2024年度第1回研究発表会
40	20	土	講 堂	博物館文化講座「九州の中世城郭-各地の地域性を中心に-」	78	28	日	県民アトリエ	美術館班 夏休み！こどもフェスタ2024「⑩グルグルえのぐく変身お面」「⑪ミクストメディアで表現しよう！」
41	20	土	講 堂	株式会社おきなわ edu 第19回テアトル edu 発表会	79	28	日	講 堂	日本肝臓学会沖縄支部 市民公開講座
42	20(土)～21(日)		こどもアトリエ	琉球放送株式会社 タッチ ザ デザイナー ～恐竜アドベンチャー展～関連催事「自分たちだけの恐竜をつくってみよう！」	80	28	日	こどもアトリエ	美術館班 夏休み！こどもフェスタ2024「⑩グルグルえのぐく変身お面」「⑪ミクストメディアで表現しよう！」
43	20	土	スタジオ	福岡医健・スポーツ専門学校 出張オープンキャンパス	81	28	日	博物館 講義室	公益社団法人南部地区歯科医師会 南部地区歯科医師会 市民講座
44	20	土	博物館 講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 出張・海洋文化講座 南太平洋の多様な食文化	82	28	日	博物館 講義室	日本生命保険相互会社「住宅のご購入をお考えのお客さま向け FPセミナー」
45	20	土	博物館 講義室	琉球大学教育学部教育 スプリーティトゥス 美術理論・美術史 A/B/C 鑑賞プログラム	83	28	日	博物館 講義室	公益社団法人南部地区歯科医師会 市民講座
46	20(土)～21(日)		美術館 講義室	CDS 沖縄南城 SA 研修	84	28	日	博物館 講義室	日本生命保険相互会社「住宅のご購入をお考えのお客さま向け FPセミナー」
47	20	土	美術館 講義室	ライオンズマンション新都心管理組合 住民説明会	85	28	日	博物館 講義室	琉球放送株式会社 タッチ ザ デザイナー ～恐竜アドベンチャー展～関連催事「恐竜ペーパークラフトをつくってみよう！」
48	21	日	講 堂	株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会2024/7月会「老人と海」	86	28	日	美術館 講義室	株式会社ガクアル 人間環境大学 沖縄説明会
49	21	日	博物館 講義室	博物館班 デジタルミュージアム推進事業 令和6年度「ウチナーの民話上映会」	87	30(火)～31(水)		県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 平日だけのスペシャル企画！専門家がかんがえた自由研究ワークショップ
50	21	日	博物館 講義室	ベレグレイス株式会社 ベレグレイスミーティング	88	30	火	講 堂	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター データ活用推進に向けた事例発表会
51	23	火	講 堂	沖縄県教育庁保健体育課 令和6年度 学校安全指導者養成講習会の前日準備	89	30	火	博物館 講義室	株式会社琉球新報開発 令和6年度「女性の就職総合支援事業」介護・医療合同企業説明会
52	23	火	スタジオ	沖縄県黒砂糖協同組合「令和6年度沖縄黒糖販売力強化支援事業」第1回検討会	90	30	火	博物館 講義室	美術館班 曙小学校先生対象 校内研修
53	23	火	スタジオ	星野 晃子 最新 AI 勉強会	91	30	火	美術館 講義室	読売新聞東京本社(ブランド企画部) 首里城被災美術品修理に関する支援事業「沖縄未来コンサバターの」の一環
54	23	火	博物館 講義室	Pioneer Green Circle 九州沖縄 PGC 夏季研究大会	92	31	水	講 堂	沖縄県保健医療総務課 令和6年度保健師研修会・第71回保健師業務研究発表会 準備
55	23	火	博物館 講義室	Pioneer Green Circle 九州沖縄 PGC 夏季研究大会	93	31	水	博物館 講義室	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会
56	23	火	美術館 講義室	Pioneer Green Circle 九州沖縄 PGC 夏季研究大会	94	31	水	博物館 講義室	美術館班/沖縄県造形教育連盟 第61回沖縄県造形教育研究大会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
95	31	水	美術館 講座室	株式会社リベル 一次面接	99	11(木)～31(水)	博物館 企画展示室	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー ～恐竜アドベンチャー展～	
96	11(木)～26(金)		エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスファクトリー展 in 沖縄 関連展示	100	11(木)～31(水)	博物館特別展示室 1・2	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー ～恐竜アドベンチャー展～	
97	11(木)～31(水)		エントランスホール	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」	101	11(木)～31(水)	美術館企画ギャラリー 1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団/琉球新報 明和電機 ナンセンスファクトリー展 in 沖縄	
98	11(木)～31(水)		講堂 前ホワイエ	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー ～恐竜アドベンチャー展～特設ショップ	102	27(土)～31(水)	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 夏休み!こどもフェスタ 2024	

【2024年8月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1(木)～25(日)		県民アトリエ	沖縄県文化振興課/沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管	33	9	金	博物館 講座室	沖縄県立総合精神保健福祉センター 思春期自殺予防研修
2	1(木)～25(日)		こどもアトリエ	沖縄県文化振興課/沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管	34	9	金	博物館 実習室	アフラック沖縄支社 エリア研修会
3	1(木)～31(土)		スタジオ	沖縄県文化振興課/沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管	35	9	金	美術館 講座室	美術館班 沖縄県那覇教育事務所「県民カレッジ・バックヤードツアー」
4	1	木	講堂	沖縄県保健医療総務課 令和6年度保健師研修会・第71回保健師業務研究発表会	36	9	金	美術館 講座室	沖縄県文化振興課 指定管理運用委員会
5	1	木	博物館 講座室	沖縄県保健医療総務課 令和6年度保健師研修会	37	10	土	講堂	株式会社海燕社「南島残照～女たちの針突～」「イザイホウ」
6	1	木	博物館 実習室	沖縄県保健医療総務課 令和6年度保健師研修会	38	10	土	博物館 講座室	沖縄県立総合精神保健福祉センター 自死遺族支援講演会
7	1	木	美術館 講座室	沖縄県保健医療総務課 令和6年度保健師研修会	39	10	土	博物館 実習室	琉球放送株式会社 タッチザダイナソー 恐竜アドベンチャー展関連イベント「自分たちだけの恐竜展をつくってみよう!」
8	2	金	講堂	沖縄県保健医療総務課 令和6年度保健師研修会・第71回保健師業務研究発表会	40	10	土	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 2024年度第5回理事会
9	2	金	博物館 講座室	博物館班 夏休み教職員向け講座	41	10	土	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機展関連イベント「オタマトーンが弾けるワークショップ」
10	2	金	博物館 講座室	第一三共株式会社 腎疾患フォーラム IN 沖縄～沖縄県民の腎臓を守る～	42	11	日	講堂	PFAS 汚染から市民の生命を守る会 映画「太陽の蓋」上映とトーク
11	2	金	博物館 実習室	博物館班 夏休み教職員向け講座	43	11	日	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機展関連イベント「オタマトーンが弾けるワークショップ」
12	2	金	博物館 実習室	美術館班/沖縄県造形教育連盟 伊平屋中学校 職員研修	44	11	日	博物館 講座室	国際交流 NGO ビースポート ビースポート 地球一周の船旅旅行説明会
13	2	金	美術館 講座室	美術館班/沖縄県造形教育連盟 第61回沖縄県造形教育研究大会	45	11	日	博物館 実習室	福岡医健・スポーツ専門学校、福岡ベルエポック美容専門学校 出張オープンキャンパス
14	2	金	美術館 講座室	第一三共株式会社 腎疾患フォーラム IN 沖縄～沖縄県民の腎臓を守る～ 控室	46	11	日	美術館 講座室	沖縄県文化振興課/公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 公開審査会場
15	3	土	講堂	琉球大学病院がんセンター 若い世代のがん治療に寄り添うがん治療そして妊娠・出産を考えよう	47	12	月	講堂	沖縄クイズ愛好会 RyuQ Youth 2024
16	3	土	博物館 講座室	一般社団法人沖縄カメラセンター 絶滅危惧種リュウキュウヤマガメについて学ぼう	48	12	月	博物館 講座室	株式会社タイムスアドネクスト 初心者でもわかる!資産形成のためのマネーセミナー
17	3	土	博物館 講座室	税理士法人グローアップサポート 相続・贈与税セミナー	49	12	月	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート ピアノ調律
18	3	土	博物館 実習室	博物館班 集積・再興事業 WS 金工	50	12	月	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機展関連催事「チリリン工作ワークショップ」
19	3	土	美術館 講座室	ロボロボの会 ロボットプログラミング組立講座 2024 自分のロボットを作ってプログラミングに挑戦!	51	12	月	美術館 講座室	株式会社タイムスアドネクスト 初心者でもわかる!資産形成のためのマネーセミナー 控室
20	3	土	美術館 講座室	中部興産株式会社 不動産賃貸経営セミナー	52	14	水	博物館 講座室	博物館班 博物館学芸員実習(後期)
21	4	日	講堂	在日本大韓民国国民沖縄県地方本部 第18回韓国語弁論大会	53	14	水	美術館 講座室	沖縄盛塾 勉強会
22	4	日	美術館 講座室	沖縄県文化振興課/沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 公開審査会場	54	15	水	博物館 実習室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
23	6	火	博物館 講座室	株式会社タイムスアドネクスト 第38回沖縄県トータルリビングショウ「出展社説明会」	55	15	木	博物館 講座室	那覇市ちやーがんじゅう課 那覇市 介護予防リーダー養成講座
24	6	火	美術館 講座室	大阪中小企業投資育成㈱ 九州支社 投資育成ビジネスフォーラム	56	15	木	美術館 講座室	株式会社エネルギーラボ沖縄「2050カーボンニュートラル」カードゲームワークショップ
25	7	水	博物館 講座室	株式会社琉球新報開発 令和6年度「女性の就職総合支援事業」合同企業説明会	57	16	金	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機展関連イベント「バウガン工作ワークショップ」「発想法ワークショップ」
26	7	水	博物館 実習室	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展ワークショップ	58	17	土	博物館 講座室	ライオンズマンション新都心管理組合 住民説明会
27	7	水	美術館 講座室	美術館班 美術館ボランティア研修会	59	17	土	博物館 講座室	自治医科大学 沖縄県試験委員会 自治医科大学 大学説明会
28	7	水	美術館 講座室	株式会社リウコム AWS ハンズオンセミナー	60	17(土)～18(日)		博物館 実習室	琉球放送株式会社 タッチザダイナソー 恐竜アドベンチャー展関連イベント「ガラス細工を組み合わせて楽しもう」
29	8	木	博物館 講座室	那覇市ちやーがんじゅう課 那覇市 介護予防リーダー養成講座	61	17	土	美術館 講座室	合同会社 SANGA 睡眠美容について
30	8	木	博物館 講座室	株式会社 日本ユニテック 合同研修会	62	18	日	美術館 講座室	沖縄県文化振興課/公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 公開審査会場
31	8	木	美術館 講座室	フォーデイズ株式会社 核酸スタジオ	63	20	火	博物館 講座室	那覇市民生委員児童委員連合会 那覇市真和志地区民生委員児童委員研修会
32	9	金	博物館 講座室	博物館学芸員講座「琉球美術工芸の何だコレ!?～すごい!何で?どうやったの!?な琉球美の世界～」	64	20(火)～21(水)		博物館 実習室	博物館班 琉球王国文化遺産集積・再興事業プロポーザル

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
65	20 (火) ~ 23 (金)		美術館 講義室	美術館班 美術館学芸員実習	87	30	金	講 堂	沖縄 JTB 株式会社 JTB クルーズ国内・海外お客様説明会
66	21	水	博物館 講義室	株式会社琉球新報開発 女性の就職総合支援事業 合同企業説明会	88	30	金	博物館 講義室	弁護士法人琉球法律事務所 経営方針発表会
67	22	木	博物館 講義室	株式会社SUN 健康セミナー サンパール	89	30	金	博物館 講義室	沖縄 JTB 株式会社 JTB クルーズ国内・海外お客様説明会
68	22	木	博物館 講義室	那覇市チャージャーがんじゅう課 那覇市 介護予防リーダー養成講座	90	30	金	美術館 講義室	美術館班 美術館学芸員実習
69	23	金	博物館 講義室	株式会社レキサス DX 人材養成講座 2024	91	31	土	県民 アトリエ	沖縄タンゴサークル アルゼンチンタンゴ練習会
70	23	金	博物館 講義室	沖縄県知事（沖縄県企画部統計課）令和6年度労働力調査 調査員合同指導会	92	31	土	講 堂	博物館文化講座「海外に残された琉球文学資料ー国立台湾大学図書館蔵「琉歌大観」を読むー」
71	24	土	講 堂	エーザイ株式会社 市民公開講座	93	31	土	講 堂	医療法人天仁会 医療・介護・障害福祉 地域包括ケアシステムの紹介（仮）
72	24	土	博物館 講義室	株式会社タイムスアドネクスト 女性のためのマナーセミナー	94	31	土	博物館 講義室	隣イベントス 上場企業 IR セミナー in 沖縄
73	24 (土) ~ 25 (日)		博物館 講義室	琉球放送株式会社 タッチザダイナソー 恐竜アドベンチャー 展開連イベント「ガラス細工を組み合わせよう」	95	31	土	博物館 講義室	琉球放送株式会社 タッチザダイナソー 恐竜アドベンチャー 展開連イベント「ガラス細工を組み合わせよう」
74	24	土	美術館 講義室	特定非営利活動法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	96	31	土	美術館 講義室	隣イベントス 上場企業 IR セミナー in 沖縄
75	24	土	美術館 講義室	家庭倫理の会那覇市 純粋倫理基礎講座第12講	97	31	土	美術館 講義室	The Team LIFEWAVE 沖縄セミナー（The Team 限定）
76	24	土	美術館 講義室	株式会社大央ハウジング 相続時の法的リスク 賃貸トラブルを避けるための不動産管理戦略	98	1 (木) ~ 9 (金)		エントランス ホール	博物館班 夏休み！こどもフェスタ 2024
77	25	日	博物館 講義室	オリライフ	99	1 (木) ~ 31 (土)		エントランス ホール	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」
78	25	日	美術館 講義室	株式会社 MAIA WeMAIA コミュニティ沖縄キャラバン	100	1 (木) ~ 31 (土)		講 堂 前 ホワイエ	一般財団沖縄美ら島財団/琉球放送 タッチ ザ ダイナソー ~恐竜アドベンチャー展~特設ショップ
79	27	火	博物館 講義室	inpit 沖縄県知事総合支援窓口/那覇東京リーガルマインド 中小企業等支援機関連連会議	101	1 (木) ~ 31 (土)		博物館 企画展示室	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー ~恐竜アドベンチャー展~
80	27	火	博物館 講義室	BNI 沖縄リージョン	102	1 (木) ~ 31 (土)		博物館特別 展示室 1・2	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー ~恐竜アドベンチャー展~
81	28	水	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄通訳案内士会勉強会	103	1 (木) ~ 31 (土)		美術館企画 キャンプ 1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスファクトリー展 in 沖縄
82	28	水	博物館 講義室	EY ビジネスパートナー株式会社 社内 MTG	104	10 (土) ~ 12 (月)		エントランス ホール	一般財団沖縄美ら島財団 明和電機ナンセンスマシーン展 in 沖縄関連「土佐社長サイン会」
83	28	水	博物館 講義室	博物館班 三線調査会	105	14 (水) ~ 18 (日)		エントランス ホール	一般財団沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスファクトリー展 in 沖縄 関連展示
84	28	水	美術館 講義室	沖縄・奄美共同検討委員会(株)JTB 沖縄 第1回沖縄・奄美エリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくり設立準備委員会 会議	106	20 (火) ~ 25 (日)		エントランス ホール	博物館班 博物館学芸員実習（後期）ミニ展示
85	29	木	県民 アトリエ	有限会社テレマーケティング沖縄 会議	107	27 (火) ~ 31 (土)		エントランス ホール	博物館班 沖縄県議会関連パネル展
86	29	木	博物館 講義室	那覇市チャージャーがんじゅう課 那覇市 介護予防リーダー養成講座					

【2024年9月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1 (日) ~ 29 (日)		スタジオ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管	15	5 (木) ~ 6 (金)		美術館 講義室	ソニー生命保険沖縄営業所 PA 養成講座
2	1	日	博物館 講義室	那覇建築資料研究所 日建学院 沖縄校 2級建築士設計製図	16	7	土	県民 アトリエ	女子美術大学同窓会沖縄支部 総会
3	1	日	博物館 講義室	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー ~恐竜アドベンチャー展~関連催事「ガラス細工を組み合わせよう」	17	7	土	講 堂	博物館学芸員講座「石積みを持つグスクの特徴ーグスクに見られる積み石の加工石材を見る」
4	1	日	美術館 講義室	株式会社チャイナゲートウェイ 令和6年度 沖縄空手ガイド養成研修事業	18	7	土	美術館 講義室	美術館班 キュレータートークトーク
5	1	日	エントランス ホール	博物館班 沖縄県議会関連パネル展	19	7	土	美術館 講義室	NPO 法人沖縄県マンション管理組合連合会 マンション管理セミナー
6	1	日	博物館 企画展示室	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー~恐竜アドベンチャー展~	20	8	日	講 堂	沖縄県地域医療支援センター 琉球大学医学部医学科 地域枠制度説明会
7	1	日	博物館特別 展示室 1・2	琉球放送株式会社 琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー~恐竜アドベンチャー展~	21	8	日	講 堂	沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る市民公開講座
8	3	火	講 堂	沖縄県知事（沖縄県農林水産部営農支援課）令和6年度農業危害防止講習会	22	8	日	博物館 講義室	ハンセン病問題ネットワーク沖縄 映画「一人になる」上映会
9	3	火	美術館 講義室	玉木流琉装から結びの研究所 くしの日 美ら姿結び遊び	23	8	日	博物館 講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 出張・海洋文化講座 南太平洋の多様な漁撈文化
10	4	水	博物館 講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団/琉球放送 タイミーによる封入作業	24	8	日	博物館 講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート控室
11	5	木	県民 アトリエ	宮良 そば 社員研修	25	8	日	美術館 講義室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 2024年度 第6回理事会
12	5 (木) ~ 6 (金)		博物館 講義室	沖縄工業高等専門学校 第3回ライフサイエンス・カンファレンス	26	8	日	美術館 講義室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
13	5	木	博物館 講義室	那覇市チャージャーがんじゅう課 那覇市 介護予防リーダー養成講座	27	10	火	講 堂	経営文武館同志会 「鷹松弘章氏」講演会
14	5 (木) ~ 6 (金)		博物館 講義室	アフラック 研修会	28	10	火	博物館 講義室	沖縄龍神会 奇跡の龍神様講演会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
29	10	火	博 物 館 講 座 室	明治安田生命保険相互会社 沖縄支社 資産運用 (NISA) セミナー	67	20	金	博 物 館 講 座 室	藤おきぎん経済研究所 内閣府「令和6年度沖縄型産業中核人材育成事業 生産管理・品質管理による食品製造マネジメント人材育成プログラム」
30	10	火	博 物 館 講 座 室	有限会社海気コーポレーション	68	20	金	美 術 館 講 座 室	株式会社 Sun 健康セミナー サンペール
31	10(火)～ 11(水)		美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 教育普及展説明会	69	21(土)～ 23(月)		県 民 ア ト リ エ 講 堂	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 令和6年度子ども科学 技術人材育成事業 高校生ハイレベル ロボット工学コース
32	10	火	美 術 館 講 座 室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	70	21	土	講 堂	博物館文化講座「今帰仁のグスク時代人ー勢理客 中道原洞穴遺跡の調査よりー」
33	11	水	講 堂	公立大学法人沖縄県立芸術大学 理事長「国際シンポジウム ヨーロッパに 渡った沖縄染織品 -I&L Langewis コレクションの調査報告-」のリハーサル	71	21(土)～ 23(月)		こ ど も ア ト リ エ	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 令和6年度子ども科学 技術人材育成事業 高校生ハイレベル ロボット工学コース
34	11	水	博 物 館 講 座 室	株式会社南西環境研究所 重点管理路線に係る沿道 景観全体計画策定検討委員会	72	21	土	博 物 館 講 座 室	D'クラディア新都心センタープレイス管理組合 D'クラディア新都心センタープレイス 通常総会
35	11	水	美 術 館 講 座 室	沖盛塾 勉強会	73	21	土	博 物 館 講 座 室	しまくとぅばプロジェクト しまくとぅば鼎談
36	12	木	講 堂	一般社団法人 沖縄しまたて協会 令和6年度 技術開発支援事業・技術環境研究所 研究発表会	74	21	土	美 術 館 講 座 室	株式会社玄米酵素 沖縄営業所 販売店研修会
37	12	木	こどもア トリエ	日本保育チームマネジメント協会 能力開発研修	75	21	土	美 術 館 講 座 室	特定非営利活動法人沖縄県沖縄語普及協議会 語 らな沖縄語
38	12	木	博 物 館 講 座 室	ヨガパートナーズ/與儀 真悟 給与・賞与の決め方 勉強会	76	21	土	美 術 館 講 座 室	長嶺 智美 リンパ★ホルミシス勉強会
39	12	木	博 物 館 講 座 室	博物館班 インタビュー (天久小学校)	77	22	日	講 堂	沖縄スポーツ健康を推進する会/ジョンソン・エン ド・ジョンソン株式会社 第6回沖縄スポーツ健康塾
40	12	木	美 術 館 講 座 室	株式会社アール・ピー・アイ 沖縄営業所 令和6年度沖縄地域 農林水産物活用支援事業・スタートアップ事業第一回集合研修	78	22	日	博 物 館 講 座 室	公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 令和6年度多職種 連携ケアマネジメント基盤強化促進事業専門職向け研修会
41	12	木	美 術 館 講 座 室	一般社団法人全国福利厚生共済会	79	22	日	博 物 館 講 座 室	和氣合愛 奇跡の起こし方 T蔵セミナー
42	13	金	講 堂	一般社団法人沖縄県食品衛生協会 HACCPに沿っ た衛生管理及び営業許可制度に関する講習会	80	22	日	美 術 館 講 座 室	高井 梢 骨格とリンパ
43	13	金	博 物 館 講 座 室	一般社団法人 沖縄しまたて協会 令和6年度沖縄らしい風景 づくり人材育成事業 景観行政コーディネーター研修【基礎編】	81	22	日	美 術 館 講 座 室	しまくとぅばプロジェクト 首里言葉 (宮里朝光) し語ゆる琉球文化
44	13	金	博 物 館 講 座 室	ココバ幸之助後援会 役員会議	82	23	月	講 堂	沖縄県立芸術大学芸術文化研究所 国際シンポジウム ヨーロッパに 渡った沖縄染織品 -I&L Langewis コレクションの調査報告-
45	13	金	博 物 館 講 座 室	サントピアおもろまち管理組合(株式会社琉信ハウジ ング) サントピアおもろまち管理組合第24回通常総会	83	23	月	博 物 館 講 座 室	一般社団法人全国福利厚生共済会 活動報告会
46	13	金	美 術 館 講 座 室	株式会社逆襲 逆襲の儲かり脳改造講座	84	23	月	美 術 館 講 座 室	株式会社 Sun 健康セミナー サンペール
47	14	土	県 民 ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコン サート (控室)	85	23	月	美 術 館 講 座 室	唐沢 祐香 混乱しない投資術:初心者と子育て世 代のためのファンド選びと資産形成の秘訣
48	14	土	講 堂	学校法人興南学園興南中学校 興南中学校 学 校説明会	86	25	水	講 堂	沖縄振興開発金融公庫 沖縄地域 PPP/PFI プラッ トフォーム 第15回セミナー
49	14	土	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ふれあいワークシ ョップ勉強会	87	25	水	博 物 館 講 座 室	NPO法人フードリンクセカンドハート+沖縄 令和6年度農水省補助事業フードバンク活 動強化事業 沖縄ブロック「食品衛生管理を考えよう〜こんなときどうしたらいいの?〜」
50	14	土	博 物 館 講 座 室	医療法人 正清会 未来にカフアレ	88	25	水	博 物 館 講 座 室	博物館班 三線調査会
51	14	土	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機展 関連 イベント ゴムペースワークショップ	89	25	水	美 術 館 講 座 室	株式会社学習受験社 沖縄全体会議
52	14	土	美 術 館 講 座 室	美術館班「沖縄の彫刻」キュレータートーク+学 芸員講座 (梶原)	90	26	木	博 物 館 講 座 室	沖縄県産業振興公社 稼く企業連携支援事業 Session 沖縄 2024〜自社の強みを生み出すための講座〜
53	15	日	講 堂	沖縄県眼科医会 第153回沖縄眼科集談会	91	26	木	博 物 館 講 座 室	ソニー生命保険 株式会社 ソニー生命那覇第2 支店 第4営業所 勉強会
54	15	日	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 大人のための植物 講座	92	26	木	美 術 館 講 座 室	Eアフアン 非分解プラセンタ 勉強会
55	15	日	博 物 館 講 座 室	琉球民族独立総合研究学会 ハジチと国連 先住 民族の権利と琉球の私たち	93	27	金	博 物 館 講 座 室	支出負担行為担当官 沖縄労働局総務部長 公正 採用選考人権啓発推進員研修会
56	15(日)～ 16(月)		博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機展 関連 イベント	94	27	金	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコン サート ビアノ調律
57	15	日	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機ライブ第 二会場	95	27	金	美 術 館 講 座 室	株式会社逆襲 逆襲の儲かり脳改造講座
58	16	月	博 物 館 講 座 室	株式会社タイムスアドネクスト「女性のためのマ ネーセミナー」	96	28	土	講 堂	沖縄を再び戦場にさせない県民の会「戦争の脅威に晒 される与那国島の現状調査報告と県内各地からの報告」
59	16	月	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機	97	28	土	こ ど も ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ふれあい体験室ワ ークショップ勉強会
60	18	水	講 堂	しまくとぅばプロジェクト シンポジウム	98	28	土	博 物 館 講 座 室	インドネシア沖縄家族の会 KKIO 沖縄在住のイン ドネシア人のための自然災害避難対応ガイダンス
61	18	水	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	99	28	土	博 物 館 講 座 室	ニライ・カナイぬ会 裁判終了後の琉球人遺骨の動 向
62	19	木	県 民 ア ト リ エ	白 美希 化粧品 の 使 い 方	100	28	土	博 物 館 講 座 室	ヨルベ 「アートワーカーのための契約講座+ワー クショップ」
63	19	木	博 物 館 講 座 室	一般社団法人沖縄オープンラボラトリ オープン データワークショップ	101	28	土	美 術 館 講 座 室	特定非営利活動法人沖縄県沖縄語普及協議会 語 らな沖縄語
64	19	木	博 物 館 講 座 室	BNI 沖縄リージョン	102	28	土	美 術 館 講 座 室	中村 千秋 LIFEWAVE 沖縄事業説明会
65	19	木	美 術 館 講 座 室	藤おきぎん経済研究所 内閣府「令和6年度沖縄型産業中核人材育成事業 生産管理・品質管理による食品製造マネジメント人材育成プログラム」	103	29	日	講 堂	沖縄・靖国合祀取消シタイ 戦争に否! 友好を求め て
66	20	金	講 堂	沖縄振興開発金融公庫調査部地域連携情報室 沖 縄公庫フォーラム 2024	104	29	日	美 術 館 講 座 室	インドネシア沖縄家族の会 KKIO インドネシア 大使館による出張パスポート手続き及び説明会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
105	1（日）～ 29（日）		エントランス ホール	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」	111	12（木）～ 29（日）		博物館特別 展示室 1・2	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー～恐竜アドベンチャー展～ 撤収
106	1（日）～ 5（木）		講 堂 前 ホワイエ	一般財団法人沖縄美ら島財団/琉球放送 タッチ ザ ダイナソー～恐竜アドベンチャー展～ショップ	112	18（水）～ 20（金）		美術館企画 キョウリ-1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスファクトリー展 in 沖縄 撤収
107	1（日）～ 16（月）		美術館企画 キョウリ-1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団 明和電機 ナンセンスファクトリー展 in 沖縄	113	21（土）～ 22（日）		美術館企画 キョウリ-1	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト 美術館で yoga
108	3（火）～ 23（月）		エントランス ホール	博物館班 ロビー展「6月23日と9月7日」	114	24（火）～ 29（日）		美術館企画 キョウリ-2	株式会社琉球新報社 琉球書法選抜展
109	3（火）～ 5（木）		博 物 館 企画展示室	琉球放送株式会社 タッチ ザ ダイナソー～恐竜アドベンチャー展～ 撤収	115	25（水）～ 29（日）		エントランス ホール	博物館班 エントランス展示『壁の時代—宮古島クバカ城跡・狩集落の発掘調査—』
110	12（木）～ 29（日）		博 物 館 企画展示室	博物館特別展 芭蕉布展準備					

## 【2024年10月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1（火）～ 8（火）		スタジオ	沖縄県文化振興課/沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品返却・保管	31	9	水	博 物 館 講 座	株式会社公文教育研究会 ビジョン講座
2	1	火	博 物 館 講 座	株式会社玄米酵素 沖縄営業所 玄米酵素創業記念コラボセミナーin 沖縄 産婦人科医と語る食と命	32	9	水	美 術 館 講 座	沖盛塾 勉強会
3	1	火	美 術 館 講 座	光文堂コミュニケーションズ おきなわいちばムック本 企画 パーテナー座談会	33	9	水	美 術 館 講 座	税理士法人エクラコンサルティング 迫る！特例継承計画提出期限～事業承継問題に関連するケーススタディ～
4	1	火	美 術 館 講 座	公益社団法人 北那覇法人会 取組事例に学ぶ「事業継続力強化」	34	10	木	県 民 アトリエ	学校法人三幸学園 沖縄リゾート&スポーツ専門学校 スポーツデザインコンペティション予選
5	2	水	講 堂	一般社団法人ヤングケアラー協会 ヤングケアラー関係機関研修シンポジウム	35	10	木	講 堂	学校法人三幸学園 沖縄リゾート&スポーツ専門学校 スポーツデザインコンペティション予選
6	2	水	博 物 館 講 座	医療法人陽和会 沖縄県障害者就業・生活支援センターブリッジ 合理的配慮とキャリアデザイン	36	10	木	博 物 館 講 座	東京都下水道サービス株式会社 沖縄県下水道排水設備工事責任技術者 試験前講習会
7	2	水	博 物 館 実 習	博物館班 博物館ボランティア勉強会	37	10	木	美 術 館 講 座	ソニー生命保険沖縄営業所 ソニー生命保険PA養成講座
8	2	水	美 術 館 講 座	美術館班 美術館ボランティア研修会	38	11	金	県 民 アトリエ	美術館班 アートコンクール審査
9	2	水	美 術 館 講 座	内閣府沖縄総合事務局経済産業部商務通商課 沖縄大交易会オフィシャルセミナー こぼぬ先の貿易保険	39	11	金	講 堂	美術館班 安良城小学校 オリエンテーション
10	3	木	博 物 館 講 座	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会	40	11	金	講 堂	日本機械学会 第29回高分子複合材料の成形加工に関する研究会
11	3（木）～ 4（金）		美 術 館 講 座	株式会社おきざん経済研究所 沖縄型産業中核人材育成事業「生産管理・品質管理による食品製造マネジメント人材育成プログラム」	41	11	金	講 堂	沖縄県文化振興課/沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 表彰式 準備
12	4	金	博 物 館 講 座	公文エアリアル 局長講座	42	11	金	こ だ も アトリエ	美術館班 アートコンクール審査
13	4	金	博 物 館 講 座	日本保育協会沖縄県支部 中部地区及び中北部地区合同園長研修会	43	11	金	スタジオ	ソニー生命保険沖縄営業所 ソニー生命保険PA養成講座
14	4	金	博 物 館 講 座	一般財団法人全国福利厚生共済会	44	11	金	博 物 館 実 習	沖縄県社会保険労務士会 社労士会セミナー 社労士会 DX フェア
15	5	土	講 堂	株式会社うむさんラボ StandUp! Mother 最終発表会リハーサル	45	11	金	博 物 館 講 座	沖縄県社会保険労務士会 社労士会セミナー 社労士会 DX フェア
16	5	土	講 堂	琉球大学医学部先端医学研究センターブレインヘルスケア講座 市民公開講座 病気になる前に脳を守る	46	11	金	美 術 館 講 座	株式会社 YOLO u33 女子のための「大好きなヒトと大好きなシゴト」セミナー&交流会
17	5	土	博 物 館 講 座	沖縄税理士会 成年後見及び相続税に関する無料相談	47	11	金	美 術 館 講 座	沖縄県社会保険労務士会 社労士会セミナー 社労士会 DX フェア
18	5	土	美 術 館 講 座	美術館班 「沖縄美術の流れ」キュレータートーク＋学芸員講座（亀海）	48	12	土	講 堂	世界ウチナーンチュセンター設置支援委員会 シンポジウム「みんなで考える世界ウチナーンチュセンター」
19	6	日	講 堂	中江 園子 ドクター和泉 特別講演会 美容と健康の新常識 光のチカラで元気になる！	49	12	土	講 堂	沖縄県文化振興課/沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 表彰式
20	6	日	講 堂	株式会社海燕社 映画の上映会	50	12	土	博 物 館 実 習	博物館学芸員講座「美しい布 芭蕉布」 第2会場
21	6	日	美 術 館 講 座	沖縄の教育をよくする会 テレビ「生命の光」上映会	51	12	土	博 物 館 講 座	博物館学芸員講座「美しい布 芭蕉布」
22	8	火	県 民 アトリエ	美術館班 アートコンクール審査	52	12	土	美 術 館 講 座	美術館班 美術の流れキュレータートーク（亀海）予備日
23	8	火	県 民 アトリエ	アフラック沖縄支社 研修会	53	12	土	美 術 館 講 座	北星学園余市高等学校
24	8	火	講 堂	有限会社アイディー・ブランド 沖縄県グリーンツーリズム講演会	54	13	日	博 物 館 実 習	博物館班 芭蕉布を羽織ってみよう 着衣体験
25	8	火	こ だ も アトリエ	美術館班 アートコンクール審査	55	13	日	博 物 館 講 座	琉球大学戦略的研究プロジェクトセンター シマクトップ普及のためのシンポジウム（琉球大学）
26	8	火	博 物 館 実 習	博物館班 博物館ボランティア勉強会	56	13	日	美 術 館 講 座	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
27	8	火	博 物 館 講 座	株式会社ジェフプラン 磁気水による健康と環境を考える	57	14	月	講 堂	琉球大学 地域連携推進課 首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2024
28	8	火	美 術 館 講 座	株式会社琉球新報開発 「観光関連事業の外国雇用」	58	14	月	博 物 館 実 習	琉球大学 地域連携推進課 首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2024
29	9	水	講 堂	沖縄県立博物館友の会 主催講演会	59	14	月	博 物 館 講 座	琉球大学 地域連携推進課 首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2024
30	9	水	博 物 館 実 習	有限会社ギガン文化施設研究所 認知症予防に役立つ沖縄わらべうたと古謡学習	60	14	月	博 物 館 講 座	AKY 合同会社 BHK ATR 8

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	
61	16	水	美術館室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR 8	99	23	水	博物館室	有限会社ギガン文化施設研究所 認知症予防に役立つ琉球わらべうた古謡学習	
62	17	木	講堂	博物館班 ボランティア連絡会	100	23	水	美術館室	株式会社 Ridilover スタディツアー	
63	17	木	スタジオ	LVS 株式会社 アカデミー修了式	101	23(水)～ 24(木)	美術館室	美術館室	沖縄県高等学校国語教育研究会 第68回九州高等学校国語教育研究大会沖縄大会	
64	17	木	博物館室	AKY 合同会社 BHK ATR 8	102	24(木)～ 27(日)	スタジオ	スタジオ	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 第48回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸専門作品展	
65	17	木	美術館室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR 6	103	24	木	博物館室	沖縄県高等学校国語教育研究会 第68回九州高等学校国語教育研究大会沖縄大会	
66	18	金	講堂	花咲く子どもプロジェクト実行委員会 花咲く子どもプロジェクト2024「自分らしさの歩みを探る、知ろう、つらう」～発達障害児者の「学び」と「働く」を先取りする～	104	24	木	美術館室	美術館室	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 沖縄県高校総合文化祭 美術・工芸部門 顧問会議
67	18	金	スタジオ	おきなわ建設フェスタ実行委員会 第6回おきなわ建設フェスタ	105	25	金	講堂	講堂	朝日生命保険相互会社沖縄支社 全職員打合せ
68	18	金	博物館室	フォーデイズ株式会社 核酸スタジオ	106	25	金	博物館室	博物館室	高次脳リハビリテーション講習会実行委員会 高次脳リハビリテーション講習会(沖縄県高次脳機能障害支援普及事業)
69	18	金	博物館室	一般財団法人全国福利厚生共済会 会員向けセミナー	107	25	金	博物館室	博物館室	HIS 沖縄 OCVB 令和6年度「教育旅行推進強化事業」台湾教育旅行関係者 意見交換会
70	18	金	博物館室	博物館班 博物館ボランティア勉強会	108	25	金	博物館室	博物館室	朝日生命保険相互会社 朝日生命全従業員向け研修
71	18	金	博物館室	イタナジ株式会社 株式会社琉信ハウジング代表が考える、沖縄の不動産賃貸業のこれから	109	25	金	美術館室	美術館室	株式会社ダイヤモンド社 10/25 沖縄県書店勉強会
72	18	金	美術館室	株式会社おきぎん経済研究所 沖縄型産業中核人材育成事業「生産管理・品質管理による食品製造マネジメント人材育成プログラム」	110	26	土	講堂	講堂	博物館文化講座「喜如嘉の芭蕉布と無形文化財」
73	19(土)～ 20(日)	県民アトリエ	美術館室	美術館室 子どもフェスタ秋	111	27	日	子どもアトリエ	子どもアトリエ	参天製薬株式会社 第6回沖縄眼科臨床懇話会
74	19(土)～ 20(日)	子どもアトリエ	美術館室	美術館室 子どもフェスタ秋	112	27	日	子どもアトリエ	子どもアトリエ	株式会社Eアファン NO(非分解) プラセンタ勉強会
75	19	土	スタジオ	学校法人みずほ学園 瑞穂 MSC 高等学校 プロのカウンセラーによる無料相談&出張進路相談会	113	27	日	県民アトリエ	県民アトリエ	株式会社Eアファン NO(非分解) プラセンタ勉強会
76	19	土	スタジオ	国際交流 NGO ビースポート ビースポート 地球一周の船旅旅行説明会	114	27	日	講堂	講堂	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 沖縄県高校総合文化祭 美術・工芸部門 表彰式・閉会式
77	19	土	博物館室	ビースポート ビースポート地球一周の船旅説明会	115	27	日	博物館室	博物館室	参天製薬株式会社 第6回沖縄眼科臨床懇話会
78	19	土	博物館室	学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校 沖縄現地入学試験	116	27	日	博物館室	博物館室	NPO 法人 統合医療と健康を考える会 がん治療の鍵 講演会
79	19(土)～ 20(日)	美術館室	美術館室	株式会社はせみや ATR1	117	27	日	美術館室	美術館室	沖縄県高等学校文化連盟美術館・工芸専門部 沖縄県高校総合文化祭 美術・工芸専門部 顧問会議
80	20	日	講堂	国立大学法人琉球大学長 琉球大学医学部 市民公開講座	118	27	日	美術館室	美術館室	株式会社先制医療推進機構 株式会社先制医療推進機構 新規共済事業説明会
81	20	日	スタジオ	福岡医健・スポーツ専門学校 福岡医健、スポーツ専門学校、福岡ヘルエボック美容専門学校 学校説明会	119	29	火	スタジオ	スタジオ	日本イーライリリー株式会社 Lilly 長瀬課会議
82	20	日	博物館室	有限会社アイディー・ブランド 国際平和シンポジウム	120	29	火	講堂	講堂	一般財団法人ヤマハ音楽振興会「新児童期認定講習会」『ぶらいまりー2、3指導法勉強会』
83	20	日	博物館室	有限会社アイディー・ブランド 国際平和シンポジウム	121	29	火	博物館室	博物館室	沖縄県産業振興公社 稼く企業連携支援事業 Session 沖縄 (第1回～第3回)
84	20	日	エントランスホール	沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 ワークショップ「紅型絵本バッグ作成」	122	29	火	美術館室	美術館室	中部興産株式会社 社内勉強会
85	22(火)～ 26(土)	子どもアトリエ	美術館室	美術館室	123	29	火	美術館室	美術館室	株式会社労働調査会/一般社団法人沖縄県労働基準協会 コミュニケーションスキル等向上コース
86	22(火)～ 26(土)	県民アトリエ	美術館室	美術館室	124	30	水	講堂	講堂	中華少年成長文化基金會 UN-SDGs Forum 2024
87	22	火	講堂	一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会 第19回環境衛生シンポジウム	125	30(水)～ 31(木)	講堂前 ホワイエ	講堂前 ホワイエ	博物館班 芭蕉布展	
88	22	火	博物館室	金城達也税理士事務所 TKC 経営支援セミナー	126	30	水	博物館室	博物館室	株式会社公文教育研究会 公文式の原点講座
89	22	火	博物館室	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 事業推進検討委員会	127	30	水	博物館室	博物館室	沖縄総合事務局総務部長 沖縄管内における資源循環経済に係る普及・啓発セミナー
90	22	火	美術館室	株式会社ルフト・メディカルケア お仕事説明会	128	30	水	博物館室	博物館室	フーベル大道セカンドセンター管理組合 2023年度通常総会
91	22	火	美術館室	沖縄県知事(沖縄県教育庁保健体育課) 令和6年度 防犯教室講習会	129	30	水	美術館室	美術館室	沖縄労働局職業安定課職業紹介係 令和6年第2回若年者地域連携協議会
92	22	火	美術館室	株式会社SUN 健康セミナー サンパール	130	30	水	美術館室	美術館室	株式会社プラスキャリア 労働環境課題改善セミナー
93	23	水	スタジオ	沖縄県高等学校国語教育研究会 令和6年度九州地区高等学校国語教育研究協議会 第2回会長・事務局長会議	131	30	水	美術館室	美術館室	第一三共(株) 痛みトータルケアを考える
94	23	水	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 ファニース映画上映テスト(FEC山城様、ただの様) ※おきみゅー誕生祭関連	132	31	木	講堂	講堂	一般社団法人沖縄県産業資源循環協会 令和6年度 沖縄県産業資源循環協会 安全大会
95	23(水)～ 25(金)	講堂	講堂	講堂	133	31	木	博物館室	博物館室	株式会社阪急交通社 沖縄支店 海外旅行説明会
96	23	水	博物館室	株式会社 Ridilover スタディツアー	134	31	木	美術館室	美術館室	株式会社おきぎん経済研究所 沖縄型産業中核人材育成事業「生産管理・品質管理による食品製造マネジメント人材育成プログラム」
97	23(水)～ 25(金)	博物館室	博物館室	博物館室	135	1(火)～ 31(木)	エントランスホール	エントランスホール	博物館班 エントランスホール展示「カマイサウルス化石レプリカ」	
98	23	水	博物館室	博物館班 三線調査会	136	1(火)～ 6(日)	エントランスホール	エントランスホール	博物館班 エントランス展『壁の時代—宮古島クバカ城跡・狩俣集落の発掘調査—』	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
137	1（火）～ 6（日）		美術館企画 ギャラリー1・2	美術館班『〇（マル）でも×（バツ）でもないもの！』～ 「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ 事前確認	141	12（土）～ 13（日）	エントランス ホール	沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 ワークシ ョップ	
138	1（火）～ 31（木）		博物館 企画展示室	博物館特別展 芭蕉布展	142	23（水）～ 31（木）	美術館企画 ギャラリー1・2	美術館班『〇（マル）でも×（バツ）でもないもの！』 ～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～	
139	1（火）～ 31（木）		博物館特別 展示室1・2	博物館特別展 芭蕉布展	143	29（火）～ 31（木）	エントランス ホール	美術館班 アートコンクール作品展示会	
140	8（火）～ 22（火）		美術館企画 ギャラリー1・2	沖縄県文化振興課／沖縄県文化振興会 第53回 沖縄県芸術文化祭					

## 【2024年11月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	スタジオ	園芸学会令和6年秋季大会実行委員会 園芸学会 令和6年秋季大会 小集会	33	8	金	スタジオ	ソニー生命保険 沖縄営業所 ソニー生命 代理 店セミナー
2	1	金	県民 アトリエ	第42回九州実験動物研究会総会・第44回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会合同沖縄大会 第12回実験動物科学シンポジウム開催準備および日本実験動物学会 令和6年度第1回学術委員会	34	8	金	講堂	沖縄生物教育研究会／第71回高校生による生物 科学展
3	1	金	講堂	第42回九州実験動物研究会総会・第44回日本実験動物技術者協会 九州支部研究発表会合同沖縄大会 第12回実験動物科学シンポジウム	35	8	金	博物館 座室	沖縄生物教育研究会／第71回高校生による生物 科学展
4	1	金	博物館 講座室	沖縄県高等学校英語教育研究会 令和6年度第34 回九州地区高等学校英語スピーチコンテスト	36	8	金	博物館 実習室	博物館班 博物館 民具体験①
5	1	金	博物館 実習室	沖縄県高等学校英語教育研究会 令和6年度第34 回九州地区高等学校英語スピーチコンテスト	37	8	金	美術館 講座室	株式会社逆襲 逆襲の備かり脳改造講座
6	1	金	美術館 講座室	沖縄県高等学校英語教育研究会 令和6年度第34 回九州地区高等学校英語スピーチコンテスト	38	9	土	スタジオ	朗読 ROOM れでいえんと 朗読会
7	2	土	スタジオ	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 会 議	39	9	土	講堂	園ピアノ教室 合同ピアノ発表会
8	2	土	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゆー誕生祭 準備	40	9	土	博物館 講座室	博物館学芸員講座「芭蕉とシマの生活誌」
9	2	土	講堂	沖縄尚学高等学校・附属中学校 学校説明会	41	9	土	博物館 講座室	沖縄県ママさんバレーボール連盟 九州大会に向 けての全体会（勉強会）
10	2	土	講堂	園芸学会令和6年秋季大会実行委員会 園芸学会 令和6年秋季大会 小集会	42	9	土	博物館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会 会員向けセミ ナー
11	2	土	博物館 講座室	園芸学会令和6年秋季大会実行委員会 園芸学会 令和6年秋季大会 小集会	43	9	土	博物 実習室	博物館学芸員講座「芭蕉とシマの生活誌」第2会場
12	2	土	美術館 講座室	園芸学会令和6年秋季大会実行委員会 園芸学会 令和6年秋季大会 小集会	44	9	土	美術館 講座室	株式会社シーヴィ・コンベンション 第33回初級ソ フトウェア品質技術者資格認定試験
13	3	日	こども アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゆー誕生祭 控室	45	9	土	美術館 講座室	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社／株式 会社日本旅行 2024 Mitek Seminar in Okinawa
14	3	日	県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゆー誕生祭 控室	46	10	日	こども アトリエ	美術館班「土で絵の具をつくるって???」～お きなわの土で絵を描いてみよう!～
15	3	日	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゆー誕生祭 「映画「ファンーズ」舞台挨拶付き上映会」	47	10	日	スタジオ	沖縄伝統舞踊保存会 保持者・後継者公演 報恩 に舞い踊ろ
16	3	日	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゆー誕生祭「琉球列島地質・化 石展」プレイベント 砂粒と小さな生き物たちの化石をのぞいてみよう!	48	10	日	県民 アトリエ	美術館班「土で絵の具をつくるって???」～お きなわの土で絵を描いてみよう!～
17	3	日	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゆー誕生祭 控室	49	10	日	講堂	沖縄伝統舞踊保存会 保持者・後継者公演 報恩 に舞い踊ろ
18	4	月	講堂	文教楽器株式会社 文教ミュージックサロン（ヤマハ大人の音楽 レッスン）発表会 ピアノ・エレキギター・バイオリン・フルート	50	10	日	博物 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 出 張・海洋文化講座 南太平洋の多様な樹布文化
19	4	月	博物館 講座室	基本的な人権・信教の自由を守る沖縄県民の会 自由 と民主主義を守るシンポジウム	51	10	日	博物 実習室	博物館班 芭蕉から糸をつくろう うーうみ体験
20	6	水	スタジオ	株式会社ASファクトリー Ravissa アップデートセ ミナー	52	10	日	美術 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟
21	6	水	県民 アトリエ	アフラック沖縄支社 アフラック研修会	53	10	日	美術 講座室	琉球岳風会 指導者研修及びひび吟和会
22	6	水	県民 アトリエ	株式会社ジェフブラン 磁気活水による健康につ いて	54	10	日	美術 講座室	日本と沖縄の未来を考える有識者の会 日本と沖 縄の未来を考えるセミナー
23	6	水	講堂	光文堂コミュニケーションズ株式会社 地産地消 シンポジウム	55	12	火	博物 講座室	ディスカバリーライフ株式会社/ライフデザイン アバンセ 株式会社WOLFEセミナー
24	6	水	博物 実習室	博物館班 自主民具体験（大里南小学校）	56	12	火	博物 実習室	博物館班 高嶺小学校 自主民具体験
25	6	水	美術 講座室	株式会社マイファーム 地産地消県民会議幹事会 及び市町村担当者連絡会議	57	12	火	博物 実習室	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 就業開拓担当者会議
26	6	水	美術 講座室	株式会社リウコム リウコムセミナー	58	12	火	美術 講座室	株式会社おきぎん経済研究所 内閣府「令和6年度沖縄型産業中核人材育成 事業生産管理・品質管理による食品製造マネジメント人材育成プログラム」
27	7（木）～ 9（土）		こども アトリエ	沖縄県文化振興課／沖縄県文化振興会 沖縄県芸 術文化祭 作品返却・保管	59	13	水	こども アトリエ	有限会社ギカン文化施設研究所 認知症予防に役 立つ沖縄わらべうたと古語学習
28	7（木）～ 9（土）		県民 アトリエ	沖縄県文化振興課／沖縄県文化振興会 沖縄県芸 術文化祭 作品返却・保管	60	13	水	県民 アトリエ	有限会社ギカン文化施設研究所 認知症予防に役 立つ沖縄わらべうたと古語学習
29	7	木	講堂	有限会社アイディー・ブランド 子どもの権利シン ポジウム2024	61	13	水	講堂	公益社団法人日本地すべり学会九州支部沖縄会 2024 年度（一社）日本地すべり学会九州支部技術検討会
30	7	木	博物 講座室	株式会社おきぎん経済研究所 内閣府「令和6年度沖縄型産業中核人材育成 事業生産管理・品質管理による食品製造マネジメント人材育成プロジェクト」	62	13	水	博物 講座室	博物館班 博物館 民具体験②
31	7	木	博物 実習室	有限会社アイディー・ブランド 子どもの権利シン ポジウム2024	63	13	水	博物 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド（東京 学芸大学付属国際中等教育学校）
32	7	木	美術 講座室	一般社団法人沖縄県ホテル協会 令和6年度 沖縄型産業中核 人材育成事業 「ホテルChief DX Officer 育成プログラム」 DAY7	64	13	水	博物 実習室	博物館班 博物館 民具体験②

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
65	13	水	美術館室	美術館班 美術館ボランティア研修会	103	22	金	博物館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 南大東中学校 オリエンテーション
66	13	水	美術館室	沖盛塾 勉強会	104	22	金	博物館室	沖縄県立学校事務長会 沖縄県立学校事務長会第2回研究協議会
67	14	木	博物館室	株式会社 文芸社 出版相談会	105	22	金	博物館室	関西発達臨床研究所 障害のある子どもたちのための発達支援研修会会場準備
68	14	木	博物館室	沖縄県知事(沖縄県生活福祉部保護・援護課) 中国残留邦人交流会	106	22	金	博物館室	博物館班 博物館 民具体験③
69	14	木	美術館室	株式会社プラスキャリア ワークライフバランス推進リーダー養成講座	107	22	金	美術館室	特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター 沖縄県平和祈念資料館主催 「平和への思い(ウイ)」発信・交流・継承事業 ディスカッション
70	15	金	講堂	ジブラルタン生命保険株式会社 経営者が知っておくべき「がん」のすべて講演会	108	22	金	美術館室	株式会社プラスキャリア ワークライフバランス推進リーダー養成講座
71	15	金	博物館室	株式会社 文芸社 出版相談会	109	23	土	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト おきみゆーモノづくり部
72	15	金	美術館室	株式会社 Sun 健康セミナー サンパール	110	23	土	スタジオ	沖縄チュチェ思想研究会 美ら島講座
73	16	土	スタジオ	社会福祉法人 千草福祉会 お仕事説明会	111	23	土	スタジオ	ヨルベ アーティストの労働環境を整えるための実践講座
74	16	土	講堂	博物館文化講座「喜如嘉の芭蕉布」	112	23	土	県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト おきみゆーモノづくり部
75	16	土	講堂	独立行政法人那覇市立病院 令和6年度 市民フォーラム「ロボット手術」について	113	23	土	講堂	株式会社読売・日本テレビ文化センター 市民健康公開講座(膝や股関節が痛い！「あきらめない治療の話〜手術からリハビリまで〜) )
76	16	土	博物館室	沖縄県士業ネットワーク協議会 くらしと事業「よろず相談会」	114	23	土	講堂	北海道医療大学薬学部同窓会沖縄支部 北海道医療大学 医療薬学セミナー(公開講座)
77	16	土	博物館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 琉球菓子イベント	115	23	土	博物館室	関西発達臨床研究所 障がいのある子どもたちのための発達支援研修セミナー
78	16	土	美術館室	おはなしの木のおもとのためのおはなし会	116	23	土	博物館室	関西発達臨床研究所 障がいのある子どもたちのための発達支援研修セミナーの分科会
79	17	日	スタジオ	佐野 周作 さのギター教室発表会	117	23	土	博物館室	北海道医療大学薬学部同窓会沖縄支部 北海道医療大学 高校生進路相談会
80	17	日	講堂	株式会社海燕社/博物館班 映画の上映会	118	23	土	美術館室	沖縄芸能協会 古典芸能の実演家団体「沖縄芸能協会」の研修ツアー特別展「芭蕉布展」の鑑賞と染織研究家、奥那覇一子氏の講座
81	17	日	講堂	PFAS 汚染から市民の生命を守る連絡会 PFAS 問題 国連への訴えとドイツ視察報告会	119	23	土	美術館室	特定非営利活動法人沖縄県沖縄語普及協議会 大学生の沖縄語の取り組み
82	17	日	博物館室	高次脳リハビリテーション講習会実行委員会 高次脳リハビリテーション講習会(沖縄県高次脳機能障害支援普及事業)	120	24	日	こどもアトリエ	(有)アルソア花 健康セミナー
83	17	日	博物館室	しまくとぅばプロジェクト しまくとぅば鼎談	121	24	日	スタジオ	新日本婦人の会沖縄県本部・定例県本部委員会
84	17	日	博物館室	垣添 陽子 zoom セミナー	122	24	日	県民アトリエ	(有)アルソア花 健康セミナー
85	17	日	美術館室	日本音響学会 音楽音響研究会 日本音響学会音楽音響研究会 11月研究会	123	24	日	講堂	株式会社人事の味方 コードアドベンチャージャパンツアー2024〜逆襲のドッカーン博士〜沖縄公演
86	19	火	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 豊崎小学校オリエンテーション	124	24	日	博物館室	関西発達臨床研究所 障がいのある子どもたちのための発達支援研修セミナー
87	19	火	講堂	沖縄県環境部環境保全課 赤土等流出防止交流会	125	24	日	博物館室	一般財団法人全国福利厚生共済会 会員向けセミナー
88	19	火	博物館室	沖縄県エステティック・スパ協同組合 TSPスタンダード講座	126	24	日	美術館室	ひとつなぎ株式会社 アロマと星で心身を整える〜花と月が導く癒しのひととき〜
89	19	火	美術館室	株式会社 Sun 健康セミナー サンパール	127	24	日	美術館室	一般社団法人 命と人権のライト ハンセン病から学ぶ人権問題
90	19	火	美術館室	全日本年金者組合那覇支部 全日本年金者組合那覇支部第23回定期大会	128	26	火	こどもアトリエ	前里 大樹 JAIFA ソニー沖縄研修会
91	20	水	講堂	株式会社 okicom 建設業 DX 最前線〜沖縄県内の成功事例に学ぶ未来の現場改革〜	129	26	火	スタジオ	前里 大樹 JAIFA ソニー沖縄研修会
92	20	水	講堂	那覇市チャーターがんじゅう課 令和6年度 介護予防講演会 〜フレイル対策について〜	130	26	火	県民アトリエ	前里 大樹 JAIFA ソニー沖縄研修会
93	20	水	博物館室	株式会社アドスタッフ博報堂 沖縄県海外事務所長によるインバウンドビジネスセミナー&相談会	131	26	火	講堂	前里 大樹 JAIFA ソニー沖縄研修会
94	20	水	美術館室	株式会社 SRJ「冬季教材展示会・教育セミナー」	132	26	火	博物館室	支出負担行為担当官 沖縄労働局総務部長「在職者交流会(2年目対象)」
95	21	木	講堂	ステラヘルスジャパン株式会社 健康経営シンポジウム沖縄	133	26	火	博物館室	沖縄労働局 総務部 雇用環境・均等室 令和6年度 沖縄県地方労働審議会
96	21	木	博物館室	博物館班 芭蕉布展関連企画 出前授業	134	26	火	博物館室	前里 大樹 JAIFA ソニー沖縄研修会
97	21	木	博物館室	フォーデイズ株式会社 核酸スタジオ	135	26	火	美術館室	株式会社ルフト・メディカルケア 沖縄支店 お仕事説明会
98	21	木	博物館室	第一三共株式会社 沖縄県内分泌代謝・血液・膠原病研究会	136	26	火	美術館室	株式会社プラスキャリア 労働環境課題改善セミナー
99	21	木	博物館室	博物館班 とよみ小学校 自主民具体験	137	27	水	こどもアトリエ	有限会社ギガン文化施設研究所 認知症予防に役立つ沖縄わらべうたと古語学習
100	21	木	美術館室	第一三共株式会社 沖縄県内分泌代謝・血液・膠原病研究会	138	27	水	県民アトリエ	有限会社ギガン文化施設研究所 認知症予防に役立つ沖縄わらべうたと古語学習
101	22	金	スタジオ	沖縄県立特別支援学校事務長会 令和6年度第2回県立特別支援学校事務長会研究協議会	139	27	水	講堂	那覇市チャーターがんじゅう課 令和6年度 認知症市民講演会
102	22	金	講堂	zeoplance 合同会社 沖縄県若年妊産婦支援促進事業シンポジウム 10代の妊娠・出産・子育て VOL.3 〜若年妊産婦の新しい居場所モデルと人材育成〜	140	27	水	博物館室	沖縄労働局 総務部 雇用環境・均等室 令和6年度 沖縄県地方労働審議会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
141	27	水	博物館 講座室	沖縄県薬物乱用防止協議会 沖縄県薬物乱用防止協議会表彰式・寄付金贈呈式及び沖縄県薬物乱用防止指導員講習会	153	29	金	美術館 講座室	沖縄ロジテム株式会社 KGL 輸送協会秋季総会事務局 KGL (キリングループロジスティクス) 輸送協力会 秋季総会
142	27	水	博物館 実習室	博物館班 三線調査会	154	30	土	スタジオ	公益財団法人沖縄科学技術振興センター 大学発起業家養成プログラム第3回セミナー
143	27	水	美術館 講座室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	155	30	土	講堂	公益財団法人沖縄県メモリアル整備協会 30周年記念シンポジウム 沖縄のお墓ー過去・現在・未来ー
144	28	木	講堂	株式会社ブレイン 生産者と事業者が織り成す共創の道〜県産食材で拓く沖縄観光の可能性〜	156	30	土	博物館 講座室	NPO 法人沖縄がん教育サポートセンター 令和6年度がん教育外部講師育成研修会
145	28	木	博物館 講座室	ベネシユ沖縄浦添 足管理健康協会 足から健康ウォーキング	157	30	土	博物館 実習室	光文堂コミュニケーション株式会社 (公財) 沖縄県メモリアル整備協会 30周年シンポジウム 沖縄のお墓ー過去・現在・未来 (LIVE配信)
146	28	木	博物館 実習室	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 シルバー連合事業定期指導	158	30	土	美術館 講座室	美術館班 教育普及展キュレータートーク (玉城)
147	28	木	美術館 講座室	株式会社エネルギーラボ沖縄 Change For The Blue 体験会	159	1 (金) ~ 30 (土)	エントランスホール	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」	
148	29	金	講堂	日本放送協会 NHK インタビュー取材 (高山朝光・元知事公室長)	160	1 (金) ~ 17 (日)	エントランスホール	美術館班 アートコンクール作品展示会 (会期: 10/29~11/17)	
149	29	金	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション (今帰仁小学校)	161	1 (金) ~ 30 (土)	博物館特別展示室 1・2	博物館特別展 芭蕉布展	
150	29	金	博物館 講座室	積水ホームテクノ株式会社 CPD 講習会 失敗だらけの介護施設・高齢者住宅 施工事例 100 のポイント	162	1 (金) ~ 30 (土)	博物館 企画展示室	博物館特別展 芭蕉布展	
151	29	金	博物館 講座室	第一三共株式会社 第32回沖縄心血管エコー図研究会	163	1 (金) ~ 30 (土)	美術館 企画ギャラリー 1・2	美術館班 ○でも×でもないもの! 「ARTと私」 正解のない「教育普及」展	
152	29	金	美術館 講座室	ナノセルロース・ナノカーボン複合材料専門委員会	164	19 (火) ~ 30 (土)	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城パネル展	

【2024年12月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	日	講堂	一般社団法人沖縄県発明協会 第41回未来の科学の夢絵画展(沖縄県内展)表彰式	25	6	金	美術館 講座室	美術館班 沖縄盲学校ワークショップ
2	1	日	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 大人のための植物講座	26	6	金	美術館 講座室	公益財団法人沖縄県産業振興公社 Session 沖縄2024~自社の強みを生み出すための講座~
3	1	日	博物館 講座室	表千家同門会沖縄県支部 教授者連絡会議	27	7	土	県民アトリエ	社会福祉法人 千草福祉会 お仕事説明会
4	3 (火) ~ 13 (金)		こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 産廃保管場所 (12/2~12/13)	28	7	土	講堂	幼保連携型認定こども園美ら夢
5	3 (火) ~ 8 (日)		スタジオ	沖縄県立真和志高等学校長 第19回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展	29	7	土	講堂	株式会社海燕社 海燕社の小さな映画界 2024/12月会 「むんじゆる笠-瀬底島の笠」
6	3	火	博物館 講座室	ディスカバリー・ライフ/ライフデザイン アヴァンセ 株式会社 WOLFE セミナー	30	7	土	講堂	那覇市 PTA 連合会家庭教育委員会 那覇市 PTA 連合会 家庭教育研修会
7	3	火	博物館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会 新規事業説明会	31	7	土	博物館 講座室	博物館学芸員講座「久米島町下地原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る」
8	3	火	博物館 実習室	博物館班 自主民具体験 (潮平小学校)	32	7	土	博物館 講座室	公益財団法人上廣倫理財団 道徳教育推進コンソーシアム教員研修会
9	3	火	美術館 講座室	全日本年金者組合沖縄県本部 第36回定期大会	33	7	土	博物館 実習室	博物館学芸員講座「久米島町下地原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る」第2回会場
10	3	火	美術館 講座室	アクサ生命保険株式会社 沖縄サテライトオフィス 代理店様向け介護セミナー	34	7	土	博物館 実習室	幼保連携型認定こども園美ら夢
11	4	水	県民アトリエ	弁護士法人琉球スフィア 採用強化・カスタマーハラスメントセミナー 控室	35	7	土	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
12	4	水	博物館 講座室	弁護士法人琉球スフィア 採用強化・カスタマーハラスメントセミナー	36	7	土	美術館 講座室	大鏡建設株式会社 資産運用を考えるために知っておきたい贈与と保険のハナシ♪
13	4	水	博物館 実習室	博物館班 自主民具体験 (玉城小学校)	37	8	日	博物館 実習室	公益財団法人国際人材育成機構 R6年度 アイムジャパン安全衛生大会
14	4	水	美術館 講座室	株式会社 Ridilover Ridilover スタディツアー	38	8	日	博物館 実習室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 沖縄の交通問題を考える
15	4	水	美術館 講座室	株式会社 大京アステージ 沖縄支店 大京アステージ 安全大会	39	8	日	美術館 講座室	琉球岳岳会 指導者研修及びひ吟和会
16	5 (木) ~ 6 (金)		県民アトリエ	グラクソ・スミスクライン株式会社 会議	40	10	火	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 舞台機構修繕業務
17	5	木	講堂	日本医科大学 整形外科学/日本コンベンションサービス株式会社 第2回膝関節学会 第2回膝関節学会	41	10	火	講堂	合同会社AWJ 恩田稔先生講演会
18	5	木	講堂	幼保連携型認定こども園美ら夢 幼保連携型認定こども園美ら夢 荷物搬入	42	10	火	博物館 講座室	支出負担行為担当官 沖縄労働局総務部長 在職者交流会 (1年目)
19	5	木	博物館 講座室	株式会社阪急交通社 沖縄支店 海外旅行説明会	43	10	火	美術館 講座室	株式会社プラスキャリア 労働環境課題改善セミナー
20	5	木	博物館 実習室	日本コンベンションサービス株式会社 第2回日本膝関節学会の理事会および新理事会の開催	44	11 (水) ~ 12 (木)		講堂	株式会社シーエー・アドバンス CA Advance Tech Award 2024
21	5	木	美術館 講座室	大鏡建設株式会社 大鏡 CRE 「企業と不動産」セミナー-VOL.20	45	11	水	博物館 講座室	博物館班 与那国町比川小学校 (見学サポート)
22	6	金	講堂	幼保連携型認定こども園美ら夢 幼保連携型認定こども園美ら夢	46	11	水	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 利用サービス打合せ (OMM)
23	6	金	博物館 講座室	株式会社東京リーガルマインド那覇支社 那覇市主催子育て支援研修オリエンテーション	47	11	水	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド (久部良小学校)
24	6	金	博物館 講座室	株式会社東京リーガルマインド那覇支社 メンタルサポートセミナー	48	11	水	博物館 講座室	(株) シーエー・アドバンス Mpower ADVANCE

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
49	11	水	博物館 講座室	明治安田生命保険相互会社 沖縄支社 今からでも間に合うお金と老後セミナー	87	19	木	美術館 講座室	株式会社イオス コーポレーション E.O.S ビジネスセミナー
50	11	水	博物館 実習室	有限会社ギガン文化施設研究所 認知症予防に役立つ沖縄わらべうた古謡学習	88	20	金	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ事前準備
51	11	水	美術館 講座室	美術館班 美術館ボランティア研修会	89	20	金	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ事前準備
52	12	木	スタジオ	有限会社テレマーケティング沖縄 事業報告会	90	20	金	博物館 講座室	一般社団法人日本公園緑地協会 首里城復元に向けた技術検討委員会 彩色・彫刻/木材・瓦類合同ワーキング会議
53	12	木	博物館 講座室	株式会社阪急交通社 沖縄支社 海外旅行説明会	91	20	金	博物館 講座室	株式会社インプレス デジタルカメラマガジン編集部 写真はプリントだ! Road to 2024
54	12	木	美術館 講座室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	92	20	金	博物館 実習室	美術館班 沖縄県立那覇みらい支援学校・控室
55	12	木	美術館 講座室	株式会社人事の味方 ヒトコト会(県内人事勉強・交流会)	93	20	金	美術館 講座室	一般社団法人日本公園緑地協会 首里城復元に向けた技術検討委員会 彩色・彫刻/木材・瓦類合同ワーキング会議(記者ブルーフィング)
56	13	金	博物館 講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 令和6年度「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー(那覇)」	94	21	土	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ「センター用ストローで作る光と影を愉しむヒンメリ」
57	13	金	博物館 講座室	株式会社レキサス 沖縄県 DX2024	95	21	土	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ「干支紅型でお正月支度」
58	13	金	博物館 実習室	株式会社オトリラ 生涯健康セミナー	96	21	土	スタジオ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 12月 定例理事会
59	13	金	美術館 講座室	株式会社逆襲 逆襲の備かり脳改造講座	97	21	土	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ「ヒンメリ用ストローで作る光と影を愉しむヒンメリ」
60	13	金	美術館 講座室	第一三共株式会社 MEET THE EXPERT	98	21	土	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA ART ワークショップ「干支紅型でお正月支度」
61	14	土	スタジオ	株式会社ガクアル 神戸電子専門学校 沖縄説明会	99	21	土	講堂	名桜大学 名桜大学開学30周年・公立大学法人化15周年記念シンポジウム
62	14	土	県民アトリエ	沖縄ウォーターセーフティ協会 沖縄ウォーターセーフティ協会理事会	100	21	土	講堂	大度室内楽団 大度室内楽団ファイナルコンサート
63	14	土	講堂	博物館文化講座「琉球の茶文化について」	101	21	土	博物館 講座室	株式会社インプレス デジタルカメラマガジン編集部 写真はプリントだ! Road to 2024
64	14	土	講堂	Ecole de musique de SOLEIL SARAH & NAGISA PIANO RECITAL	102	21	土	博物館 実習室	博物館班 沖縄県文化財課会議
65	14	土	講堂	ぬえみち 岡崎好秀講演会	103	21	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人 沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語ありんくりん
66	14	土	博物館 講座室	家庭倫理の会那覇市 感謝報告会	104	22	日	こどもアトリエ	美術館班 「ミクストメディアで作品制作!」〜ミクストメディアって、いったい何?〜
67	14	土	博物館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会	105	22	日	スタジオ	株式会社ミロス・インスティテュート 2024年クラブプロソ総会
68	14	土	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ふれあい体験WS 勉強会	106	22	日	県民アトリエ	美術館班 「ミクストメディアで作品制作!」〜ミクストメディアって、いったい何?〜
69	14	土	博物館 実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会	107	22	日	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所定期講演会「美ら島再発見〜動物、植物、琉球文化から迫る〜」
70	14	土	美術館 講座室	美術館班 「赤ちゃん和妈妈、パパのためのギャラリーツアー」控室	108	22	日	博物館 講座室	難病性疾患政策研究事業研究班/社会医療法人雪の聖母会 市民公開講座「神経難病を克服する」〜近位筋優位運動感覚ニューロパチーの現状と今後〜
71	15	日	スタジオ	株式会社ガクアル 大阪外語専門学校 沖縄説明会	109	22	日	博物館 講座室	ヒューマンライフ少額短期保険㈱ 2024年度秋季コンプライアンス研修会
72	15	日	講堂	美術館班 目の見えない白鳥さんアートを見に行く 上映	110	22	日	博物館 講座室	医療法人正清会 未来にカフェアレ
73	15	日	博物館 講座室	ライオンズマンション新都心管理組合 ライオンズマンション新都心 通常総会	111	22	日	博物館 実習室	学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校 沖縄出張学校説明会
74	15	日	博物館 講座室	遷延性意識障害者家族の会九州「つくし」 遷延性意識障害者家族の会九州「つくし」講演会 in 沖縄	112	24	火	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ふれあい体験室準備
75	15	日	博物館 実習室	NPO 法人キャリアエイト キャリアラボ	113	25	水	講堂	有限会社ギガン文化施設研究所 王府オモロとウミを聴く
76	15	日	美術館 講座室	美術館班 目の見えない白鳥さんアートを見に行く 上映	114	25	水	博物館 講座室	株式会社エマエンタープライズ 沖縄県商工労働部企業立地推進課
77	15	日	美術館 講座室	高井 梢 ビュアの4つの確信	115	25	水	博物館 実習室	博物館班 三線調査会
78	17	火	スタジオ	学校法人 尚学院 尚学院国際ビジネスアカデミー 沖縄県幼稚園等養成校関係者連絡協議会	116	25	水	美術館 講座室	博物館班 ボランティア連絡会
79	17	火	博物館 実習室	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 事業推進検討委員会	117	26	木	博物館 実習室	國吉 功 健康セミナー
80	17	火	美術館 講座室	沖縄県交促進事業協同組合 通常総会	118	26	木	美術館 講座室	株式会社逆襲 逆襲の備かり脳改造講座
81	18	水	こどもアトリエ	(有)ギガン文化と認知症予防研究所 わらべうたと古詩に学ぶ	119	27	金	博物館 講座室	株式会社エスエフシー 県内トップ4社の人事がホンネを語る 金融業界「内定ダッシュ」就活セミナー
82	18	水	県民アトリエ	(有)ギガン文化と認知症予防研究所 わらべうたと古詩に学ぶ	120	27	金	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート ピアノ調律
83	18	水	博物館 講座室	株式会社阪急交通社 沖縄支店 富士登山説明会	121	28	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人 沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語読みきかせ
84	19	木	スタジオ	株式会社ウィング ビビットアルファ体験会	122	28	土	美術館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会
85	19	木	博物館 講座室	一般社団法人日本公園緑地協会 首里城復元に向けた技術検討委員会 ワーキング会議(事前設営)	123	1(日)~22(日)		エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城パネル展
86	19	木	博物館 実習室	博物館班 博物館 民具体験⑥	124	1(日)~8(日)		エントランスホール	博物館班 エントランスホール展示「カマイサウルス化石レプリカ」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
125	1(日)～6(金)		博物館特別展示室 1・2	博物館特別展 芭蕉布展(会期:10/1～12/1)	128	10(火)～28(土)		博物館特別展示室 1・2	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちのキ・セ・キ(会期:12/20～2/23)
126	1(日)～6(金)		博物館企画展示室	博物館特別展 芭蕉布展(会期:10/1～12/1)	129	10(火)～28(土)		博物館企画展示室	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちのキ・セ・キ(会期:12/20～2/23)
127	1(日)～28(土)		美術館企画ギャラリー 1・2	美術班 ○でも×でもないもの!「ARTと私」正解のない「教育普及」展(会期:11/1～1/13)					

【2025年1月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	4	土	美術館講義室	特定非営利活動法人沖縄県沖縄語普及協議会 昔しなつかし沖縄の暮らし	34	13	月	博物館講義室	多重自由度関連研究室 クラウドファンディング研究報告会
2	5	日	講義室	糸数 貴子 映画プリズン・サークル上映と著者を囲む会	35	13	月	美術館講義室	一般財団法人全国福利厚生共済会 福利厚生の説明
3	5	日	美術館講義室	しまくとぅばプロジェクト 宮里朝光が語る 琉球の文化(上映とシンポジウム)	36	15	水	講義室	株式会社公文教育研究会 沖縄ランチ OneTeam セミ
4	7	火	スタジオ	株式会社フォーチュンインターナショナル(株)フォーチュンインターナショナル 健康セミナー	37	15(水)～16(木)		博物館講義室	株式会社 Sun 健康セミナー サンペール
5	7	火	講義室	ディスカバリー・ライフ 株式会社 WOLFE 研修セミナー	38	15	水	博物館実習室	沖縄広告株式会社 令和6年度 心のバリアフリー推進事業「理解促進講座」
6	7	火	博物館講義室	大城 達彦 株式会社 WOLFE セミナー	39	15	水	美術館講義室	ピーライフ・アシスト合同会社 MIATR 3期
7	7	火	博物館実習室	博物館班 津覇小学校 自主民具体験	40	16	木	講義室	丸正印刷株式会社 沖縄らしいまちなみ風景づくりシンポジウム
8	8	水	博物館講義室	株式会社 Embellir Japan AIの進化と最前線成功事例から学ぶビジネス戦略	41	16	木	博物館講義室	沖縄県知事(沖縄県地域包括ケア推進課) 令和6年度沖縄県生活支援体制整備事業 応用研修
9	8	水	博物館講義室	株式会社南西環境研究所 令和6年度第2回沿道景観全体計画検討委員会	42	16	木	博物館実習室	博物館班 博物館 民具体験⑨
10	8	水	博物館講義室	一般社団法人全国福利厚生共済会	43	16	木	美術館講義室	ピーライフ・アシスト合同会社 MIATR 3期
11	8	水	博物館実習室	博物館班 博物館 民具体験⑦	44	17	金	講義室	美術館班 見学サポート(松島小学校)
12	8	水	美術館講義室	沖盛塾 勉強会	45	17	金	講義室	沖縄・琉球弧の声を届ける会 沖縄・琉球弧の声を届ける会「第6回シンポジウム サンゴ礁保全カーミージ」
13	9	木	講義室	沖縄県経営品質研究会 ビジネスモデルと組織づくりの両立	46	17	金	博物館講義室	支出負担行為担当官 沖縄労働局総務部長 第10回就職氷河期世代活躍支援おきなわプラットフォーム
14	9	木	博物館実習室	博物館班 自主民具体験(銘苅小学校)	47	17	金	博物館講義室	沖縄生物教育研究会 第48回宿泊研修会
15	9	木	美術館講義室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	48	17	金	博物館講義室	一般財団法人全国福利厚生共済会 新規事業説明会
16	10	金	講義室	丸正印刷株式会社 1/16(木)に実施するシンポジウムの設営・配信テスト	49	17	金	博物館実習室	博物館班 博物館 民具体験⑩
17	10	金	講義室	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和6年度 JA共済全国小・中学校書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会 表裏式 準備	50	17	金	美術館講義室	株式会社逆襲 逆襲の備かり脳改造講座
18	10	金	博物館講義室	美術館班 美術鑑賞プログラム(松島小学校3年)	51	18(土)～19(日)		こどもアトリエ	アトリエ ウィンズ セルマー-SAX 展示試奏会
19	10	金	博物館実習室	博物館班 博物館 民具体験⑧	52	18(土)～19(日)		スタジオ	アトリエ ウィンズ セルマー-SAX 展示試奏会
20	11	土	こどもアトリエ	美術館班 「マーブル模様絵の具あそび」～絵の具を使った造形活動の展開～	53	18(土)～19(日)		県民アトリエ	アトリエ ウィンズ セルマー-SAX 展示試奏会
21	11	土	県民アトリエ	美術館班 「マーブル模様絵の具あそび」～絵の具を使った造形活動の展開～	54	18	土	講義室	博物館文化講座「貝と化石に魅せられた一人のうちなーんちゅのはなし」
22	11	土	講義室	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和6年度 JA共済全国小・中学校書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会 表彰式	55	18	土	講義室	那覇市チャーターがんじゅつ課 令和6年度那覇市認知症ケア従事者研修会
23	11	土	講義室	沖縄国際大学 宮城 弘樹 墓から探る琉球王国時代の歴史と文化 ～葬儀制資料研究の最前線～	56	18(土)～19(日)		博物館講義室	Aky 合同会社 BHK ATR9
24	11	土	博物館講義室	一般財団法人全国福利厚生共済会	57	18	土	博物館実習室	博物館文化講座「貝と化石に魅せられた一人のうちなーんちゅのはなし」 第2会場
25	11	土	博物館実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会 会員向けセミナー	58	18	土	美術館講義室	株式会社チャイナゲートウェイ 令和6年度 中国教育交流研修 事前研修
26	11	土	美術館講義室	ヒーリングサロンミーシャ 元々琉球のお話会	59	19	日	講義室	沖縄県立博物館友の会 主催 文化講演会
27	12	日	こどもアトリエ	沖縄チュチェ思想研究会 チュチェ思想セミナー	60	19	日	博物館実習室	Eアファン 非分解プラセンタ 勉強会
28	12	日	講義室	一般社団法人全国福利厚生共済会 ビジネストレーニング	61	19	日	美術館講義室	株式会社チャイナゲートウェイ 検索 令和6年度 中国教育交流研修 事前研修
29	12	日	博物館講義室	沖縄チュチェ思想研究会 チュチェ思想セミナー	62	21(火)～22(水)		スタジオ	Hur Young Hur Young Solo Exhibition <Listen to my>
30	12	日	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	63	21	火	講義室	公益社団法人沖縄県建築士会 沖縄県主催「空き家対策シンポジウム」
31	12	日	美術館講義室	美術館班 教育普及展キュレータートーク(玉城)予備日	64	21	火	博物館実習室	一般社団法人プロモーションうま 令和6年度沖縄県移住定住促進事業 第3回中間支援研修
32	12	日	美術館講義室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	65	21	火	博物館実習室	アルペン労働組合 沖縄支部職場委員集会
33	13	月	講義室	株式会社 WCJ 水素勉強会	66	21(火)～22(水)		美術館講義室	株式会社はせみや ATR 2

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
67	22	水	こどもアトリエ	一般社団法人士業コンサルタンツ協会 沖縄例会	96	26	日	講 堂	一般社団法人 沖縄県歯科医師会 訪問歯科診療推進フォーラム
68	22	水	県民アトリエ	一般社団法人士業コンサルタンツ協会 沖縄例会	97	26	日	博 物 館 講 座 室	しまくとぅばプロジェクト 戦後80年フォーラム 平和を発信する沖縄写真巡回展「否戦の心と人間愛の眼 阿波根昌鴻写真展」に向けて
69	22	水	講 堂	星槎国際高等学校 那覇学習センター 2024年度星槎国際高等学校 プロジェクト学習発表会	98	26	日	美 術 館 講 座 室	GIKAN'S クリニック 生活習慣病の対策とは
70	22	水	講 堂	株式会社沖縄ダイケン 創立記念講演会	99	26	日	美 術 館 講 座 室	ヒューマンライフ少額短期保険(株) ビジネスセミナーin 沖縄
71	22	水	博 物 館 講 座 室	株式会社 阪急交通社 沖縄支店 富士登山説明会	100	28	火	講 堂	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 なはみまもりフォーラム 2025
72	22	水	博 物 館 講 座 室	ジブラルタ生命保険株式会社 2025年キックオフセミナー	101	28	火	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団オリエンテーション(恩納小学校)
73	22	水	博 物 館 講 座 室	博物館班 見学サポート(沖縄盲学校)	102	28	火	美 術 館 講 座 室	公益社団法人北那覇法人会 1・2月決算法人説明会
74	22	水	博 物 館 講 座 室	三線保存調査会/博物館班 三線調査会	103	28	火	美 術 館 講 座 室	株式会社東京リーガルマインド 金融機関連携会議
75	22	水	美 術 館 講 座 室	一般社団法人グッジョブおきなわプロジェクト R6 キャリア・ビルドアップ事業 第3回検証委員会 準備	104	29	水	スタジオ	LVS 株式会社 アカデミー面接
76	23	木	スタジオ	株式会社ウイング ビビットアルファ体験会	105	29	水	講 堂	沖縄県保健医協会 サイレントフォーラム無料上映会 試写会
77	23	木	講 堂	沖縄県産業教育振興会 令和6年度 産業教育講演会	106	29	水	博 物 館 講 座 室	沖縄広告株式会社 令和6年度心のバリアフリー推進事業「理解促進講座」
78	23	木	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 さつき小学校 オリエンテーション	107	29	水	博 物 館 講 座 室	一般社団法人全国福利厚生共済会
79	23	木	博 物 館 講 座 室	株式会社西部技研 社内研修	108	29	水	博 物 館 講 座 室	博物館班 ボランティア連絡会
80	23	木	博 物 館 講 座 室	株式会社オリトラ/株式会社ライフアカデミー 健康セミナー	109	29	水	美 術 館 講 座 室	九州・沖縄地区病害虫防除所職員連絡協議会 通常総会および研修会
81	23	木	美 術 館 講 座 室	一般社団法人グッジョブおきなわプロジェクト R6 キャリア・ビルドアップ事業 第3回検証委員会	110	29	水	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月イベント 「書初めパフォーマンス&作品展示」
82	23	木	美 術 館 講 座 室	学校法人 尚学院国際ビジネスアカデミー小学校 教員養成コース 卒業研究発表会リハーサル	111	30	木	講 堂	琉大土木同窓会 講演会
83	24	金	スタジオ	沖縄掃除に学ぶ会 日本を美しくする会沖縄ブロック総会	112	30	木	博 物 館 講 座 室	九州・沖縄地区病害虫防除所職員連絡協議会 通常総会および研修会
84	24	金	講 堂	有限会社アイディー・ブランド 官民連携認知症バリアフリーシンポジウム	113	30	木	博 物 館 講 座 室	支出負担行為担当官 沖縄労働局総務部長 「令和6年度第2回公的職業訓練効果検証ワーキンググループ」の開催
85	24	金	講 堂	沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース音楽 沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース第23回発表会リハーサル	114	30	木	美 術 館 講 座 室	学校法人 尚学院国際ビジネスアカデミー 小学校教員養成コース 卒業研究発表会
86	24	金	博 物 館 講 座 室	株式会社西部技研 社内研修	115	31	金	講 堂	丸正印刷株式会社 価格転嫁・所得向上機運醸成シンポジウム
87	24	金	美 術 館 講 座 室	沖縄総合事務局総務部長(沖縄総合事務局経済産業部エネルギー・燃料課) 令和6年度沖縄地域エネルギー・温暖化対策推進シンポジウム	116	31	金	博 物 館 講 座 室	りゅうぎんビジネスクラブ りゅうぎんビジネス英語強化スクール
88	25	土	こどもアトリエ	沖縄千葉県人会の発会式	117	31	金	博 物 館 講 座 室	一般財団法人全国福利厚生共済会
89	25	土	スタジオ	株式会社 AS ファクトリー You 海×EstheProLabo	118	31	金	博 物 館 講 座 室	博物館班 内間小学校 自主民具体験
90	25	土	講 堂	沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース 第24回音楽専攻コース発表会	119	31	金	美 術 館 講 座 室	沖縄県知事(沖縄県企画部統計課) 令和6年 全国家計構造調査 市町村事後報告会
91	25	土	博 物 館 講 座 室	生活協同組合コープおきなわ共済センター ぐらしの見直し講演会	120	31	金	美 術 館 講 座 室	沖縄県労連 沖縄県労連 2025 春闘討論集会
92	25	土	博 物 館 講 座 室	ACSILs 「北カタルーニャ、待ち望まれた言語」上映会	121	4(土)～31(金)		博物館特別展示室 1・2	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちのキ・セ・キ(会期:12/20～2/23)
93	25	土	美 術 館 講 座 室	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会	122	4(土)～31(金)		博物館企画展示室	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちのキ・セ・キ(会期:12/20～2/23)
94	26	日	こどもアトリエ	福岡医健・スポーツ専門学校 出張オープンキャンパス	123	4(土)～31(金)		美術館企画ギャラリー 1・2	美術館班 ○でも×でもないもの!「ARTと私」正解のない「教育普及」展(会期:11/1～1/13)
95	26	日	スタジオ	株式会社 AS ファクトリー エステプロラボ商品セミナー					

【2025年2月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	土	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 解体梵鐘 vol.14 「意外と知らない万国津梁の鐘の歴史～正殿前から博物館行きになるまで～」 第3会場	8	1	土	美 術 館 講 座 室	中村 千秋 LIFE WAVE 事業説明会
2	1	土	講 堂	社会福祉法人 ベリー福祉会 ベリー保育園 令和6年度 生活発表会	9	1(土)～2(日)		エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 「万国津梁の鐘」ゆらゆらオーナメント/「万国津梁の鐘」ぬり絵で銘文リレー
3	1	土	講 堂	沖縄いのちの電話「自殺予防公開講演会」	10	2	日	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月イベント琉球芸能公演(控室)
4	1	土	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 解体梵鐘 vol.14 「意外と知らない万国津梁の鐘の歴史～正殿前から博物館行きになるまで～」	11	2	日	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民家でブクブク茶を楽しもう♪ 雨天時および控室
5	1	土	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 解体梵鐘 vol.14 「意外と知らない万国津梁の鐘の歴史～正殿前から博物館行きになるまで～」 第2会場	12	2	日	美 術 館 講 座 室	株式会社玄米酵素 食と健康セミナー
6	1	土	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 解体梵鐘 vol.14 「意外と知らない万国津梁の鐘の歴史～正殿前から博物館行きになるまで～」 第2会場	13	2	日	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 「琉球古典音楽」
7	1	土	美 術 館 講 座 室	一般財団法人全国福利厚生共済会	14	4	火	講 堂	尚学院国際ビジネスアカデミー 卒業制作発表会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
15	4	火	博物館 講座室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	53	12	水	博物館 講義室	県総務班 博物館・美術館協議会
16	4	火	美術館 講座室	ジブラルタ生命保険株式会社 沖繩支社 自衛隊担当者研修	54	12	水	美術館 講座室	美術館班 美術館ボランティア研修会
17	4	火	美術館 講座室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 生活支援サポーター養成講座	55	12	水	美術館 講座室	沖盛塾 勉強会
18	4	火	美術館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会	56	13	木	講堂	公益財団法人沖繩県建設技術センター 第17回公共事業における景観形成実務研修会
19	5(水)～6(木)		博物館 講座室	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖繩支部 2025年度4月入校 専門課程 一般入校試験	57	13	木	講堂	株式会社 JTB 栄光学園高等学校・修学旅行・平和学習
20	5	水	博物館 講義室	博物館班 大道小学校 自主民具体験	58	13	木	博物館 講義室	博物館班 文化庁対応
21	5	水	博物館 講義室	公益社団法人沖繩県シルバー人材センター連合 シルバー人材センター連絡会議	59	13	木	博物館 講義室	一般財団法人沖繩美ら島財団 博物館展示ガイド勉強会
22	5	水	美術館 講座室	経営を学ぶ有志の会 藤原直哉氏勉強会	60	13	木	博物館 講義室	弁護士法人琉球スフィア 不動産会社向け 賃貸管理セミナー
23	6	木	講堂	公益社団法人沖繩県建築士会 令和6年度 技術者育成事業	61	13	木	美術館 講座室	美術館班 浦添工業高校1年生オリエンテーション
24	6	木	美術館 講座室	株式会社地域科学研究所 MIA 固定資産評価全国実務研修会	62	13	木	美術館 講座室	沖繩デジタルアーカイブ協議会 リスタート・ミーティング～みんなのアーカイブ～
25	7	金	こどもアトリエ	株式会社琉球新聞開発 女性就職総合支援事業 フローアアップ研修	63	14	金	講堂	戦略農業振興支援ネットワーク合同会社 サトウキビ等甘味資源作物の利用拡大シンポジウムin那覇（砂糖からSAFまで、ケージの鳥が背負うサステナブルな未来）
26	7	金	講堂	一般財団法人沖繩 IT イノベーション戦略センター データ利活用事例発表会	65	14	金	博物館 講義室	公益社団法人北那覇法人会 消費税計算と申告のしかた説明会
27	7	金	博物館 講義室	株式会社 SRJ SRJ・エデュケーションネットワーク 共催 教育セミナー・通年教材展示会	66	14	金	博物館 講義室	りゅうぎんビジネスクラブ りゅうぎんビジネス英語強化スクール
28	7	金	博物館 講義室	りゅうぎんビジネスクラブ りゅうぎんビジネス英語強化スクール	67	14	金	博物館 講義室	全国賃貸管理ビジネス協会沖繩支部 商品導入の成功事例発表
29	7	金	博物館 講義室	沖繩心血管インターベンション研究会 第135回 沖繩心血管インターベンション研究会	68	14	金	博物館 講義室	博物館班 博物館 民具体験⑬
30	7	金	博物館 講義室	沖繩県立学校事務長会 第7回役員会	69	14	金	美術館 講義室	沖繩県企画部・統計課 令和6年度家計調査調査員合同指導会
31	7	金	美術館 講座室	一般財団法人沖繩県私学教育振興会 2024年度研修事業「私学経営研修会」	70	14	金	美術館 講座室	戦略農業振興支援ネットワーク合同会社 サトウキビの未来とジェット燃料 SAF ミーティング
32	8	土	講堂	合同会社 BIO はじまりの栄養学	71	15	土	講堂	博物館文化講座「資料が語る『大濱信泉』の生涯」
33	8	土	博物館 講座室	博物館学芸員講座「近代における首里王府文書の移動」	72	15	土	講堂	沖繩県ユネスコ協会 沖繩県ユネスコ協会 SDG s バスポートシンポジウム
34	8	土	美術館 講座室	大きななプロジェクト 自主映画「むすひ135」上映会	73	15	土	博物館 講座室	沖繩県高等学校教頭・副校長会 第5回研究協議会
35	9	日	スタジオ	中江 園子 Sue チームミーティング	74	15	土	博物館 講座室	沖繩県ママさんバレーボール連盟 大和ハウスリアルティ マネジメント杯九州沖繩ママさんバレーボール代表者会
36	9	日	県民アトリエ	九州医療スポーツ専門学校 沖繩出張学校説明会	75	15	土	博物館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会 会員むけセミナー
37	9	日	講堂	株式会社バスコ 沖繩戦 VR で平和を考える	76	15	土	博物館 講義室	博物館班 【体験学習教室】化石発掘体験
38	9	日	講堂	沖繩県保険医協会 サイレントフォール無料上映会	77	15	土	美術館 講座室	美術館班 「岸本一夫オキナワデザイン」キュレータートーク+学芸員講座（玉城）
39	9	日	博物館 講座室	株式会社アースウィングミュージック 美ら my color	78	15	土	美術館 講座室	ミナス沖繩 骨格とリンパ
40	9	日	博物館 講義室	株式会社アースウィングミュージック 美ら my color	79	15	土	美術館 講座室	有限会社ギガン文化施設研究所 健康でリッチな生活を送るコツ
41	9	日	美術館 講座室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	80	16	日	講堂	世界自然遺産推進共同企業体 シンポジウム 2025
42	11(火)～16(日)		スタジオ	公立大学法人沖繩県立芸術大学 美術工芸学部 大学院造形芸術研究科 第36回 卒業・修了作品展	81	16	日	博物館 講座室	Hyper-ストレート工法協会 Hyper-ストレート工法/Hyper-ストレート NT 工法 新規・更新講習会
43	11	火	講堂	尚学院国際ビジネスアカデミーこども未来本科幼保コース 卒業制作発表会	82	16	日	博物館 講座室	株式会社 国際旅行社 冬季女愛キャンプ 事後研修
44	11	火	博物館 講座室	ディスカバリー・ライフ 株式会社 WOLFE 研修セミナー	83	16	日	博物館 講義室	世界自然遺産推進共同企業体 シンポジウム 2025「希少種を学ぶ切り絵ワークショップ」
45	11	火	博物館 講義室	沖繩県障がい者 IT サポートセンター 視覚障がい者のための iPhone 活用セミナー	84	16	日	美術館 講座室	沖繩の教育をよくする会 テレビ「生命の光」上映会
46	11	火	美術館 講座室	譜 沖繩短誌型の最前線	85	16	日	美術館 講座室	ピティナ沖繩支部 ピティナピアノコンペティション説明会
47	12	水	こどもアトリエ	沖繩県高等学校文化連盟 九州高文連第2回専門委員長会議	86	18	火	博物館 講座室	一般財団法人沖繩美ら島財団 博物館展示ガイド勉強会
48	12	水	県民アトリエ	沖繩県高等学校文化連盟 九州高文連第2回専門委員長会議	87	18	火	博物館 講座室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
49	12	水	県民アトリエ	公立大学法人沖繩県立芸術大学美術工芸学部 大学院造形芸術研究科 第36回 卒業・修了作品展	88	18	火	博物館 講座室	PEMF（パルス電磁場）療法の勉強会
50	12	水	講堂	尚学院国際ビジネスアカデミーこども未来本科幼保コース 卒業制作発表会	89	18	火	博物館 講義室	公益社団法人沖繩県シルバー人材センター連合 事業推進検討委員会
51	12	水	博物館 講座室	内閣府沖繩総合事務局 総務部長 令和6年度第3回下請法基礎講習・フリーランス法説明会	90	18	火	美術館 講座室	一般財団法人沖繩美ら島財団 オリエンテーション（真壁小学校）
52	12	水	博物館 講座室	税理士法人トータルサポート・ハビネス 税理士法人トータルサポート・ハビネス	91	18	火	美術館 講座室	美術館班 石川高校鑑賞プログラム

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)
92	18	火	美術館室	協同組合日本イラストレーション協会 フリーランス法 対応・クリエイターと取引先のための契約実務セミナー	120	23	日	講 堂	学校法人アミークス国際学園 YHEAH! ANICUS Club～6th Annual Joint Exhibiton～
93	19	水	県民アトリエ	電子情報通信学会 光エレクトロニクス研究会 幹事会	121	23	日	博 物 館 室	NPO 法人 統合医療と健康を考える会 がん治療 の鍵 講演会
94	19	水	博 物 館 室	株式会社 阪急交通社 沖縄支店 富士登山説明会	122	23	日	美 術 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 賀教仁然さん講演会解 体梵鐘 Vol.14「尚泰久王のウメイへの鐘を鳴らして～」
95	19	水	博 物 館 室	公益社団法人沖縄県建築士会 中大規模木造設計 セミナー (実現のための手法編)	123	24	月	講 堂	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平洋 国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベント
96	19	水	博 物 館 室	博物館班 民具体験	124	24	月	博 物 館 室	株式会社タイムスアドネクスト 女性のためのマ ナーセミナー
97	19	水	美 術 館 室	特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク 休 眠預金助成事業 成果報告会	125	24	月	博 物 館 室	天泉ミネラル倶楽部 天泉ミネラル倶楽部
98	19	水	美 術 館 室	國吉 功 健康セミナー	126	24	月	美 術 館 室	公益財団法人日本国際問題研究所 2024 年度第 5 回資料検討会
99	19(水)～ 20(木)		美 術 館 室	株式会社 Sun 健康セミナー サンパール	127	26	水	こ ども アトリエ	株式会社ウィング ビビットアルファ体験会
100	20	木	講 堂	独立行政法人那覇市立病院 市民フォーラム「テー マ 就労支援」について	128	26	水	スタジオ	沖楽会トーンチャイムサークル 沖楽会トーンチ ヤイムサークル発表会
101	20(木)～ 21(金)		博 物 館 室	一般社団法人電子情報通信学会 光ファイバ応用 技術研究会/古河電気工業株式会社 2月研究会	129	26	水	県 民 アトリエ	株式会社ウィング ビビットアルファ体験会
102	20	木	博 物 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 見学サポート (大 平特別支援学校)	130	26(水)～ 28(金)		講 堂	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平洋 国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベントとして
103	20	木	美 術 館 室	株式会社 OTS サービス経営研究所 沖縄観光キャリ アカレッジ 修了性合同フォローアップ研修 2025	131	26	水	講 堂	沖縄首里女性活躍ロータリー衛生クラブ 3月8日 国際女性デーリハーサル
104	21	金	スタジオ	ソニー生命保険株式会社 九州営業部拠点長会議	132	26	水	博 物 館 室	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平洋 国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベントとして
105	21	金	講 堂	沖縄 JTB 株式会社 沖縄県「令和 6 年度琉球歴史文 化コンテンツ創出支援事業」事業者報告会・講演会	133	26	水	博 物 館 室	株式会社 阪急交通社 海外旅行説明会
106	21	金	博 物 館 室	株式会社トレード学院 FX 自動売買コース	134	26	水	博 物 館 室	博物館班 三線調査会
107	21	金	博 物 館 室	沖縄県立博物館友の会 主催学芸員講座「南城市 津波古の信仰とその背景」	135	26	水	美 術 館 室	SKK 住宅施工店会/エスケー化研株式会社 2024 年度下期住宅安全大会及び職長研修会
108	21	金	博 物 館 室	蒸暑地域湿害研究センター 建物の湿害 第 2 回 公開研究会	136	26	水	美 術 館 室	一般財団法人全国福利厚生共済会
109	21	金	美 術 館 室	白 美希 WAK 事業説明会 人生 100 年時代を ワクワクに (前半)	137	27	木	講 堂	那覇市 PTA 連合会 那覇市 PTA 連合会 第 2 回常 置委員会
110	21	金	美 術 館 室	りゅうぎんビジネススクラブリゅうぎんビジネス 英語強化スクール	138	27	木	博 物 館 室	特定非営利活動法人アンビシャス 世界希少・難治 性疾患の日 2025
111	21	金	美 術 館 室	白 美希 WAK 事業説明会 人生 100 年時代を ワクワクに (後半)	139	27(木)～ 28(金)		博 物 館 室	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平洋 国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベント控え室
112	22	土	県 民 アトリエ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 2 月 定例 理事会	140	28	金	こ ども アトリエ	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平 洋国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベント
113	22	土	県 民 アトリエ	ひめゆり平和祈念財団 2024 年度 第 2 回理事会	141	28	金	県 民 アトリエ	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平 洋国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベント
114	22	土	講 堂	博物館班 琉球王国文化遺産集積・再興事業報告会	142	28	金	博 物 館 室	国立大学法人琉球大学 大学発 SDGs 社会課題解決 型科学技術プロジェクト創出支援事業 成果報告会
115	22	土	博 物 館 室	沖縄民俗学会 2 月例会 (卒業論文発表会)	143	28	金	美 術 館 室	りゅうぎんビジネススクラブリゅうぎんビジネス 英語強化スクール
116	22	土	博 物 館 室	博物館班 琉球古刺繍をやってみよう	144	28	金	美 術 館 室	第一三共衛 高齢者の疾患とてんかんを考えるセ ミナー
117	22	土	美 術 館 室	久米島研究会 (2024 年度第 4 回研究発表会)	145	1(土)～ 23(日)		博 物 館 室	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちの キ・セ・キ (会期: 12/20～2/23)
118	23	日	こ ども アトリエ	福岡健康・スポーツ専門学校 出張オープンキャン パス	146	1(土)～ 23(日)		博 物 館 特別 展示室 1・2	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちの キ・セ・キ (会期: 12/20～2/23)
119	23	日	スタジオ	しまくとぅばプロジェクト 宮里朝光が語る 琉 球の文化	147	9(日)～ 18(火)		美 術 館 企画 ギャラリー 1・2	公立大学法人沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 大 学院造形芸術研究科 第 36 回 卒業・修了作品展

## 【2025年3月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)
1	1	土	こ ども アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般社団法人キュリオス沖縄 サ ンゴ礁ウィーク 2025 登録イベント「サンゴのテリトリーウォーズ」	9	1	土	美 術 館 室	沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語普及講座「首里城 と周辺の名道の話」
2	1	土	スタジオ	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平洋 国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベント控え室	10	2	日	こ ども アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般社団法人キュリオス沖縄 サ ンゴ礁ウィーク 2025 登録イベント「一緒にチャレンジ! 海ごみを世界でたった1つの宝物に変えてみよう!
3	1	土	県 民 アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般社団法人キュリオス沖縄 サンゴ礁ウィーク 2025 登録イベント「サンゴ礁研究最前線!」	11	2	日	スタジオ	株式会社ガクアル 神戸電子専門学校 沖縄説明 会
4	1	土	講 堂	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平 洋国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベント	12	2	日	県 民 アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般社団法人キュリオス沖縄 サ ンゴ礁ウィーク 2025 登録イベント「一緒にチャレンジ! 海ごみを世界でたった1つの宝物に変えてみよう!
5	1	土	講 堂	国立大学法人琉球大学上原キャンパス事務部 沖 縄県アレルギー研究会の開催のため	13	2	日	講 堂	国立大学法人琉球大学上原キャンパス事務部 沖縄県アレルギー疾患対策研修市民公開講座
6	1(土)～ 2(日)		博 物 館 室	統計数理研究所 Workshop on Functional Inference and Machine Intelligence (FIMI) 2025	14	4～(火) 7(金)		こ ども アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ハローキティ展 作業員控室
7	1	土	博 物 館 室	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖縄環太平洋 国際フィルムフェスティバルの上映・映画関連イベントとして	15	4	火	スタジオ	美術館班 見学サポート (仲泊小学校)
8	1	土	美 術 館 室	NPO 法人 Cinema at Sea 第二回 Cinema at Sea - 沖 縄環太平洋国際映画祭・映画関連イベント	16	4	火	スタジオ	㈱沖縄教弘 日教弘沖縄支店参事・所長会議

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
17	4~(火) 7(金)		県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ハローキティ展 作業員控室	55	9	日	美術 講座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 2024年度第10 回理事会
18	4	火	講 堂	ステップワールド日本語学院 ステップワールド 日本語学院 卒業式	56	9	日	美術 講座 室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
19	4	火	博物 講座 館 室	博物館班 三線の日関連催事	57	11	火	スタ ジ オ	一般社団法人那覇市身体障がい者福祉協会 第23 回那覇市障がい者美術展
20	4	火	博物 講座 館 室	三線組合/博物館班 三線の日関連催事	58	11	火	県民 アト リエ	ひめゆり平和祈念財団 2024年度臨時評議員会開 催
21	4	火	美術 講座 館 室	株式会社トレード学院 FX 自動売買コース	59	11	火	講 堂	県総務班 県総務ピアノ調律
22	4	火	美術 講座 館 室	㈱琉球補聴器 耳の日万博	60	11	火	博物 講座 館 室	一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター 小規模 事業者等デジタル化支援事業 デジタル化促進セミナー
23	4	火	エン トラン スホ ール	博物館班 「さんしんの日」演奏会	61	11	火	美術 講座 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 博物館展示ガイド 勉強会
24	5	水	講 堂	日本瘦身医学協会ハイサイセミナー事業部 第 20回沖縄ハイサイセミナー	62	11	火	美術 講座 館 室	フォーディス株式会社 核酸スタジオ
25	5	水	博物 講座 館 室	株式会社公文教育研究会 沖縄ランチ 公文教 育研究会 研究大会凱旋講座	63	11(火)~ 23(日)		エン トラン スホ ール	美術館班 世界児童画展
26	5	水	博物 講座 館 室	㈱琉球補聴器 みみの日万博	64	12	水	こど もア トリエ	保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーデ ィション撮影会&ライフプラン相談会
27	5	水	美術 講座 館 室	㈱琉球補聴器 みみの日万博	65	12	水	スタ ジ オ	一般社団法人那覇市身体障がい者福祉協会 第23 回那覇市障がい者美術展
28	6	木	スタ ジ オ	一般社団法人プロモーションうるま 令和6年度 沖縄県移住定住促進事業 第2回移住受入協議会	66	12	水	県民 アト リエ	保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーデ ィション撮影会&ライフプラン相談会
29	6	木	講 堂	学校法人南星学園 サイ・テク・カレッジ那覇 令 和6年度 学習発表会	67	12	水	博物 講座 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 秋 田県遺族連合会
30	6	木	講 堂	国公開連労働組合連合会 国公連合 2025 沖縄集 会	68	12	水	博物 講座 館 室	沖縄リゾートワーケーション推進協議会 令和6年 度沖縄リゾートワーケーション推進協議会幹事会
31	6(木)~ 7(金)		博物 講座 館 室	一般社団法人 情報処理学会 セキュリティ心理学とト ラスト研究会 情報処理学会セキュリティ心理学と トラスト研究会および電子情報通信学会情報通信シ ステムセキュリティ研究専門委員会合同研究発表会	69	12	水	美術 講座 館 室	美術館班 美術館ボランティア研修
32	6	木	博物 講座 館 室	株式会社ケー・シー・エス沖縄支社 基幹パスシ ステムの構築に向けた勉強会	70	12	水	美術 講座 館 室	沖盛塾 勉強会
33	6(木)~ 7(金)		美術 講座 館 室	一般社団法人 情報処理学会 セキュリティ心理学とト ラスト研究会 情報処理学会セキュリティ心理学と トラスト研究会および電子情報通信学会情報通信シ ステムセキュリティ研究専門委員会合同研究発表会	71	12	水	美術 講座 館 室	株式会社トレード学院 個人投資家育成コース
34	7	金	スタ ジ オ	(公財)暴力団追放沖縄県民会議 令和6年度臨 時評議会	72	13(木)~ 16(日)		スタ ジ オ	一般社団法人那覇市身体障がい者福祉協会 第23 回那覇市障がい者美術展
35	7	金	講 堂	演歌の花舞台~人生歌あり~実行委員会 ROK ラジオ沖縄番組 「演歌の花舞台」	73	13	木	美術 講座 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アルバイト面接会 場
36	7	金	講 堂	合同会社i サボグループ 鴨頭嘉人講演会 in 沖 縄	74	13	木	美術 講座 館 室	博物館班 博物館ガイドボランティア
37	7	金	博物 講座 館 室	株式会社シーエアドバンス 24 卒 DO 大会議	75	13	木	美術 講座 館 室	大光電機株式会社 DAIKO ライティングセミナー
38	8(土)~ 9(日)		こど もア トリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般社団法人キュ リオス沖縄 サンゴ礁ウォーク 2025 登録イベ ント「ビーチで宝探し! 海岸の漂着物展」	76	13	木	美術 講座 館 室	株式会社 阪急交通社 沖縄支店 富士登山説明会
39	8	土	県民 アト リエ	沖縄県女性活躍ロータリー衛生クラブ 国際女性 デーOKINAWA2025 つながる力、広がる未来 地 域を支える一歩を一緒にリハーサル	77	14	金	講 堂	株式会社沖縄映像センター 沖縄県子弟留學生 研修報告会
40	8	土	講 堂	博物館班 令和6年度 琉球王国文化遺産集積・再 興事業報告会	78	14	金	博物 講座 館 室	支出負担行為担当官 沖縄労働局総務部長 令 和6年度 第2回沖縄地方労働審議会
41	8	土	講 堂	博物館班 博物館文化講座「地下壕でつながる 沖縄戦」	79	14	金	博物 講座 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーシ ョン(コザ小学校)
42	8	土	講 堂	沖縄県女性活躍ロータリー衛生クラブ 国際女性 デーOKINAWA 2025 つながる力、広がる未来 地 域を支える一歩を一緒に	80	14	金	美術 講座 館 室	沖縄県知事/沖縄県教育庁保健体育課「性に関 する指導の手引き」作業部会
43	8	土	博物 講座 館 室	公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 公益社 団法人 日本建築家協会沖縄支部 第28回卒業 設計作品選奨	81	14	金	美術 講座 館 室	ケセラセラ 「限りある人生は静けさの中で」Y OU K A 初出版記念講演会
44	8	土	博物 講座 館 室	一般財団法人全国福利厚生共済会	82	15	土	県民 アト リエ	スマイルスイッチプラス ビビットアルファ説 明会
45	8	土	博物 講座 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ピアノ調律	83	15	土	講 堂	株式会社おきなわ edu 第6回おきなわ e d u 祭 り
46	8	土	博物 講座 館 室	一般財団法人全国福利厚生共済会	84	15	土	博物 講座 館 室	株式会社トレード学院 FX 自動売買コース
47	8	土	美術 講座 館 室	公益社団法人日本コンクリート工学会 JCI ひび 割れ指針の概要紹介および沖縄県のコンクリ ート事情に関する話題提供と意見交換会	85	15	土	美術 講座 館 室	沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語普及講座「 沖縄語のしくみ」
48	9	日	スタ ジ オ	ミキワールド	86	15	土	美術 講座 館 室	GIKANS クリニック/リッチウェイライフジャ パン(株) 食事と健康の話
49	9	日	県民 アト リエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般社団法人 キュリオス沖縄 小さな探究者たちの発表会~ 美ら浜で見つけた宝物から広がる学びの世界~	87	15	土	美術 講座 館 室	株式会社玄米酵素 レベルアップ研修会
50	9	日	講 堂	沖縄県眼科医会 第154回沖縄眼科集談会	88	16	日	こど もア トリエ	福岡医健・スポーツ専門学校 出張オープン キャンパス
51	9	日	講 堂	一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 沖縄県地方部会 市民公開講座「耳鼻咽喉科月 間」講演会	89	16	日	県民 アト リエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般社団法人 キュリオス沖縄 サンゴ礁ウォーク 2025 登 録イベント「ギョバダラ?おかげがとれるサン ゴの海?」
52	9	日	博物 講座 館 室	博物館班 令和6年度 在外琉球王国文化財調 査研究事業 報告会	90	16	日	講 堂	ビティナ那覇ミュージアムステーション ビ ティナ・ピアノステップ那覇春季地区
53	9	日	博物 講座 館 室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 沖縄県地方部会 市民公開講座「耳鼻咽喉科月 間」講演会	91	16	日	博物 講座 館 室	一般社団法人那覇市身体障がい者福祉協会 第 23回(令和6年度)那覇市障がい者美術展 表 彰式
54	9	日	博物 講座 館 室	九州医療スポーツ専門学校 沖縄現地入学試験	92	16	日	博物 講座 館 室	株式会社うなあ沖縄 令和6年度 男性のチカラ 向上応援事業

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)
93	16	日	美術館 講座室	株式会社ガクアル 韓国語 体験レッスン (大阪 外語専門学校)	121	22	土	美術館 講座室	日本新聞労働組合連合 新聞労連 第55回 JTC 若手記者研修会
94	16	日	美術館 講座室	株式会社うなふ沖繩 令和6年度 男性のチカラ 向上応援事業イベント	122	23	日	スタジオ	株式会社Eアファン 非分解プラセンタ 勉強会
95	18	火	県民アトリエ	DAYS Studio こども写真館	123	23	日	講堂	音楽教室びあのお / 上原 明美 第19回ピアノ発表会
96	18	火	講堂	株式会社三菱総合研究所 第1回 沖縄交通リ・デザイン県民シンポジウム	124	23	日	博物館 講座室	日本新聞労働組合連合 新聞労連 第55回若手記者研修会
97	18	火	博物館 講座室	一般財団法人沖繩美ら島財団 博物館展示ガイド勉強会	125	23	日	博物館 実習室	株式会社ハーブスクエア ミネラルは何故執拗なのか
98	18	火	博物館 講座室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	126	23	日	美術館 講座室	日本遺伝看護学会 がん看護臨床と遺伝 日本遺伝看護学会
99	18	火	博物館 講座室	一般財団法人全国福利厚生共済会	127	23	日	美術館 講座室	唐沢 祐香 正しい長期投資の軸を学ぶ
100	18	火	博物館 実習室	県総務班 意見交換会	128	25	火	博物館 講座室	博物館班 東京大学デジタルアーカイブ記者会見
101	18	火	美術館 講座室	沖繩 JTB 株式会社 令和6年度第3回プロ野球キャンプ受入市町村意見交換会	129	25	火	博物館 実習室	株式会社オリトラ 健康セミナー
102	19	水	スタジオ	天泉ミネラル倶楽部	130	25	火	美術館 講座室	株式会社南西環境研究所 令和6年度 第3回 沿道景観全体計画検討委員会
103	19	水	博物館 講座室	株式会社公文教育研究会 ビジョン講座	131	26	水	博物館 実習室	一般財団法人沖繩美ら島財団 ふれあいワークショップ準備
104	19	水	博物館 講座室	株式会社イオス コーポレーション EOS ビジネスセミナー	132	26	水	博物館 実習室	博物館班 三線調査会
105	19	水	博物館 実習室	一般財団法人沖繩美ら島財団 ふれあいワークショップ準備	133	28	金	講堂	ジブラルタ生命保険株式会社 代理店向けガン保険セミナー
106	19(水)～20(木)		美術館 講座室	株式会社 Sun 健康セミナー サンパール	134	28	金	博物館 講座室	株式会社トレード学院 FX 自動売買コース
107	20	木	こどもアトリエ	一般財団法人絵本未来創造機構沖繩支部 えほんみらい出版記念講演会 託児室	135	29	土	スタジオ	ダイアナうちま ビューティースポット
108	20(木)～23(日)		県民アトリエ	株式会社ダイアナ Okinawa Branch 櫛ダイアナ 3D ボディアナライザー体験会	136	29	土	講堂	一般社団法人沖繩新華僑華人総会 第三回国際青少年中国語スピーチ大会
109	20	木	講堂	メイン高等学院 令和6年度 メイン高等学院卒業式	137	29	土	博物館 講座室	平和朗読・首里 平和朗読・首里 春の朗読会
110	20	木	博物館 講座室	首里城公園友の会 文化講演会	138	29	土	博物館 実習室	小田原 のどか 美術に関わる脱中心の実践・報告・2025
111	20	木	美術館 講座室	株式会社ダイアナ Okinawa Branch 櫛ダイアナ 商品講座	139	29	土	美術館 講座室	株式会社人事の味方 小中学生向けプログラミング体験会
112	20	木	美術館 講座室	一般財団法人絵本未来創造機構沖繩支部 えほんみらい出版記念講演会「絵本の読み聞かせ方・遊び方で子どものIQEQは高められる」	140	29	土	美術館 講座室	沖繩県沖繩語普及協議会 沖繩語普及講座「沖繩語わらべ歌」
113	21(金)～23(日)		こどもアトリエ	株式会社ダイアナ Okinawa Branch 櫛ダイアナ 3D ボディアナライザー体験会	141	30	日	博物館 講座室	ハンセン病問題ネットワーク沖繩 映画上映 ハンセン病ドキュメンタリーNAGASAKI〜かくりの証言〜
114	21	金	博物館 講座室	博物館班 琉球王国文化遺産集積・再興事業 ロゴマーク等発表イベント 準備	142	30	日	博物館 実習室	小田原 のどか 美術に関わる脱中心の実践・報告・2025
115	22	土	スタジオ	株式会社ガクアル 上田安子服飾専門学校 沖縄説明会	143	30	日	美術館 講座室	株式会社ガクアル 人間環境大学 沖縄説明会
116	22	土	講堂	博物館班 プーンミの島 沖繩県宮古諸島の芋麻文化 上映会	144	30	日	美術館 講座室	有限会社海気コーポレーション 医学博士による健康講座
117	22	土	博物館 講座室	博物館班 琉球王国文化遺産集積・再興事業 ロゴマーク等発表イベント	145	1(土)～6(木)		博物館 企画展示室	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちのキ・セ・キ (会期: 12/20～2/23)
118	22	土	博物館 講座室	日本オーラル・ヒストリー学会研究活動委員会 日本オーラル・ヒストリー学会研究交流会	146	1(土)～6(木)		博物館特別展示室 1・2	博物館企画展 琉球列島 地質・化石展 いのちのキ・セ・キ (会期: 12/20～2/23)
119	22	土	博物館 実習室	一般財団法人沖繩美ら島財団アートことはじめにじみを楽しむ「たらし込み」を体験しよう!	147	4(火)～30(日)		美術館企画ギャラリー 1・2	一般財団法人沖繩美ら島財団 Hello Kitty 展 - わたしが変わるとキティも変わる -
120	22	土	美術館 講座室	株式会社タイムスアドネクスト 初心者でも分かる! 資産形成の為のマネーセミナー	148	11(火)～30(日)		博物館特別展示室 2	博物館企画展 大嶺薫展 (会期: 3/25～5/11)

### 3 県民ギャラリー貸出件数

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
1	県民ギャラリー2	4月2日(火)～4月14日(日)	キャザリン・ジェーン・フィッシャー絵画個展 (癒しのアートの力)	キャザリン・ジェーン・フィッシャー絵画展実行委員会
2	県民ギャラリー1	4月9日(火)～4月12日(金)	勝田 友康 陶芸展	株式会社Villa-sun
3	県民ギャラリー1	4月25日(木)～4月28日(日)	2024年 公文大里仲間・那覇真嘉比書写教室成果発表会	公文大里仲間書写教室
4	県民ギャラリー1	5月1日(水)～5月5日(日)	BUDOG100展	株式会社DOKUTOKU460
5	県民ギャラリー2.3	5月1日(水)～5月6日(月)	「宇宙は一瞬たりとも君を見放したりはしない!」	水華 宇宙アート企画
6	県民ギャラリー1.2.3	5月14日(火)～5月19日(日)	第19回 龍賓・曹源書道会	龍賓・曹源書道会
7	県民ギャラリー1	5月23日(木)～5月26日(日)	池原 優子 展	池原 優子

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
8	県民ギャラリー1	5月30日(木)～6月2日(日)	変真展2024	変真展2024
9	県民ギャラリー2.3	6月11日(火)～6月12日(水)	補聴器 展示会	株式会社補聴器
10	県民ギャラリー1	6月12日(水)～6月16日(日)	第1回翁長写真倶楽部写真展	翁長写真教室
11	県民ギャラリー3	6月14日(金)～6月16日(日)	STAR JUMP Exhibition artwork by AKASHI	島袋 由希
12	県民ギャラリー1.2	6月18日(火)～6月23日(日)	二科沖縄支部展	二科沖縄支部
13	県民ギャラリー3	6月18日(火)～6月23日(日)	第1回GIKAN絵画展	(有)ギカン文化施設研究所
14	県民ギャラリー1.2	6月25日(火)～6月30日(日)	勇崎哲史門下生写真展2024	写真の歓び研究会有志の会
15	県民ギャラリー1.2.3	7月12日(金)～7月14日(日)	国際バカロレア IB DP Visual Arts 展覧会	沖縄尚学高等学校 文化科学コース
16	県民ギャラリー1	7月18日(木)～7月28日(日)	Born&Flow"Massa AquaFlow個展	Massa AquaFlow サポートチーム
17	県民ギャラリー2	7月17日(水)～7月21日(日)	児童相談所問題同意なき親子分離、子どもの声展示会IN沖縄	子どもの声実行委員会
18	県民ギャラリー2	7月23日(火)～7月28日(日)	第42回沖縄広告協会 広告賞展	沖縄広告協会
19	県民ギャラリー1.2.3	7月30日(火)～8月14日(日)	夏休み特別展示「さがそう！自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～」	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター
20	県民ギャラリー1.2.3	8月6日(火)～8月12日(月)	美術の先生がつくった作品展VOL. 11	美術の先生がつくった作品展実行委員会
21	県民ギャラリー1	8月14日(水)～8月18日(日)	BUDOG100展	株式会社DOKUTOKU460
22	県民ギャラリー1.2.3	8月20日(火)～8月25日(日)	第33回りゅうぎん紅型デザイン展	有限会社ジョイント企画
23	県民ギャラリー1.2	8月27日(火)～9月1日(日)	第31回 肢体不自由児・者の作品展	社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会
24	県民ギャラリー3	8月30日(金)～9月1日(日)	ユートピア展	沖縄国際大学現代アート研究部
25	県民ギャラリー1.2.3	9月5日(木)～9月8日(日)	龍樋書道展	龍樋硯心会
26	県民ギャラリー1	9月20日(金)～9月22日(日)	花と笑顔とまるがあるにこにこガール “光の花”展	niconicogirl
27	県民ギャラリー1	9月24日(水)～9月29日(土)	第7回太陽展「サンドール展(500体のドール)」	アトリエ太陽
28	県民ギャラリー2	9月29日(日)	ジョー山猫展 1 ～明日になったら明後日か明日になるんだよ～	早田 允
29	県民ギャラリー1.2.3	10月1日(火)～10月6日(日)	第34回 沖美連展	一般社団法人沖縄県美術家連盟
30	県民ギャラリー1.2.3	10月8日(火)～10月20日(日)	第53回 沖縄県芸術文化祭	公益財団法人 沖縄県文化振興会
31	県民ギャラリー1.2.3	10月24日(木)～10月27日(日)	第48回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門作品展	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部
32	県民ギャラリー1.2.3	10月29日(火)～11月3日(日)	沖縄県立開邦高等学校 芸術科 第15回美術コース作品展	沖縄県立開邦高等学校 美術科・美術コース
33	県民ギャラリー1.2	11月6日(水)～11月10日(日)	沖縄県真弓書道会 書道展	沖縄県真弓書道会
34	県民ギャラリー1.2	11月12日(水)～11月17日(日)	山城 艸翠 書展	山城 美智子
35	県民ギャラリー3	11月12日(火)～11月17日(日)	令和5人展	ART GROUP MAX
36	県民ギャラリー1.2.3	11月21日(木)～11月24日(日)	小さな絵本展 vol.15+アートブックカバー展 vol.8	My Piece Art project
37	県民ギャラリー1	11月26日(火)～12月1日(日)	ロゼの会 絵画展示会	ロゼの会
38	県民ギャラリー3	11月26日(火)～12月1日(日)	第39回日現会沖縄支部展	日現会 沖縄県支部
39	県民ギャラリー2	11月29日(金)～12月1日(日)	第41回未来の科学の夢絵画展(県内展)	一般社団法人沖縄県発明協会
40	県民ギャラリー1.2	12月3日(火)～12月8日(日)	第2回新城綾子絵画個展 火・水・風～仕切り直し～	新城 綾子
41	県民ギャラリー3	12月3日(火)～12月8日(日)	第19回真和志高校クリエイティブ アーツコース卒業記念展	沖縄県立真和志高等学校

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
43	県民ギャラリー2.3	12月10日(火)～12月15日(日)	Maeda Lacquer Project	Maeda Lacquer Project
44	県民ギャラリー1.2.3	12月17日(火)～12月22日(日)	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科第40回卒業作品展	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科
45	県民ギャラリー1.2.3	1月10日(金)～1月12日(日)	令和5年度 JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター 沖縄県コンクール展示会	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部
46	県民ギャラリー1.2	1月16日(木)～1月19日(日)	「沖縄子ども美術教室」 生徒作品展	沖縄子ども美術教室 アークエイド
47	県民ギャラリー3	1月17日(金)～1月19日(日)	atmosphere展	大學 恵理
48	県民ギャラリー1	1月21日(火)～1月22日(水)	Eun KwangHa International SoLo Exhibition	Eun.KwangHA
49	県民ギャラリー2	1月21日(火)～1月22日(水)	Ahn.Seonghye, The 20th International Solo Exhibition	Ahn.Seonghye
50	県民ギャラリー3	1月21日(火)～1月22日(水)	CHO ILHYUN International Solo Exhibition	CHO ILHYUN
51	県民ギャラリー1.2.3	1月23日(木)～1月26日(日)	第24回小禄高等学校 芸術教養コース発表会	沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース
52	県民ギャラリー3	1月28日(火)～1月31日(金)	社会人対象美術教室作品展2025	那覇造形美術学院
53	県民ギャラリー1.2	1月31日(金)～2月2日(日)	第55回沖縄県高美研 美術・工芸教育生徒作品展	沖縄県講と学校文化連盟
54	県民ギャラリー3	2月1日(土)～2月2日(日)	社会人対象美術教室作品展2025	那覇造形美術学院
55	県民ギャラリー1	2月4日(火)～2月9日(日)	第34回 沖美連 新春展	一般社団法人沖縄県美術家連盟
56	県民ギャラリー2	2月4日(火)～2月9日(日)	canteen	並里 幸太
57	県民ギャラリー3	2月6日(木)～2月9日(日)	2025 生命展	アジア新美術交流会
58	県民ギャラリー1.2.3	2月11日(火)～2月16日(日)	第36回卒業・修了作品展	公立学校法人沖縄県立芸術大学
59	県民ギャラリー1.2	2月22日(土)～2月23日(日)	YEAH! AMICUS CULB	学校法人アミックス国際学園
60	県民ギャラリー1	2月25日(火)～3月2日(日)	沖縄海ゴミアート展	Oki Coast Ocean Art
61	県民ギャラリー2.3	2月28日(金)～3月2日(日)	沖縄ラブ&ピース専門学校 専門課程 高等課程	学校法人ラブ&ピース
62	県民ギャラリー1	3月7日(金)～3月9日(日)	atelierくわの実 2024成果展	社会福祉法人大樹会 就労継続支援施設くわの実
63	県民ギャラリー2	3月9日(日)	先生たちのSOS～メッセージ展&ギャラリートーク	沖縄の教職員の働き方を考える会
64	県民ギャラリー1.2.3	3月11日(火)～3月16日(日)	第22回那覇市障がい者美術展	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会
65	県民ギャラリー1.2	3月18日(火)～3月23日(日)	押し花&ガラスアート作品展	沖縄ガイア押花会
66	県民ギャラリー3	3月18日(火)～3月22日(土)	琉大アートサークル 展示会2024	琉球大学アートサークル
67	県民ギャラリー1.2.3	3月25日(火)～3月30日(日)	第1回淡・緩アート作品展	作業療法士スタイルアート研究会

# 博物館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

## I 調査研究等の活動

### 1 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という4つの大きな柱によって構成されている。これらは相互に関連しあっているが、中でも調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。当館（博物館班）における調査研究活動は大きく3つに分けられる。（1）全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、（2）他機関との共同研究・一括交付金を活用した調査研究事業、（3）学芸員自身がテーマを設けて行う個別の調査研究である。

（1）「博物館総合調査」は、1980年から博物館の学芸員が県内離島各地の自然・歴史・文化について調査・研究し、その成果を記録・報告することを目的に実施している。本調査が、他の学術調査と異なるのは、総合博物館の特性を活かし、自然史から人文まで各分野の学芸員を中心に調査員を構成することで、分野を越えた総合的な調査ができることにある。また、その成果は、報告書や展覧会という形で県民へ還元され、島々の自然・歴史・文化について学習する機会を提供するとともに、自然環境の保全や文化的資料の保存に対する理解を深めていただくことに役立てられている。

これまでの「博物館総合調査」は、粟国島を皮切りに2018年度までに22の島々で実施し、各々調査報告書を刊行してきた。主な調査地及び刊行年度は、粟国島（1980年度）、渡名喜島（1981年度）、座間味島（1983年度）、伊計島（1987年度）、瀬底島（1988年度）、与那国島（1989年度）、浜比嘉島（1990年度）、古宇利島（1991年度）、久米島（1992年度）、波照間島（1995年度）、西表島（1997年度）、小浜島（2002年度）、与那国島（2005年度）、竹富島（2012年度）、鳩間島・新城（上地・下地）島・黒島（2016年度）、伊是名島・伊平屋島（2018年度）、宮古諸島（宮古島市および、多良間村）（2025年度予定）である。

（2）「共同研究事業」は、国立科学博物館及び東京大学と共同で、南城市玉城のハンダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を対象とした調査を行った。さらに、2012年度からは、沖縄振興特別推進交付金対象事業（一括交付金）「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本格的な調査を実施した。これまでに9千年前よりさらに前のものと考えられる人骨や、世界最古級（2.3万年前）の釣針、先史時代の貝器などが出土し、全国的にも世界的にも注目される貴重な成果をあげている。一括交付金による事業の終了後も、国立科学博物館等と連携して調査を継続している。

一括交付金を活用した調査研究事業は他にも2件ある。このうち「琉球王国文化遺産集積・再興事業」では、琉球王国時代の文化遺産を科学的根拠に基づいて現代の人々の手で模造復元するもので、そのための調査研究が8分野65件の資料を対象に実施している。2020年度は、木彫、漆芸、三線分野の5件の模造復元品完成によって製作事業は完了し、さらに「手わざー琉球王国の美」の巡回展として宮古島市、石垣市、那覇市の3か所で展覧会を開催した。また、当館ホームページから模造復元における調査分析の結果や製作工程等を閲覧できるページを作成し、県内外への発信に努めた。2021年度は、本事業の最終年度として、九州国立博物館及び東京国立博物館、久米島博物館で展覧会や関連催事を開催した。2022年度からは第2期の事業を開始した。

つぎに、2016年度から5か年計画で実施している「デジタルミュージアム推進事業」は、2020年度を最終年度とし、当初の計画通り80話の動画コンテンツを制作し公開した。本事業は、1973年から沖縄各地で収集された伝承話の音声資料を音源としたもので、無形文化財の活用を図る試みとして実施した。古老が語るオリジナル音源をもとに、制作した80話の動画コンテンツと約3.3万話の伝承話音声資料のデータベースを検索できるウェブサイト「ウチナー民話のへや」を開設した。これにより、沖縄の多様な言語文化や伝承話の世界を広く紹介することができた。今後も継続して上映会の開催や学校教育への普及啓発に努めることとする。

（3）学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形でも生かされている。2023年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は、p60～p73で述べるとおりである。

（宇佐美 賢）

### 2 博物館総合調査 一宮古諸島総合調査一

博物館総合調査事業は、県内離島の自然・歴史・文化について博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島、鳩間島、新城島、黒島、伊是名島、伊平屋島について現地調査を行ない、その成果をもとに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2019年度からは5年計画で宮古諸島を調査していたが、2020年度より2022年度まで新型コロナウイルスの影響でほとんど調査ができなかったことから調査期間を2024年度まで延長した。その成果の一部は、2025年1月に実施した移動展in多良間島にて展示公開した。また、2025年度末には、報告書を刊行する予定である。

## 【組織】

本調査の組織は、博物館班の学芸員(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)によって構成することとしている。また、調査の精度を高めるため、館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各学芸員がテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマに沿ったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集(借用の可能性)や撮影にも努めている。

## 【2024年度調査実績】

山本 正昭 (博物館班 主任学芸員 考古)	2024年5月1日～5月2日 (宮古島) 2025年1月17日～1月18日 (宮古島)
菊川 章 (博物館班 主任学芸員 生物)	2024年6月26日～6月29日 (多良間島・水納島) 2024年11月12日～11月14日 (多良間島・宮古島) 2025年3月19日～3月21日 (多良間島)
新山 颯大 (博物館班 学芸員 地質)	2024年6月26日～6月29日 (多良間島・水納島) 2025年3月19日～3月21日 (多良間島)
宇佐美 賢 (博物館班 班長 地学)	2024年11月12日～11月14日 (多良間島・宮古島)
崎原 恭子 (博物館班 主任学芸員 歴史)	2024年6月26日～6月29日 (多良間島・水納島)
山崎 真治 (博物館班 主任学芸員 人類)	2024年9月25日～9月27日 (多良間島) 2025年2月14日～2月20日 (多良間島)
大湾 ゆかり (博物館班 主任学芸員 民俗)	2024年11月18日～11月20日 (宮古島)

## 外部調査員

平野 尚浩 (琉球大学理学部助教 生物)	2024年6月26日～6月29日 (多良間島・水納島) (菊川 章)
----------------------	---------------------------------------

## 3 一括交付金活用事業「琉球王国文化遺産集積・再興事業(第2期)」

一括交付金とは、国から地方への交付金のことで沖縄振興に資する沖縄の特殊性に基因する事業等を沖縄県が自主的に実施できる制度として創設された沖縄振興特別推進交付金のことである。本事業は、一括交付金を活用し、戦後80年を経て、戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産を模造復元し、沖縄の手わざの力を琉球王国文化のブランドとし、モノ(模造復元品)をとおして発信することで、沖縄をアピールする事業である。

2015年度(平成27)から2021年度(令和3)までの第1期事業では、7か年の間に8分野(絵画、木彫、石彫、漆芸、陶芸、染織、金工、楽器)の模造復元と巡回展等を行った。

2022年度(令和4)からは第2期事業を実施するに当たり、第1期同様に8分野に加え、新たに発信分野を設けた。模造復元品の製作にかかわる8分野各3名(合計24名)、発信分野に5名で合計29名の監修者を委嘱し、2022・2023年度(令和5)の設計業務で復元対象を選定、発信業務における重点的な発信対象、発信の目的の整理等をまとめた。また、箇所新規により、2029年度までの8年計画としていた事業期間を、2031年度までの10年計画とすることが認められ、事業を延長することとなった。

2024年度(令和6)は委託業務締結に時間を要し、実施設計から遅れが生じた。そのため業務の見直しを図り、製作分野では、科学分析(蛍光X線分析、X線CT撮影等)や一部の材料調達、試作を行った。発信分野では、報告会1回、ワークショップ2回(彫金・琉球古刺繍)を実施したほか、InstagramとYouTubeのアカウントを立ち上げ運用を開始した。また、新たに作成したロゴの発表イベントも行った。

(伊禮 拓郎)

## 4 在外琉球王国文化財調査研究事業

### (1) 目的

琉球王国時代の貴重な文化財は、譲渡や売買、また沖縄戦の戦利品として不法に持ち去られる等、国外に流出したものが多くある。様々な理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査・研究し、その成果を報告会等通じて発信することで、琉球文化の価値を体系的に高めることを目的として実施している。

### (2) 調査概要

実施期間：2024年(令和6)11月24日(日)～11月29日(金)

実施内容：米国ハワイ州のホノルル美術館等での琉球王国関連文化財の調査を実施した。

調査場所：ホノルル美術館、ハワイ沖縄センター、ハワイ大学マノア校図書館

表敬場所：ハワイ東西センター

調査者：大湾ゆかり（博物館班 主任学芸員）、伊禮拓郎（博物館班 主任）、大城直也（博物館班 学芸員）

調査内容：初日は、ハワイ沖縄センターを訪問して沖縄移民の歴史や同センターの活動等について懇談した後、展示室を見学した。同センターの収蔵品の内容をリスト化するため、カタログのコピーを収集した。2～4日までは、ホノルル美術館とハワイ大学マノア校での調査を実施した。ホノルル美術館では、漆芸品、染織品、厨子甕、絵画等、合計60点の資料を熟覧し、写真撮影と測量を行い、中国と日本に分類されている資料の中から、貝摺奉行所製と推定される螺鈿を発見した。また、リストにはなかった絵画資料や厨子甕の銘書きの確認等も行った。

これらの資料については、今後も同館と情報共有を図りながら研究を進めていく予定である。同日にはハワイ大学マノア校図書館での調査も実施した。同館ではホーレー文庫の資料及び琉球大学に以前貸し出した資料のうちデジタル化されていない資料の閲覧を申し込み、合計12点の古文書資料を含む30点の資料を閲覧して写真撮影を行った。この中には、祭祀儀礼の手続きや漂流漂着・島流しなど琉球国の内政と外交に関する案文集も含まれている。3日目にはハワイ東西センターを表敬訪問し、沖縄移民3世の皆さんと懇談するとともに、同館での展覧会等についても可能性等を話し合った。

収集資料：①ハワイ沖縄センターより同センターのMUSEUM CATALOG、ハワイ沖縄連合会の会誌「Uchinanchu 2023」と新聞、記念品

②ホノルル美術館より図録「Textile Art of Okinawa」、冊子「Cultural Assets Conservation Work in the Ryukyus」G・H・Kerr著のデータ

③ハワイ東西センターより2016年の沖縄県立芸術大学の同センターでの展示関係資料

### (3) 調査報告会

実施日時：2025年（令和7）3月9日（日）10:00～12:00

実施場所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

報告者：伊禮拓郎（博物館班 主任）

大城直也（博物館班 学芸員）

大湾ゆかり（博物館班主任学芸員）

参加者数：40名

実施内容：「ホノルル美術館における調査成果」（伊禮）

「ハワイ大学マノア図書館所蔵の琉球古文書」（大城）

「事業概要」「ハワイ沖縄センターの所蔵資料」（大湾）

※なお調査成果は、令和7年5月開催の「国際博物館の日」展でパネル展示を行い紹介した。また、令和7年度には、令和5年及び6年度の調査成果をまとめて報告書を作成する計画である。



(大湾 ゆかり)

## 5 博物館・美術館費事業

### (1) デジタルミュージアム推進事業

本事業は、2015年に当館に寄贈された沖縄の伝承話音声資料の保存と活用を目的としている。2016年度から2020年度までの5か年計画でデジタルミュージアムを開設し、資料の体系的な保存・管理と80話の民話の動画コンテンツを制作した。これらをWeb上や常設展示室等で公開することにより、遠隔地へのサービス提供や来館者誘致、顧客満足度向上の実現を目指している。

題材とした伝承話音声資料は、1973年から故遠藤庄治とその協力者たちが沖縄各地で収集した76,000話余の音声記録のうち、デジタル化済みの約33,000話分の記録（カセットテープとデジタルデータ）である。戦争や標準語励行運動、生活の画一化等で口承伝承されてきた民話が急速に失われつつある。40年余をかけて収集された伝承話資料は県民の貴重な財産であり、それらの保存と活用は博物館の重要な使命である。当館では伝承話音声資料を無形文化遺産の一つとして捉え、適切な保管とデジタルデータを活用した展示コンテンツの開発を進めている。

#### 【上映会】

令和6年度は当館にて上映会を開催した。上映会は二部構成で行い、第一部には沖縄県立南部農林高等学校の生徒達が自作した民話紙芝居の上演をし、研究発表を行った。第二部はデジタルミュージアム動画コンテンツから4話の民話を上映した。南部農林高等学校の生徒達は「名嘉地とキジムナー」および「鬼ムーチャー」を題材に標準語としまくとぅばの両方を練習して披露した。

### 【ウチナー民話上映会】

日 時：2024年7月21日

場 所：博物館講座室

参加人数：60名



(大城 沙織)

## 6 共同研究事業

### 【趣旨】

更新世の隆起サンゴ礁を起源とする石灰岩に広く覆われた沖縄では、約3万6000年前の日本最古の人骨である山下町第一洞穴人（那覇市）や、約2万2000年前の港川人（八重瀬町）など、旧石器時代の人類化石が数多く発見されている。旧石器時代の人類化石の発見例は、日本本土では1か所（浜北人：静岡県浜松市）のみのところ、本県からは10か所ほどが知られており、近年では白保竿根田原洞穴遺跡（石垣市）やサキタリ洞遺跡（南城市）、普天満宮洞穴遺跡（宜野湾市）において新たな発見が相次いでいる。

沖縄の旧石器時代人骨は、日本列島における人類のルーツを解明する重要な鍵となる資料であり、本県は旧石器時代人骨の調査場所として圧倒的に有利な立場にあることは明らかである。そこで、本事業では沖縄県立博物館・美術館による継続的な調査によって、多くの成果があげられてきたサキタリ洞遺跡の発掘と調査研究をいっそう推進し、沖縄の旧石器時代人とその文化に関する新たな知見を得るとともに、県立博物館の価値増大を図ることを目的とする。

### 【事業概要】

国立科学博物館、東京大学との共同事業として、サキタリ洞遺跡の発掘調査を2024年11月18日～12月1日の日程で実施した。西側洞口内（調査区Ⅰ）（約6㎡）、東側洞口内（調査区Ⅱ）（約10㎡）、および西側洞口外（調査区Ⅳ）（約6㎡）において掘削作業を行った。調査区Ⅰでは23,000年前をさかのぼるⅢ層について継続的に発掘し、追加の出土品を得た。調査区Ⅳでは、調査区を東側（洞口側）に拡張して掘削したところ、土器小片や海産貝類（タカラガイ類）などが少量検出された。

共同研究事業の成果公開として、2024年11月30日にサキタリ洞遺跡の現地見学会（現地解説5回）を開催し、114名の参加者があった。このほか、本部町の石川テラアブ洞遺跡、ワハルバル洞遺跡において、先史時代のものと考えられる人骨の記録作業および収集を行った。



発掘のようす（調査区Ⅱ）



現地見学会・受付



現地見学会のようす（調査区Ⅰ）

(山崎 真治)

## 7 調査・研究・講演・著作論文等

### 宇佐美 賢 (博物館班班長/地学)

#### ○調査・研究等

- ・地質・地形調査：屋久島 (2024年9月3日～5日)
- ・宜野湾市喜友名石切場跡調査 (2024年11月6日)
- ・宜野湾市普天間宮洞穴調査 (2024年11月10日)
- ・移動展下見・総合調査：多良間島・宮古島 (3034年11月12日～14日)
- ・漂着軽石層調査・環境省調整：石垣島 (2024年12月6日)
- ・国立科学博物館「令和6年度企画展琉球列島地質・化石展」資料借用・調査 (2025年1月7日)
- ・学芸員講座下見・調査：伊平屋島 (2025年2月28日)
- ・渡嘉敷村前島地質調査 (2025年3月14日)
- ・漂着軽石層調査：石垣島 (2025年3月21日)
- ・国立科学博物館「令和6年度企画展琉球列島地質・化石展」資料返却・展示調査 (2025年3月27日)

#### ○講演等

- ・名 称：博物館常設展示解説  
期 日：2024年6月13日 (木) 15名  
場 所：博物館常設展示室  
依頼機関：奄美・沖縄ガイドネットワーク
- ・名 称：中堅教諭研修  
期 日：2024年7月23日 (火) 6名  
場 所：館内  
依頼機関：那覇
- ・名 称：夏休み教職員向け講座  
期 日：2024年8月2日 (金) 10名  
場 所：館内
- ・名 称：バックヤードツアー  
期 日：2024年8月2日 (金) 24名  
場 所：博物館バックヤード  
依頼機関：九州高等学校理科教育研究協議会
- ・名 称：バックヤードツアー  
期 日：2024年8月9日 (金) 24名  
場 所：博物館バックヤード  
依頼機関：那覇教育研究所 (県民カレッジ)
- ・名 称：校外学習 (バックヤードツアー)  
期 日：2024年10月18日 (金) 20名  
場 所：沖縄県立陽明高等学校  
依頼機関：沖縄県立陽明高等学校
- ・名 称：出前授業「豊見城小学校の地面の下のヒミツ？を探せ！」  
期 日：2024年10月22日 (火) 111名  
場 所：豊見城市立豊見城小学校  
依頼機関：豊見城市立豊見城小学校
- ・名 称：宜野湾市立博物館わらば一体験じゅく「第6回 私たちの足下の奥の奥を知ろう！」  
期 日：2024年11月16日 (土) 25名  
場 所：宜野湾市喜友名泉・石切場跡、普天間宮洞穴  
依頼機関：宜野湾市立博物館
- ・名 称：沖縄県高等学校地学教育研究会室内研修会  
期 日：2024年11月19日 (火) 10名  
場 所：沖縄県立総合教育センター  
依頼機関：沖縄県高等学校地学教育研究会
- ・名 称：出前授業「地学の目で見た日本・沖縄ってどういうところ!？」  
期 日：2024年11月11日 (水) 20名  
場 所：沖縄県立中部農林高等学校  
依頼機関：沖縄県立中部農林高等学校
- ・名 称：バックヤードツアー  
期 日：2024年11月28日 (木) 5名

- 場 所：博物館バックヤード  
 依頼機関：沖縄県立那覇国際高等学校
- ・名 称：移動展 in 多良間村 星空観察会  
 期 日：2025年1月24日（金）  
 場 所：多良間村コミュニティセンター
  - ・名 称：出前授業「沖縄の自然と災害」  
 期 日：2025年2月14日（金）39名  
 場 所：沖縄アミークスインターナショナル中学校  
 依頼機関：沖縄アミークスインターナショナル中学校
  - ・名 称：博物館学芸員講座「ジオツアー in 伊平屋村」  
 期 日：2025年3月1日（土）20名  
 場 所：伊平屋村
  - ・名 称：博物館見学  
 期 日：2025年3月5日（水）  
 場 所：博物館研修室、ふれあい体験室  
 依頼機関：沖縄県立盲学校
  - ・名 称：慶良間諸島国立公園10周年記念「慶良間諸島（渡嘉敷島～前島）海上ツアー&前島フィールドツアー」  
 期 日：2025年3月15日（土）13名  
 場 所：渡嘉敷村  
 依頼機関：環境省慶良間自然保護官事務所

○著作論文等

- ・（共著）「琉球弧中新世珪長質火成活動の時空間変遷から見えてきたフィリピン海プレートの北進」  
 日本地質学会第131年学術大会セッション口頭発表 2024年9月
- ・（共著）「1924年西表海底火山噴火由来軽石層の発見」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月

**崎原 恭子（主任学芸員／歴史：近現代）**

○調査・研究等

- ・令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る県内調整・調査等：那覇市、南城市、西原町（2024年4月17日、7月26日、7月30日、8月29日、9月19日、9月24日、9月25日、9月27日、10月31日、11月22日、2025年2月14日、3月14日）
- ・令和6年度沖縄県立博物館・美術館重要文化財保存管理（修理修復）事業に係る調整等：うるま市（2024年9月20日、10月2日）
- ・県議会パネル展に係る調整・調査等：那覇市（2024年6月19日、8月1日、8月9日、9月11日、9月19日）
- ・令和6年度資料収集事業に係る調査：宜野湾市（2024年10月29日）
- ・令和6年度博物館総合調査：多良間村（2024年6月26日～29日）
- ・歴史資料調査（個人蔵）：那覇市（2024年11月1日、2025年2月21日）
- ・令和7年度博物館特別展に係る調整等：糸満市、那覇市（2024年12月17日、2025年2月7日）
- ・令和6年度移動展設営作業及び開会式等：多良間村（2025年1月22日～24日）

○講演等

- ・名 称：セルビア 本と旅の博物館「博物館展示解説」  
 期 日：2024年4月21日（日）  
 場 所：博物館常設展示室  
 依頼機関：沖縄空手道協会
- ・名 称：万国津梁の鐘プロジェクト「鐘の見どころ、徹底解説！」  
 期 日：2024年5月3日（金・祝）  
 場 所：博物館常設展示室、博物館屋外鐘楼  
 依頼機関：沖縄県立博物館・美術館指定管理者（一財）沖縄美ら島財団
- ・名 称：博物館学芸員講座「新たに収蔵した琉球王国時代の家譜～毛姓家譜（譜久村家）、元姓家譜（知念家）、楊氏家譜（古堅家）～」  
 期 日：2024年6月8日（土）  
 場 所：講堂
- ・名 称：出前授業「79年前の沖縄戦 工業学校を知り、沖縄戦を学び、平和を考える」  
 期 日：2024年6月13日（木）

- 場 所：沖縄県立那覇工業高等学校 視聴覚室  
 依頼機関：沖縄県立那覇工業高等学校
- ・名 称：令和6年度市民講座「沖縄戦と沖縄の文化財～失われたもの・取り戻しているもの～」  
 期 日：2024年6月22日（土）  
 場 所：那覇市石嶺公民館 2階ホール  
 依頼機関：那覇市石嶺公民館
  - ・名 称：出前授業「79年前の沖縄戦 地域を知り、沖縄戦を学び、平和を考える」  
 期 日：2024年7月16日（火）  
 場 所：沖縄市立宮里小学校 6学年フロア  
 依頼機関：沖縄市立宮里小学校
  - ・名 称：夏休み！こどもフェスタ2024「オリジナルの家系図をつくろう！」  
 期 日：2024年7月26日（金）  
 場 所：博物館実習室
  - ・名 称：おきみゅー誕生祭2024「沖縄最古の鐘を鳴らそう！」  
 期 日：2024年11月3日（日・祝）  
 場 所：博物館屋外鐘楼  
 依頼機関：沖縄県立博物館・美術館指定管理者（一財）沖縄美ら島財団
  - ・名 称：牡丹郷公所 2024日本宮古島交流視察団「博物館展示解説」  
 期 日：2024年11月8日（金）  
 場 所：博物館会議室、博物館常設展示室  
 依頼機関：屏東縣牡丹郷公所
  - ・名 称：中央研究院台湾史研究所「博物館展示解説」  
 期 日：2024年11月19日（火）  
 場 所：博物館常設展示室  
 依頼機関：中央研究院台湾史研究所
  - ・名 称：琉球王国文化遺産集積・再興事業Ⅱ 令和6年度事業報告会（金工分野の取り組みと経緯について）  
 期 日：2025年3月8日（日）  
 場 所：講堂

○著作論文等

- ・（共著）「沖縄県所在の銅鐘（琉球鐘）に対する蛍光X線分析調査」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 2025年3月
- ・「[資料紹介]『毛姓家譜』（譜久村家）について（二）」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 2025年3月

**大城 直也（学芸員／歴史：古琉球・近世）**

○調査・研究等

- ・『特別展 芭蕉布』の資料借用：於宮古島市総合博物館（2024年7月31日）
- ・令和7年度沖縄県立博物館・美術館重要文化財保存管理：於石川堂、沖縄県立博物館・美術館（修理修復）事業に係る調整：（2024年10月2日～4日）
- ・『万国津梁』の展示替えに関する立ち合い：於台湾故宫博物院（2024年10月8日～9日）
- ・九州博物館協議会主催の研修会参加：於福岡市立博物館（2024年11月18日～19日）
- ・令和6年度在外琉球王国文化財調査：於ハワイ沖縄センター、ホノルル美術館、ハワイ大学マノア校図書館（2024年11月25日～29日）
- ・京都、大阪における琉球関係の史料調査：於京都大学、大阪市立中央図書館（2025年1月30日～2月1日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業〈楽器部会〉に関する資料調査：於東京国立博物館（2025年2月25日～26日）
- ・久米島町史事業実施に係る史料調査：於久米島博物館（2025年3月15日～16日）

○講演等

- ・名 称：神奈川大学「沖縄・社会」ゼミの常設展示解説会  
 日 時：2024年8月29日  
 場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：出前授業「首里城の歴史について」  
 日 時：2024年8月31日  
 場 所：那覇市立松島中学校

- ・名 称：日系JICA研修生の常設展示解説会  
日 時：2024年10月16日  
場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：令和6年度首里城講座 「『冊封使行列図』とその背景」  
日 時：2024年11月23日  
場 所：首里城公園管理センター
- ・名 称：2月学芸員講座「近代における首里王府文書の移動について」  
日 時：2025年2月8日  
場 所：博物館講座室
- ・名 称：那覇市立壺屋焼物博物館職員のバックヤード視察  
日 時：2025年2月13日  
場 所：博物館常設展示室、バックヤード
- ・名 称：沖縄県立博物館友の会学芸員講座「南城市津波古の信仰とその背景」  
日 時：2025年2月21日  
場 所：南城市佐敷
- ・名 称：糸満市立中央図書館講座「文献史料からみる糸満」  
日 時：2025年3月1日  
場 所：糸満市立中央図書館
- ・名 称：令和6年度在外琉球王国文化財調査研究事業報告会「ハワイ大学マノア図書館所蔵の琉球古文書について」  
日 時：2025年3月9日  
場 所：博物館講座室

○著作論文等

- ・「琉球沖縄における卒塔婆について」 宮城弘樹編『墓制からみた琉球史—墓制資料に基づく近世琉球社会史の学際的研究成果報告書—』 沖縄国際大学考古学研究室 2025年1月
- ・「『中山世譜』と『冠船御世譜』に関する一試論」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 2025年3月
- ・「明治期における首里王府文書の歴史的動向—明治一九年島津忠義の沖縄巡覧を事例に—」 公益信託松尾金蔵記念奨学基金『明日へ跳ぶ—人文社会学の新視点—8』 風間書房 2025年3月

○兼任

- ・沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員
- ・沖縄県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員
- ・久米島町史資料編『久米島町史 文献史料編』執筆委員

**篠原 あかね（主任／美術工芸）**

○調査・研究等

- ・特別展「芭蕉布展」に係る調査：芭蕉布工房（大宜味村）調査（4月12日）、芭蕉布工房（本部町、今帰仁村）調査（4月23日）、名護博物館所蔵芭蕉布調査（4月25日）、館蔵品芭蕉布調査（5月10日）、愛媛民藝館芭蕉布展調査（5月17～19日）、石垣島芭蕉布調査（5月28～29日）、南城市芭蕉布調査（5月31日）、館蔵品芭蕉布調査（6月6～8日）、芭蕉布工房・館蔵品芭蕉布撮影（6月9～11日）、宮古島芭蕉布調査（6月13～14日）、東京国立博物館、日本民藝館所蔵芭蕉布調査（7月25～26日）、宮古島資料借用（7月31日）、館蔵品芭蕉布調査（8月7日）、借用品芭蕉布撮影（8月14日）、那覇市芭蕉布調査（11月1日）、沖縄県立図書館資料返却（12月11日）、読谷芭蕉布調査（12月16日）、宮古島資料返却（12月18日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査等：染織部会沖縄県内紅型工房等調査（4月2日、9日、10日、17日、19日、11月5日）、楽器部会胡弓（那覇市歴史博物館）調査（1月29日）、染織部会色材分析調査（11月25日～12月2日）
- ・その他の資料調査、閲覧対応等：染織（5月13日、14日、24日、30日、7月11日、8月2日、28日、11月22日、12月3日、5日、12月17日、20日）、三線（8月23日、1月28日）、陶器（10月25日、11月22日、12月6日、1月8日、10日）、絵画（12月14日、21日）

○講演・学会など

- ・名 称：学芸員講座「美しい布 芭蕉布」  
期 日：2024年10月12日  
場 所：博物館講座室
- ・名 称：ワークショップ「芭蕉布を羽織ってみよう 着衣体験」  
期 日：2024年10月12日

- 場 所：博物館実習室
- ・名 称：芭蕉布展展示解説会
- 期 日：2024年11月1日
- 場 所：博物館特別展示室1・2、博物館企画展示室
- ・名 称：大宜味中学校芭蕉布展展示解説会
- 期 日：2024年11月21日
- 場 所：博物館特別展示室1・2、博物館企画展示室

○著作論文等

- ・「芭蕉布展～績まれる芋から生まれる思い～」『NAHACCI NEWS』10月号 No.857那覇市商工会議所 2024年10月15日
- ・『萬國津梁：東亞会場的琉球』作品解説 国立故宫博物院 2024年9月
- ・(共著)「田中俊雄の染織関係資料について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 2025年3月
- ・(共著)「那覇市歴史博物館所蔵「白地竹蝙蝠牡丹文様型染刺繍縮緬衣裳」の刺繍の特徴」『那覇市歴史博物館紀要第2号』 2025年3月

**伊禮 拓郎(主任/美術工芸)**

○調査・研究等

- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査等：館内(監修者・ワーキング会議、原資料調査等：2024年11月13日、12月5日、21日、12月24日、25日、28日、2025年1月8日、12日、13日、17日、20日、2月15日、16日、23日、28日、3月4日、11日、23日)、南城市教育委員会(2024年7月26日)、久米島博物館(2024年11月17日、12月17～18日)、奈良国立博物館(2024年12月11～13日)、那覇市歴史博物館(2025年1月30日、2月13日、18日)、(一財)沖縄美ら島財団本部(2025年2月3日)、大倉集古館(2025年2月6～7日)、蛍光X線分析(2025年2月9～10日)、読谷村個人工房(2025年2月18日)、九州国立博物館(2025年2月19～21日)、東京都釣具店(2025年2月25日)、東京国立博物館(2025年2月26日)
- ・芭蕉布展に係る調査等：芭蕉布工房長谷川(2024年6月25日)、石垣市立八重山博物館(2024年7月30日)、大宜味村喜如嘉(2024年8月10日、9月16日)、琉球大学図書館(2024年9月19日)、東京国立博物館・日本民藝館(2024年9月25～26日、2025年2月4～5日)、与論民俗村(2024年12月26～27日)
- ・謝花雲石展に係る調査：我如古個人宅(2024年10月7日)、万座毛(2024年10月18日)
- ・国立故宫博物院：(2024年8月30日～9月7日、10月3～7日、12月1～4日、12月22～23日)
- ・在外文化財調査研究事業に係る調査：ホノルル美術館、ハワイ大学、ハワイ沖縄センター(2024年11月24～29日)
- ・書跡等調査：名桜大学(2024年4月5日)
- ・漆器調査：館内(寄贈資料：11月30日)、沖永良部島(2024年6月26日)、京都府個人宅(2024年7月5～8日)、南城市前川(2024年7月22日)、東京都古美術商(2024年11月18～19日)

○講演・学会など

- ・名 称：学芸講座「琉球美術工芸のなんだコレ！？～すごい！何で？どうやったの！？な琉球美の世界～」
- 日 時：2024年8月9日(金)
- 場 所：博物館講座室
- ・名 称：プレスリリース「萬國津梁：東亞海上的琉球～沖縄県立博物館・美術館典蔵紹介～」
- 日 時：2024年9月6日(金)
- 場 所：国立故宫博物院南部院区
- ・名 称：出前講座「琉球王国の文化・手わざ！～すごい！何で？どうやったの！？な琉球美の世界～」
- 日 時：2024年11月9日(土)
- 場 所：石嶺公民館
- ・名 称：令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業報告会
- 日 時：2025年3月8日(土)
- 場 所：講堂
- ・名 称：令和6年度琉球王国在外文化財調査研究事業報告会
- 日 時：2025年3月9日(日)
- 場 所：講堂
- ・名 称：令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業ロゴ発表イベント「琉球ルネサンス、はじまる」
- 日 時：2025年3月22日(土)

場 所：博物館講座室

○著作論文等

- ・『萬國津梁：東亞海上の琉球』作品解説 國立故宮博物院 2024年9月
- ・「〈資料紹介〉木村純一郎作「沖繩風俗画」について」『沖繩県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 沖繩県立博物館・美術館 2025年3月
- ・菊川章主任学芸員共著「木村純一郎作「沖繩風俗画」(1912)に描かれた沖繩の動植物」『沖繩県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 沖繩県立博物館・美術館 2025年3月

山本 正昭(主任学芸員/考古)

○調査・研究等

- ・令和6年度 琉球王国集積再興事業陶芸部会ワーキング会議、資料調査(石倉工房：2024年11月20日、宮良工房2024年12月17日～18日、静岡市清見寺：2025年2月4日～5日、沖繩県工業技術センター：2月12日、松田共司工房、陶藝玉城：2025年2月18日、松島朝義窯2025年3月9日)
- ・令和6年度 琉球王国集積再興事業石彫部会ワーキング会議、資料調査(旧円覚寺放生池：2025年2月28日、武村石材建設株式会社：2025年3月13日)
- ・令和6年度 琉球王国集積再興事業金工部会ワーキング会議(南城市教育委員会：2025年2月14日)
- ・令和6年度博物館企画展『琉球と倭寇の物語りin宮古島』展示準備ならびに展示撤収作業(宮古島市歴史文化資料館：2024年9月26日～27日、11月18日)
- ・宮古諸島総合調査(宮古島市総合博物館、宮古島市教育委員会、上比屋山遺跡：2025年1月17、18日)
- ・狩俣遺跡発掘調査(宮古島市狩俣：2025年8月8日～11日)
- ・令和6年度県立玉城青少年の家事業「歴史散歩ー琉球國北山の末裔を縁とする本島南部の集落ー」事前調査(2024年12月16日)
- ・令和6年度 移動展in多良間島 展示準備・運営(多良間村コミュニティ施設 ふれあいふくぎ館：2024年1月22日～24日)
- ・令和7年度県立糸満青少年の家事業「当銘集落めぐり」事前調査(2025年2月19日)
- ・環境省慶良間自然保護官事務所主催慶良間諸島会場ツアー&前島フィールドツアー事前調査：2025年3月14日

○講演・学会発表等

- ・名 称：ユンタンザミュージアム企画展『比謝川水系のグスク』関連講座「比謝川水系のグスクについて」  
期 日：2024年6月9日  
場 所：ユンタンザミュージアム 研修室  
主 催：読谷村教育委員会
- ・名 称：沖繩文化協会2024年度公開研究発表会「グスクの石積みにおける加工石材についての瞥見」  
期 日：2024年6月29日  
場 所：名桜大学 学生会館サクラウム 3F 大講義室A
- ・名 称：令和6年度 博物館9月学芸員講座「石積みを持つグスクの特徴」  
期 日：2024年9月7日  
場 所：講堂
- ・名 称：「稲村賢敷生誕130年 琉球と倭寇の物語りin宮古島」関連講座「琉球と倭寇と宮古島」  
期 日：2024年9月28日  
場 所：宮古島市歴史文化資料館  
主 催：宮古島市教育委員会
- ・名 称：令和6年度南城市文化講演会「三山統一と五つの城郭遺跡」  
期 日：2024年11月30日  
場 所：南城市市役所1階大会議室  
主 催：南城市教育委員会
- ・名 称：宮古郷土史研究会1月定例会「宮古諸島に見られる石積み遺構の構築技術についての一考察」  
期 日：2025年1月18日  
場 所：宮古島市総合博物館講座室

○ワークショップ等

- ・名 称：令和6年度青少年教育施設職員研修会  
期 日：2024年4月5日  
場 所：沖繩県立糸満青少年の家・八重瀬町当銘集落
- ・名 称：令和6年度博物館出前授業「集落の史跡を訪ね歩く」  
期 日：2024年9月8日

- 場 所：伊平屋村歴史民俗資料館、我喜屋集落
- ・名 称：夏休みこどもフェスタ2024 「考古学者 体験土器や石器、貝製品といった本物の出土品に触れてみよう！」
- 期 日：令和6年7月24日
- 場 所：博物館実習室
- ・名 称：「稲村賢敷生誕130年 琉球と倭寇のもの語りin宮古島」関連展示解説会
- 期 日：2024年11月30日
- 場 所：宮古島市歴史文化資料館
- 主 催：宮古島市教育委員会
- ・名 称：与論城跡をめぐる学ぶ会「刮目必至 与論城跡ジオラマ模型の完全解説」
- 期 日：2024年12月14日
- 場 所：与論町 サザンクロスセンター展示室
- 主 催：与論町教育委員会
- ・名 称：与論城跡をめぐる学ぶ会「与論城跡現地見学会」
- 期 日：2024年12月15日
- 場 所：与論グスク
- 主 催：与論町教育委員会
- ・名 称：令和6年度県立玉城青少年の家事業「歴史散歩」区民編
- 期 日：2025年1月19日
- 場 所：南城市佐敷津波古
- 主 催：沖縄県立玉城青少年の家
- ・名 称：令和6年度県立玉城青少年の家事業「歴史散歩—琉球國北山の末裔を縁とする本島南部の集落—」県民編
- 期 日：2025年2月9日
- 場 所：南城市佐敷津波古
- 主 催：沖縄県立玉城青少年の家
- ・名 称：令和6年度沖縄県立博物館・美術館移動展 in 多良間島展示解説会
- 期 日：2025年1月24日
- 場 所：多良間村コミュニティ施設 ふれあいふくぎ館
- ・名 称：うらそえ歴史ガイド育成研修会
- 期 日：2025年3月10日
- 場 所：南城市大里西原 大里城跡公園
- 主 催：うらそえ歴史ガイドの会
- ・名 称：慶良間諸島会場ツアー&前島フィールドツアー代替講座
- 期 日：2025年3月15日
- 場 所：渡嘉敷村中央公民館
- 主 催：環境省慶良間自然保護官事務所

○著作論文等

- ・「那覇湊の海防化と首里城」『港湾』第101巻第6号 日本港湾協会 2024年4月
- ・「琉球における倭寇の活動と琉球王国による海防政策についての小考—令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』を通して—」『大好き沖縄』第87号『大好き沖縄』の会・編集部 2024年4月
- ・「城壁に見る張り出し施設の機能とその伝播についての基礎的考察—福建省に所在する城郭遺跡を中心に—」『山川偉城の考古学』山川均さん還暦記念論集刊行会 2024年5月
- ・「明代の千戸所城に見る平面プランの形態的特徴—福建省内沿岸部の事例から—」『琉球大学考古学研究室開設30周年記念論文集』琉球大学考古学研究室 2024年9月
- ・「企画展『琉球と倭寇のもの語りin宮古島』の実施概要」『宮古郷土史研究会会報』No.265 宮古郷土史研究会 2024年12月
- ・「加工石材から見るグスクの石積み技法とその構築背景」『南島史学』第92号 南島史学会 2025年1月
- ・「宮古諸島に見られる石積み遺構の構築技術についての一考察①」『宮古郷土史研究会会報』No.266 宮古郷土史研究会 2025年1月
- ・「宮古諸島に見られる石積み遺構の構築技術についての一考察②」『宮古郷土史研究会会報』No.267 宮古郷土史研究会 2025年3月
- ・「1969年と1970年に撮影された沖縄本島各地のグスク」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第18号 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月
- ・「首里城正殿地区に見る基壇遺構の石積み—遺構の再検討から王権の実相を読み解く—」『沖縄文化』第127号 沖縄文化協会 2025年3月

○兼任

- ・令和6年度大湾アガリヌウガン遺跡検討委員会委員
- ・令和6年度第32軍司令部壕資料等編さんワーキング委員

大城 沙織（学芸員／民俗）

○調査・研究等

- ・令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査（奈良県奈良市）（2024年12月11日～12月13日）
- ・令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る県内調整・調査等（本部町、那覇市）（2025年1月10日、2月3日、2月28日）
- ・民俗資料に係る県内調査・調整（名護市、うるま市、北中城村、宜野湾市、南風原町、豊見城市、南城市、竹富島西表島）（2024年4月5日、4月9日、5月14日、7月12日、9月11日、10月13日～10月15日、11月6日、11月25日、2025年2月27日）
- ・民俗資料に係る調査：大阪府吹田市国立民族学博物館、豊中市日本民家集落博物館（2025年3月25日～26日）
- ・資料収集に係る調査・調整（鹿児島県大島郡泊町）（2024年6月25日～6月27日）
- ・令和6年度特別展「芭蕉布展」に係る県内調査、調整、資料借用、資料返却、図録撮影等（大宜味村、今帰仁村、本部町、名護市、読谷村、那覇市、南城市、糸満市、石垣市、宮古島市）（2024年4月23日、4月25日、5月28日～29日、5月31日、6月1日～2日、6月9日、6月13日～14日、7月30日、9月11日、9月17日、11月1日、12月5日、12月6日、12月10日～11日、12月16日、12月18日）
- ・令和6年特別展「芭蕉布展」に係る調査・調整：愛媛県西条市愛媛民藝館（2024年5月17日～19日）
- ・令和6年特別展「芭蕉布展」に係る調査・調整：鹿児島県大島郡宇検村（2024年6月6日～8日）
- ・令和6年特別展「芭蕉布展」に係る資料返却：鹿児島県大島郡与論町（2024年12月26日～27日）
- ・令和6年特別展「芭蕉布展」に係る資料返却：東京都台東区 東京国立博物館（2025年2月4日～6日）
- ・令和6年度日本博物館協会全国大会参加：長野県松本市（2024年11月26日～28日）
- ・独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター「民俗資料の応急処置ワークショップ」参加（大阪府吹田市 国立民族学博物館）（2024年11月29日～30日）
- ・令和6年度移動展設営作業及び開会式等（多良間村）（2025年1月23日～25日）

○講演・ワークショップ等

- ・名 称：博物館常設展示解説会  
期 日：2024年5月9日（木）  
場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：芭蕉布展関連催事「芭蕉布を羽織ってみよう」  
期 日：2024年10月13日（日）  
場 所：博物館実習室
- ・名 称：令和6年度特別展「芭蕉布展」展示解説会  
期 日：2024年11月1日（金）  
場 所：特別展示室1・2、企画展示室
- ・名 称：学芸員講座「芭蕉とシマの生活誌」  
期 日：2024年11月9日（金）  
場 所：博物館講座室、特別展示室1・2、企画展示室
- ・名 称：令和6年度特別展「芭蕉布展」展示解説会  
期 日：2024年11月15日（金）  
場 所：特別展示室1・2、企画展示室  
依頼機関：沖縄県立芸術大学
- ・名 称：大宜味中学校芭蕉布展展示解説会  
期 日：2024年11月21日  
場 所：特別展示室1・2、企画展示室
- ・名 称：出前授業「沖縄の昔の生活 道具の移り変わり」  
期 日：2025年1月16日（水）  
場 所：浦添市立前田小学校 視聴覚室  
依頼機関：浦添市立前田小学校
- ・名 称：出前授業「沖縄の昔の生活 道具の移り変わり」  
期 日：2025年1月21日（火）  
場 所：那覇市立与儀小学校 地域連携室  
依頼機関：那覇市立与儀小学校
- ・名 称：出前授業「沖縄の昔の生活 道具の移り変わり」

期 日：2025年1月31日（金）  
場 所：那覇市立壺屋小学校 英語教室  
依頼機関：那覇市立壺屋小学校  
・名 称：出前授業「多良間の民話を楽しもう」  
期 日：2025年1月31日（金）  
場 所：多良間村立多良間小学校 多目的教室  
依頼機関：多良間村立多良間小学校

○著作論文等

- ・「芭蕉布展」『大好き沖縄』第88号 『大好き沖縄』の会 2024年8月
- ・コラム「芭蕉布展 老若男女に親しまれた衣 日常着から神衣裳まで」沖縄タイムス社 2024年10月1日
- ・「特別展『芭蕉布展』にみる芭蕉とシマの生活誌」『NAHACCI NEWS』11月号 No.858 那覇市商工会 2024年11月
- ・「現代沖縄における土帝君の整理（2）」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月

## 大湾 ゆかり（主任学芸員／民俗）

○調査・研究等

- ・「芭蕉布展」に係る調査・資料借用：大宜味村（2024年4月12日、7月6日）、奄美大島宇検村（5月6日～8日）、東京国立博物館・日本民芸館（9月25日～26日）
- ・在外琉球王国文化財調査研究に係る調査：うるま市（6月18日）
- ・公文書館所蔵資料の修復ボランティア（6月19日～7月9日）
- ・真壁殿内墓調査：南風原町（7月26日）
- ・資料レスキュー訓練見学：沖縄県公文書館（9月9日）
- ・西表島祖納新盛家の茅葺き替え作業調査：竹富町（10月12日～14日）
- ・宮古島総合調査（宮古上布と藍染料調査）：宮古島市（11月18日～20日）
- ・在外琉球王国文化財調査研究のハワイ調査：ハワイ沖縄センター、ハワイ大学図書館、ホノルル美術館、ハワイ東西センター（11月24日～29日）
- ・津波古厨子甕返還式：南城市（2025年1月7日）
- ・歴博映像研究会のフォーラム・国立劇場での調査：千葉県佐倉市（2月15日～16日）
- ・竹富島喜宝院調査：竹富町（3月11日～13日）

○講演等

- ・名 称：京都芸術大学「藍の学校」講演会  
日 時：2025年1月19日  
場 所：京都芸術大学
- ・名 称：本部町博物館企画展「つなぐ琉球藍」フォーラム  
日 時：2025年1月25日  
場 所：本部町産業支援センター
- ・名 称：歴博映像フォーラム18「フッテージの活かし方を考える」総合討論コメント  
日 時：2025年2月15日  
場 所：国立歴史民俗博物館
- ・名 称：平成6年度在外琉球王国文化財調査研究事業報告会  
日 時：2025年3月9日  
場 所：博物館講座室

○著作論文等

- ・「三線調査会とさんしんの日」那覇市商工会議所 2025年1月
- ・「明治期から昭和初期の琉球藍づくりの諸相」『藍の学校』京都芸術大学・藍の学校編 2025年2月
- ・「沖縄の藍染料に関する史料紹介（4）－『沖縄の染織工程』の中の琉球藍と染織工程の記録－」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月

○兼任

- ・沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員
- ・国立歴史民俗博物館共同研究員

## 新山 颯大（学芸員／地質）

○調査・研究等

- ・鹿児島県種子島地質調査（2024年4月23日～4月25日）
- ・石垣島地質調査（2024年5月24日～5月26日）

- ・鹿児島県屋久島地質調査（2024年9月3日～9月5日）
- ・宮古諸島総合調査（多良間島・地質調査）（2024年6月26日～6月28日、2025年3月19日～3月21日）
- 講演・学会発表等
  - ・名 称：日本古生物学会2024年年会「鹿児島県種子島の浅海性介形虫相とその生物地理学的特徴」（発表者：新山颯大・坂本華穂・神谷隆宏・田中原吾）
  - 期 日：2024年6月22日（土）
  - 場 所：高知大学
  - ・名 称：日本古生物学会2024年年会「鹿児島県下甑島の上部白亜系姫浦層群から産出した多丘歯類」（発表者：世羅拓真・楠橋直・三宅優佳・新山颯大・對比地孝亘・小松俊文）
  - 期 日：2024年6月23日（日）
  - 場 所：高知大学
  - ・名 称：第20回棘皮動物研究集会「沖縄県名護市の琉球層群仲尾次層から産出したクモヒトデ類の側腕板化石」（発表者：谷弘涼太・新山颯大・岡西政典）
  - 期 日：2024年12月14日（土）
  - 場 所：新潟大学
  - ・名 称：博物館学芸員講座「ジオツアーin多良間村」
  - 期 日：2025年1月25日（土）
  - 場 所：多良間村
  - ・名 称：体験学習教室「化石発掘体験」
  - 期 日：2025年2月15日（土）
  - 場 所：博物館実習室
- 著作論文等
  - ・宇佐美賢・加藤祐三・新城竜一・新山颯大「1924年西表海底火山噴火由来軽石層の発見」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号（p. 1-8）沖縄県立博物館・美術館 2025年3月

## 菊川 章（主任学芸員／生物）

- 調査・研究等
  - ・総合調査：多良間村内における陸貝および化石調査（6月26日～29日、11月12日～14日、3月19日～21日）
  - ・陸貝調査・採集（南城市）（4月13日、4月18日、6月12日）
  - ・寄贈予定資料調査（南城市佐敷）（4月26日）
  - ・令和7年度企画展関連資料調査：三重県総合博物館（9月5日）、名古屋市科学館（9月6日）、インターメディアテク（2月20日）、国立科学博物館（2月21日）
  - ・琉球列島地質・化石展関連調査：鹿児島県種子島（4月23日～25日）
- 講演等
  - ・名 称：学芸員講座「フィールドツアー 身近なカタツムリを探しに行こう！」
  - 期 日：2024年5月11日（土）9:00～12:00
  - 場 所：南城市内 参加21名
  - ・名 称：「愛鳥週間特別企画 タッチカービングで学ぶ沖縄の固有種たち」
  - 期 日：2024年5月24日（金）
  - 場 所：沖縄点字図書館 参加者13名
  - ・名 称：出前授業
  - 期 日：2024年7月12日（金）
  - 場 所：那覇市立垣花小学校 3学年対象
  - ・名 称：令和6年度第62回九州高等学校理科教育研究会沖縄大会博物館バックヤードツアー
  - 期 日：2024年8月2日 九州各県高等学校理科教諭24名
  - 場 所：当館バックヤード
  - ・名 称：宜野湾市立博物館 令和6年度第5回博物館市民講座「みんなの進化論入門」
  - 期 日：2024年8月4日（日）
  - 場 所：宜野湾市立博物館 一般22名
  - ・名 称：興南高校理科探求に係る講師
  - 期 日：2024年8月9日 参加者4名
  - 場 所：当館バックヤード
  - ・名 称：SPNHC-TDWG合同会議2024エクスカーションにおけるガイド
  - 期 日：2024年9月7日（土）
  - 場 所：博物館常設展示室 参加者40名

- ・名 称：出前授業  
期 日：2024年10月2日（水）  
場 所：沖縄県立那覇国際高等学校 2学年対象
- ・名 称：陽明高校（バックヤード見学）  
期 日：2024年10月18日 生徒23名  
場 所：当館バックヤード
- ・名 称：出前授業  
期 日：2024年11月20日（水）  
場 所：南城市立大里南小学校 5学年対象
- ・名 称：出前授業  
期 日：2024年12月5日（木）  
場 所：沖縄県立中部農林高等学校 定時制3学年対象
- ・名 称：琉大ジュニアドクター育成塾 特別授業「バックヤード見学」  
期 日：2024年12月26日（木） 小中学生10名  
場 所：博物館常設展示室およびバックヤード  
依頼機関：琉球大学
- ・名 称：出前授業  
期 日：2025年1月23日（木）  
場 所：多良間村立多良間小学校 4・5学年対象

○著作論文等

- ・「木村純一郎作「沖縄風俗画」（1912）に描かれた沖縄の動植物」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号（p9-17） 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月

**山崎 真治（主任学芸員／人類）**

○調査・研究等

- ・南城市古墓調査調整（百次腹門中・糸数）（2024年6月14日）
- ・在外文化財調査関係調整（うるま市宮城島）（2024年6月18日）
- ・（科研）統合生物考古学的研究B03班会議（2024年6月22-23日）
- ・南城市前川照田嶽原古墓群調査（2024年7月10日・12日・22日）
- ・デジタルアーカイブ関係調査（豊見城市）（2024年7月17日）
- ・夏休み子どもフェスタ（貝のアクセサリ作り）（2024年7月25日）
- ・北海道先史文化・アイヌ文化の調査（2024年7月30日～8月7日）
- ・普天間宮洞穴遺跡発掘調査現場見学（2024年8月15日）
- ・琉球・沖縄関係資料調査（九州大学総合研究博物館・長崎県埋蔵文化財センター）（2024年8月19日～22日）
- ・本部町洞窟調査（2024年8月29日～31日）
- ・文化観光拠点計画調査（旧海軍司令部壕・海軍壕公園）（2024年9月6日）
- ・木製品関係資料調査（壺屋焼物博物館）（2024年9月24日）
- ・宮古島・多良間島先史遺跡地下レーダー探査（2024年9月25日～27日）
- ・先史時代貝製品調査（浦添市歴史にふれる館）（2024年9月4日）
- ・興南高校生の総合的学習（沖縄の貝塚遺跡に関する調査研究）対応（2024年10月25日）
- ・宜野湾市立博物館 開館25周年企画展3 「洞窟のナゾ展」資料展示作業対応（2024年10月31日）
- ・明治大学藤山龍造氏資料調査対応（2024年11月5日）
- ・宜野湾市西普天間住宅地区石切り場調査現地見学（2024年11月6日）
- ・（科研）統合生物考古学的研究 第2回研究会議（2024年11月日～10日）
- ・武芸洞遺跡出土資料調査対応（広島大学学生）（2024年11月13日～14日）
- ・早稲田大学會津八一記念博物館所在沖縄関係資料調査（2024年11月19日～20日）
- ・サキタリ洞遺跡発掘調査（2024年11月18日～30日）
- ・サキタリ洞遺跡現地見学会実施（2024年11月30日）
- ・恩納村内洞窟調査（2024年12月1日）
- ・クルカーガマ遺跡発掘調査（2024年12月3日～13日）
- ・九州大学伊都キャンパスにて出前授業実施（2024年12月17日）
- ・移動展 in 多良間島撤収作業（2025年1月25日～27日）
- ・湧田村跡発掘調査現地見学（2025年2月9日）
- ・多良間島総合調査（2025年2月14日～20日）
- ・南風原町古墓（宇久田家の墓）調査（2025年2月27日）

- ・石垣市内洞窟調査（2025年3月4日～5日）
- ・読売テレビ若一探検隊取材対応（2025年3月7日～8日）
- ・徳之島洞窟遺跡調査現地見学（2025年3月18日～20日）

○講演・学会など

- ・名 称：「沖縄県南城市前川照田嶽原古墓群の現状記録調査の概要」  
日 時：2024年5月26日  
場 所：日本考古学協会第89回総会（千葉大学）
- ・名 称：「ルイス・ビンフォードと金関丈夫―戦後の首里博物館をめぐる研究者群像―」  
日 時：2024年10月26日  
場 所：鹿児島県考古学会・沖縄考古学会合同学会in指宿大会（指宿市考古博物館 時遊館COCCOはしむれ）
- ・名 称：学芸員講座「遺跡から見た沖縄の墓と葬制―先史・古代から中世まで―」  
日 時：2024年12月8日  
場 所：宜野湾市立博物館市民講座「洞窟と人骨」
- ・名 称：学芸員講座「旧石器人と洞窟遺跡」  
日 時：2025年2月8日  
場 所：第41回中四国旧石器文化談話会（高知県立埋蔵文化財センター）
- ・名 称：文化講演会「八重山・与那国の人類史―台湾・沖縄とのつながりを探る―」  
日 時：2025年3月14日  
場 所：与那国町保健センター（祖納）

○著作論文等

- ・山崎真治 2024「琉球列島の土器出現期研究から見た下原洞穴遺跡」『下原洞穴遺跡総括報告書―平成28年～令和5年度町内遺跡発掘調査等事業に係る発掘調査報告書―』天城町教育委員会
  - ・早田 勉・山崎真治 2024「奄美・沖縄諸島における広域指標テフラに関する新たな知見」『九州旧石器』28
  - ・山崎真治 2025「遺跡数・人口・捕食圧―琉球列島の人類生態史―」『高宮広土先生退職記念論文集（奄美考古第11号）』
  - ・山崎真治・谷川遼・有村元春・樋泉岳二 2025「會津八一記念博物館所蔵の沖縄関係考古・民俗資料について（下）」『會津八一記念博物館 研究紀要』25
  - ・山崎真治 2025「ルイス・ビンフォードと金関丈夫―戦後の首里博物館をめぐる研究者群像―」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』18
  - ・藤木 聡・大堀皓平・山崎真治 2025「琉球の火打石・火打金について―考古・民俗資料の紹介―」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 沖縄県立博物館・美術館
- （査読あり）
- ・山崎真治・福永将大・片多 雅樹 2025「玉泉館旧蔵資料中の琉球関係資料について」『九州大学総合研究博物館研究報告』22

○兼任

- ・国立民族学博物館文化資源共同研究員
- ・琉球大学医学部等客員研究員

**澤浦 亮平（主任／人類）**

○調査・研究等

- ・発掘調査：小松洞穴遺跡（岩手県気仙郡住田町）（4月25日～5月2日）
- ・発掘調査：下地原洞穴遺跡（沖縄県久米島町）（5月22日～6月2日）
- ・発掘調査：尻労安部洞窟（青森県東通村）（8月4日～8月11日）
- ・発掘調査：サキタリ洞遺跡（沖縄県南城市）（11月18日～11月30日）
- ・資料調査：Vietnam Academy of Social Sciences（9月4日～9月7日）
- ・資料調査：Institute of Archaeology, Vietnam（9月9日～9月11日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：日本動物考古学会第11回大会「現生飼育イノシシの口腔病理に関する調査結果について」（山崎京美・黒沢弥悦・仲谷 淳・清水良央・遠藤秀紀との共著による発表）  
期 日：2024年7月7日（日）  
場 所：東北芸術工科大学
- ・名 称：SPNHC TDWG 2024「Importance of the Multi-disciplinary Analysis at archaeological sites before storing the remains in museums」（Masaki Fujita, Shinji Yamasaki, Rikai Sawafujiとの共著による発表）

- 期 日：2024年9月3日（火）  
場 所：Okinawa Convention Center
- ・名称：第78回日本人類学会大会「サキタリ洞遺跡における古代土壌DNA解析」（澤藤りかい・山崎真治・藤田祐樹・Mikkel W. Pedersenとの共著による発表）
- 期 日：2024年10月14日（月）  
場 所：梅田スカイビルタワーウエスト
- ・名称：「港川人はどのような人だったのか？」
- 期 日：2024年11月8日（金）  
場 所：沖縄県立向陽高等学校
- ・名称：学芸員講座「久米島町下地原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る」
- 期 日：2024年12月7日（土）  
場 所：博物館講座室
- 著作論文等
- ・「海を渡った先史時代の人々」『Consultant』第305号 2024年10月
  - ・「補遺：サキタリ洞遺跡から出土した旧石器時代人遊離歯の形態学的特徴」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第18号 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月
- 競争的研究資金の獲得状況
- ・「東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金 令和2年度～令和6年度』（研究分担者）
  - ・「日本列島に棲息したオオヤマネコに関する学際的調査・研究」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 令和3年度～令和6年度』（研究分担者）
  - ・「学際的研究による沖縄諸島の後期旧石器ホモ・サピエンス拡散・適応史の解明」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A) 令和4年度～令和8年度』（研究分担者）
- 兼任
- ・東北大学大学院歯学研究科 歯科法医情報学分野 大学院非常勤講師

## 平川 信幸（主任学芸員／教育普及 美術工芸）

- 著作論文等
- ・「沖縄戦失われた御後絵（下）」『沖縄タイムス』2024年4月18日
  - ・「帰ってきた御後絵（上）」『琉球新報』2024年4月24日
  - ・「帰ってきた御後絵（下）」『琉球新報』2024年4月25日
  - ・「謎の国王と髭の関係」『鴨東通信』 思文閣出版 2024年9月
  - ・「『孔子像及び四聖配像』についてーその来歴と図像の読み解きー」『新しい歴史学のために』第34号 京都民科歴史部会 2024年11月
  - ・「図像世界を考えるための前提条件」『墓制からみた琉球史』 沖縄国際大学考古学研究室 2025年1月号
  - ・視点「戦争で失われた作品の美術史構築は可能か『琉球国王の肖像画「御後絵」とその展開』」『美術の窓』令和7年2月号 生活の友社 2025年2月
  - ・「デジタル化琉球芸術写真（鎌倉芳太郎撮影）による御後絵の表具形式の考察」『首里城研究』27号 首里城研究会 2025年3月
- 受賞
- ・名称：國華賞 2024年度（第36回）  
授与者：國華社  
期 日：2024年10月

## 8 職員研修

博物館法第4条の4において「学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」と規定しており、学芸員に学問的専門性を要求している。また、博物館が独自の展示会や教育普及活動を行うためには、学芸員自身が調査研究を行い新たな知見を得ていく必要がある。そのため、学芸員は適宜研修を受講するとともに、平成23年度から毎週「学芸員ゼミ」を開催して互いの研究について情報共有や意見交換を行っている。

ほか、館長、副館長が参加した会議や大会については、p176～177ページの「Ⅱ 全国組織との関わり」を参照いただきたい。

### (1) 沖縄県博物館協会

#### ① 令和6年度 沖縄県博物館協会総会・春の研修会

日 時：2024年5月30日、31日

場 所：沖縄県立博物館・美術館 講堂、首里城公園

参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、大城直也、大城沙織、菊川 章、山崎真治、新山颯大、伊禮拓郎、澤浦亮平、大湾ゆかり、篠原あかね、山本正昭、大底ひろみ、城間智子

#### ② 令和6年度 沖縄県博物館協会 秋の研修会

日 時：2025年2月6日、7日

場 所：北谷町立博物館

参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、菊川 章、新山颯大、大城直也、山崎真治、澤浦亮平、勝連涼子、大底ひろみ、亀海史明

### (2) 日本博物館協会

第72回全国博物館大会

日 時：令和6年11月27日～11月29日

場 所：まつもと市民芸術館（長野県）

参 加 者：大城沙織

### (3) 九州博物館協議会

令和6年度九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会

日 時：2024年11月18日・19日

場 所：福岡市博物館、鴻臚館展示館、大宰府政庁跡、大宰府展示館、大宰府天満宮

参 加 者：大城直也

### (4) 博物館班学芸員ゼミ

博物館学芸員ゼミは博物館班に関わる職員が日頃の調査研究の成果を報告することを目的に平成23年度より開始した。班会議終了後30分～60分程度話題提供し、2024年度（令和6）は14回実施した。No.は開始年よりスタートした一連番号で、令和6年度末で415回を数えている。

※以下「回、期日、担当者、題」の順に記す（原則毎週月曜日に実施）

回	累計回	月日	担当者	題
第1回	402	04/22	平川 信幸	《孔子及び四聖配像》はどこにあったか—鎌倉芳太郎の琉球調査から謎を読み解く—
第2回	403	05/13	崎原 恭子	琉球王国文化遺産集積・再興事業（第2期）金工分野の方向性
第3回	404	06/03	山崎 真治	早稲田大学の八重山調査をめぐって
第4回	405	10/21	里井洋一館長	冊封使行列について
第5回	406	10/28	新山 颯大	化石展について
第6回	407	11/11	菊川 章	2025年度企画展の構想について
第7回	408	11/18	篠原 あかね	芭蕉布展の展示解説会
第8回	409	01/06	山本 正昭	戦前期の日本の西洋建築を訪ねる—愛知地区の非公開建物を中心に—
第9回	410	01/20	伊禮 拓郎	首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎～琉球芸術調査が果たした役割～
第10回	411	02/10	新山 颯大	「琉球列島地質・化石展」の展示解説会
第11回	412	02/17	澤浦 亮平	久米島町地下原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る
第12回	413	03/10	宇佐美 賢	沖縄県立博物館・美術館の中長期計画について
第13回	414	03/24	大城 直也	もう一つの中山世譜 —「冠船御世譜」について—
第14回	415	03/31	大城 沙織	外来信仰の習合について試論—土帝君とビジュアル

(大湾 ゆかり)

## II 展示活動

### 1 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展1本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び、新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度（平成20）からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きる－豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

2024年度（令和6年度）は特別展「芭蕉布展～績まれる苧から生まれる思い～」の1本と、企画展は「新収蔵品展」、「琉球列島 地質・化石展」、「大嶺薫コレクション展 琉球歴史探訪～コレクションに秘められた思い～」の3本を開催のほか、ロビー展、常設展示部門展示室（美術工芸、歴史、民俗部門の一部）の展示替えを行った。

### 2 常設展

#### 【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つ一つが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きる－豊かさ、美しさ、平和を求めて－」とした。

常設展のうち、総合展示は、開館以来展示替えを実施してこなかったが、開館10周年を節目に、2017年（平成29）2月に展示の魅力アップを図るため、旧首里城正殿鐘を単品で紹介する展示をはじめ、当館が所蔵する県指定文化財等の梵鐘7口を新たに加え、展示の充実強化を図る初めての展示リニューアルを行った。また、屋外（駐車場側）に鐘楼を設けて、現存する最古の鐘のひとつである大聖禅寺鐘（実物）を吊り、対外的に博物館の魅力発信につなげた。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化について情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

#### ○海で結ばれた人々～サークルホールの展示～

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海に暮らした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる2万2千年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

#### ○貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが築かれるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の3つに収斂し、激しい抗争を繰り広げた。しかし、15世紀はじめ頃に、これらの3つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

#### ○王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制をつくりあげていった。展示リニューアルでは、常設展示に、旧首里城正殿鐘の単体の紹介を中心に、仏教文化と梵鐘や碑文に刻まれた王都の整備、円覚寺の創建、屋外には旧大聖禅寺鐘の展示を行った。

#### ○薩摩の琉球支配と王国（近世琉球）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀、蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

#### ○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていた。

#### ○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年（明治12）に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した（琉球処分）。琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果、沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年（昭和20）、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

#### ○戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年（昭和47）に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

#### ○沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年（平成12）には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時から2012年（復帰40年）までに募集した写真作品パネルと、写真のスライドショーで投影される写真ディスプレイで構成される。まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

### 【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の5つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

#### ○自然史部門展示 「生物が語る沖縄2億年」

琉球列島の成り立ちを語る岩石や化石、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル（沖縄島北部）、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

#### ○考古部門展示 「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

#### ○美術工芸部門展示 「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、1年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

#### ○歴史部門展示 「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々

なモノから歴史をひもとき、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

○民俗部門展示 「沖縄の伝統と暮らし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

(宇佐美 賢)

### 3 常設展 部門展示替え／ミニ企画展／エントランスホール展示

#### 【美術工芸部門】

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮、日本、東南アジアの中継地点に位置している。かつては琉球王国として独自の文化を育んでいた。美術工芸部門展示室では、展示資料を通して琉球の美を紹介している。

当館が収蔵する美術工芸品を中心にテーマに合わせて選定し、下記のテーマで展示替えを行った。

#### (1) 第1期展示「科学の目でみる琉球王国の色とその色材」

展示期間：2024年（令和6）4月2日（火）～2024年6月30日（日）

共 催：一般財団法人沖縄美ら島財団

展示内容：作品を科学の目でみることをテーマに、琉球王国時代の美術工芸品と、現代の技術で復元した作品（模造復元品）を紹介した。

展示資料：四季翎毛花卉図巻（模造復元品）／黒漆雲龍螺鈿盆／三線 盛嶋開鐘附胴（沖縄県指定有形文化財）／蛇皮線（模造復元品）／線彫雲龍文呉須差手焙／花紺青丁字風炉／呉須絵山水丁字風炉／呉須絵山水丁字風炉（模造復元品）／木綿紺地格子に緯浮花織衣裳、（裏）木綿黄色地紅型／木綿紺地格子に緯浮花織衣裳（裏）木綿黄色地紅型（模造復元品）／木綿紺地緯緋に経浮花織衣裳／木綿紺地緯緋に経浮花織衣裳（模造復元品）／絹紺地手縞織裂／絹紺地手縞織衣裳（模造復元品）／久米島紬古裂帖／絹灰色地経縞織衣裳（模造復元品）／紫地段鋸歯繫ぎ文様花織衣裳（模造復元品）／黄色地鳳凰蝙蝠宝尽青海立波模様紅型袷衣裳（模造復元品）／木綿花色地震枝垂桜模様紅型袷衣裳（模造復元品）／木綿浅地震に枝垂桜模様紅型衣裳／白地流水菖蒲蝶文様紅型型紙（模造復元品）／苧麻紺地鶴に波頭文様紅型幕（模造復元品）／紅型の製作道具と色材／木綿黄色地震に枝垂桜飛鳥菊花文様衣裳／絹黄色地枝垂桜楼閣小鳥文様紅型袷衣裳／木綿緋色地鶴に松皮菱流水菊文様両面紅型袷衣裳／桐板白地花籠燕文様両面紅型単衣裳／木綿苧麻白地格子肌掛け／紬黄地ムルドウッチリ袷衣裳（琉装）／苧麻紺地鶴に波頭文様紅型幕（模造復元品）の製作工程

#### (2) 第2期展示「琉球美術工芸の何だコレ！？～すごい！何で？どうやったの！？な琉球美の世界～」

展示期間：2024年（令和6）7月17日（水）～2024年10月20日（日）

展示内容：当館が実施している「琉球王国文化遺産集積・再興事業」で得られた研究成果から、精緻で高度な琉球の美の世界を紹介した。

展示資料：四季翎毛花卉図巻工程見本／旧円覚寺仁王像（模造復元品）／旧円覚寺仁王像残欠／朱漆巴紋牡丹唐草沈金透彫足付盆（模造復元品）／玉陵石獅子（模造復元品）／朱漆巴紋牡丹沈金御供飯（模造復元品）／御供飯構造模型／面取網代文三彩抱瓶（模造復元品）／緑釉四方燭台（模造復元品）／赤絵枝梅竹文碗（模造復元品）／淡青釉粟彩絵菊形中皿（模造復元品）／縫取織ウッチャキ（模造復元品）／絹経縞ロートン織衣裳（模造復元品）／木綿紺地緋衣裳（模造復元品）／空色地貝藻紅葉松葉木目文様紅型木綿袷衣裳（裏）紫地鶴松桜霞観世水文様紅型木綿（模造復元品）／紫地五色浮織冠（模造復元品）／赤地冠（縮緬）（模造復元品）／緑冠（模造復元品）三御飾御酒器一式（模造復元品）／三御飾御玉貫（模造復元品）／富盛開鐘（模造復元品）／江戸与那（模造復元品）

関連イベント：

学芸員講座「琉球美術工芸の何だコレ！？～すごい！何で？どうやったの！？な琉球美の世界～」

担 当：伊禮拓郎

日 時：2024年8月9日（金）18:30～20:00

場 所：博物館講座室

#### (3) 第3期展示「謝花雲石没後50年展 ～復帰を迎える「沖縄」を記した大書家の思い～」

展示期間：2024年（令和6）10月29日（火）～2025年（令和7）2月24日（月・祝）

展示内容：近現代沖縄を代表する能書家・謝花雲石氏（本名：寛剛、1883年4月1日～1975年2月21日）の

没後50年の節目にあわせ、氏の晩年の作品を中心にその功績を紹介した。

展示資料：謝花雲石プロフィール／書の道具／山水図軸／洛神賦軸／離婁上軸／古碑々字「山河堰落成記」軸／偶成軸／書法真訣／万座毛恩納奈邊記念碑拓本軸／玉城朝薫二百年祭記念碑拓本軸／波之上宮山城正忠歌碑拓本軸／沖縄県庁表札題字



(伊禮 拓郎)

### 【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解いていく展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。また、様々なテーマに沿って年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟な展示を行う機能を備えている。

歴史部門では、「那覇港～往来する人とモノ～」のテーマを通年で展示し、「返還された沖縄の文化財」のテーマを適宜展示しつつ、令和6年度には、「渡閩航路図の世界」・「特別展示 金銅雲龍文簪」・「琉球王国時代の葬墓制」・「本山桂川がみた100年前の沖縄」・「日本刀を科学する」・「琉球王国の正史『球陽』の世界」という多くのテーマで様々な資料を展示した。

以下に、それぞれの概要を紹介する。

#### (1) 「那覇港～往来する人とモノ～」

展示期間：通年展示

展示趣旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に取り上げ、3つのテーマに分けて紹介した。「1 王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「2 往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介した。「3 那覇のまち」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるまち（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示した。

展示資料：首里那覇港区屏風／琉球国惣絵図（間切集成図）（真和志間切他）（複製）／「琉球国全図」（琉球列島并三十六島之図）／他

#### (2) 「返還された沖縄の文化財」

展示期間：2024年（令和6）3月15日（金）～6月30日（日）／7月11日（木）～8月4日（日）  
9月3日（火）～11月4日（月・祝）  
2025年（令和7）3月25日（火）～6月15日（日）

展示趣旨：住民を巻き込んで繰り広げられた沖縄戦では、尊い人命や人々の生活等とともに琉球王国時代から近代にかけてつくられた様々な文化財も失われた。中には戦利品としてアメリカに持ち去られ、戦後沖縄に返還された文化財もあるが、琉球国王の冠や衣装等、所在がわかっていない文化財も数多くある。

1986年に活動を開始したNPO法人琉米歴史研究会は、喜舎場静夫理事長を中心に、琉球・沖縄関連の文化財の返還に取り組んでいる。ここでは、同会の活動によって沖縄に返還され、2021年に当館へ収蔵された資料を紹介した。

展示資料：木像「大黒様」／釣鐘（米国フロリダ州より返還）



#### (3) 「渡閩航路図」の世界

展示期間：2024年（令和6）6月11日（火）～6月30日（日）

展示趣旨：渡閩航路図は、那覇港から中国大陸までの航路図である。この資料の特徴は、海上からの目印（ランドマーク）となる岬や島の形を丁寧に描いている。また、海上に朱線が引かれており、それは琉球から中国への航路を示している。この他、中国大陸に近づくと、「五虎門」や「閩江」の様子が描かれており、琉球使節が滞在する建物の福州琉球館が見える。今回の特別展示では、渡閩航路図を読みとくために、航路上から見える島々の姿を合わせて紹介した。

展示資料：渡閩航路図



#### (4) 「特別展示 金銅雲龍文簪」

展示期間：2024年（令和6）年8月7日（水）～9月1日（日）

展示趣旨：「金銅雲龍文簪」は、琉球王国における最高位の神女である聞得大君が用いたとされている簪である。本資料は、カブと呼ばれる頭部の直径が10cmほどある大型の簪で、頂部には太陽を表すという渦巻き文を刻んでいる。また、カブの肩から側面にかけて、玉を取る二頭の龍が巡る様子を大きく表しており、その周囲には雲の文様と波の文様が埋め尽くされるように描かれている。本展では、2024年（令和6）3月15日付で、国の重要文化財に答申された記念として、「金銅雲龍文簪」の魅力を紹介した。

展示資料：金銅雲龍文簪

#### (5) 「琉球王国時代の葬墓制」

展示期間：2024年（令和6）11月12日（火）～2025年（令和7）1月13日（月・祝）

展示趣旨：琉球王国時代の歴史を紹介する視点の一つとして、葬墓制について取り上げる。当館の民俗分野に多くの厨子が収蔵されている。また、歴史分野には琉球王国時代の葬墓制を考える史料（墓敷証文・家譜）についても収蔵されている。今回の部門展示では、近世期の士族社会に焦点をあて、『四本堂家礼』をはじめとしたマニュアルや、首里系士の項姓砂辺家を事例に、文献史料からみる琉球の葬墓制を紹介した。

展示資料：『四本堂家礼』／『服制』／「項姓家譜 砂辺家」／項姓砂辺家の墓敷証文／項姓砂辺家の文書箱



#### (6) 「本山桂川がみた100年前の沖縄」

展示期間：2024年（令和6）11月12日（火）～  
2025年（令和7）1月13日（月・祝）

展示内容：本山桂川（1888-1974）は、長崎県出身の民俗学者である。1920年代に沖縄県を訪れ、首里や那覇、宮古島、石垣島、与那国島の各地の人物や生活文化等の様子を調査した。特に1923年12月下旬から1924年2月には長期間滞在し、沖縄各地を巡った調査成果を『与那国島図誌』や『南島情趣』（1925年刊行）等で発表した。さらに、同調査で撮影した写真を写真集『琉球』（上・下）として刊行し、掲載された全120枚からは当時の沖縄の様子をうかがうことができる。本展では、本山桂川が100



年前に撮影した写真の展示を中心に、本山がみた100年前の沖縄のすがたを紹介した。

展示資料：本山桂川『琉球』上・下（解説、沖縄の巻（2冊）／宮古・八重山の巻、与那国の巻）／本山桂川『南島情趣』／本山桂川撮影写真の大型木製パネル10枚／全120枚のパネル掲示及びスライドショー放映



### (7) 「日本刀を科学する ～琉大×おきみゆーの共同研究成果展～」

展示期間：2025年（令和7）1月21日（火）～3月16日（日）

展示内容：琉球大学と当館の共同研究として実施した「沖縄県立博物館・美術館所蔵歴史資料（日本刀）に関する共同研究」では、令和5年度に当館が所蔵する日本刀のうち宇久田家に伝来した2本を対象として、オーストラリア原子力科学技術機構（ANSTO）で中性子を用いた科学分析を行った。

令和6年度には、得られた測定データを解析することによって、それぞれの科学的な特徴が明らかになった。本展では、共同研究によって得られた科学分析の成果を展示するとともに、対象とした宇久田家伝来の日本刀2本もあわせて紹介した。

展示協力者：小林理気氏（琉球大学理学部講師）

展示資料：刀（無銘）・わきざし（無銘）※いずれも宇久田家伝来／『方姓家譜』（宇久田家）／オーストラリア原子力科学技術機構（ANSTO）で実施した中性子を用いた科学分析結果（琉大・小林理気氏提供）



### (8) 「琉球王国の正史—『球陽』の世界—」

展示期間：2025年（令和7）3月25日（火）～6月15日（日）※予定

展示趣旨：近世の琉球王国は、自らの立ち位置を確認するため、史書編纂事業を行っていく。そこで編纂されたのが、『中山世鑑』・蔡鐸本『中山世譜』・蔡温本『中山世譜』、そして『球陽』であった。今回の展示では、『球陽』編纂の背景に触れながら、当館所蔵の2種類の『球陽』を展示した。

展示資料：『球陽』／浦添御殿本『球陽』



（大城直也・崎原恭子）

### 【民俗部門展示室】

「沖縄のすまい」コーナーでは、年中行事にあわせて仏壇前にお供え物等を展示している。令和6年度は以下のように行った。

展示期間：清明祭・ユッカヌヒー・グングウチグニチ・旧盆・十五夜・冬至・ムーチー・旧正月・サングウチサンニチ等

展示趣旨：沖縄では季節の行事ごとに仏壇などに様々な食べ物を供え、祖先を祀るとともに家族の健康などを願う習わしがある。民俗常設展示室内の仏壇展示においても、年中行事にあわせて供物（食品サンプル）を展示し、パネル等で沖縄料理や行事について紹介した。今年度は例年行っている展示に加え、新たにサングウチサンニチの展示を行った。沖縄の行事食を通して、多彩な年中行事と豊かな食文化についての理解を深めるねらいがある。



サングウチサンニチには三月菓子を展示



昭和初期の旧盆供物を再現



ムーチーについて現代の儀礼とともに紹介



旧正月には赤飯やクーバイリチー、豚肉料理など多彩な料理が並ぶ

(大城 沙織)

### 【常設展示室入口ミニ企画／エントランスホール展】

#### (1) 身近なカタツムリ展

展示期間：2024年（令和6）4月2日（火）～2025年（令和7）3月30日（日）

展示場所：博物館常設展示室入り口

展示内容：沖縄島で身近に見られる陸産貝類（カタツムリ）を、立体造形作家でカタツムリ愛好家の河野甲氏によるリアルフィギュアと、生体写真を使ったパネルで紹介した。



(菊川 章)

## (2) 「おでかけ！沖縄県議会×おきみゅー〜沖縄県議会の歩みと仕組み〜」パネル展

展示期間：2024年（令和6）8月27日（火）～9月1日（日）

展示趣旨：沖縄県議会では、沖縄県の条例の制定・改廃や予算の決定、法律や条例で定められている重要事項の決定、決算の審議、県行政の調査や検査を行っている。また、意見書等を可決し、政府等関係機関に対する要請や県議会の意思を表明している。

沖縄県では、明治政府による琉球処分によって琉球王国が崩壊し、沖縄県が強制的に設置された後の1909年に第1回沖縄県会が開かれた。その後9回に及ぶ議員選挙が実施されたが、戦時色が濃くなる中、1944年1月末の議会を最後に消滅した。沖縄戦後は混乱の中、住民生活を立て直すために政府が組織される中で議会も創設された。しかし、米国の統治下に置かれて権限が制約されたことから、議会（立法院）では権利を取り戻すための様々な言論闘争が繰り広げられた。1972年に施政権が日本に返還されると沖縄県議会が発足し、現在にわたって県民の議決機関としての役割を担っている。

2024年6月に県議会第14期がスタートしたことを契機とし、当館の博物館常設展示室で紹介している沖縄の近現代史とあわせて、沖縄県議会の歩みと仕組みを県民の皆様にも知ってもらう機会としてパネル展を開催した。

開催形式：主催 沖縄県立博物館・美術館、展示協力 沖縄県議会

展示資料：沖縄県議会の歩みに関するパネル・写真・資料（立法院議事堂と沖縄県議会模型、立法院時代の使用品）／沖縄県議会の仕組みと沖縄県議会の活動紹介及びアクセス関連パネル／『沖縄県議会史』（情報センターで閲覧）



(崎原 恭子)

## (3) パネル展「6月23日と9月7日」

展示期間：2024年（令和6）9月3日（火）～9月23日（月・祝）

展示趣旨：県民の4人に1人の命を奪ったとされる悲慘な沖縄戦の終結から79年の歳月を経る中で、次第に歴史の証言者である戦争体験者が少なくなり、沖縄戦の風化と継承が課題となっている。沖縄では例年、6月23日の「慰霊の日」を前後に戦争や平和に関する催事が開かれることが多いが、旧越來村森根（現：嘉手納飛行場内）で降伏調印式が行われ、沖縄戦が正式に終了した9月7日にも焦点をあて、戦争の実状を学び平和な社会を考える機会とした。

展示資料：沖縄戦関連写真パネル／「慰霊の日」及び「降伏調印式」関連パネル



(崎原 恭子)

## (4) 「壁の時代—宮古島クバカ城跡・狩俣集落の発掘調査」

展示期間：2024年（令和6年）9月25日（火）～10月1日（火）

主 催：沖縄県立博物館・美術館、宮古島市教育委員会、武蔵大学

展示趣旨：中世の琉球諸島（グスク時代、古琉球期）には、石積みので囲まれた遺跡が分布する。世界遺産となった沖縄島のグスクのみならず、先島諸島には集落ともされる囲壁遺跡が確認され、現代の我々が抱く城や村の概念ではとらえきれない性格を持つことも予想される。また地域色も認められ、宮古島に分布する直線的な壁を持つ例は沖



縄諸島、八重山諸島には見られない。

本展示では琉球諸島各地の囲壁遺跡を概観すると共に、具体例として2021年から24年にかけて実施した宮古島での発掘調査成果を紹介し、村と城の性格を合わせ持った遺跡から浮かび上がる中世琉球史について考えてみたい。

展示内容：趣旨説明、琉球諸島の囲壁集落紹介、遺跡紹介

関連イベント：武蔵大学石井龍太教授による展示解説会 9月25日（水）、29日（日）、10月1日（火）

（山本 正昭）

#### 4 企画展 新収蔵品展—令和5年度収蔵資料

会 期：2024年（令和6）5月21日（火）～6月23日（日）

会 場：企画展示室、特別展示室1、2

観 覧 料：一般600円（480円）、高校・大学生400円（210円）、小・中学生以下無料

※（ ）は20名以上の団体料金

博物館企画展「新収蔵品展」は、前年度に寄贈・収集・購入・移管・修理された諸資料を一堂に集め、広く一般に公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展を目指して開催するものである。

##### 【事業内容】

令和5年度に寄贈・収集・購入・修理された諸資料を地学、生物、人類、考古、民俗、美術工芸、歴史の分野ごとに、博物館3階の企画展示室および、特別展示室1、2で展示・公開した。開会日に寄贈者への感謝状贈呈式と展示解説会を実施した。

##### 【展示内容】

令和5年度は、寄贈・収集・購入等により115件（1,983点）の新資料を収蔵した。

地質分野では、1980年代に西表島北部で採取された植物化石の珪化木、生物分野では、伊平屋島に迷鳥として飛来したソデグロヅルの本剥製と交連骨格を出品した。人類学分野では、久米島町下地原洞穴遺跡の再調査によって収集した保存良好なリュウキュウジカの化石を展示した。

美術工芸分野では、琉球王国時代の壺屋焼を代表する作品である「色絵椿梅文茶家」を展示した。本資料は、おしべや葉脈まで描かれた繊細な筆遣いから、分業で絵師が絵付けをした可能性がある。歴史分野では近世初頭八重山に漂着した中国人を元祖とする楊氏・古堅家の家譜、県内に残存した最古の映画館（劇場）であった首里劇場に関連する資料を公開した。

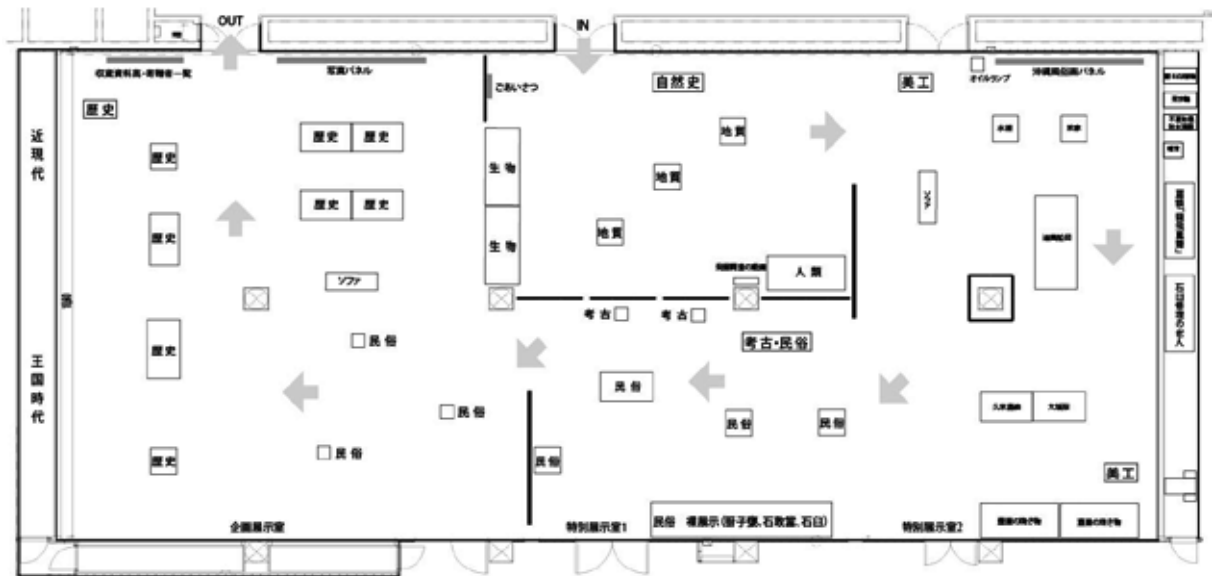
民俗分野からは、ボリビアの森林智あいに群生するイッペイ（アカラビョー）を棹の材料にした珍しい三線を展示した。本資料は世界に広がるウチナーンチュネットワークと三線文化の広がりを示す貴重なものである。

##### 【展示会の様子】



交流員向け展示説明会

【展示平面図】



(澤浦 亮平)

5 特別展 芭蕉布展 ～續まれる苧から生まれる思い～

会 期：2024年（令和6）10月1日（火）～12月1日（日）

会 場：博物館特別展示室1・2、企画展示室

観 覧 料：一般1,200円（960円）、高校・大学生700円（560円）、小・中学生500円（400円）

※（ ）は前売ならびに20名以上の団体料金

※未就学児無料

※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と介助者の方1名は当日料金の半額

観覧者数：9,791名（54日間）

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

共 催：大宜味村・喜如嘉の芭蕉布保存会

特別協力：沖縄タイムス社

協 力：石垣市立八重山博物館／（一財）沖縄美ら島財団／宇検村教育委員会／沖縄県公文書館／沖縄県平和祈念資料館／沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館／沖縄県立図書館／株式会社海燕社／喜如嘉芭蕉布事業協同組合／久米島博物館／世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム／東京国立博物館／那覇市歴史博物館／名護博物館／日本民藝館／南風原町立南風原文化センター／芭蕉布織物工房／宮古島市総合博物館／与論民俗村

後 援：株式会社エフエム沖縄／株式会社エフエム那覇／NHK沖縄放送局／FM琉球株式会社（FMレキオ）／大宜味村教育委員会／沖縄県教育委員会／沖縄ケーブルネットワーク株式会社／沖縄テレビ放送株式会社／株式会社ラジオ沖縄／与論町教育委員会／琉球朝日放送株式会社／琉球新報社／琉球放送株式会社

【開催趣旨】

芭蕉布は士族から庶民まで広く着用され、琉球において最も親しまれた布である。歴史・民俗的にも、芭蕉布は琉球における重要な交易品として位置づけられたほか、かつては琉球列島各地の多くの家で育てられ、各家の女性の手によって織り伝えられてきた。本展覧会では美しい芭蕉布の数々を展示するとともに、沖縄の衣文化を支えた糸芭蕉や植物染料、風俗画に描かれた芭蕉布、交易品として仕立て直された芭蕉布、神衣裳としての神秘さをたたえた芭蕉布など多様な芭蕉布を取り上げ、芭蕉布の美しさの背景にある人びとの生活や衣文化を紹介した。

なお、本展は1974年に「喜如嘉の芭蕉布」が重要無形文化財に指定されてから50年の節目を記念し大宜味村および喜如嘉の芭蕉布保存会との共催で実施した。展覧会の後半部では、太平洋戦争後の芭蕉布復興をはじめとする喜如嘉の芭蕉布が辿ってきた50年を逸品とともに紹介した。

## 【展示内容】

### プロローグ

かつて琉球の島々で女性らの手によって織られてきた芭蕉布。芭蕉布に込められた「思い」に注目すべく、沖縄を代表する詩人である山之口獺の「芭蕉布」をはじめ、古くから使われてきた地機などの展示を通して、かつて日常的に存在していた芭蕉布について紹介した。

〔主な展示物〕山之口獺自筆原稿「芭蕉布」／地機／芭蕉布無地着物／竹行李



### 第1章 美しい布 芭蕉布

高温多湿な琉球の気候に適した素材である芭蕉布は、庶民から身分の高い士族、王族まで幅広く着用された。本章では王国時代の官服「黒朝衣」をはじめ、花織着物、綾中着物、縞織着物など、高い技術力が凝らされた芭蕉布を展示した。

〔主な展示物〕芭蕉黒地着物（黒朝衣）／芭蕉紺地経緯緋着物／芭蕉白地綾中着物／芭蕉経緯緋着物／芭蕉紺地花織綾中着物／芭蕉波に月鶴踊衣裳など



### 第2章 衣文化を支える植物

芭蕉布の材料となる繊維はイトバショウという植物から採取される。そのほか、リュウキュウアイ、フクギ、ソウシジュといった芭蕉布づくりに役立てられる染料など、琉球の衣文化は、亜熱帯の豊かな植物によって支えられてきたことを紹介した。

〔主な展示物〕芭蕉繊維／色糸／フクギ／フクギ／ソウシジュ／琉球藍（沈殿藍）／芭蕉畑（写真）



### 第3章 芭蕉とシマの生活誌

芭蕉布は奄美大島から与那国島まで広く琉球各地で織られてきた。島ごとの特色や織り手の創意工夫がみられる芭蕉布や祭祀で着用された神衣裳、沖縄戦後ワンピースに仕立て直された芭蕉布など、人びとの生活に根付いた芭蕉布とその文化について、特に歴史・民俗の視点から紹介した。また芭蕉布は琉球の重要な交易品とされてきた。琉球の芭蕉布でつくられた火事羽織や、芭蕉布が珍重されていたことを示す史料も展示し、芭蕉布に関する幅広い文化に注目した。

〔主な展示物〕火事羽織／中山世鑑／沖縄風俗画／芭蕉布づくりに関する民具／芭蕉布カカン／芭蕉無地上衣（白朝衣）／芭蕉緯緋ティサージ／芭蕉経縞着物／芭蕉苧麻経縞縞織子ども着物／芭蕉布ワンピース／獅子頭など



### 第4章 喜如嘉の芭蕉布

沖縄戦以前から芭蕉布づくりが盛んであった大宜味村喜如嘉は、時代の変化のなかでもその手わざを共同作業で受け継いできた。糸芭蕉の栽培をし、繊維をとり、繊維を績んで、喜如嘉の芭蕉布づくりで用いられる糸が作られる。すべて手作業で行われる洗練されたわざは、現在重要無形文化財に指定されている。喜如嘉の芭蕉布保存会50周年を記念して、沖縄戦以前の喜如嘉で織られた芭蕉布や趣向が凝らされた芭蕉布緋着物などを紹介した。

〔主な展示物〕黄色地縞織芭蕉布着尺／トーニーハナアーシー芭蕉布着尺／アキファテ柄芭蕉布着尺／赤地縞煮総芭蕉布琉装着物／煮総芭蕉布九年母地格子緋銭玉／ハシトウイグワー銭玉着物など



## エピソード

琉球王国時代から現代まで織りつがれてきた芭蕉布。芭蕉布づくりに  
 において最も重要視される糸づくりと芭蕉糸（苧）に焦点を当て、芭蕉布  
 と手わざが未来へと受け継がれていくことを祈念した。

〔主な展示物〕 ウンゾーキ／苧／書（平良敏子氏琉歌）



## 【展示平面図】



(大城 沙織)

## 6 企画展 琉球列島 地質・化石展

会 期：2024年（令和6）12月20日（金）～2025年（令和7）2月23日（月）

会 場：特別展示室1・2、企画展示室

観 覧 料：一般：1,000円（800円）高大生：700円（560円）小中学生：400円（320円）

※（ ）内は前売料金ならびに20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は当日料金の半額

入場者数：12,730名（52日間）

## 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

協 力：浅見化石会館／奄美市立奄美博物館／伊平屋村教育委員会／大垣市教育委員会／公益財団法人  
 沖縄こどもの国／鹿児島県立博物館／鹿児島大学／金沢大学／熊本大学／国立研究開発機構（JA  
 MSTEC）国際海洋環境情報センター（GODAC）／滋賀県立琵琶湖博物館／種子島総合開発センタ  
 ー鉄砲館／徳島県立博物館／福井県立恐竜博物館／瑞浪市化石博物館／宮古島市総合博物館／む  
 かわ町徳別博物館／本部町立博物館／琉球大学

後 援：NHK沖縄放送局／株式会社 エフエム沖縄／株式会社エフエム那覇／FM琉球株式会社（FMレキオ）  
 ／おきなわ石の会／沖縄ケーブルネットワーク株式会社／沖縄県教育委員会／沖縄県高等学校地  
 学教育研究会／株式会社沖縄タイムス社／沖縄地学会／沖縄テレビ放送株式会社／那覇新都心通  
 り会／株式会社 南都／株式会社ラジオ沖縄／琉球朝日放送株式会社／琉球放送株式会社／株式  
 会社琉球新報社

## 【開催趣旨】

本県と鹿児島県の離島からなる琉球列島は、約3億年前から現在までの地層・岩石で構成され、様々な種類の化石が産出する。今回の企画展では、琉球列島という地域に着目して、「身近にあるけど気付かれにくい」存在である地質と、「人気があるのに気付かれにくい」化石たちを紹介し、それらの魅力を広い年齢層・立場の人々に伝える機会を提供する。

## 【展示構成】

### プロローグ 地質と化石の世界

本章では恐竜やその他大型動物化石、鉱物や大型の岩石資料など、インパクトのある資料を主体に、地質・化石のダイナミックさを伝えることを主な目的とした。また、本章では、地質分野の基本的な事柄を紹介し、地質と化石の世界を楽しみ、学ぶことができる空間を提供した。

〔主な展示物〕 堆積岩類（礫岩など）／火成岩類（花崗岩など）／脊椎動物化石（アパトサウルス頭骨模型／魚類実物化石など）／無脊椎動物実物化石（アンモナイトなど）／植物実物化石（珪化木など） 微化石電子顕微鏡写真パネル／微化石拡大模型など



### 第1章 琉球列島の地史

本章では、琉球列島の地質の基本的な情報（地質学的な琉球列島の区分、島々の地質とその年代、本州と共通する地質など）を、図表のパネルおよび岩石資料を使って示した。また、琉球列島の地質図の大型床置き展示物と、ハンズオンの岩石資料を組み合わせた「見て・触って・比べる 琉球列島の大地」のコーナーを配置し、体験型の展示により琉球列島の地質を学ぶ機会を提供した。

〔展示物〕 琉球列島の地質概略図／琉球列島の地質図を使った大型床置き展示（3m×3m）／大型岩石標本／琉球列島の代表的な岩石／琉球列島の層序概略図など

### 第2章 長い旅をしてきた地質たち：古生代石炭紀～中生代ジュラ紀の地質

本章では約3億年前から1億4,500万年前の石灰岩など、琉球列島に分布する最も古い岩石や化石を紹介した。本章ではアンモナイトなどの琉球列島産の化石、本州の赤坂石灰岩から産出したシカマイアなどの海の生物の化石を紹介し、はるか昔の生態系を学ぶ機会を提供した。

〔展示物〕 琉球列島産化石・岩石（フズリナ、アンモナイトほか）／本州産化石・岩石（シカマイア（大型二枚貝）／ウミユリほか）など



### 第3章 北・中琉球の土台：中生代白亜紀～新生代古第三紀の地質

本章では、北・中琉球の多くの島の基盤となっている約1億4,500万年前から2,300万年前の深い海の地層（四万十帯）を中心に紹介した。また、本章では同時代の他地域の古生物の例として、カムイサウルスやアンモナイトなどの化石及び化石レプリカを展示した。

〔展示物〕 琉球列島産化石・岩石（生痕化石、貝類、ウミユリなど）／本州産化石・岩石／恐竜化石（カムイサウルス全身骨格レプリカ／タルボサウルス頭骨／ティラノサウルスの一部）など

### 第4章 大陸とつながっていたころの琉球列島：新生代新第三紀～第四紀の地質

本章では、琉球列島がユーラシア大陸と地続きだった時代の様子を紹介した。約2,300万年前から200万年前の地質・化石には、ユーラシア大陸と琉球列島が地続きだったことを示すものがあることを紹介した。そして、その後の時代の砂や泥が主体となる深海の地層（島尻層群）とそこから産出する化石を紹介した。

〔展示物〕 沖縄県産化石（生痕化石、貝類化石など）／本州産化石・岩石（貝類、哺乳類化石レプリカなど）

### 第5章 サンゴ礁の海の時代：新生代第四紀の地質と洞穴・フィッシャー堆積物

本章では約200万年前以降の琉球列島の岩石・化石の変化を紹介した。そして、琉球層群の石灰岩類に関連する資料をもとに、「サンゴ礁の海」の始まりを紹介した。また、石灰岩にできた割れ目や洞窟の堆積物から発見されている後期更新世以降の陸上生物の化石と、それらの特徴や古生物地理学的な意義について紹介した。

〔展示物〕 沖縄県産化石・岩石（貝類、サンゴ、シカなど）／本州産



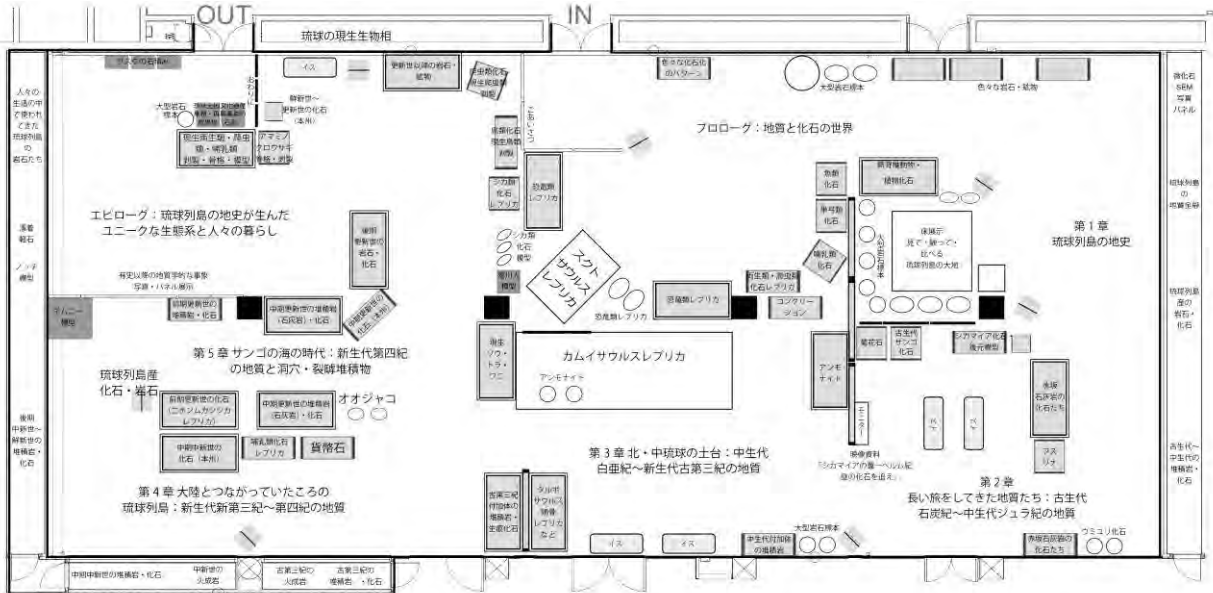
化石・岩石（ニホンムカシジカ全身レプリカなど）

### エピローグ：琉球列島の地史が生んだユニークな生態系と人々の暮らし

第2章～第5章で紹介した琉球列島約3億年の歴史をふまえて、生物分野の剥製・骨格標本や、美術工芸分野の工芸品などの資料を展示し、現在の琉球列島に生息する生物たちや、人々の暮らしとの間にある地質との関係を紹介した。

〔展示物〕 琉球列島の陸生生物（現生種）の剥製・骨格標本／模型／琉球列島産の岩石を用いた資料（硫黄島産石臼、各種美術工芸品）など

#### 【展示平面図】



#### 【関連催事】

(1) 博物館文化講座 「貝と化石に魅せられた一人のうちなんちゅのはなし」

日 時：2025年1月18日（土）14:00～16:00

講 師：安里開士（福井県立恐竜博物館 研究員）

場 所：講堂

参加者：145名

(2) 学芸員講座 「ジオツアー in 多良間村」

日 時：2025年1月25日（土）10:00～12:00

講 師：新山颯大（沖縄県立博物館・美術館 学芸員）

場 所：多良間村

参加者：21名

(3) 体験学習教室「化石発掘体験」

日 時：2025年2月15日（土）10:00～11:30

場 所：博物館実習室

参加者：13名

(新山 颯大)

## 7 企画展 令和6年 大嶺薫コレクション展 戦後80年 大嶺薫と東恩納博物館

会 期：2025年（令和7）3月25日（火）～2025年（令和7）5月11日（日）

会 場：特別展示室2

観 覧 料：博物館常設展覧会料金と同じ

観覧者数：4,369名（※全日程入館者数）

#### 【概 要】

大嶺薫（1905-1970）は、沖縄における戦後最初の博物館の館長を務めた人物である。戦前から蒐集家として知られ、特に美術工芸に対する造詣が深かったといわれている。1953年（昭和28）に館長を退任したのちも精力的に資料収集に努め、戦前・戦後を通して多くの文化財収集を行った。その意志は大嶺の没後遺族にひきつ

がれ、1971年（昭和46）、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献した。1984年（昭和59）、同美術館の閉館にともない収蔵資料3,000点余のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈された。

令和6年度展示では、戦後80年の節目と大嶺が初代館長を勤めた「Okinawan Exhibit」の開館80年の節目に合わせ「戦後80年 大嶺薫と東恩納博物館」をテーマに、「東恩納博物館収蔵品台帳」から新たに分かった戦後直後の資料収集の様子等を紹介するとともに、東恩納博物館を見学した感想をつづった「石川市婦人部長石川朝子氏からの手紙」や大嶺が館長を退任する際に贈られた「感謝状」等から、大嶺と東恩納博物館の足跡について紹介した。

（伊禮 拓郎）

## 8 出張展示会

### （1）「愛鳥週間」おきみゅーから出張ミニ展示

会 期：2024年（令和6）5月20日（月）～5月31日（金）

会 場：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 1階展示コーナー

展示内容：当館所蔵の鳥類剥製を「令和5年度沖縄県愛鳥週間ポスターコンクール」の入賞作品とともに展示した。



（菊川 章）

### （2）稲村賢敷生誕130年記念 琉球と倭寇のものがたりin宮古島

会 期：2024年（令和6）9月27日（金）～11月17日（日）

会 場：宮古島市歴史文化資料館企画展示室

観 覧 料：無料

主 催：沖縄県立博物館・美術館、宮古島市教育委員会

開催趣旨：宮古島の郷土史家である稲村賢敷生誕130年を記念して、令和5年度に実施した企画展『海を越える人々（前期） 琉球と倭寇のものがたり』の一部を抜粋した展示に加えて倭寇が活動していた14世紀中頃から16世紀にかけての宮古島市内の遺跡から出土した遺物を展示し、東アジアにおける人とモノの移動について触れていく。当展示を通して14世紀後半から16世紀に東アジア世界に現れた倭寇の実態について触れると共に、同時期に東アジア海域をまたにかけて交易を行った琉球の姿を紹介し、東アジア海域で活動した人とその痕跡について掘り下げていく。

#### 【展示構成】

##### プロローグ

中世における東アジア海域はどのような世界だったのか。その始まりについて琉球列島の動態をから紹介することで、その歴史的な展開を紐解いていく。また、各地域の14世紀から15世紀にかけての動向について触れていく。

##### 第1章 倭寇の姿とその動き

中国大陸沿岸部や朝鮮半島を中心に跋扈していた倭寇とはどのような姿だったのか、そしてどのような性格であったのか。東アジア各地の被害状況やその発生要因について触れていくと共に倭寇の具体像について可能な限りを資料とモノから主に読み解いていく。

##### 第2章 倭寇の活動時期に展開された琉球の交易

倭寇による被害が14世紀後半から多発していく状況と並行して琉球は明朝と朝貢関係を結び、さらに冊封を受けてその関係性を深めていく。明朝による琉球の優遇政策を通して新たな交易システムが東アジア海域において構築されていく状況と琉球列島各地の遺跡から見える交易の実相を軸にして紹介していく。

##### 第3章 倭寇の足跡を追い求める。

倭寇が来したのかは断片的にはあるが史料から確認することができるが、その実態については明確に見て



取ることはできない。しかし、戦後まもなく遺跡から倭寇の姿を追い求めた研究者が存在したほか、中世における東アジアの動向をモノの流れで捉えていこうとした研究が行われた。また、近年においては水中文化遺産の観点でグスク時代の動向を捉えていこうとする動きも見られるようになってきている。ここでは上記の視点から倭寇の実態を捉えていこうとした研究状況について触れていく。



### エピローグ

現在、世界が一つに繋がっていくグローバル化が進められていき、人やモノ、更には情報が円滑に移動している社会となってきている。そのような中で沖縄の海運や物流が世界に果たしている役割も少なからず大きい。現代における世界の中の沖縄を海という視点で見た時、歴史上での倭寇の動向と琉球の交易がどのようなものであったのか改めて見ていく。

#### 【関連イベント】

- ① 企画展『稲村賢敷生誕130年記念 琉球と倭寇のもの語りin宮古島』関連講座「琉球と倭寇と宮古島」  
日 時：2024年9月28日（土）14:00～16:00  
講 師：山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）  
会 場：宮古島市歴史文化資料館講座室  
参 加 者：21名
- ② 企画展『稲村賢敷生誕130年記念 琉球と倭寇のもの語りin宮古島』関連イベント 文化財巡見  
日 時：2024年9月30日（土）9:30～12:00  
講 師：久貝弥嗣（宮古島市教育委員会）  
参 加 者：6名
- ③ 企画展『稲村賢敷生誕130年記念 琉球と倭寇のもの語りin宮古島』関連イベント展示解説会  
日 時：2024年11月17日（日）14:00～16:00  
講 師：山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）  
会 場：宮古島市歴史文化資料館企画展示室  
参 加 者：10名

（山本 正昭）

## III 教育普及活動

### 1 博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業、博物館が企画運営する文化講座、学芸員講座、体験学習教室、ボランティア養成等、大きく2つの事業に分け推進してきた。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

#### ○県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など） ※重複あり

項 目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
下見(学習プログラム作成打合せ)	19	0	0	0	0	19
民具体験(小学校3年社会科)	18	0	0	0	0	18
教科(社会科、理科など)	53	6	20	5	1	85
領域(道徳、特活、総学の時間)	14	5	1	1	0	21
民俗ガイド(小規模校対応)	7	0	0	0	0	7
総合展示部門解説ガイド	0	0	0	0	0	0

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
修学旅行など	22	0	0	0	0	22
博物館活用学習（自由見学）	0	0	1	0	4	5
その他	11	8	1	3	3	26
合計	144	19	23	9	8	203

（平川 信幸）

## 2 学校連携事業

学校連携事業は、各学校の計画による団体観覧の支援で、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援をおこなっている。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮して、学校と博物館が連携して博物館を利用する際の、学習プログラムを作成した。

また今年度の学校連携事業は、民具体験、出前授業、来館学習などの学習プログラムの充実を図るほか、離島地域における出前授業を推進した。

### （1）学校団体受入れ

9月頃から3月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために小学3年生が数多く来館する。この民具体験学習（民具体験学習プログラム・1、ボランティアサポートあり）では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。

また、教師主導による授業活用（民具体験学習プログラム・2）では、展示解説マニュアルを活用して、博物館常設展示室における展示資料、民具体験学習における授業の指導作成・進行についての指導等を事前に各学校個別行い、教職員の授業における博物館活用を支援する取り組みを推進した。

今年度、9校が職員による民具体験・解説を活用した民具体験学習プログラム・1を行った。また、教師主導による授業活用（民具体験学習プログラム・2）は9校が実施することができた。

### （2）出前授業等

博物館のもつ資源（もの情報、人）を、出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用することを目標として、各種学校・施設・関係機関を対象に学芸員による出前授業プログラムを実施している。離島地域の出前授業において、博物館の活動を知らなければ、有効に利用することができないと考え、今年度は、離島地域における出前授業の周知強化に取り組んだ。年度初めに「出前授業等」実施要項を各種学校・施設・関係機関へ配布、周知を強化する他、離島地域においては個別に広報をおこなった結果、小学校9校（うち1校雨で中止）、中学校2校、高等学校6校、その他団体9、合計26校で出前授業等を実施することができた。

### （3）来館学習プログラム

本取組については教育課程の一環として、博物館を学校側が利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設、職員、博物館学芸員の支援体制を考慮し館内で行う来館学習プログラム等を実施した。今年度は多様な来館学習の要望があったため、その他団体等についても考慮し、今年度の来館学習プログラムは、7団体、69名受け入れすることができた。

（平川 信幸）

## 3 博物館体験学習教室

体験学習教室は沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。

### 体験学習教室実施一覧

実施日	題	講師名	内容	参加者
7月21日(日)	ウチナーの民話 上映会	沖縄県立南部農林高等学校生活デザイン科	デジタルミュージアム推進事業	60
8月3日(土)	金のかざりをつくってみよう！ ～彫金体験～	松田 聖/松田 浩佑 (鋳屋松田8・9代目)	令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業	31

実施日	題	講師名	内 容	参加者
10月13日(日)	芭蕉布をはおってみよう 着衣体験	篠原 あかね (美術工芸担当学芸員) 大城 沙織 (民俗担当学芸員)	「芭蕉布展」関連イベン ト	10
11月10日(日)	芭蕉から糸をつくろう うーうみ体験	喜如嘉の芭蕉布保存会	「芭蕉布展」関連イベン ト	15
2月15日(土)	化石発掘体験	新山 颯大 (地質担当学芸員)	「琉球列島 地質・化石 展」関連イベント	13
2月22日(土)	琉球古刺繍をやってみよう	琉球古刺繍保存会	令和6年度琉球王国文化 遺産集積・再興事業	15

(平川 信幸)

#### 4 博物館文化講座

文化講座では、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。

##### 文化講座開催一覧

回数	期 日	演 題	講師名	定員	参加者
561	4月20日(土)	「展示づくりの舞台裏ー民俗展示と船ー」	板井 英伸	200	57
562	5月18日(土)	「沖縄のヤモリ・トカゲー爬虫類を通して島を見るー」	戸田 守	200	125
563	6月15日(土)	「『渡閩航路図』の世界ー琉球王国の海上交通を探るー」	山田 浩世 黒嶋 敏	200	120
564	7月20日(土)	「九州の中世城郭ー各地の地域性を中心にー」	岡寺 良	200	70
565	8月31日(土)	「海外に残された琉球文学資料ー国立台湾大学図書館蔵『琉歌大観』を読むー」	石川 恵吉	200	45
566	9月21日(土)	「今帰仁のグスク時代人ー勢理客中道原洞穴遺跡の調査よりー」	玉城 靖	200	134
567	10月26日(土)	「無形文化財と芭蕉布」	生田 ゆき	200	125
568	11月16日(土)	「喜如嘉の芭蕉布」	平良 美恵子	200	135
569	12月14日(土)	「琉球の茶文化について」	森 達也	200	140
570	1月18日(土)	「貝と化石に魅せられた一人のうちなーんちゅのはなし」	安里 開士	200	145
571	2月15日(土)	「資料が語る『大濱信泉』の生涯」	喜舎場 大貴	200	80
572	3月8日(土)	「地下壕でつながる沖縄戦」	安藤 広道	200	130

(平川 信幸)

#### 5 学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。

##### 学芸員講座開催一覧

回	開催日	演 題	講師名	定員	参加者
1	4月13日(土)	遺跡から見た沖縄の墓と葬制ー先史・古代から中世までー	山崎 真治	80	103
2	5月11日(土)	フィールドツアーー身近なカタツムリたちを探しに行こう！	菊川 章	20	21
3	6月8日(土)	新たに収蔵した琉球王国時代の家譜～毛姓家譜(譜久村家)、元姓家譜(知念家)、楊氏家譜(古堅家)～	崎原 恭子	200	105

回	開催日	演 題	講師名	定員	参加者
4	8月9日(金)	琉球美術工芸の何だコレ!? ～すごい!何で?どうやったの!?!な琉球美の世界～	伊禮 拓郎	80	35
5	9月7日(土)	石積みを持つグスクの特徴ーグスクに見られる積み石の加工石材を見るー	山本 正昭	200	130
6	10月12日(土)	美しい布 芭蕉布	篠原 あかね	80	55
7	11月9日(土)	芭蕉とシマの生活誌	大城 沙織	80	80
8	12月7日(土)	久米島町下地原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る	澤浦 亮平	80	65
9	1月25日(土)	ジオツアーin多良間村	新山 颯大	20	21
10	2月8日(土)	近代における首里王府文書の移動	大城 直也	80	60
11	3月1日(土)	ジオツアーin伊平屋村ー古く硬い石の島と島人の生活ー	宇佐美 賢 新山 颯大 嘉手納 知子	20	20

(平川 信幸)

## 6 学芸員による常設展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介している。参加者の内訳は、初めて参加するお客様のみならず年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。各学芸員が1回ずつ担当した。

### 学芸員による常設展示解説会開催一覧

(※人数制限を行い実施した)

	日 程	分 野	講師名	定 員	参加者数(名)
1	4月11日(木)	美術工芸	篠原 あかね	15	15
2	5月9日(木)	民 俗	大城 沙織		15
3	6月6日(木)	人 類	山崎 真治		15
4	7月11日(木)	歴 史	崎原 恭子		15
5	8月8日(木)	生 物	菊川 章		19
6	9月5日(木)	考 古	山本 正昭		14
7	10月10日(木)	地 学	宇佐美 賢		15
8	11月7日(木)	人 類	澤浦 亮平		15
9	12月5日(木)	美術工芸	伊禮 拓郎		15
10	1月9日(木)	歴 史	大城 直也		15
11	2月6日(木)	地 質	新山 颯大		15
12	3月6日(木)	教育普及	平川 信幸		14
合 計					182

(平川 信幸)

## 7 学芸員によるバックヤードツアー

バックヤードツアーは、専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務め、建物の構造やIPM(Integrated Pest Management: 総合的有害生物管理)の取り組み、資料の修復について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解し、博物館についてより知ってもらう機会とした。

### 学芸員によるバックヤードツアー開催一覧

	日 程	分 野	講師名	定 員	参加者数(名)
1	4月27日(土)	歴 史	崎原 恭子	10	10
2	5月25日(土)	考 古	山本 正昭		11

	日程	分野	講師名	定員	参加者数(名)	
3	6月22日(土)	美術工芸	伊禮 拓郎	10	8	
4	7月27日(土)	美術工芸	篠原 あかね		11	
5	8月24日(土)	生物	菊川 章	12	12	
6	9月28日(土)	人類	山崎 真治		12	
7	10月26日(土)	地質	新山 颯大		12	
8	11月23日(土)	地学	宇佐美 賢		12	
9	12月21日(土)	人類	澤浦 亮平		10	
10	1月25日(土)	歴史	大城 直也		12	
11	2月22日(土)	民俗	大城 沙織		12	
12	3月22日(土)	教育普及	平川 信幸		12	
合計					134	

(平川 信幸)

## 8 夏休み！子どもフェスタ 2024 (博物館学芸員教室)

学芸員が、夏季休暇中の児童生徒を対象に、沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究等について、可能な限り博物館の情報を提供し、郷土への興味・関心を高めるために「夏休み！子どもフェスタ2024」を開催した。「夏休み！子どもフェスタ」は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。

### 夏休み！子どもフェスタ 開催一覧

期日・教室内容・講師	参加者
<b>【7月24日(水)】</b> ①『香りを聞こう！香り袋と聞香体験』 伊禮拓郎【美工】 ②『考古学者体験』 山本正昭【考古】 ③『洞窟遺跡の堆積物を調査せよ！』 澤浦亮平【人類】	16名 4名 8名
<b>【7月25日(木)】</b> ④『貝のアクセサリ作り』 山崎真治【人類】 ⑤『身近なカタツムリの不思議にせまってみよう！』 菊川 章【自然史】	10名 15名
<b>【7月26日(金)】</b> ⑥『地図を持って歩こう 那覇の町』 大城直也【歴史】 ⑦『オリジナルの家系図をつくろう！』 崎原恭子【歴史】	8名 8名

(平川 信幸)

## 9 博物館ボランティア活動

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入しており、主に館内催事・学校連携事業全般における来館者サービスをサポートする人員として、また当施設のふれあい体験室での来館者サービスをサポートする人員として活動している。現在の総勢54名(休止を除く継続活動申請者)の博物館ボランティアが登録している。また、資料整理ボランティアは34名が登録している。

令和6年度、第10期の新規ボランティアを募集し、養成講座をおこない19名の博物館ボランティアの登録ができた。

(平川 信幸)

## 10 ふれあい体験室

### (1) ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を

併せ持っている。さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

## (2) 体験キットの位置づけ

展示物（体験キット）は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」に触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。体験キットは、教育普及資料として位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

## (3) ふれあい体験室・体験キットの対象者

基本的に小学校中学年（3年生以上）を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

## (4) 体験キットの分類

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本としている。しかし、体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている。

## (5) 利用者状況

感染症対策として昼に消毒のための休室時間を設けていたが、新型コロナウイルス感染拡大前の状況に戻ったため県と指定管理で協議の上、夏期休暇の開始と共に休室時間を廃止した。但し、予防対策として入室時と展示物の消毒は継続している。また混雑時の安全管理として、ベビーカー置き場や荷物置き場を配置し、破損しやすい展示物には結界をする対策をした。またユニバーサルデザインを意識して、ふれあい体験室のサインや利用案内を見やすく変更した。

また修繕が必要な展示物の中から、4点の展示キットの修繕を今年度中に行った。

今年度は71,126名（1日平均238名）が来場した。

（沖縄美ら島財団 藤田 早苗）

## 11 常設展に関する取り組み

### (1) 博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、2011年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を継続して常設展入口のラックに設置した。2024年度は、約13,500枚（日本語版10,000枚、英語版3,500枚）を配布した。

### (2) 「沖縄2億年の歴史を1時間で旅するシート」

沖縄の歴史を短時間で伝えることを目的とした本シートは、約6,000枚配布した。観光客や県内のお客様、さらには修学旅行生にも好評だった。

### (3) 博物館常設展示室ワークシート

- ・「12匹のアタク（オキナワキノボリトカゲ）をさがせ！」（生物1）
- ・「日本で唯一 飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」（生物2）
- ・「港川人を解析せよ」（人類1）
- ・「よく見てサークルホールの化石」（地学1）
- ・「石と友達になろう」（地学2）
- ・「沖縄の魔除けをさがせ！」（民俗1）
- ・「道具を探せ」（考古1）
- ・「三線のひみつ」（美術工芸1）
- ・「銅鐘DOUSHOコレクション」（歴史1）

常設展示室内で学芸員が見てほしい資料を紹介するために、今年度も継続してワークシートを常設展示室やイベント等で配布し多くの来館者が参加した。

実施期間：2024年4月2日（火）～ 2025年3月30日（日）

場 所：博物館常設展示室  
配 布 数：9,500枚

(沖縄美ら島財団 森 萌子)

#### (4) 博物館・美術館連携事業 慰霊の日関連催事「博物館・美術館で平和を考えるイベント」

慰霊の日関連催事として、今年度は絵本の読み聞かせ映像の上映と、沖縄県立図書館協力のもと平和や戦争に関連した本の紹介を行った。

また、6月1日(土)には実際に絵本の読み聞かせを実施した。

- ・ 展示期間：6月1日(土)～6月30日(日)
- ・ 読み聞かせ：6月1日(土) 14:00～15:00
- ・ 読み手：高良 實(美術館ボランティア)

(沖縄美ら島財団 保久村 智恵)

## 12 普及資料の活用

令和6年度の貸出団体は8件であった。

### 教育普及資料貸出一覧(令和6年度)

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
1	沖縄県立大平特別支援学校	けんぱくキット「んかしむん」、「ちむドンドン(着物、帯、四ツ竹)」	国際交流	7/3～7/10
2	沖縄県立図書館	ガンシナ、パーキ、ティール	体験コーナー 展示	7/16～9/3
3	沖縄県立那覇特別支援学校	けんぱくキット「んかしむん」	展示	1/17～2/6
4	那覇市立与儀小学校	けんぱくキット「んかしむん」、洗濯板、 着衣セット	授業利用 (社会科)	1/9～1/16
5	那覇市立小祿南小学校	けんぱくキット「んかしむん」	授業利用 (社会科)	1/17～1/24
6	那覇市立壺屋小学校	けんぱくキット「んかしむん」クバミ の・クバ笠	授業利用 (社会科)	1/31～1/10
7	那覇市立真嘉比小学校	けんぱくキット「んかしむん」	授業利用 (社会科)	2/14～2/20
8	沖縄県立那覇みらい支援学校	けんぱくキット「んかしむん」、ちむド ンドン	授業利用 (道徳)	2/17～2/28

(平川 信幸)

## 13 指定管理者による10分ガイド

指定管理者のスタッフによる「沖縄の歴史を知る10分ガイド」は、5団体120名に実施した。総合展示部門のガイドに関しては、活動を再開したが実施団体は無かった。

	利用区分	地域	日付	団体名	対象	人数
1	修学旅行	大阪府	4月16日(火)	東洋きもの専門学校	一般	11
2	修学旅行	埼玉県	11月13日(水)	東京学芸大学付属国際中等教育学校	一般	33
3	一般旅行	沖縄県	11月14日(木)	沖縄県保護・援護課	一般	13
4	修学旅行	新潟県	2月25日(火)	新潟大学附属中学校 ※オンライン	一般	43
5	一般旅行	秋田県	3月12日(水)	秋田県遺族連合会	一般	20
合 計						120

(沖縄美ら島財団 森 萌子)

#### IV 資料の収集・保存管理

##### 1 収蔵資料現在高

分類		購入	寄贈	収集	移管	分担管理	小計	総計
自然史	地学	685	28,036	3,165	1	0	31,887	77,838
	動物	1,545	37,582	523	141	0	39,791	
	植物	41	6,116	0	0	0	6,157	
	菌類	3	0	0	0	0	3	
人類資料		93	30	7	0	2	132	132
美術工芸	絵画	104	593	2	4	0	703	11,140
	書跡	181	504	49	6	0	740	
	彫刻	13	115	136	7	0	271	
	陶磁器	642	3,549	466	538	0	5,195	
	漆器	240	398	195	19	0	852	
	染織	1,357	1,833	51	28	0	3,269	
	その他	15	95	0	0	0	110	
歴史資料		2,939	11,091	700	491	0	15,221	15,221
考古資料		304	6,652	2,820	1	0	9,777	9,777
民俗資料		614	6,143	1,072	178	0	8,007	8,007
総計		8,776	102,737	9,186	1,414	2	122,115	122,115

##### 2 2024年度（令和6）新収蔵資料高

分類		購入	寄贈	収集	移管	小計	総計
自然史	地学	2	91	79	0	172	18,903
	動物	1	18,730	0	0	18,731	
	植物	0	0	0	0	0	
	菌類	0	0	0	0	0	
人類資料		0	0	0	0	0	0
美術工芸	絵画	0	1	0	0	1	24
	書跡	0	0	0	0	0	
	彫刻	0	0	0	0	0	
	陶磁器	0	3	0	0	3	
	漆器	0	14	0	0	14	
	染織	0	5	0	0	5	
	その他	0	1	0	0	1	
歴史資料		3	254	0	0	257	257
考古資料		0	0	0	0	0	0
民俗資料		0	19	0	0	19	19
総計		6	19,118	79	0	19,203	19,203

### 3 2024年度（令和6）新収蔵資料目録

#### 【購 入】

分類	資料名	数量	提供者・所在地
自然史	シカマイア模型	1	小野輝雄
	アパトサウルス頭骨模型	1	株式会社パレオサイエンス
	ヤンバルトカゲモドキ	1	株式会社西尾製作所 京都府
歴史	日本図（ホンディウス作）	1	（有）榕樹書林 取締役社長 武石和実 宜野湾市
	天保三年琉人行列之図（宿場町名入）	1	（有）榕樹書林 取締役社長 武石和実 宜野湾市
	沖縄人民党中央機関紙『人民』（1968年）	1	（有）榕樹書林 取締役社長 武石和実 宜野湾市

#### 【寄 贈】

分類	資料名	数量	提供者・所在地	
自然史	ウミユリ化石	1	宮崎代里子 岐阜県	
	メジロザメ属のアゴ	1	宮崎代里子 岐阜県	
	砂漠のバラ	8	山内昌忠 那覇市	
	腕足類化石	1	田端 忠 八重瀬町	
	タラママイマイ	65	大城逸朗 宜野湾市	
	大型軽石	2	丸谷 由 / 丸谷夏瑠沙 中城村	
	鈴石	4	児玉正和 東京都	
	黒曜石	7	杉山俊明 北海道	
	バラキ石	2	石橋 隆 京都府	
	生物	長嶺邦雄昆虫標本コレクション	17,500	長嶺邦雄 那覇市
知念盛俊貝類標本コレクション		1,228	知念 技 南城市	
寄生性カイアシ類 <i>Ikanecator primus</i> 液浸標本		2	メメット・アリフ・ゾラル 恩納村	
美術 工芸	絵画	1	自了作 野國馬の図 米須家 神奈川県	
	染織	城間榮喜作 首里那覇港風景紅型幕	1	安元基佐子 那覇市
		城間榮喜作 苧麻紺地牡丹模様紅型風呂敷	1	児玉清子 神奈川県
		苧麻黄色地鶴亀松竹梅模様紅型風呂敷	1	児玉清子 神奈川県
		芭蕉経縞着物	1	前兼久千尋 千葉県
	三線	三線 知念大工 銘「暨性」	1	又吉勝男 神奈川県
		芭蕉経緯緋三線手掛け	1	大湾朝重 宜野湾市
	陶磁器	琉球古典焼 貼付獅子牡丹唐草文壺	1	笠原光雄 新潟県
		琉球古典焼 貼付雲龍文壺	1	笠原光雄 新潟県
		琉球古典焼 貼付雲龍文皿	1	笠原光雄 新潟県
	漆器	黒漆山水楼閣堆錦堤重（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信 静岡県
		朱漆鳳凰堆錦六角食籠（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信 静岡県
		朱漆桔梗堆錦六角足付盆（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信 静岡県
朱漆山水楼閣堆錦六角食籠及び足付盆（株式会社 紅房製）		1	萩原嘉信 静岡県	
朱漆花鳥堆錦料紙箱（株式会社 紅房製）		1	萩原嘉信 静岡県	
朱漆山水楼閣六角東道盆（株式会社 紅房製）		1	萩原嘉信 静岡県	

分類	資料名	数量	提供者・所在地		
美術 工芸	漆器	朱漆山水楼閣堆錦茶箱（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
		朱漆松堆錦中棗（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
		黒漆菊花堆錦平棗（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
		黒漆松堆錦平棗（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
		黒漆松堆錦大棗（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
		黒漆松竹梅堆錦中次（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
		朱漆松竹梅堆錦中棗（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
		仙叟十二器棗見本（株式会社 紅房製）	12	萩原嘉信	静岡県
		朱漆山水楼閣堆錦円形食籠（株式会社 紅房製）	1	萩原嘉信	静岡県
歴史	崇元寺下馬碑（拓本）	1	児玉清子	神奈川県	
	桑江良正の顔写真	1	渡口照代	那覇市	
	日本赤十字社記章関連資料	2	安慶名紀昭	那覇市	
	記章（陸軍石山学校）	1	安慶名紀昭	那覇市	
	従軍記章	2	安慶名紀昭	那覇市	
	軍人傷痕記章関連資料	4	安慶名紀昭	那覇市	
	勲功章関連資料	4	安慶名紀昭	那覇市	
	表札「愛国婦人会優待章」	1	安慶名紀昭	那覇市	
	濱川家戦争関係証書（善行証書等）	10	安慶名紀昭	那覇市	
	濱川家保険関係証書（保険証券等）	13	安慶名紀昭	那覇市	
	濱川家品評会関係証書（褒賞状）	2	安慶名紀昭	那覇市	
	濱川家教育関係証書（卒業証書等）	2	安慶名紀昭	那覇市	
	濱川家武道関係証書（段位認定書等）	2	安慶名紀昭	那覇市	
	濱川家警察関係資料	3	安慶名紀昭	那覇市	
	安慶名家教育関係証書（賞状等）	2	安慶名紀昭	那覇市	
	安慶名家武道関係証書（館員証等）	4	安慶名紀昭	那覇市	
	履歴表（海軍所属）	1	黒島真寿子	那覇市	
	『四等水兵修業記念写真帖』（佐世保海兵团）	1	黒島真寿子	那覇市	
	『普通科信号術練習生卒業記念』（海軍航海学校）	1	黒島真寿子	那覇市	
	卒業証書（宮古女子高等学校）	1	黒島真寿子	那覇市	
	小学校教諭仮免許状（琉球政府文教局）	1	黒島真寿子	那覇市	
	単位取得状況一覧表	1	黒島真寿子	那覇市	
	戸籍吏員研修関係資料（1959～1960年）	4	黒島真寿子	那覇市	
	土木関係資格等資料（1970～1975年）	4	黒島真寿子	那覇市	
	叙勲証書	1	黒島真寿子	那覇市	
	成績表（首里高等学校、琉球大学）	8	知念美香	那覇市	
	卒業証書（首里高等学校等）	3	知念美香	那覇市	
	認定証（英語翻訳並翻訳適格者）	1	知念美香	那覇市	
	教員免許状（沖縄群島政府等）	3	知念美香	那覇市	
	証書（給料級号俸）	2	知念美香	那覇市	
	証書（共同購入事業積立資金預り証書）	1	知念美香	那覇市	
	写真「首里高職域野球選手等」	1	知念美香	那覇市	

分類	資料名	数量	提供者・所在地	
歴史	首里高等学校第17期卒業記念アルバム(1962年)	1	知念美香	那覇市
	国際ワクチン接種証明書	1	知念美香	那覇市
	ハワイ・東西センター留学関係資料	3	知念美香	那覇市
	手ぬぐい(真和志高等学校校舎落成記念)	1	知念美香	那覇市
	感謝状(沖縄生物教育研究会等)	2	知念美香	那覇市
	『職員必携』(琉球政府立浦添高等学校)	1	知念美香	那覇市
	真和志高校修学旅行記念写真	3	知念美香	那覇市
	修了証書(教職員等中央研修講座課程)	1	知念美香	那覇市
	復帰前のエアメールの封筒	1	知念美香	那覇市
	文部省派遣海外教育事情視察第28団関係資料	3	知念美香	那覇市
	人事異動通知書(高等学校、教育関係委員)	12	知念美香	那覇市
	委嘱状等(第42回国民体育大会関係)	6	知念美香	那覇市
	委嘱状(教育関係)	2	知念美香	那覇市
	委嘱状(第16回全国高等学校総合文化祭関係)	4	知念美香	那覇市
	委嘱状(沖縄県人材育成財団関係)	3	知念美香	那覇市
	知念績一「ヤンバル避難行 自責の念に駆られながら」の下書き	1	知念美香	那覇市
	昭和10年代首里城の植生	1	知念美香	那覇市
	松川団地自治会会報「たんぼぼ」	3	知念美香	那覇市
	日本渡航証明書	1	當山昌直	那覇市
	予防接種証明書	1	當山昌直	那覇市
	那覇高生が出場した全国高等学校将棋選手権大会関連資料(1967~1969年開催)	12	當山昌直	那覇市
	琉球大学植物等自然関連資料(1973年)	2	當山昌直	那覇市
	音楽発表会等パンフレット(1966~1980年)	24	當山昌直	那覇市
	海底地形図(中国地図出版社製、1988年)	1	當山昌直	那覇市
	たばこ(1972.5.27~6.12の間に入手)	10	古江 正	東京都
	マッチ(1972.5.27~6.12の間に入手)	1	古江 正	東京都
	郵便局発行の絵はがき(沖縄関連)	6		伊是名村
	宮里藍記念切手	2		伊是名村
	フレーム切手(沖縄関連)	7		伊是名村
	記念郵便切手(奄美・沖縄関連)	7		伊是名村
	シリーズ切手(沖縄関連)	6		伊是名村
	ふるさと切手(沖縄関連)	15		伊是名村
	20世紀デザイン切手<全17集セット>(沖縄管内限定)	17		伊是名村
沖縄関連記念貨幣	4		伊是名村	
ポスター「奉迎 全県民で皇太子殿下夫妻をお迎えしよう」(海邦国体成功県民運動会議)	1		伊是名村	
民俗	パナリ焼壺	1	亀井良則	西原町
	珊瑚石製厨子	1	宇久田 貢	南風原町
	マンガン掛け焼き締め厨子	1	宇久田 貢	南風原町
	ボージャー厨子	1	宇久田 貢	南風原町

分類	資料名	数量	提供者・所在地	
民俗	三線のチーガ (胴)	1	林 正子	アメリカ ハワイ州
	親子ラジオ	1	安次富玲菜	那覇市
	三線 (久葉の骨型)	1	フランシスコ・ヤマグチ	アルゼンチン ブエノスアイレス
	三線 (真壁型)	1	フランシスコ・ヤマグチ	アルゼンチン ブエノスアイレス
	土地公像	1	田川信次	那覇市
	香炉	1	田川信次	那覇市
	神明燈 (雪洞)	1	田川信次	那覇市
	琉球緋着物	1	藤川敏子	兵庫県
	芭蕉布着物	1	照屋孝枝	兵庫県
	アンダガーマミ (油壺)	1	照屋孝枝	兵庫県
	竹製三段重箱	1	照屋孝枝	兵庫県
	斧	1	備瀬知和	西原町
	釣り糸巻 (漁具)	1	備瀬知和	西原町

【収 集】

分類	資料名	数量	提供者・所在地		
自然史	地学	貨幣石	2		熊本県
		砂岩泥岩互層	1		鹿児島県
		頁岩	1		鹿児島県
		生痕化石	2		鹿児島県
		礫岩	3		鹿児島県
		カキ化石	1		鹿児島県
		花崗岩	2		鹿児島県
		斑状花崗岩	1		鹿児島県
		コンクリーション (泥岩)	1		鹿児島県
		二枚貝化石 (アズマニシキ)	1		鹿児島県
		二枚貝化石 (ホクリクホタテ)	3		鹿児島県
		二枚貝化石 (モミジツキヒ)	1		鹿児島県
		ホルンフェルス	9		鹿児島県
		花崗岩	3		鹿児島県
		斑状花崗岩	4		鹿児島県
		石灰岩	2		鹿児島県
		礫岩	2		鹿児島県
		砂岩	3		鹿児島県
		泥岩	1		鹿児島県
		粘板岩	1		鹿児島県
		生痕化石	3		鹿児島県
砂岩	1		鹿児島県		
泥岩	1		鹿児島県		
石灰岩	3		鹿児島県		

分類	資料名	数量	提供者・所在地	
自然史	地学	玄武岩（枕状溶岩）	2	鹿児島県
		粘板岩	1	鹿児島県
		泥岩	1	鹿児島県
		管状コンクリーション(砂岩)	3	うるま市
		板状コンクリーション(泥岩)	1	うるま市
		鍾乳石	3	浦添市
		石灰岩	6	浦添市
		礫岩	1	石垣市
		巻貝化石	1	石垣市
		ウミユリ化石	2	石垣市
		巻貝化石（コルポスピラ・コタカイ）	1	石垣市
		片岩	3	石垣市
		石灰岩	2	石垣市

#### 4 所蔵指定文化財

【国指定文化財（重要文化財）】

2025年3月31日 現在

種別	名称	員数	指定年月日	所有者	
工芸品	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	1口	昭53. 6. 15	沖縄県	
	梵鐘（旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘）	3口	〃	〃	
	金銅雲龍文簪	1本	令6. 8. 27	〃	
典籍	おもろさうし	22冊	昭48. 6. 6	〃	
	混効験集	2冊	〃	〃	
	中山世鑑	6冊	令2. 9. 30	〃	
	蔡鐸本 中山世譜	7冊	令2. 9. 30	〃	
	蔡温本 中山世譜	12冊	令2. 9. 30	〃	
古文書	琉球国時代石碑	安国山樹華木之記 官松嶺記 円覚禅寺記 国王頌徳碑 真珠湊碑文 崇元寺下馬碑 西 一翁寧公之碑 ようとのひのもん・極楽山碑文 壺川松尾墓碑 板敷橋記 勢理客橋碑 新濬那覇港碑文 琉球新建儒学碑記 琉球国創建天尊廟天后宮竜王殿関帝祠総記 板良敷村墓碑 龍潭浚渫碑	22基	令元. 7. 23	〃

種 別	名 称		員 数	指定年月日	所有者
古文書	琉球国時代石碑	重修天女橋碑記			
		改造池城橋碑文			
		梵字碑			
		首里新建聖廟碑文			
		竜樋石額（飛泉漱玉）			
		竜樋之碑（霊脈流芬）			
銘苅家文書（四通）	万曆十五年琉球国王朱印状	1幅、2面、1舗	令5.6.27	沖縄県	
	乾隆元年琉球国王朱印状（銘苅大屋子職叙任辞令書）				
	乾隆六年琉球国王朱印状（銘苅大屋子職叙任辞令書）				
	諸見御屋敷并御躰所潮平御川内之図				
	琉球国王朱印状（大首里大屋子充／万曆二十三年八月廿九日）	1幅	令5.6.27	沖縄県	
歴史資料	明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真宛		1卷	平11.6.7	〃
	間切図	島尻南（兼城間切・高嶺間切・真壁間切・喜屋武間切・摩文仁間切・具志頭間切・東風平間切）	7枚	平28.8.17	〃
		島尻東（玉城間切・知念間切・佐敷間切・大里間切）			
		町方・島尻西（首里・泊・久米・那覇・南風原間切・真和志間切・小禄間切・豊見城間切）			
		中頭南（西原間切・浦添間切・宜野湾間切・中城間切）			
		中頭中（北谷間切・越来間切）			
		国頭（国頭間切 西）			
		離れ（伊平屋島）			

【県指定文化財（有形文化財）】

2025年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
絵 画	絹本着色花鳥図殷元良筆	1幅	昭54.4.9	沖縄県
	紙本着色雪中雉子の図殷元良筆	〃	〃	〃
	紙本墨画竹の図殷元良筆	〃	昭57.3.4	〃
	紙本着色奉使琉球図	1巻	昭57.3.4	〃
	紙本着色冊封使行列図	1巻	平15.7.11	〃
彫 刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	1軀1枚	昭31.12.14	〃
	世持橋勾欄羽目	1括	〃	〃
	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15.7.11	〃
工芸品	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	1合	昭31.12.14	〃
	黒塗堆錦山水絵大文庫	〃	〃	〃
	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	〃	〃	〃
	聞得大君御殿雲龍黄金簪	1本	〃	〃
	三線江戸与那	1丁	〃	〃
	枝梅竹文赤絵碗	1口	昭54.9.3	〃
	線彫染付魚文皿	〃	〃	〃
	色象嵌粟絵菊花皿	〃	〃	〃
	象嵌色差面取抱瓶	〃	〃	〃

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	梵鐘 (旧霊応寺鐘)	〃	昭60. 6. 18	〃
	梵鐘 (旧普門禅寺鐘)	〃	〃	〃
	梵鐘 (旧天竜精舎鐘)	〃	〃	〃
	銅鐘 (旧天尊殿鐘)	〃	〃	〃
	銅鐘 (旧天妃宮鐘)	〃	〃	〃
	銅鐘 (旧一品権現鐘)	〃	〃	〃
	梵鐘 旧大安禅寺鐘 (一名 護国寺の鐘)	〃	昭63. 1. 12	〃
	梵鐘 (旧永福寺鐘)	1 口	平2. 2. 6	〃
	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	1 基	〃	〃
	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	1 枚	〃	〃
	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	1 合	〃	〃
	黒漆薔薇堆錦軸盆	1 枚	〃	〃
	朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	1 合	〃	〃
	三線盛嶋開鐘附胴	1 丁	平6. 3. 15	〃
	三線真壁型銘西平	1 丁	平6. 3. 15	〃
	三線与那城型銘玉城與那	1 丁	平6. 3. 15	〃
書 跡	程順則の書	1 卷	昭42. 4. 11	〃
	扁額徳高 鄭元偉書	1 面	平元. 9. 29	〃
	扁額凌雲 林麟焔書	1 面	〃	〃
古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	1 幅	昭31. 12. 14	〃
	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	1 通	昭53. 4. 1	〃
	羽地間切の屋我のろへの辞令書	1 幅	昭56. 3. 30	〃
歴史資料	銅鐘残欠 (旧波上宮朝鮮鐘)	1 点	昭60. 6. 18	〃

## 5 修理事業

### (1) 美術工芸分野

琉球王国時代の美術資料のなかには類例がない資料が多くある。資料は適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、経年による変化で修復が必要な状態になっているものが多い。当館では、限られた予算の範囲で沖縄の歴史・文化史上重要な資料の修理事業を実施している。展示公開の頻度や展示効果の高さを考慮して優先順位をつけて資料を選定・修理を実施した。

【予算執行額】 610,962円

【事業内容】 修理件数：2件2点

①美術工芸 (漆器) 黒漆山水楼閣人物螺鈿印籠 (1件1点) 修理担当：琉球漆工芸舎

②美術工芸 (歴史資料) 首里城平面図 (配置図) (1件1点) 修理担当：石川堂

【修理内容】

①塗膜や螺鈿の剥離・剥落等が確認されたため塗膜押さえや貝の接着等の処置を行った。

②本紙の折れ等が確認されたため、裏打ちや繕い等の処置を行い、表具を新調した。

(伊禮 拓郎)

### (2) 沖縄県立博物館・美術館 重要文化財保存管理 (修理修復) 事業

#### ①目的

沖縄県立博物館・美術館が所蔵する重要文化財の内、令和2年に国の重要文化財に指定された「中山世鑑・蔡鐸本中山世譜・蔡温本中山世譜」(3種類合計25冊)を文化庁の補助事業を活用して修理し、適切な保存管理を図るとともに、将来的な保存及び公開活用等によって県の文化振興に寄与する。

## ②修理対象資料

重要文化財（書跡・典籍）中山世鑑6冊、蔡鐸本中山世譜7冊、蔡温本中山世譜12冊 合計25冊。このうち令和6年度は、蔡温本中山世譜12冊の内5冊に応急処置の修理を実施した上で、全冊を収納保存する収納箱を新調した。

## ③修理事業者

石川堂（代表 當間巧 氏）

## ④修理前の状態

沖縄戦時中にアメリカに持ち出され、1953年に返還、1973～74年に実施された修理だけでは十分とは言えず、本紙の虫損は比較的少ないものの部分的な大きな破れやシミ汚れ、見返しの亀裂・しわ等が発生していた。本書が令和2年に重要文化財に指定されたことをきっかけに、文化庁より修理の補助を受けながら修理を実施した。この内、蔡温本中山世譜12冊は、文化庁等との協議の上、見返しのノドに亀裂（糊離れ）がある等の応急処置の必要な5冊のみ部分的に修理することになった。

## ⑤修理内容

a) 蔡温本中山世譜の冊子を解体せずに、応急処置の必要な冊子にみられる亀裂部分の糊差しや外れている外題を補修した。

b) 全冊を収納保存するための収納箱（桐段仕切印籠・慳貪桐箱）を新調した。

（崎原 恭子）

## 6 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作（生物資料）

資料収集・保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的としている。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示や研究を視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作の材料となるの標本は、多くが交通事故等により死亡したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。これらの死亡固体は剥製にするまで冷凍室で保存しており、現在、数百の標本が保管されている。その中から状態の良い物や保存価値の高いもの（希少性の高いもの）を優先して、剥製や骨格標本（またはレプリカ）を製作している。

令和6年度は、以下の生物について骨格標本・レプリカ・封入標本を委託製作した。

名 称	委託製作
ミシシippアカミミガメ骨格標本	浜口標本
サシバ上腕骨格標本	浜口標本
オリイオオコウモリ上腕骨格標本	浜口標本
クマネズミ骨格標本	浜口標本
ヤエヤマドボタル封入標本4点	国陽工芸株式会社
かたつむりリアルフィギュア7点	立体造形 八月社

（菊川 章）

## 7 資料収集事業

### （1）資料収集

資料収集事業は文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示等において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。

令和6年度は、日本図（ホンディウス作）、天保三年琉人行列之図（宿場町名入）、沖縄人民党中央機関紙『人民』（1968年）の3件を（有）榕樹書林より購入した。

日本図（ホンディウス作）は、オランダ・アムステルダム人のホンディウスが1606年に刊行した『新地図帳』に収録され、日本列島を中心



日本図（ホンディウス作）

に朝鮮半島や中国大陸沿岸部の一部を描いたものと同系統の地図である。1606年以降改訂版が刊行されているが、本図は少なくとも17世紀前半頃までのものと考えられる。本図では、琉球が「Lequeo grande (レケオ・グランデ)」と記され、日本列島の南側に小さな島の集合体として描かれている。16世紀末頃までの西洋諸国では、日本よりも先に情報がもたらされていた琉球を詳細に描く地図が作られていた一方、宣教師等を通じて日本の詳細情報がもたらされると琉球の情報が簡素化していった。本図はその過程を表すとともに、琉球史の背景を示すことができる資料である。



天保三年琉人行列之図 (宿場町名入)

天保三年琉人行列之図 (宿場町名入) は、第二尚氏王統18代目の琉球国王である尚育の即位のため、1832年(天保3)に江戸の徳川将軍へ派遣された琉球使節の一団を示した行列図の印刷物である。上段左側には上下二段に地名が記され、使節一行が宿泊・休憩した宿場町が記載されている。最も西側の宿場町は中山道の大津宿(現在の滋賀県内)で、最も東側が東海道の品川宿(現在の東京都内)なので、使節一行の往路を示している。1832年(天保3)は多くの印刷物が刊行されたが、使節一行の行程が記された印刷物はほとんどない。以上のことから、本資料は1832年(天保3)に往路で中山道を通る機会にあわせて刊行されたものであることが想定できるとともに、印刷物の行列図の種類を示すものである。

沖縄人民党中央機関紙『人民』(1968年)は、1947年に瀬長亀次郎や兼次佐一らを中心として結成された政党である沖縄人民党(人民党と称される)の機関紙で、1968年1月～12月にかけて刊行された号外を含む55紙の合本1冊である。沖縄人民党は米国の沖縄統治政策を批判したため、米国民政府側から厳しい弾圧が加えられた政党である。1960年代の沖縄では、1960年に沖縄県祖国復帰協議会(復帰協)が結成され、復帰運動に加えて基地被害の多発によるベトナム戦争の反戦運動が高まるとともに、米軍の事故や米兵犯罪に悩まされてきた米国支配からの解放を求める世論が活発化した。1968年に刊行された『人民』各紙にはそれらを反映した政党活動が掲載され、当時の状況を知ることができる。



沖縄人民党中央機関紙『人民』(1968年)

これらは当館で所蔵していなかったため、今後の調査研究や展示活動等で活用したい。

(崎原 恭子)

## (2) 沖縄県美術品等取得基金

当館の収蔵品は、沖縄の歴史や文化を後世に伝える貴重な資料である。中でも琉球王国時代の資料は、沖縄戦で失われてしまったため現存数が少なく、歴史的文化的に非常に価値が高い。資料収集活動の一つである沖縄県美術品等取得基金(以下「基金」という)では、特に希少価値が高い琉球・沖縄ゆかりの資料を継続的に調査し、収集している。収集した資料を展示公開することで沖縄県の文化振興に寄与するとともに県民の学びの場を提供し、豊かな沖縄県の創造を目指すことや、資料を県外または国外に流失させないことを目的としている。

収集にあたっては、外部の有識者で構成する収集委員会を設置し、意見を求めて購入の可否を判断している。本年度は、4年度開催の収集委員会にて基金で購入した漆器の分の経費を基金に補填した。また今後の収集に向けて沖縄県外で琉球関係資料の調査を行なった。

(篠原 あかね)

## 8 資料貸出

○事業名：国立科学博物館 特別展「海—The Ocean—」(巡回展：名古屋展)

貸出先：名古屋市科学館

貸出期間：2024年3月16日～6月9日

貸出資料：サキタリ洞遺跡出土品 40点、武芸洞遺跡出土品 15点、漂着軽石 1点

○事業名：特別展「海の人類史—パイオニアたちの100万年—」

貸出先：東京大学インターメディアテク

貸出期間：2024年6月19日～10月25日

貸出資料：サキタリ洞遺跡出土品 28点、モクズガニ現生標本 1点

○事業名：宜野湾市立博物館 開館25周年記念企画展Ⅱ 「みんなの進化展ーいのちはつながっているーin 宜野湾～進化・深化・新化」

貸出先：宜野湾市立博物館

貸出期間：2024年7月1日～9月27日

貸出資料：展示パネル 24点、剥製 12点、植物標本 11点、レプリカ 21点、その他 5点

○事業名：宮古島市総合博物館第43回企画展 「ズミ！宮古の生き物展ーワケあってここにあります 固有種の不思議」

貸出先：宮古島市総合博物館

貸出期間：2024年7月16日～10月1日

貸出資料：ミヤコカナヘビ レプリカ1点

○事業名：オカヤドカリ展

貸出先：中城村護佐丸歴史資料図書館

貸出期間：2024年7月19日～9月1日

貸出資料：オカヤドカリ類の標本 6点

○事業名：萬國津梁 東アジアの海に浮かぶ琉球

会場：国立故宫博物院南部院区

貸出期間：2024年9月7日～2024年12月1日（日）

貸出資料：殷元良作「雪中雉子之図」（県指定有形文化財）、他 17件

○事業名：宜野湾市立博物館 開館25周年記念企画展Ⅲ 「洞窟のナゾ展」

貸出先：宜野湾市立博物館

貸出期間：2024年11月2日～12月12日（開催期間延長により2025年1月19日まで開催）

貸出資料：地質標本（鍾乳石・方解石）12点、港川人関係資料資料・サキタリ洞遺跡関係資料等 11点

○事業名：令和6年度 与論町内埋蔵文化財地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

貸出先：与論町教育委員会（※展示場所：サザンクロスセンター2階）

貸出期間：2024年11月12日～2025年2月28日

貸出資料：与論グスクジオラマ模型

○事業名：沖縄市立郷土博物館第45回企画展「沖縄市のお宝展」

貸出先：沖縄市立郷土博物館

貸出期間：2024年11月13日～2025年2月20日

貸出資料：八重島貝塚、蝶形骨製品

○事業名：近代沖縄史料デジタル化事業（スキヤニング作業）

貸出先：沖縄県教育委員会文化財課史料編集班

貸出期間：2025年2月21日～3月7日

貸出資料：『琉球新報』（昭和4年1月26日、同年5月29日）計2枚

#### 【長期貸出】※1年以上の貸出

○事業名：常設展示一部リニューアル

貸出先：久米島博物館

貸出期間：2024年4月1日（月）～2025年3月31日（月）

貸出資料：体験キット・貝匙2点

○貸出期間：2019年7月8日（月）～2025年3月31日（月）貸出継続中

貸出先：国立科学博物館

貸出資料：栗国層群筆ん崎層中の植物化石標本 1点

## 9 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活動の一環として、資料の写真画像等の貸出も行っている。毎年、多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2024年度（令和6）は博物館班に229件の申請があった。

【利用区分】は、「1. 写真原板（デジタルデータ）」、「2. 撮影」、「3. 掲載」に分けられる。内訳は、1. 写真原板（デジタルデータ）は171件、2. 撮影は23件、3. 掲載132件となっている（※件数は重複する）。

【目的・事項】は、「出版物」が132件、「テレビ」が32件、「CD」が2件、「DVD」が0件、「その他」が121件だった。「その他」に関しては、調査研究のための資料収集や、他館の企画展、特別展に貸し出された当館所蔵資料を広報用を使用するため。または、オンライン配信（YouTubeやホームページへの掲載）などの使用目的が多かった。

申請依頼先は、出版社関係が多く、次いでテレビ番組などの映像制作会社が占めている。

資料画像の貸出では、美術工芸分野資料や歴史分野資料が多くを占めているが、次いで人類分野が調査を行っているサキタリ洞遺跡関係が増えている。

これまで、テレビ番組の再放送については申請書の提出が必要であったが、令和5年度からテレビ番組の再放送については、博物館班へ「再放送する番組名」、「再放送日」の報告連絡にて受付し対応している。これらテレビ番組等の再放送に関する再利用申請は8件であった。

当館ではデジタルアーカイブへの対応が遅れており、現在、利用頻度が高い資料からデジタル画像の公開を行うため、画像データの整理作業を行っている。

（勝連 涼子）



# 美術館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

# I 調査研究等の活動

## 1 調査研究の概要

調査研究事業（以下、「本事業」とする。）については、美術館活動の根幹と捉えて開館準備時から継続して、収集作品調査及び企画展開催に伴う調査研究に重点を置き、積極的に取り組んでいる。

令和6年度の研究紀要は3名の学芸員による論文を掲載し、刊行した。紀要は、県内外の美術館及び図書館、大学などを中心に研究機関へ送付している。

前年度に引き続き、各学芸員の調査研究については、コレクション展・企画展の展覧会及び収集計画に基づいて、数年にかかる中長期的な調査研究のビジョンを共有し、研究の深度を改善できるよう努めた。

### (1) 調査研究の事業内容

- ① 美術作品の収集候補作家・作品に関する調査  
コンディション調査、及び真贋等の調査を実施。

[主な作家] 岸本一夫、名渡山愛順、具志堅以徳、照屋勇賢、山城見信、石川文洋、嘉数能愛、大嶺政寛、糸数晴甫など

- ② 展覧会に伴う調査研究  
企画展及びコレクション展に向けて、調査研究を実施。

[主な作家] 照屋勇賢、大城皓也、岸本一夫、小橋川秀男、喜舎場盛也、喜屋武千恵、名渡山愛順、伊差川新、大嶺政寛、宮城明など

- ③ 作品所在調査

[主な対象] 照屋勇賢作品、終戦直後の作品（国外）、戦前の沖縄作家作品（県外）、県内・県外個人コレクション、県内企業、公共施設、海外コレクターなど

- ④ 教育普及に関する調査

[主な対象] 県内社会教育施設の教育普及活動に関する調査、美術館における美術教育の充実と教育普及活動の発展に係る調査

### (2) 学芸員個人研究

No.	氏名	研究テーマ
1	前田 比呂也	沖縄グラフィティライター列伝
2	豊見山 愛	雑誌『青い海』を表現文化論から解く__I
3	玉城 早苗	アートと出会い、人と出会い、自分自身と出会う場
4	梶原 正史	大城皓也作の油彩画作品修復について
5	亀海 史明	森口豁の仕事について
6	大城 さゆり	戦後グラフィックデザインの第一人者・岸本一夫の仕事

### (3) 調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び美術品調査員で実施した。画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないもの限り、外部のレファレンスにも対応するよう心がけている。その場合は熟覧申請等、正式な申請を踏まえている。

### (4) 外部からのレファレンス対応

関西沖縄文庫、原爆の図丸木美術館、日本経済新聞、東京藝術大学、光州市立美術館、福岡市美術館。

(豊見山 愛)

## 2 調査・研究・講演・著作論文等

### 前田 比呂也（班長）

#### ○調査・研究

- ・鎮西公子作品に関する調査（2024年5月13日）
- ・山城見信作品に関する調査（2024年8月14日、11月6日、12月7日、12月28日、2025年3月17日）
- ・上村豊作品に関する調査（2024年8月15日、9月4日、12月27日）
- ・能勢孝二郎・能勢裕子作品に関する調査（2024年9月10日、9月26日、10月23日）
- ・屋良朝彦作品に関する調査（2024年10月4日、11月21日）

- ・大城讓作品に関する調査（2024年10月24日、11月21日）
- ・叶秀樹作品に関する調査（2025年1月15日）
- ・池宮城友子作品に関する調査（2025年1月18日）
- ・宮城保武作品に関する調査（2025年3月7日）

○講演・発表等

- ・名称：対馬丸記念館開館20周年記念事業シンポジウム 「対馬丸」から学ぶ子どもと平和  
日時：2024年6月1日 13:30～16:30  
場所：講堂
- ・名称：うるま市 美術の授業づくり研修会  
日時：2024年7月3日 13:40～16:45  
場所：うるま市立具志川東中学校
- ・名称：南城市中学校美術教育研究会研修会  
日時：2024年7月26日 14:00～16:45  
場所：沖縄県立博物館・美術館
- ・名称：那覇市立曙小学校 校内研修  
日時：2024年7月30日 13:55～14:15  
場所：沖縄県立博物館・美術館
- ・名称：伊平屋村立伊平屋中学校 教職員校内研修  
日時：2024年8月2日 9:30～11:30  
場所：沖縄県立博物館・美術館
- ・名称：琉球美、造形研究会「『永津禎三 モチーフと技法』いくつかの「ことはじめ」」  
日時：2024年10月8日 18:30～20:00  
場所：CLIFF GARO
- ・名称：大宜味村立大宜味小学校 校内理論研修  
日時：2024年11月6日 14:10～16:30  
場所：大宜味村立大宜味小学校
- ・名称：那覇市小中一貫合同授業研究会  
日時：2024年11月12日 14:00～16:30  
場所：那覇市立那覇中学校

○著作・論文等

- ・（単著）『TEXTBOOK FOR ART EDUCATION』 MLP 2024年
- ・（共著）『GATEWAY THE FINENESS OF RYUKYU』 MLP 2025年
- ・展評「描き続けた先の信念 桃原須賀子展「彼方」」 琉球新報（15面文化） 2024年10月24日
- ・展評「枠組み超えたリアル 叶秀樹展によせて」 沖縄タイムス（12面文化） 2025年1月22日
- ・展評「「事実」重ね愛おしむ 池宮城友子展 平和と鎮魂」 琉球新報（18面文化） 2025年1月24日
- ・寄稿「銀河鉄道の夜」 YUKIMIパレエ・コンテンポラ・スクエア 那覇文化芸術劇場なは一と 2024年10月27日

## 豊見山 愛（主任学芸員）

○調査・研究

- ・紀要：上原誠勇氏聞き取り調査（西原町）（2024年11月11日）
- ・紀要：新川明氏聞き取り調査（西原町）（2024年12月21日、2025年1月25日）
- ・収集：山口瑞雨（辰吉）戦前作品調査（彦根市）（2024年7月11日）
- ・展示：儀間比呂志レリーフ作品調査（宝塚市）（2024年7月12日）
- ・展示：福岡アジア美術館展示作家調査（博多区）（2025年2月12日）
- ・展示：福岡アジア美術館展示調査（博多区）（2025年3月11～12日）
- ・展示：台北市立美術館 黒潮：頼純純回顧展（台湾・台北市）（2025年3月11～12日）

○講演・発表等

- ・名称：「沖縄の近現代美術について」沖縄文化協会授賞式（仲原善忠賞）  
日時：2024年11月30日 13:55～14:15  
場所：沖縄国際大学厚生会館

○著作・論文等

- ・展評「時間共有する意味問う 胡宮ゆきな展「沖縄重生」」 琉球新報（17面文化） 2024年7月25日
- ・「南風原朝光（1904-1961）－彷徨の画家」『列島の日本美術史－知られざる美の交錯－』（pp. 351 - 368） ミネルヴァ書房 2025年3月
- ・「雑誌「青い海」を表象文化論から解く - I」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要13』（pp. 33

- 45) 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月

○レファレンス対応等

- ・取材：日本経済新聞 2024年5月8日
- ・対応：関西沖縄文庫 2024年5月8日
- ・取材：日本経済新聞 2024年11月27日

玉城 早苗（主任学芸員／教育普及担当）

○調査・研究

- ・企画展：板橋区立美術館にて、展覧会・教育普及事業等の調査（東京都板橋区）（2024年4月4日）
- ・企画展：横浜美術館にて、展覧会・教育普及事業等の調査（神奈川県横浜市）（2024年4月5日）
- ・企画展：東京国立近代美術館にて、展覧会・教育普及事業等の調査（東京都千代田区）2024年4月5日）
- ・企画展：東京都美術館にて、展覧会・教育普及事業等の調査（東京都台東区）（2024年4月5日）
- ・企画展：鹿児島市立美術館にて、展覧会・教育普及事業等の調査（鹿児島県鹿児島市）（2024年5月3日）
- ・企画展：鳥取県立博物館にて、展覧会・教育普及事業等の調査（鳥取県鳥取市）（2024年8月17日）
- ・大分市美術館にて展覧会・教育普及事業等の調査（大分県大分市）（2025年3月14日）
- ・大分県立美術館にて展覧会・教育普及事業等の調査・WS参加（大分県大分市）（2025年3月14～15日）
- ・福岡アジア美術館にて展覧会・教育普及事業等の調査（福岡県福岡市）（2025年3月16日）

○講演・発表等

- ・名 称：中堅教諭等資質向上研修「社会体験研修」  
日 時：2024年7月23日 11:10～12:00／13:10～14:00  
場 所：美術館班会議室、美術館バックヤード、コレクションギャラリー
- ・名 称：沖縄県造形教育連盟・教員向け講座（中学部）  
日 時：2024年7月31日 13:30～17:00  
場 所：博物館実習室、コレクションギャラリー
- ・名 称：沖縄県造形教育連盟・教員向け講座（小学部）  
日 時：2024年8月2日 13:30～16:30  
場 所：美術館講座室、コレクションギャラリー
- ・名 称：那覇教育事務所「県民カレッジ・バックヤードツアー」  
日 時：2024年8月9日 13:30～16:30  
場 所：美術館講座室、美術館バックヤード
- ・名 称：『〇でも×でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ オープニングギャラリーツアー  
日 時：2024年11月1日 10:00～11:00  
場 所：美術館企画ギャラリー1・2
- ・名 称：令和6年度初任者研修（県立浦添高校）  
日 時：2024年11月28日 14:00～16:00  
場 所：美術館班会議室、美術館企画ギャラリー1・2
- ・名 称：『〇でも×でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ ギャラリートーク「アーティストと中学生が向き合うって？」  
日 時：2024年11月30日 14:00～15:30  
場 所：美術館企画ギャラリー1・2、回廊
- ・名 称：『〇でも×でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ 『お話ししながら鑑賞するって？』キュレータートーク  
日 時：2024年12月1日 14:00～15:30  
場 所：美術館講座室、美術館企画ギャラリー1・2
- ・名 称：『〇でも×でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ 『美術館バックヤード・企画展ギャラリーツアー』  
日 時：2024年12月7日 10:30～12:00  
場 所：美術館バックヤード、美術館企画ギャラリー1・2
- ・名 称：『〇でも×でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ 『赤ちゃんとママ・パパのためのギャラリーツアー』  
日 時：2024年12月14日 10:00～11:00  
場 所：美術館企画ギャラリー1・2
- ・名 称：『〇でも×でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ 映画「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」トークセッション  
日 時：2024年12月15日 14:00～17:00

場 所：美術館講座室、講堂

○著作・論文等

- ・月間「教育美術10月号」～教美アートギャラリー沖縄県立博物館・美術館の収蔵作品の紹介 教育美術振興会 2024年9月27日
- ・月間「教育美術1月号」『〇でも×でもないもの!』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～レポート 教育美術振興会 2024年12月27日
- ・『『〇でも×でもないもの!』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～記録集』 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月21日
- ・『2025(令和6)年度 沖縄県立博物館・美術館教育普及報告書』 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月31日

○レファレンス対応等

- ・兵庫県姫路市立琴丘高等学校2年生(3名) 美術館における催事について取材：2024年10月30日
- ・『〇でも×でもないもの!』展 - ラジオ沖縄取材(小橋川 響アナウンサー)：2024年11月26日
- ・『〇でも×でもないもの!』展開連催事「アーティストと中学生が向き合うって」 - 取材(日本文教出版：編集マネジメント部 久保今日子氏)：2024年11月26日
- ・『〇でも×でもないもの!』展 - 足利美術館(篠原誠司学芸員)：2024年12月11日
- ・『〇でも×でもないもの!』展 - 東京学芸大学(西村徳行教授・他4名)：2024年12月11日
- ・『〇でも×でもないもの!』展 - 滋賀県立美術館(主査 小松 旭氏)：2024年12月15日
- ・『〇でも×でもないもの!』展 - 沖縄タイムス取材(知念 豊記者)：2025年12月20日
- ・当館における教育普及について取材：(琉球大学スプリーティトゥス教授+学生)：2025年1月6日
- ・『〇でも×でもないもの!』展 - 大原美術館(寺元静香学芸員)：2025年1月8日

**梶原 正史(主任/保存修復担当)**

○調査・研究

- ・琉大研究者と絵具片調査についての会議(2024年5月24日)
- ・文化財保存修復学会出席(東京・八王子市)(2024年6月20～23日)
- ・西村貞雄作品に関する調査(2024年7月3日)
- ・キャンプタルガニー展覧会調査(2024年7月19日)
- ・宮城哲雄作品に関する調査(2024年9月8日)
- ・公文書館にて資料レスキュー作業見学(2024年9月9日)
- ・文化財保存修復技術者のための科学知識基礎研修 出席(東京・東京文化財研究所)(2024年9月17～20日)
- ・沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館にてクーリエ業務(2024年9月17日、26日)
- ・喜久村徳男作品に関する調査(2024年10月4日)
- ・美ら島財団所蔵の仮置き作品搬出立ち合い(2024年10月18日)
- ・名護博物館にて空気環境等の調査(2024年12月5日)
- ・大城皓也資料調査(2024年12月13日)
- ・美術工芸品修理のための用具・原材料事業報告会 出席(東京・東京文化財研究所)(2025年2月4～5日)
- ・フォーラム「ポスト・エキヒュームSの資料保存を考える」出席(東京・東京文化財研究所)(2025年2月20～21日)
- ・山城見信作品に関する調査(2025年3月17日)
- ・上村豊作品に関する調査(2024年12月27日)
- ・能勢孝二郎・能勢裕子作品に関する調査(9月10日、9月26日、10月23日)
- ・屋良朝彦作品に関する調査(11月21日)
- ・大城讓作品に関する調査(11月21日)
- ・宮城保武作品に関する調査(3月7日)
- ・油彩画、現代美術作品の修復についての意見交換(台湾)(2025年2月25～28日)

○講演・発表等

- ・名 称：美術館ミュージアムツアー
- 日 時：2024年8月24日
- 場 所：美術館バックヤード
- ・名 称：「沖縄の彫刻たち」キュレータートーク+学芸員講座
- 日 時：2024年9月7日
- 場 所：美術館講座室、コレクションギャラリー2

○著作・論文等

- ・「大城皓也作の油彩画作品《イエファィイエファィ(A)》修復について～修復作業報告～」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要13』(pp. 11 - 16) 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月21日

○レファレンス対応等

- ・大和プレススタッフ(寄託者)来館レファレンス対応 2024年4月14日
- ・石本建築事務所来館設計についてのレファレンス対応 2024年6月5日、13日
- ・沖縄タイムス展覧会「沖縄御彫刻たち」取材対応 2024年7月25日
- ・当館収蔵資料閲覧対応 2024年11月5日

**亀海 史明(学芸員)**

○調査・研究

- ・沖展調査(那覇市)(2024年4月5日)
- ・阿波根昌鴻に関する展覧会調査(埼玉県東松山市)
- ・和田香苗に関する文献、作品、資料調査(東京特別区)
- ・ヨコハマトリエンナーレ調査(神奈川県横浜市)
- ・東京総合写真専門学校卒業生に関する聞き取り調査(東京都あきる野市)
- ・上原沙也加に関する展覧会調査(東京特別区)
- ・平敷兼七に関する作家調査(浦添市)(2024年4月25日、5月24日)
- ・石川真生に関する作家調査(宜野湾市)(2024年5月16日)
- ・森口豁に関する作家、作品調査(千葉県松戸市)(2024年6月15～16日)
- ・勇崎哲史に関する資料調査、アーカイブズ事例調査(北海道東川町)
- ・韓国写真に関する作品調査(韓国、ソウル)
- ・釜山ビエンナーレ調査及び出品作家石川真生、ミヤギフトシ調査(韓国、釜山)
- ・福岡アジア美術館における展覧会調査及び台湾写真調査(福岡県福岡市)
- ・石川真生に関する作家調査(豊見城市)(2024年8月19日)
- ・仲里効に関する作家、作品調査(那覇市)(2024年8月23日)
- ・石川真生に関する作家調査(豊見城市)(2024年8月26日、9月3日)
- ・大城弘明に関する作家調査(宜野湾市)(2024年9月13日)
- ・光州ビエンナーレ調査(韓国、光州)
- ・T3 Photo Festival調査及び出品作家石川真生、平敷兼七、奈良原一高、上原沙也加調査(東京特別区)
- ・東京総合写真専門学校沖縄写真集アーカイブ資料展調査(神奈川県横浜市)
- ・平敷兼七に関する作家調査(浦添市)(2024年10月24日)
- ・仲里効に関する作家、作品調査(那覇市)(2024年11月13日)
- ・大城弘明に関する作家調査(宜野湾市)(2024年11月18日)
- ・石川真生に関する作家調査(豊見城市)(2024年11月20日)
- ・福岡市美術館における展覧会調査及び出品作家寺田健人調査(福岡県福岡市)
- ・熊本市現代美術館における展覧会調査及び出品作家石川真生調査(熊本県熊本市)
- ・森口豁に関する資料調査(南風原町)(2024年11月28日)
- ・石川真生に関する作家調査(豊見城市)(2024年12月16日)
- ・東京総合写真専門学校アーカイブズ事例調査(神奈川県横浜市)(2025年1月10日)
- ・東京総合写真専門学校卒業生に関する聞き取り調査(東京特別区)(2025年1月11日)
- ・森口豁に関する作家、作品調査(千葉県松戸市)(2025年1月12-13日)
- ・神奈川県民ギャラリーにおける展覧会調査及び出品作家ひがれお調査(神奈川県横浜市)
- ・石川真生に関する作品調査(豊見城市)(2025年2月3日、10日、17日)
- ・石川竜一に関する展覧会調査(東京特別区)
- ・東京都写真美術館における展覧会調査(東京特別区)

○研修等

- ・NCARスタディ・ツアーによるクイーンズランド・アートギャラリー他ブリスベン市内各拠点調査及びニューサウスウェールズ美術館他シドニー市内各拠点調査(オーストラリア)(2024年12月2～10日)

○著作・論文等

- ・「森口豁の仕事」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要第13号』 沖縄県立博物館・美術館 2025年3月

○レファレンス対応等

- ・石川真生取材アテンド(2024年4月15日)
- ・台北市立美術館調査レファレンス対応(2024年5月14日)
- ・写真研究者(海外)レファレンス対応(2024年5月31日)

- ・山城知佳子研究者レファレンス対応（2024年7月17日）
- ・石川真生取材アテンド（2024年10月1日）

## 大城 さゆり（学芸員）

### ○調査・研究

- ・コレクション展：岸本一夫文献調査（那覇市）（2024年4月19日、6月13日、9月6日）
- ・コレクション展：岸本一夫資料調査（北中城村）（2024年4月25日、6月21日）
- ・収蔵作家ほか：水谷篤司、胡宮ゆきな展示等調査（糸満市、那覇市）（2024年6月25日）
- ・企画展：戦前作品調査（那覇市）（2024年8月27日）
- ・企画展：戦前陶芸聞き取り調査（那覇市）（2024年9月17日）
- ・収集糸数晴蒲作品調査（那覇市）（2024年9月18日）
- ・展覧会調査：胡宮ゆきな展（那覇市）（2024年9月26日）
- ・企画展：戦前写真聞き取り調査（那覇市）（2024年11月29日）
- ・収集：大城皓也資料調査（宜野湾市）（2024年12月13日）
- ・企画展：東京藝術大学収蔵資料調査（東京都）（2025年1月28日）
- ・企画展：濱田稔作品調査（東京都）（2025年1月29日）
- ・収蔵作家ほか：岸本一夫ほか収蔵作家文献調査（東京都）（2025年1月30日）
- ・コレクション展：岸本一夫文献調査（2025年2月13日）
- ・企画展：戦前漆芸聞き取り調査（浦添市）（2025年2月26日）
- ・企画展：戦前映画聞き取り調査（那覇市）（2025年2月26日）
- ・企画展：戦前映像作品調査（南風原町）（2025年3月6、7日）
- ・企画展：宮城与徳作品調査（名護市）（2025年3月11日）
- ・企画展：前田藤四郎作品調査（大阪府）（2025年3月26日）
- ・収集：粟国久直作品調査（大阪府）（2025年3月27日）

### ○講演・発表等

- ・名称：学芸員講座＋キュレータートーク
- 日時：2025年2月15日 14:00～15:30
- 場所：美術館講座室、美術館企画ギャラリー

### ○著作・論文等

- ・「沖縄―重生、逝きし人と生きること」『The Gallery Voice』No. 72 (p. 3) 画廊沖縄 2024年7月
- ・「重生、巡り巡る生と死」『胡宮ゆきな展「Re-heat and Reborn-風連りてい巡る-」』(p. 13) 那覇市市民文化部文化振興課 2024年

## II 展示活動

### 1 展示活動概要

美術館のコレクション展は、テーマ展示もしくは個展の形式で収蔵作品及び寄託作品を公開している。

2024年度のコレクション展は2期に分け、前期（7～1月）はコレクションギャラリー1を使用して映像作品のデジタル化に関連した展示を、ギャラリー2では通期で彫刻作品を紹介した。後期（1～6月）は、コレクションギャラリー1で「岸本一夫 オキナワデザイン」としてデザイン分野に関する展覧会を開催した。またコレクションギャラリー3では通期として「沖縄美術の流れ」を紹介した。

企画展では「『○（マル）でも×（バツ）でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～」を開催した。

当館主催の展覧会は学芸員の調査研究を基に、郷土の芸術家や、沖縄ゆかりの国内外の優れた芸術家、あるいは現在活躍する現代美術作家に関する自主企画展を行うほか、他館との連携なども行いながら展示公開している。

（亀海 史明）

### 2 コレクション展（常設展）

#### （1）コレクションギャラリー1

- ①タイトル：2024年度「沖縄美術の流れ」【映像】 ※コレクションギャラリー3と共通
- 会期：2024年（令和6）7月13日（土）～2025年（令和7）1月19日（日）
- 担当：亀海史明
- 内容：ギャラリー1では、以下の映像を上映

山城知佳子《オキナワTOURIST》三部作 2004年 | シングルチャンネルビデオ | 20分  
山城知佳子《あなたの声は私の喉を通った》 2009年 | シングルチャンネルビデオ | 7分

②タイトル：「岸本一夫 オキナワデザイン」【デザイン】

会 期：2025年1月25日（火）～2025年10月19日（日）

担 当：大城さゆり

内 容：オリオンビールや琉球放送（RBC）のロゴ制作などで知られる岸本一夫（1935-）。本展では、その原点となった油彩画をはじめとする新収蔵作品を展示した。併せて、ロゴや商品、広告などのデザイン制作過程が見えるドローイングも一挙公開。誰もが一度は目にしたことがある岸本デザインの魅力を紹介した。

(2) コレクションギャラリー2（通期）

①タイトル：「沖縄の彫刻たち」【彫刻】

会 期：（前期）2024年7月13日（土）～2025年1月19日（日）

（後期）2025年1月25日（土）～2025年10月19日（日）

担 当：梶原正史

内 容：沖縄の近代彫刻は戦後、人物像が主流だった。その後、多くの指導者が県外から訪れ、人物像だけでなく抽象的な造形なども制作され、屋外での展示や沖縄にルーツを持つ作家など、様々な立体作品が紹介されるようになった。本展では当館が収蔵する立体作品の中から「沖縄の彫刻たち」と題して、戦後沖縄の近代彫刻に焦点をあてて紹介した。

(3) コレクションギャラリー3（通期）

①タイトル：2024年度「沖縄美術の流れ」【絵画・彫刻・写真・現代美術】※コレクションギャラリー1と共通

会 期：（前期）2024年7月13日（土）～2025年1月19日（日）

（後期）2025年1月25日（土）～2025年10月19日（日）

担 当：亀海史明

内 容：沖縄にはその風土や歴史から生まれてきた独特な文化があり、美術も時代や置かれた状況に大きく影響されながら培われてきた。コレクションギャラリー3では、「沖縄美術の流れ」として、戦前、戦後復興、本土復帰後、移民、そして現代美術に章を分け、沖縄の近現代美術を時系列に紹介した。前年度に修復した作品も初公開し、県外から来沖し、美術教育に携わった作家たちによる沖縄美術への影響も考察させる内容とした。

【関連催事】

(1) 学芸員講座・キュレータートーク

日 時：2024年9月7日（土）10:30～12:30

会 場：美術館講座室、美術館コレクションギャラリー2

参 加 者：14名

講 師：梶原正史(担当学芸員)

(2) 学芸員講座・キュレータートーク

日 時：2025年2月15日（土）14:00～15:30

会 場：美術館講座室、美術館コレクションギャラリー1

参 加 者：9名

講 師：大城さゆり(担当学芸員)

【会場写真】

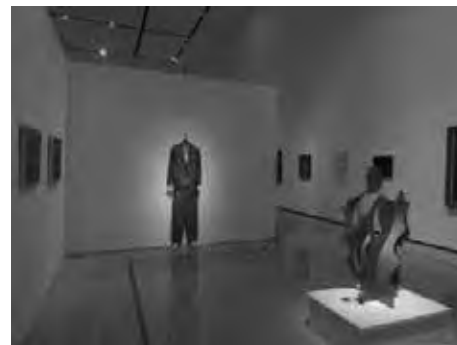
・コレクションギャラリー1



・コレクションギャラリー2



コレクションギャラリー3



3 企画展 『〇でも×でもないもの!』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～

会 期：2024年（令和6）11月1日（金）～ 2025年（令和7）1月13日（月）

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

観 覧 料：一般1,200円（960円）高校・大学生600円（480円）小・中学生400円（320円）未就学児無料  
※（ ）内は前売・団体料金。※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は半額。

観覧者数：6,097名

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：沖縄県教育委員会／那覇市教育委員会／（一社）沖縄県美術科連盟／沖縄県文化協会／那覇市文化協会／沖縄女流美術家協会／沖縄県造形教育連盟／NHK沖縄放送局／沖縄テレビ放送株式会社／琉球放送株式会社／琉球朝日放送株式会社／株式会社エフエム沖縄／株式会社ラジオ沖縄／株式会社沖縄タイムス社／株式会社琉球新報社／株式会社エフエム那覇／FMレキオ／（一財）沖縄観光コンベンションビューロー／那覇新都心通り会（順不同）

## 【開催趣旨】

近年、美術館における「美術館教育」としての「教育普及活動」は展示作品の鑑賞にとどまらず、多様な活動を意味している。歴史的な名作に出会い、文化的な意味や意義を探ったり、現代アートに込められたメッセージを読み取ったりするなど、美術館における「鑑賞」は来館者にとって大きな楽しみのひとつと言える。

その「鑑賞」を来館者の皆様に更に深く楽しんでいただくために、当館では2007年の開館以来、多くの教育普及活動に取り組んできた。現在も、学芸員による学芸員講座やキュレータートーク、アーティストによるトークイベントなど様々な活動を実施している。さらに、「鑑賞」だけではなく「表現活動」としてのワークショップや、地域に出かけるアウトリーチなど、美術館ならではの多彩な楽しみ方を提供している。

この企画展は、当館の収蔵作品を紹介するとともに、これまで取り組んできた「教育普及活動」を生かしながら、「美術作品をどのように見たらよいか？」という疑問に少しでも寄り添えるような工夫を凝らし、障害の有無や性別、年齢にかかわらず誰もが楽しめる展覧会を目指した。

また、訪れてくださる皆様にとって、当館が美術（ART）の楽しさや素晴らしさに「出会う場」となり、新たな「刺激の場」となり、人と語り、自分自身を見つめ、新たな自分を「発見する場」となるように、一人でも多くの方が、美術（ART）を身近に感じ、当館に足を運んでいただく機会とした。

「今をよりよく生きる」こと、先の見えない時代だからこそ、今を大切に、心身ともに健康で充実した日々を送りたいと願う人は多いのではないかと思う。その充実した日々のために、また、当館が県民の生活に寄り添う美術館として存在するために、今回の展覧会が、大きなきっかけになることを目標とした。

## 【展示構成】

基本的に当館の収蔵、及び寄託作品を展示した。作品に触れたり、作品に耳を傾けたり、作品をじっくりと観察してみたり、作品や自分自身と向き合ってみたり、そして、鑑賞した後の思いを伝えてみたり等、「美術作品を楽しむ方法」を提案し、問いかける形で章立てをし、鑑賞を進めていく内容とした。

## 【章構成】

### ・第1章「さわる」って？

「あなたは、美術館で展示している作品に、触れてはいけなと思っていませんか？」

第1章では、前半は作品に触れて感触を確かめたり、量感を感じたりして、普段さわることのできない彫刻作品に触れることを楽しんでください。

後半、一部の作品は、さわることができません。作品にさわことはできませんが、視覚の情報から、固い？柔らかい？重い？軽い？どのような感触かなどを想像しながら、作品鑑賞をお楽しみください。

### ・第2章「きく」って？

「あなたは、美術（アート）と音は、関係がないと思っていませんか？」

第2章では、第1章「「さわる」って？」で感じた触覚に加え、実際に音のする作品などから、アートと音のコラボレーションを体験していただきます。音の出る作品から聞こえてくる音を楽しんだり、実際に音はしませんが、どのような音がするのか？音を想像しながら、作品鑑賞をお楽しみください。

### ・第3章「みる」って？

「あなたは、美術作品を見るとき、近づいて見てはいけなと思っていませんか？」

第3章では、第1章「「さわる」って？」で感じた触覚、第2章「「きく」って？」の聴覚に加え、「みる」ことに注目して鑑賞していただきます。例えば好きな作品、気に入った作品に近づいて、細部までじっくり観察して見たり、作品から離れて全体をゆったりと見たり、のぞいて見たり、かがんで下から見上げて見たり、用意された問いに答えてみたりしながら、いつもより少しだけ時間をかけて、「みる」ことに集中してみると、新たな気づきや、視野の広がりや体感できるかもしれません。もっと単純に色や形、作品を見たときの第一印象などから、想像を膨らませて鑑賞を楽しんでみてはいかがでしょうか？

### ・第4章「むきあう」って？

「あなたは、作品の前で、何と向き合っているのでしょうか？」

第4章は、第1章「「さわる」って？」、第2章「「きく」って？」、第3章「「みる」って？」で積み上げてきた力で、作品と向き合う場です。「むきあう」とはいったい何でしょう？

作品を描いた作者と向き合う？自分自身と向き合う？家族と向き合う？社会や世の中の問題と向き合う？これまであなたは、何と向き合ってきましたか？そしてこれから、いったい何と向き合っていくのでしょうか？

### ・第5章「つたえる」って？

「作品と向き合い、湧きあがった思いや感情は？あなたの思いを伝えてください！」

たくさん作品を鑑賞し終えたとき、「私も描いてみたい！」「作品を制作したい！」と、あなたの心に『想

像力』と『創造力』の火がともった経験はありませんか？

第5章では、本展を鑑賞し終えたときの思いを(1)「言葉」として文字に残したり、推しの作家や自分自身へ(2)「手紙」を書いたり、また、言葉にできない感情や思いを(3)「作品」として制作してみましょう！あふれる思いを「表現」し、「つたえる」ことを楽しんでください！

どうぞ、今、このとき、この瞬間の思いを、美術館に残し、自分以外の誰かに、いえ、もしかしたら自分自身に「つたえて」みてください。

そして、様々な作品を鑑賞し終えて、美術(アート)と向き合い、自分自身と向き合うことで、最後に改めて「美術(アート)って、いったい何だろう？」と考え、「自分なりの答え」を見つけてほしいと思います。さて、その答えは見つかるかな？

- (1) 展覧会を鑑賞し終えて、思ったこと、感じたことなど一言感想を書いてみよう！(指定の用紙)
- (2) 推しの作家、または自分自身へ手紙を書いてみよう！(便箋)
- (3) 思い思いの作品を制作してみよう！(〇×用紙(A4サイズ))

#### 【関連催事】

##### (1) 『オープニングギャラリーツアー』

日 時：2024年11月1日(金) 10:00～11:00

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

講 師：玉城早苗(展覧会担当学芸員)

参加者：12名

内 容：展覧会担当学芸員が、作品と展覧会について解説を行った。

##### (2) 『土で絵の具をつくるって???』～おきなわの土で絵を描いてみよう!～

日 時：2024年11月10日(日) 9:30～12:30

会 場：県民アトリエ・こどもアトリエ

講 師：ウエチヒロ(画家)※本展出品作家

参加者：7名

内 容：ウエチヒロさんと一緒に、土を使った絵画作品の制作を行った。

##### (3) 『美術館で語り合うって?』～ボランティアとの対話による鑑賞～

日 時：①2024年11月16日(土) 14:00～15:00

②2024年12月14日(土) 14:00～15:00

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

講 師：当美術館鑑賞ボランティアスタッフ

参加者：①7名、②10名

内 容：鑑賞ボランティアの皆さんと、「対話による鑑賞」を楽しみながら、美術館企画ギャラリーを巡った。

##### (4) 『アーティストと中学生が向き合うって?』～「ARTと私」正解のないARTについて語ろう!～

日 時：2024年11月30日(土) 14:00～15:30

会 場：美術館企画ギャラリー1、2(回廊)

講 師：儀保克幸(彫刻家)※本展出品作家

安岡中学校1年生(代表者3名)

進 行：玉城早苗(担当学芸員)

参加者：20名

内 容：安岡中学校1年生の3名と、彫刻家の儀保克幸氏とのギャラリートークを行った。

##### (5) 『お話ししながら鑑賞するって?』キュレータートーク

日 時：2024年12月1日(土) 14:00～15:30

会 場：美術館講座室、美術館企画ギャラリー1、2

講 師：玉城早苗(展覧会担当学芸員)

参加者：10名

内 容：おきみゅーオリジナルのアートカードを使いお話しした後、担当学芸員が企画展を案内した。

##### (6) 『美術館バックヤード・企画展ギャラリーツアー』

日 時：2024年12月7日(土) 10:30～12:00

会 場：バックヤード、美術館企画ギャラリー1、2

講 師：玉城早苗(展覧会担当学芸員)

参加者：10名

内 容：普段は見れない、当美術館のバックヤードと、企画展を、担当学芸員が案内した。

(7) 『赤ちゃんとママ・パパのためのギャラリーツアー』

日 時：2024年12月14日（土）10:00～11:00  
 会 場：美術館企画ギャラリー1、2  
 講 師：玉城早苗（担当学芸員）  
 参加者：2組（7名）

内 容：小さなお子さんご家族のための鑑賞ツアーを行った。

(8) 映画『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』上映（107分）

日 時：2024年12月15日（日）上映14:00～15:30／トークセッション16:00～17:00  
 会 場：講堂（音声ガイド上映・トークセッション）  
 美術館講座室（日本語字幕上映）

講 師：※トークセッション登壇者  
 ・宮島真一（シアタードーナツ・オキナワ代表）  
 ・下地幸夫（しゃことんすはりきゅういん・鍼灸師）  
 ・嘉数勝哉（沖縄県立沖縄盲学校・教諭）  
 ・玉城早苗（展覧会担当学芸員）

参加者：映画：103名／トークセッション：62名

内 容：映画上映の後、トークセッションを行い、白鳥さんのアート鑑賞や活動の方法、生き方、さらには当美術館の未来について話し合った。

(9) 『ミクストメディアで作品制作!』～ミクストメディアって、いったい何?～

日 時：2024年12月22日（日）14:00～17:00  
 会 場：県民アトリエ、こどもアトリエ  
 講 師：山川さやか（アーティスト）※本展出品作家  
 参加者：10名

内 容：山川さやかさんと共に、様々な素材や道具を使って作品づくりにチャレンジした。

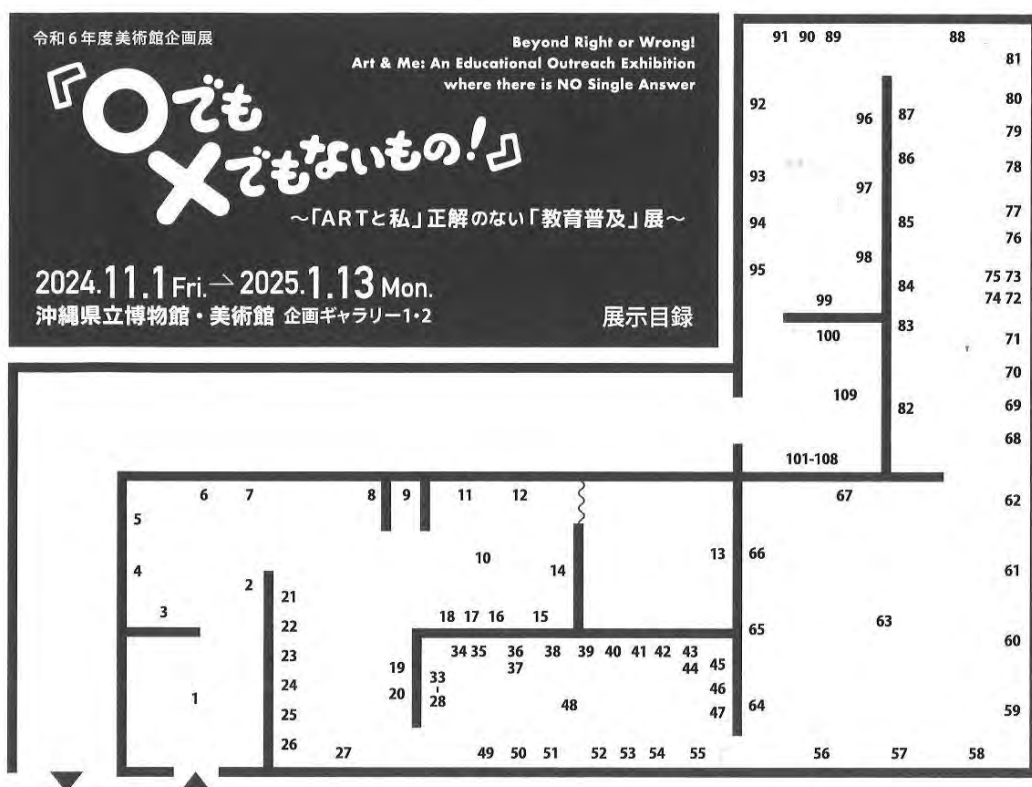
(10) 『マーブル模様の絵の具遊び』～絵の具を使った造形活動の展開～

日 時：2025年1月11日（土）9:30～12:30  
 会 場：県民アトリエ、こどもアトリエ  
 講 師：大中原千陽（小田原短期大学 助教）  
 本村佳奈子（沖縄県立芸術大学 助教）

参加者：7名

内 容：保育士、幼稚園の先生、幼児教育に携わる方々が、こどもの気持ちになって作品を制作した。

【展示平面図】



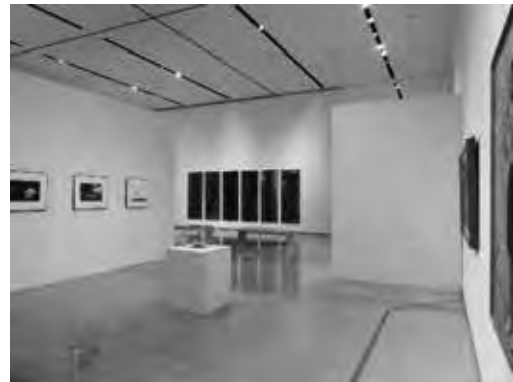
【会場風景】



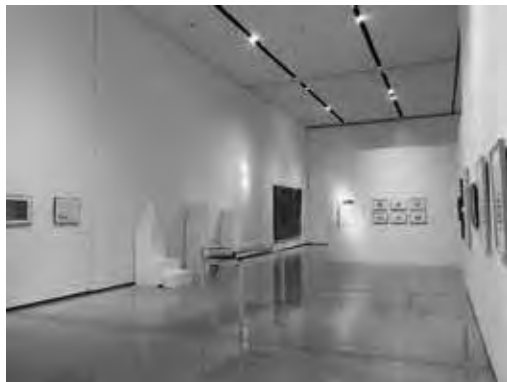
会場入り口風景



『第1章「さわる」って?』展示風景



『第2章「きく」って?』展示風景



『第3章「みる」って?』展示風景



『第4章「むきあう」って?』展示風景





『第5章「つたえる」って?』展示風景

(玉城 早苗)

### Ⅲ 教育普及活動

#### 1 美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、主に「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」で展開している。鑑賞活動の支援プログラムでは、コレクション展や企画展に伴う学芸員講座やキュレータートーク、作家やその関係者によるアーティストトーク、ギャラリートークを開催し、関連催事を通して作品理解を深めるための情報を提供している。

今年度は、沖縄県立博物館・美術館として初めての「教育普及」展を開催した。「令和6年度美術館企画展『〇でも×でもないもの!』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～」は、当館の所蔵する作品を中心に、『第1章「さわる」って?』、『第2章「きく」って?』、『第3章「みる」って?』、『第4章「むきあう」って?』という4つのテーマのもと、109点、61名もの作家の作品展示を行った。最後に『第5章「つたえる」って?』では、訪れてくださった皆さんが、思ったこと感じたことを「言葉」にしたり、作家や自分自身に宛てた「手紙」を書いたり、そして溢れる思いを「作品」として形にして残し、それぞれを美術館の白い壁に貼りだすという、「表現」すること、「伝える」ことを楽しんでいただく「場」を提供した。

さらに本展では、美術館でしかできない「体験」をしていただくために、本展示会の会期中、10種類もの関連催事を開催した。参加された方々には、作品を鑑賞することの面白さや、絵を描いたり、ものをつくりだし表現するという美術（アート）の楽しさを実感していただけたのではないかと思います。

学校と連携した「学校支援プログラム」では、今年度は特に、『〇でも×でもないもの!』展の開催もあってか、特別支援学校の来館が多くみられた。また、過去の赴任先で、出前授業と対話による鑑賞を経験し、新たな勤務先でもぜひ、美術館の「学校支援プログラム」を活用したいと、リポートしていただいた学校もあり、先生方に浸透してきているように感じた。当館では、鑑賞ボランティアによる「対話による鑑賞」を展開するなど、作品の解説だけではなく、初めて美術館に来る子どもたちのために、作品の楽しみ方等を伝えてきたが、今年度はそのボランティアによる「対話による鑑賞」を希望する学校が2校しかなく、今後のボランティアの活動の在り方を模索しなければならない時がきていると感じている。

実技体験の支援プログラムでは、「夏休み!子どもフェスタ2024」において、多彩なプログラムに多くの幼児・児童・生徒が参加した。子どもから大人まで参加できる「OKINAWAアートワークショップ2024」も、「さあ行こう美術館へ!はじめの1歩を踏みだそう!～観る楽しさ・描くおもしろさ・つくる喜びを感じよう～」というテーマのもと、伝統工芸だけに特化せず、広く「みること・かくこと・つくること」に焦点を当てた内容を提供し、参加者の皆様から好評を得ることができた。

また、8回目の開催となった県内児童・生徒を対象とした「アートコンクール」では、「私と美術館」というテーマのもと561点もの応募があり、「こんな美術館があったらな」という想像力が発揮された作品や、「アートや美術館が好き」という思いが込められた作品、「これからの美術館へ望むこと」等が描かれた印象深い作品等、とても内容の濃い素晴らしい力作が届き、様々な表現ができる平和な日常に感謝するよい機会となった。

(玉城 早苗)

#### 2 鑑賞活動支援

作品の鑑賞をより深めるために各展示会担当によるキュレータートークや学芸員講座、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。

### (1) キュレータートーク・学芸員講座

展覧会を企画した担当学芸員が、作家や作品、展示に関する意図、また、開催するに当たり進めてきた調査・研究の内容を語る場である。観覧者にとって、学芸員の話聞くことにより「美術作品」への関心を高め、より作品理解を深めることができる。また学芸員にとっては、観覧者に展示会がどう伝わったかを知る重要な機会となり、今後の展覧会に向けての情報収集となる。



梶原正史学芸員



玉城早苗学芸員



大城さゆり学芸員

回	月日 (曜)	講座名	担当	参加人数
1	9月7日 (土)	「沖縄の彫刻たち」学芸員講座+キュレータートーク	梶原 正史	14
2	11月1日 (金)	『〇でも×でもないもの!』オープニングギャラリーツアー	玉城 早苗	12
3	12月1日 (土)	『〇でも×でもないもの!』学芸員講座+キュレータートーク	玉城 早苗	10
4	2月15日 (土)	「岸本一夫オキナワデザイン」学芸員講座+キュレータートーク	大城さゆり	9

### (2) アーティスト (ギャラリー) トーク

アーティストトーク、ギャラリートークは、作家自身や作家とゆかりがある、あるいは研究している方から話を聞く機会である。作家自身から作品、制作に関することや思いを直接伺い、ゆかりがある方から作家の人物や思想、歩んできた人生、客観的な事実や制作スタイル、モチーフの変遷などについて聞くことで、作品や作家に対して、新たな気付きや理解がより深まることにつながっていく。



儀保克幸×安岡中1年生 (代表3名)



アーティストトークの様子



崎山律子×岸本一夫×大城さゆり学芸員

### (3) 学校支援プログラム (鑑賞支援プログラム)

「作品をどうみたらよいかわからない」鑑賞の方法について、よく聞かれる言葉である。美術館では、その問いに答える様々なプログラムがある。当館では、鑑賞者が自分のペースで展示を見る鑑賞方法と、学芸員やボランティアのサポートによる「対話による鑑賞」がある。1人で見ただけでは見えてこなかったことが、対話を通すことによってより深い鑑賞体験をすることにつながっていく。児童・生徒が美術に関する知識・理解をサポートする目的で、学校と美術館が連携して行うのが当館の鑑賞支援プログラムである。

今年度、鑑賞支援プログラムを実施した学校は14校、そのうち出前授業と展覧会の鑑賞をセットで行った学校は八重瀬町立新城小学校と沖

縄県立沖縄盲学校の2校のみ、また、ボランティアの皆さんとの「対話による鑑賞」を実施した学校も、八重瀬町立新城小学校と恩納村立仲泊小学校の2校のみであった。今後のボランティア活動の見直しが必要であると感じている。また、企画展『〇でも×でもないもの!』展が開催されたため、企画展を観覧する特別支援学校が多かった。



出前授業：美術館について講話

回	月日	学校名	学年	参加人数
1	10月11日(金)	八重瀬町立新城小学校	5年	63
2	11月15日(金)	那覇市立安岡中学校(出前授業)	1年	307
3	11月21日(木)	沖縄県立島尻特別支援学校	6年	36
4	11月26日(火)	渡名喜村率渡名喜小学校	6年	16
5	11月29日(金)	沖縄県立沖縄盲学校(出前授業)	小中学部	5
6	12月6日(金)	沖縄県立沖縄盲学校	小中学部	9
7	12月12日(木)	沖縄県立首里高等学校	3年	26
8	12月20日(金)	沖縄県立那覇みらい支援学校	高等部	21
9	1月17日(金)	那覇市立松島小学校	3年	103
10	2月13日(木)	沖縄県立浦添工業高等学校	1年	77
11	2月18日(火)	沖縄県立石川高等学校	2年	8
12	2月20日(木)	沖縄県立大平特別支援学校	小学部5年	32
13	2月25日(火)	恩納村立仲泊小学校(出前授業)	4年	21
14	3月4日(火)	恩納村立仲泊小学校	4年	21



ボランティアとの「対話による鑑賞」の様子



企画展にて作品を触りながら鑑賞

(玉城 早苗)

### 3 ミュージアムツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。内容は、トラックヤード、一時保管庫、収蔵庫、工作室、修復室と巡り、最後にコレクションギャラリーの鑑賞も行っている。

回	月 日	内 容	担 当	参加者
1	6月1日(土)	見せる (展示公開)	亀海史明	6
2	8月24日(土)	守る (保存修復)	梶原正史	13
3	10月26日(土)	集める (資料収集)	大城さゆり	10
4	2025年2月8日(土)	調べる (調査研究)	豊見山愛	10



亀海史明学芸員 (展示公開)



大城さゆり学芸員 (資料収集)



豊見山愛学芸員 (調査研究)

(玉城 早苗)

#### 4 コレクション・企画展 関連催事

##### (1) 美術館コレクション展「岸本一夫オキナワデザイン」

会 期：2025年(令和7)1月25日(土)～2025年10月19日(日)

##### ① ギャラリートーク「あの頃の、あんな話こんな話」

【日 時】2025年2月8日(土) 14:00～15:30

【会 場】美術館企画ギャラリー前

【講 師】岸本一夫(グラフィックデザイナー)  
崎山律子(那覇市文化協会会長)  
大城さゆり(展覧会担当学芸員)

【参加者】36名

【内 容】岸本氏がテレビ美術に携わっていた時代、主に琉球放送株式会社(RBC)に勤務していた頃の話を中心に崎山律子さんとトークを行った。

##### ② 学芸員講座+キュレータートーク

【日 時】2025年2月15日(土) 14:00～15:30

【会 場】美術館講座室・コレクションギャラリー1

【講 師】大城 さゆり(展覧会担当学芸員)

【参加者】9名

【内 容】担当学芸員が、展覧会のために行った調査・研究をもとに、岸本一夫氏の仕事を紹介するとともに、展示解説を行った。



## (2) 美術館コレクション展「沖縄の彫刻たち」

会期 前期：2024年7月13日（土）～2025年1月19日（日）  
後期：2025年1月25日（土）～2025年10月19日（日）

### ① 学芸員講座+キュレータートーク

「美術品の保存修復について～保存修復の現場から～」

【日 時】2024年9月7日（土） 10:30～12:00

【会 場】美術館講座室・美術館コレクションギャラリー2

【講 師】梶原正史（展覧会担当学芸員）

【参加者】14名

【内 容】美術館講座室で展示されている彫刻や、修復について講話を行った後、展示室にて解説を行った。彫刻作品や、修復に対する興味・関心を高める内容とした。



学芸員講座の様子



## (3) 美術館企画展 『〇でも×でもないもの!』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～

会 期：2024年11月1日（金）～2025年1月13日（月）



### ① 『オープニングギャラリーツアー』

【日 時】2024年11月1日（金）10:00～11:00

【会 場】美術館企画ギャラリー1、2

【講 師】玉城早苗（展覧会担当学芸員）

【参加者】12名

【内 容】展覧会担当学芸員が、作品と展覧会について解説を行った。



② 『土で絵の具をつくるって???』～おきなわの土で絵を描いてみよう!～

【日 時】 2024年11月10日（日） 9:30～12:30

【会 場】 県民アトリエ、こどもアトリエ

【講 師】 ウエチヒロ（画家）※本展出品作家

【参加者】 7名

【内 容】 ウエチヒロさんと一緒に、土を使った絵画作品の制作を行った。



③ 『美術館で語り合うって?』～ボランティアとの対話による鑑賞～

【日 時】 a) 2024年11月16日（土） 14:00～15:00

b) 2024年12月14日（土） 14:00～15:00

【会 場】 美術館企画ギャラリー1、2

【講 師】 当美術館鑑賞ボランティアスタッフ

【参加者】 a) 7名 b) 10名

【内 容】 鑑賞ボランティアの皆さんと、「対話による鑑賞」を楽しみながら、美術館企画ギャラリーを巡った。



④ 『アーティストと中学生が向き合うって?』～「ARTと私」正解のないARTについて語ろう!～

【日 時】 2024年11月30日（土） 14:00～15:30

【会 場】 美術館企画ギャラリー1、2（回廊）

【講 師】 儀保克幸（彫刻家）※本展出品作家  
安岡中学校1年生（代表者3人）

【進 行】 玉城早苗（担当学芸員）

【参加者】 20名

【内 容】 安岡中学校1年生の3名と、彫刻家の儀保克幸氏とのギャラリートークを行った。



⑤ 『お話ししながら鑑賞するって?』キュレータートーク

【日 時】 2024年12月1日（日） 14:00～15:30

【会 場】 美術館講座室、美術館企画ギャラリー1、2

【講 師】 玉城早苗（展覧会担当学芸員）

【参加者】 10名

【内 容】 おきみゅーオリジナルのアートカードを使いお話しした後、担当学芸員が企画展を案内した。



⑥ 『美術館バックヤード・企画展ギャラリーツアー』

【日 時】 2024年12月7日（土） 10:30～12:00

【会 場】 バックヤード、美術館企画ギャラリー1・2

【講 師】 玉城早苗（展覧会担当学芸員）

【参加者】 10名

【内 容】 普段は見られない、当美術館のバックヤードと、企画展を、担当学芸員が案内した。



⑦ 『赤ちゃん和妈妈・パパのためのギャラリートour』

- 【日時】2024年12月14日（土）10:00～11:00  
【会場】美術館企画ギャラリー1、2  
【講師】玉城早苗（担当学芸員）  
【参加者】2組（7名）  
【内容】小さなお子さんとご家族のための鑑賞ツアーを行った。



⑧ 映画『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』上映（107分）

- 【日時】2024年12月15日（日）上映14:00～12:00／トークセッション16:00～17:00  
【会場】講堂（音声ガイド上映・トークセッション）  
美術館講座室（日本語字幕上映）  
【講師】※トークセッション登壇者  
宮島真一（シアタードーナツ・オキナワ代表）  
下地幸夫（しゃことんすはりきゅういん・鍼灸師）  
嘉数勝哉（沖縄県立沖縄盲学校・教諭）  
玉城早苗（展覧会担当学芸員）  
【参加者】映画：103名 トーク：62名  
【内容】映画上映の後、トークセッションを行い、白鳥さんのアート鑑賞や活動の方法、生き方、さらには当美術館の未来について話し合った。



⑨ 『ミクストメディアで作品制作!』～ミクストメディアって、いったい何?～

- 【日時】2024年12月22日（日）14:00～17:00  
【会場】県民アトリエ、こどもアトリエ  
【講師】山川さやか（アーティスト）※本展出品作家  
【参加者】10名  
【内容】山川さやかさんと共に、様々な素材や道具を使って作品づくりにチャレンジした。



⑩ 『マーブル模様の絵の具遊び』～絵の具を使った造形活動の展開～

- 【日時】2025年1月11日（土）9:30～12:30  
【会場】県民アトリエ、こどもアトリエ  
【講師】大中原千陽（小田原短期大学 助教）  
本村佳奈子（沖縄県立芸術大学 助教）  
【参加者】7名  
【内容】保育士、幼稚園の先生、幼児教育に携わる方々が、こどもの気持ちになって作品を制作した。



（玉城 早苗）

## 5 ワークショップ

### （1）OKINAWAアートワークショップ2024

沖縄県立博物館・美術館のアトリエには、充実した造形活動ができるスペースがあり、様々な創造活動を体験することができる。

2017年度より、沖縄の地域素材を生かした、子どもも大人も楽しめるワークショップを実施している。今年度は、『さあ、行こう！美術館へ！はじめの一歩を踏み出そう！～美術館で「作品を見る楽しさ・絵を描いたり、ものをつくる喜び」を感



じてみよう！〜』をテーマに、これまでどおり沖縄の地域素材を生かした内容に加え、県内で活躍する若手作家をお招きし、ものづくりの楽しさを感じることでできるワークショップを開催することができた。

① 「彫金とアートのピアス・イヤリング」

【日 時】2024年5月11日（土）10:00～12:00

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【講 師】qulias（ナオミさん）

【対 象】小5～一般

【参加者】12名

【内 容】真鍮を叩いて小さなキャンバスの出来上がり。そこに好きな色を塗り重ねて、世界に一つだけのピアス・イヤリングをつくった。



② 「ワイヤーアートをつくってみよう」

【日 時】2024年5月11日（土）14:00～17:00

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【講 師】doodleclaf

【対 象】小5～一般

【参加者】12名

【内 容】絵を描くようにワイヤーで形をつくろう！1本のワイヤーから素敵なアートにチャレンジすることができた。



③ 「そうなんだあ、と思えるデッサンのお話と実技」

【日 時】2024年5月12日（日）9:30～12:30

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【講 師】よねだはるひこ（美術画家）

【対 象】高校生～一般

【参加者】8名

【内 容】絵を描くことの面白さや奥深さ、普段見逃してしまう些細なことに目を向けながら「描く」ことを体験した。



④ 「手縫いでリメイク体験」

【日 時】2024年5月12日（日）14:00～17:00

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【講 師】RIFATTO（小林佑也さん）

【対 象】小5～一般

【参加者】8名

【内 容】大切に着ている洋服に、パッチワークやペイントのアレンジを加え、リメイクを楽しんだ。



⑤ 「ウージ染めの糸で木杵織り」

【日 時】2024年6月8日（土）9:30～12:30

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【講 師】豊見城市ウージ染め協同組合（織工房4名）

【対 象】小3～一般

【参加者】16名

【内 容】ウージ染めの作品をつくる際にでる余り糸を使って、織物をつくった。



⑥ 「漆喰シーサーづくりに挑戦！」

- 【日 時】2024年6月15日（土）、16日（日）10:00～15:00
- 【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ
- 【講 師】山城富函（現代の名工）  
大城幸祐（現代の名工）  
沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合の皆さん
- 【対 象】小5～一般
- 【参加者】15名
- 【内 容】首里城の瓦を使って、高さ約50cmの漆喰シーサーづくりに挑戦した。



⑦ 「ヒンメリ用ストローでつくる「光と影を愉しむヒンメリ」」

- 【日 時】2024年12月21日（土）10:00～12:00
- 【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ
- 【講 師】サンサンボ
- 【対 象】小5～一般
- 【参加者】7名
- 【内 容】ヒンメリは、北欧フィンランドで、豊作や幸運を願ってつくられる。お守りのような存在のヒンメリを制作した。



⑧ 「干支紅型でお正月支度」

- 【日 時】2024年12月21日（土）14:00～16:00
- 【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ
- 【講 師】山城祥子さん・吉濱愛さん（城紅型染工房）
- 【対 象】5才～一般
- 【参加者】15名
- 【内 容】令和7年の干支の「巳（へび）」をモチーフにしたタペストリーを制作した。



(2) 夏休み！こどもフェスタ2024

毎年恒例となっている夏休みこどもフェスタは、未就学児から中学生までの参加があり、それぞれの講座を通して、子どもたちに造形的な技能及び表現力を身につけさせ、子どもたちと美術館との関わりを深めることを目的としている。



① 「ミニ漆喰シーサーづくりに挑戦！」

- 【日 時】2024年7月27日（土）9:30～12:30
- 【会 場】県民アトリエ、こどもアトリエ
- 【講 師】沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合の皆さん
- 【対 象】小1～中3（小3以下は保護者同伴）
- 【参加者】19名
- 【内 容】首里城の瓦を使って、ミニ漆喰シーサーを制作した。



② 「アートなダンボール作品作り」

- 【日 時】 2024年7月27日（土）14:00～17:00
- 【会 場】 県民アトリエ、こどもアトリエ
- 【講 師】 儀間朝龍（アーティスト）
- 【対 象】 小学生
- 【参加者】 14名
- 【内 容】 ダンボールを使って、見た人がびっくりするような作品をつくり、完成後、美術館のエントランスホールに作品を展示した。



③ 「グルグルえのぐ×変身お面」

- 【日 時】 2024年7月28日（日）9:30～11:00
- 【会 場】 県民アトリエ、こどもアトリエ
- 【講 師】 大中原千陽、本村佳奈子（confetti project）
- 【対 象】 未就学児と保護者（兄弟も参加可）
- 【参加者】 10組12名
- 【内 容】 グルグルトントン、マーブル模様のアート体験。模様ができれば、カラフルお面をつくった。



④ 「ミクストメディアで表現しよう！」

- 【日 時】 2024年7月28日（日）14:00～17:00
- 【会 場】 県民アトリエ、こどもアトリエ
- 【講 師】 山川さやか（アーティスト）
- 【対 象】 小1～中3
- 【参加者】 10名
- 【内 容】 絵の具と食器用洗剤を使って、実験をしてみたり、色々な素材（画材）を使った表現を楽しんだ。



（玉城 早苗）

## 6 アートコンクール

2017年より、県内の児童・生徒にアートコンクールへの参加の機会を提供し、親しめる美術館づくりを目指している。今年度は、テーマを「私と美術館」として募集したところ、561点の素晴らしい作品が集まった。作品のなかから特に色彩豊かで独創的な作品が入賞し、11月3日に表彰式を挙行了。当日は、入賞者のご家族にもご列席いただき、晴れやかな表彰式となった。



表彰式の様子

●令和6年度 沖縄県立博物館・美術館 第7回アートコンクール 上位入賞者一覧表

賞	小学校の部		中学校の部	高校の部	特別支援の部
	1・2・3年	4・5・6年			
最優秀賞	◎仲間 由奈 宜野湾市立宜野湾小3年	◎永吉 希子 宜野湾市立志真志6年	◎伊豆味 真由 沖縄市立美里中2年	◎大城 和月 県立真和志高3年	◎下地 陽大 県立那覇みらい支援学校高等部1年
優秀賞	◎嘉陽 ひなの 宜野湾市立宜野湾小3年 ◎與座 悠真 浦添市立港川小3年	◎萩原 優志 中城村立津覇小6年 ◎諸見里 明 那覇市立上間小5年	◎知花 羽純 那覇市立石嶺中3年 ◎當眞 杏奈 読谷村立古堅中3年	◎西澤 京音 県立開邦高3年 ◎盛口 海 学校法人雙星舎高等専修学校珊瑚舎スコール高校3年	◎喜屋武 倫緒 県立那覇みらい支援学校高等部1年 ◎新地 良爽 県立那覇みらい支援学校高等部3年
優良賞	◎大城 愛真 西原町立坂田小3年 ◎大見謝 世那 私立カトリック小2年 ◎川崎 航和 豊見城市立豊崎小2年	◎大石 麗 伊江村立西小5年 ◎川崎 航弥 豊見城市立豊崎小5年 ◎ナンス 羽菜 宜野湾市立はごろも小5年	◎平良 結愛 那覇市立上山中3年 ◎ナンス 莉亜 宜野湾市立真志喜中2年 ◎比嘉 桜子 那覇市立安岡中1年	◎名嘉原 盛祁 県立小禄高2年 ◎前田 唯花 県立開邦高2年 ◎宮城 紅華 県立小禄高2年	◎安里 晃 県立那覇みらい支援学校高等部1年 ◎村山 由衣 県立那覇みらい支援学校高等部3年 ◎山本 心月 県立那覇みらい支援学校高等部3年
団体賞	◎那覇市立上間小学校		◎私立興南中学校 ◎南大東村立南大東中学校	◎私立興南高等学校 ◎県立真和志高等学校	◎県立島尻特別支援学校 ◎県立那覇みらい支援学校

(玉城 早苗)

## 7 慰霊の日関連催事

沖縄戦の体験者も高齢となり、私たちの身近にも悲惨な地上戦について語ってくれる人が少なくなってきた。学校現場でも年々、沖縄戦を主とした「平和教育」を実践することが難しくなっているのではないだろうか。当館では2017年より、博物館・美術館連携事業として慰霊の日関連催事を行っている。戦争の愚かさや命の大切さを絵本の読み聞かせを通して伝え、改めて平和について考える機会とすることを目的としている。

- 【日 時】 展示期間 2024年6月1日(土)～6月30日(日)  
読み聞かせ催事 2024年6月1日(土) 14:00～15:00
- 【会 場】 沖縄県立博物館・美術館 エントランス
- 【講 師】 高良 實(沖縄県立博物館美術館・美術館ボランティアスタッフ)
- 【参加者】 29名
- 【内 容】 博物館・美術館教育普及連携催事で、館内1FエントランスにTVモニターを設置し、平和関連の絵本の読み聞かせ映像の上映と、沖縄県立図書館協力のもと本の紹介も行った。  
また、6月1日(土)に、高良實氏に実際に読み聞かせを行っていただいた。

- (1) 平和に関する絵本の読み聞かせ映像の放映(美術館)  
宮城アケミ(元沖縄大学教授・沖縄県立博物館・美術館 美術館鑑賞ボランティア)
- (2) 読み聞かせ催事  
《作 品》①「マブニのアンマー 沖縄の母」(赤座憲久・文/北島新平・絵)  
②「へいわってすてきだね」(安里有生・詩/長谷川義史・画)
- (3) 本の紹介資料(沖縄県立図書館)





展示の様子



読み聞かせの様子

(玉城 早苗)

## 8 ボランティア活動

当館の美術館ボランティアスタッフは、学校団体に向けた鑑賞ツアーをサポートするガイドボランティアと、美術館関連書籍・新聞などを整理する資料整理ボランティア、ワークショップをサポートするボランティアの3つのグループに分かれ、それぞれの特技を生かし活動している。今年度の鑑賞ガイドボランティアは、学校団体だけを対象にするのではなく、『〇でも×でもないもの！』展の関連催事の一つとして、一般の方を対象とした「対話による鑑賞」を実施することができた。

### (1) ボランティア研修会

回	月日	講義内容	担当講師	参加人数
1	4月24日(水)	ボランティア証交付、職員紹介、今年度のスケジュール確認と昨年の振り返り(沖縄ろう学校)	玉城早苗	13
2	6月26日(水)	館外研修(那覇市立壺屋焼物博物館)	又吉幸嗣(那覇市立壺屋焼物博物館・主任学芸員)	12
3	7月24日(水)	美術館コレクション展・展示解説	梶原正史・亀海史明・玉城早苗	8
4	8月7日(水)	対話による鑑賞実践と企画展内容説明	玉城早苗	10
5	10月2日(水)	対話による鑑賞実践	玉城早苗	8
6	11月13日(水)	対話による鑑賞実践	玉城早苗	8
7	12月11日(水)	対話による鑑賞実践	玉城早苗	9
8	2025年1月29日(水)	『〇でも×でもないもの！』関連催事「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」トークセッション鑑賞	玉城早苗	8
9	2025年2月12日(水)	「岸本一夫 オキナワデザイン」展示解説	大城さゆり	10
10	2025年3月12日(水)	令和6年度振り返り	玉城早苗	8

### (2) 『〇でも×でもないもの！』展・関連催事

「美術館で語り合うって？」～ボランティアとの対話による鑑賞①②～

回	月日	学校名	担当講師	参加人数
1	11月16日(土)	「美術館で語り合うって？」～ボランティアとの対話による鑑賞①～	鑑賞ガイドボランティア5名	7
2	12月14日(土)	「美術館で語り合うって？」～ボランティアとの対話による鑑賞②～	鑑賞ガイドボランティア6名	10



「対話による鑑賞」の様子

(玉城 早苗)

## 9 教職員等、研修の受け入れ

教育委員会や研究所、学校等からの要請を受け、「校内研修」や「中堅教諭等資質向上研修」等の受け入れも行っている。今年度は、那覇市内の小・中学校6名の先生方を受け入れ「中堅教諭等資質向上研修」を実施した。また、那覇市立曙小学校、伊平屋村立伊平屋中学校の校内研修も実施することができた。

さらに、那覇教育事務所主催の県民カレッジ「沖縄県立博物館・美術館バックヤードツアー」も、昨年同様、実施することができた。

昨年、台風のため中止となった沖縄県造形教育連盟と共催で開催している「教員向け講座」は、無事に開催することができた。

### (1) 令和6年度 中堅教諭等資質向上研修「社会体験研修」

- ① 実施日：2024年7月23日（火）
- ② 研修受入人数：那覇市内小・中学校教諭 6名



### (2) 那覇市立曙小学校「校内研修」

- ① 実施日：2024年7月30日（火）
- ② 研修受入人数：30名



中堅教諭等資質向上研修の様子

### (3) 沖縄県造形教育連盟教員向け講座（中学校部会）

- ① 実施日：2024年7月31日（水）
- ② 研修受入人数：16名

### (4) 沖縄県造形教育連盟教員向け講座（小学校部会）

- ① 実施日：2024年8月2日（金）
- ② 研修受入人数：30名



沖縄県造形教育連盟教員向け講座の様子

### (5) 伊平屋村立伊平屋中学校「校内研修」

- ① 実施日：2024年8月2日（金）
- ② 研修受入人数：15名

### (6) 令和6年度 県民カレッジ「沖縄県立博物館・美術館バックヤードツアー」

- ① 実施日：2024年8月9日（金）
- ② 受入人数：24名



校内研修の様子

### (7) 令和6年度初任者研修（県立浦添高校）

- ① 実施日：令和6年11月28日（木）
- ② 受入人数：4名

(玉城 早苗)

## IV 資料収集・保存管理

### 1 収蔵作品現在高

2025年3月31日 現在

分類	購入	寄贈	制作	移管	その他	小計	寄託	総計
平面	385	1,525	0	65	2	1,977	195	2,172
立体	36	241	0	0	8	285	15	300
写真・映像	395 (映像:21)	2,204 (映像:6)	149	0	0	2,748 (映像:27)	765 (映像:0)	3,513 (映像:27)
その他	13	12	0	1	3	29	44	73
総計	829	3,982	149	66	13	5,039	1,019	6,058

※「写真・映像」の収蔵数に含まれる、映像作品数をカッコ内に記した。

### 2 2024年度（令和6）新収蔵作品高

分類	購入	寄贈	制作	移管	小計	寄託	総計
平面	6	23	0	0	29	1	30
立体	2	0	0	0	2	0	2
写真・映像	1	0	149	0	150	0	150
その他	0	0	0	0	0	5	5
総計	9	23	149	0	181	6	187

### 3 2024年度（令和6）新収蔵作品目録

#### 【購入】

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
平面 絵画	山城 えりか	vortex	2007-2011	油彩、キャンバス	1
	平良 優季	薫風	2016	高知麻紙、寒冷紗（綿）、岩絵の具、箔	1
	仲嶺 康輝	山岳風景（仮）	1968	油彩、キャンバス	1
	照屋 勇賢	自分のこと、あなたのこと	2015	新聞、アクリル	1
	屋良 朝彦	メタルシリーズ 6	2010	ミクストメディア	1
	大城 譲	パンドラ	2016	杉板、有刺鉄線、布、キャンバス、アクリル彩色	1
立体 彫刻	水谷 篤司	とある風景 水平線1	2015-2017	垂木、顔彩、アクリル絵の具	1
	水谷 篤司	とある風景 水平線2	2015	垂木、顔彩、アクリル絵の具	1
写真・映像	照屋 勇賢	海	2013	シングルチャンネルビデオ	1

#### 【寄贈】

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面 絵画	嘉数 能愛	キリスト像	不明	油彩、メソナイト	1	Steve Hamilton
	嘉数 能愛	イシカワ ベイ	1946	油彩、メソナイト	1	Steve Hamilton
	嘉数 能愛	Landscape Kimono Girl and Boy	不明	油彩、メソナイト	1	Steve Hamilton
	嘉数 能愛	ハミルトン氏 肖像	1946	油彩、メソナイト	1	Steve Hamilton
	嘉数 能愛	Military Person – Major Ray Hamilton	1946	油彩、メソナイト	1	Steve Hamilton

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面 絵画	糸数 晴甫 (晴浦・晴方)	沖縄 石川	1946.9	水彩、絹、メソナイト	1	Steve Hamilton
	糸数 晴甫 (晴浦・晴方)	沖縄 石川	1946	水彩、絹、メソナイト	1	Steve Hamilton
	大嶺 政寛	Buckner Bay	1947.1	油彩、メソナイト	1	Steve Hamilton
	名渡山 愛順	不明	1949	油彩、メソナイト	1	Steve Hamilton
	名渡山 愛順	黄昏	1953	油彩、キャンバス	1	石原 恵美子
	具志堅 以徳	(風景)	1940～50年代	油彩、キャンバス	1	石原 恵美子
	山元 恵一	プロムナード	1951	キャンバス、油彩	1	宮里 玲子
	屋良 朝彦	光と影シリーズ 1	1989	アクリル	1	屋良 朝彦
	屋良 朝彦	光と影シリーズ 4	1984	アクリル	1	屋良 朝彦
	屋良 朝彦	ラッピングシリーズ 1	1989	アクリル	1	屋良 朝彦
	屋良 朝彦	ドリップングシリーズ 1	1997	アクリル	1	屋良 朝彦
	屋良 朝彦	ドリップングシリーズ 3	2001	ミクストメディア	1	屋良 朝彦
	屋良 朝彦	ドリップングシリーズ 6	2001	ミクストメディア	1	屋良 朝彦
	屋良 朝彦	ミクストメディアシリーズ	2003	ミクストメディア	1	屋良 朝彦
	大城 讓	傷の声	2022	杉板、布、アクリル彩色	1	大城 讓
	大城 讓	向日葵の声	2024	杉板、アクリル彩色	1	大城 讓
	大城 讓	シーシュポス	2020	杉板、ひも、アクリル彩色	1	大城 讓
大城 讓	Pride ?!	2015	杉板、有刺鉄線、布、キャンバス、アクリル彩色	1	大城 讓	

#### 【寄託】

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面 絵画	山口 瑞雨	群雀啄花	1899か	絹本着彩、軸装	1	辻岡 逸人
その他	照屋 勇賢	自分にできることをする (ニューヨークタイムズ2013年5月26日)	2014	新聞	1	照屋 勇賢
	照屋 勇賢	自分にできることをする (ニューヨークタイムズ2013年7月31日)	2013	新聞	1	照屋 勇賢
	照屋 勇賢	Constellation	2012～	紙袋	1	照屋 勇賢
	照屋 勇賢	告知 - 森 (COS)	2015-2017	紙袋、糊	1	照屋 勇賢
	照屋 勇賢	ジェロニモ	2011	紅型、麻	1	照屋 勇賢

#### 【制作】

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
写真・映像	山田 實	帰り道 奥武島	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
	山田 實	平安座島への海中バスを待つ	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	1
	山田 實	ひるさがり 本部	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	1

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	
写真・映像	写真	山田 實	エイサー大会 コザ 沖縄市	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	少女 大謝名	1962頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	階段 山形屋 那覇	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	山形屋屋上 那覇	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	改修されたビーチ	1960頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	野良帰り 与根	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	仮橋 真玉橋	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	聖火を待つ	1964	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	山形屋屋上 那覇	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	山形屋屋上から 那覇	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	国際通り 那覇	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	露天商 安謝 那覇	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	老婆 首里にて	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	祭の日 辻 那覇	1963. 2. 13	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	乙姫劇団を見る群衆 辻 那覇	1963. 2. 13	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	水浴び 奥武島	1963. 9. 15	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	櫻坂通り	1962. 9. 3	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	洗濯を終えて 糸満	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	樹陰 前川にて	1967. 5	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	墓群 謝苺	1962頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	宙返り 石垣島	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	川平 石垣島	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	川平 石垣島	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	石垣島	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	宮良殿内 石垣島	1968	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	村祭り 保栄茂 豊見城	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	首里 那覇	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	歳末風景 那覇	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	久米島にて	1967	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	宮平敏子を描く東郷青児 山田實宅 那覇	1966. 2. 16	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	瀬長亀次郎	1950頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	斗争小屋 宮城島	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	国際通り 那覇	1964	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	市場へ 櫻坂にて	1960頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	待つ 沖縄市	1964	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	拝所 読谷	1969. 5	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	闘争 デモ 狂った時代の内と外	1971	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	櫻坂の火災	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	子守の少女 与根	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	那覇大綱引き	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	1
山田 實	聖火、南路を往く	1964	ゼラチン・シルバー・プリント	1		

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	
写真・映像	写真	山田 實	海洋博会場 沖縄館	1975	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	石投げ遊び	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	牛洗う 北部方面	1964. 5. 24	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	少女 与根	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	鉾もつ少年 与根 豊見城	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	糸満綱引き	1958頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	波の上海岸	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	戦後初の甲子園出場 首里高校ナイン 那覇	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	古倉保文を取材する濱谷浩	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	三木淳 竹富島にて	1978	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	製糖工場 伊計島	1974頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	ニッコールクラブ撮影会	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	ニッコールクラブ撮影会にて	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	波の上の鳥居	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	夜景 国際通り	1958頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	巫女 塩屋	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	復帰当日 デモ隊 国際通りにて	1972	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	當間重剛	1960頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	竹富島	1978	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	計り売り 安謝海岸	1960頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	久米島にて	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	大砲の残骸	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	出番待ち 八重山	1971頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	旗頭合戦 三越前にて	1972	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	村芝居 前川 玉城	1972	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	ひと休み デパート内	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	本屋にて 国際通り	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	お供えの買い物	1959. 4. 19	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	道を渡る	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	紙芝居を見る子どもたち 櫻坂 那覇	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	暑い日 牧志	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	選挙速報 那覇	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	選挙速報 那覇	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	センター通りを往く 胡屋 沖縄市	1960. 4. 17	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	刈り入れ	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	中城公園 北中城	1961. 2. 5	ゼラチン・シルバー・プリント	1
山田 實	中城公園にて 北中城	1961. 2. 5	ゼラチン・シルバー・プリント	1		
山田 實	園比屋武御獄石門 首里	1967	ゼラチン・シルバー・プリント	1		
山田 實	村祭り 保栄茂 豊見城	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1		
山田 實	バスガール 牧志 那覇	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1		

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	
写真・映像	写真	山田 實	喜屋武眞榮 青島幸男 屋良朝苗	1970頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	歩行者天国 国際通り	1972	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	教公二法阻止闘争 那覇 泉崎	1967	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	ごみ捨て場を歩く東松照明 八重島 沖縄市	1969	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	帰り道	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	壺屋にて	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	メンコ遊び 壺川 那覇	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	浜で遊ぶ 恩納ビーチ	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	デモを見る瀬長亀次郎 国際通り	1961	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	米軍車輛が往く ヤンバル	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	イザイホー 七つ橋渡り 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	イザイホー 七つ橋渡り 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	久場とよ	1968	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	金武観音寺	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	きび刈りの少年 大里	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	キャラウェイ高等弁務官 空港ショーで 那覇	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	ひめゆりの塔 伊原 糸満	1962	ラムダプリント	1
		山田 實	安謝橋 那覇	1972	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	安谷屋正義 壺屋にて	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	帰り道 豊見城にて	1964	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	漁終えて 安謝海岸にて	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	共同洗場 金武	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	国際通り 那覇	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	ハヂチの老婆 那覇	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	謝花雲石と當間重剛	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	守礼門でスケッチ 再建された頃	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	城間道子 山川 首里	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	新垣栄三郎 壺屋	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	水くみの少女	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	大城皓也 個展会場にて	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	大嶺政寛 イザイホースケッチ中 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	竹富島	1965頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	土門拳 東南植物楽園にて	1975. 1. 16	ラムダプリント	1
		山田 實	島袋光裕	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	農連市場	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	農連市場	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	髪結い 那覇市櫻坂にて	1950年代	ラムダプリント	1
		山田 實	木村伊兵衛 万座毛にて	1965	ラムダプリント	1
		山田 實	壺屋の子どもたち	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實	壺屋小学校にて	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
写真・映像	写 真	山田 實 沖展 カーミースープ 陶工の勝負を見る濱田庄司と豊平 良頭	1963頃	ラムダプリント	1
		山田 實 祭りの日 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 七つ屋 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 朝の授乳 イザイホー 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 イザイホー 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 イザイホー 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 イザイホー 久高島	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 休日 琉球政府前 那覇	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 ひと休み リウボウ前	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 マンション 壺川	2003	銀色素漂白方式印画	1
		山田 實 夏の終わり 宮城島	1985頃	銀色素漂白方式印画	1
		山田 實 花散る頃 若狭	2002頃	銀色素漂白方式印画	1
		山田 實 塩屋の海神祭	1998	銀色素漂白方式印画	1
		山田 實 与儀公園にて	2002頃	銀色素漂白方式印画	1
		山田 實 波の上ビーチ	1986頃	銀色素漂白方式印画	1
		山田 實 海邦国体 開会式	1987	銀色素漂白方式印画	1
		山田 實 ロケ見物 櫻坂 那覇	1959. 6. 30	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 塩田工場 与根 豊見城	1960	ラムダプリント	1
		山田 實 子どもたち	1962, 1964	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 泊の塵焼き場	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 明治橋を望む	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	1
		山田 實 魚売り 糸満にて	1958	ラムダプリント	1
		山田 實 糸すき	1963	ラムダプリント	1
		山田 實 少年と子犬	1956頃	ラムダプリント	1
山田 實 大城立裕	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	1		

#### 4 作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の文化芸術の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目指している。収集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

令和6年度は、1回の美術品等収集委員会を開催した。作品の収集に当たっては、それぞれの学芸員による専門分野の前調査をもとに、美術館学芸会議で審査を行い、県内の有識者で構成された美術品等収集委員会で審議した。その結果を参考に所定の手続を経て、購入、寄贈ともに、幅広い世代の作品を収集した。寄託では、開催した展覧会の成果から収集に至ったものが含まれている。

(大城 さゆり)

#### 5 保存管理事業

##### (1) 保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理の徹底による虫菌害予防(ペストコントロールを含む)が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

## (2) 収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼、招聘を行い、当館保存修復室にて共同で修復作業を行うこととしている。本年度の外部委託の依頼はなかった。

企画及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装改善及び金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
岸本 一夫	沖縄戦後24年 (1)	ポスターカラー・洋紙	折れた支持体のフラットニング 支持体剥がれ部分の接着 ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	沖縄戦後24年 (2)	ポスターカラー・洋紙	折れた支持体のフラットニング 支持体剥がれ部分の接着 ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	沖縄戦後24年 (3)	ポスターカラー・洋紙	折れた支持体のフラットニング 支持体剥がれ部分の接着 ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	ポスター(星の流れ)	ポスターカラー・洋紙	絵具層剥離部分の接着 ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	PEACE	シルクスクリーン・洋紙	画面付着物の除去 画面の乾式洗浄 ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	(工事場)	油彩・キャンバス	絵具層の剥落部・浮き上がり接着 剥落部への充填・捕彩 画面全体にニス塗布 バックボード装着・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	重機	油彩・キャンバス	絵具層の剥落部・浮き上がり接着 剥落部の捕彩 画面油抜け部分への部分的なニス塗布 額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	(観光のためのポスターの試作) (1)	ポスターカラー・洋紙	絵具層の浮き上がり接着 支持体のフラットニング(部分) ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	(観光ポスターのための試作) (2)	ポスターカラー・洋紙	絵具層の浮き上がり接着 支持体のフラットニング(部分) ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
岸本 一夫	(ポスター)(2)	ポスターカラー・洋紙	絵具層の浮き上がり接着 支持体のフラットニング(部分) ブックマット・額装の改善	コレクション1 岸本一夫展
ユエ・ミン ジュン	無題	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がり接着 支持体のフラットニング(部分)	企画展
トケシ・エ ドワルド	透明人間	ミクストメディア	脱落した作品一部パーツの接着	コレクション3 沖縄美術の流れ展
和田 香苗	ポナペの娘	油彩・キャンバス	画面付着物の除去 画面の洗浄 絵具層の浮き上がり接着 画面へのニス塗布 額装の改善	コレクション3 沖縄美術の流れ展

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
大城 皓也	三人	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落部周縁の固着。表面に付着した汚損の除去。表打ち。裏面の乾式洗浄。裏面より破れ部分に和紙と合成樹脂によるパッチの接着。裏面に合成樹脂を使用したホットテーブルによる裏打ち。新しい木枠への張り込み。剥落部分の充てん、水彩絵の具、補彩用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。	コレクション3 沖縄美術の流れ展

※額装の新調や展示方法などの改善は含まない

## 注記

### ・館内処置について

作品における処置は全て当館保存修復学芸員 梶原正史が行った。

額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

### ・修復に使用した材料について

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

(梶原 正史)

## 6 作品貸出

美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で作品貸出の可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち会い、作品状態の点検を行っている。なお2024年度、美術館収蔵作品の作品貸出は以下3件であった。

### (1) 事業名：第4回カツベン映画祭

貸出期間：2024年4月5日～5月31日

貸出作品：1点（収蔵作品1点）

① 吉野二郎 執念の毒蛇 1931年 DVD

### (2) 事業名：伊砂利彦生誕100年記念 伊砂利彦と沖縄展

展覧会場：沖縄県立芸術大学付属図書・芸術資料館

貸出期間：2024年9月18日～9月26日

貸出作品：1点（収蔵作品1点）

① 伊砂 利彦 沖縄戦で逝きし人々にささげる鎮魂歌 屏風2曲一双

### (3) 事業名：金城哲夫誕生地イベント2024

上映会場：津嘉山地域振興資料館

貸出期間：2024年9月1日～9月25日

貸出作品：1点（収蔵作品1点）

① 金城哲夫 吉屋チルー物語 1962年 DVD

(梶原 正史)

一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
(指定管理者)

- I 沖縄美ら島財団の概要
- II 運営方針
- III 組織図
- IV 展示活動
- V 教育・イベント活動
- VI 広報事業に関する業務
- VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動

## I 沖縄美ら島財団概要

### 【沿革】

1976年（昭和51）7月、海洋博覧会記念公園管理財団発足。同年8月1日、国営沖縄海洋博覧会記念公園維持管理業務受託開始。1991年（平成3）首里城基金を設立。1992年（平成4）11月、首里城公園（国営沖縄記念公園首里城地区、県営公園の一部、城郭）の維持管理業務受託開始。同年営業契約により特定公園施設（正殿、南殿・番所、北殿、奉神門、御庭等）の管理運営を開始。2002（平成14）11月、営業契約により特定公園施設（沖縄美ら海水族館）の管理運営を開始。2004年（平成16）12月、ISO14001認証取得。2008年（平成20）12月、総合研究センター発足。2012年（平成24）10月1日、一般財団法人沖縄美ら島財団に改称。

### 【業務内容】

1976年（昭和51）8月開園以来海洋博公園の維持管理業務、1992年（平成4）11月開園以来首里城公園国営公園部分と首里城城郭を含む県営公園部分の維持管理業務を受託している。首里城有料区域及び沖縄美ら海水族館については、独立行政法人都市再生機構との営業契約で運営していたが、2019年（平成31）2月から沖縄県が管理者となったことから、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）」及び「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）」の指定管理者として運営している。2006年度（平成18）からは指定管理者として県営首里城公園、2013年度（平成25）から2022年度（令和4）まで県立名護青少年の家、2014年（平成26）から2023年度（令和5）までなごアグリパーク（名護市農産物6次産業支援拠点施設）の管理運営を行うほか、2015年（平成27）より名護市の小学校跡地に沖縄の自然に関する調査研究・普及啓発活動の拠点施設として「美ら島自然学校」を開校し運営している。また、2008年（平成20）に「総合研究センター（現 総合研究所）」を設立し、海洋生物や亜熱帯植物、海洋文化、首里城等琉球王朝文化の調査・研究普及啓発、社会貢献・地域連携活動を行い、2014年（平成26）には文部科学省により科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定された。2016年（平成28）4月より沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として管理・運営にあたっている。指定期間は、1期目が2016年（平成28）4月～2021年（令和3）3月までの5年間。2期目が2021年（令和3）4月～2026年（令和8）3月までの5年間。

## II 運営方針

### 1 管理運営の基本方針

#### （1）基本的な考え方

沖縄県や地域社会、県民など多様な主体と連携・協働し、「沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例」及び「沖縄県立博物館・美術館中長期計画」が示す本館の使命と役割を果たします。

以下に示す管理運営方針のもとで効率的な業務運営に取り組み、当財団の調査研究部門との連携を強化し、沖縄の自然・歴史・文化の拠点である博物館・美術館の機能の発揮に努めます。

### 2 管理運営方針

#### 方針1：沖縄の宝を守り育み、多くの方へ、そして未来へつなぎます。

##### ・総合研究センターの調査・研究・普及啓発活動を社会に還元

総合研究所の研究成果や人材、ネットワークを活かし、本館が行う資料の保管や展示、調査研究、教育普及事業をサポートし、沖縄県の文化芸術や教育学習の発展、調査研究の推進に寄与します。

##### ・豊富な学芸員人材により県の展覧会や教育普及活動をサポート

博物館での業務経験豊富な学芸員有資格者を多数配置し、県の活動をサポートするとともに、自主事業等を積極的に展開し、沖縄県を代表する博物館・美術館に相応しい学びと鑑賞の機会を提供します。

##### ・沖縄固有の自然・歴史・文化の継承・発展を支援

令和2年に世界遺産に登録された『奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島』、令和1年に日本遺産に認定された『琉球王国時代から連続と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」』や、漆器をはじめとした沖縄県の伝統工芸品を普及・継承・支援するための取り組みを行います。

#### 方針2：おもてなしの心と親しみあふれる開かれた博物館・美術館を目指します。

##### ・お客様の立場に立ったサービス提供

礼節を重んじる「守礼の心」を大切に、ホスピタリティ溢れる接客とサービスにより顧客満足度を高めまします。また、お客様の声を業務に反映させる仕組みにより継続的にサービスの質を向上させます。

##### ・全ての方が快適に過ごせる利用環境の整備

身体の不自由な方や外国人、社会的弱者の方を含め、全てのお客様が快適に利用できる施設を目指し、ソフトとハードの両面から取り組みを行います。

・万人に開かれた存在になるためのブランディング活動

令和元年度に策定した本館のブランドスローガン「あなたの沖縄に出会う」を軸に、一貫性のある情報発信とサービス提供を行います。また、本館が目指すアジアや世界に開かれたミュージアムの実現をサポートします。

**方針3：誰もが安全・安心・快適に過ごせる適切な運営を行います。**

・豊富な経験とノウハウに基づく適切な施設維持管理

当財団による総合管理のもと、開館以来本館の維持管理を担う専門会社が施設維持管理を行います。また予防保全の観点に立った施設の長寿命化と安全確保に努めます。

・文化財保護施設に相応しい万全の危機管理体制を構築

想定される緊急事態を洗い出し、独自の危機管理マニュアルに定める予防及び発生時の対策を用意するとともに、定期的な訓練により実践的な対応力を強化します。

・新型コロナウイルス等の感染症拡大防止策を徹底

令和5年5月の第5類移行後も新型コロナ感染状況に留意しつつ、入り口での水際対策や消毒、一部施設（ふれあい体験室）の利用時間制限等を実施し、お客様が安心して利用できる環境を整えます。

**方針4：観光客の来館を増やし、沖縄観光の推進に寄与します。**

・質・量ともに優れた誘客・広報活動

当財団が持つ豊富な情報発信資源と、これまで蓄積してきたマーケティングノウハウを活かし、顧客のニーズを捉えた誘客広報活動を展開します。観光客の主要な情報収集手段となっているWEBサイトやSNS等を積極活用し、時代の変化に適応した情報発信を行います。

・県内外ネットワークの活用と沖縄美ら海水族館や首里城公園との連携

当財団が県内外の観光業界において持つネットワークを活用するほか、沖縄県の二大観光施設と連携するなど当財団ならではの広報資源を活用して誘客を行います。

・沖縄固有の歴史文化を楽しく鑑賞・体験できる情報提供

観光客のニーズに適応した情報発信を行い、本館が観光客にとって沖縄の自然・歴史・文化に触れ、沖縄観光を楽しむための出発点として、また知的好奇心を充足させる観光施設として定着するよう努めます。

**方針5：地域に愛され、人々が集う文化・芸術拠点を目指します。**

・行催事で地域の皆様の発表・講師の場を提供

年間を通じて地域の皆様に参加いただけるイベントを開催し、披露したい人と楽しみたい人、教えたい人と学びたい人をつなげる場を創出します。

・音楽イベントの開催により来館と交流を促進

本館の立地特性や空間の雰囲気を活かし、音楽鑑賞の機会を創出します。県内アーティストによるコンサートや県内大学生による芸能披露を開催します。

・地域の多様な主体と連携

那覇新都心通り会や近隣の小学校をはじめ、本館周辺の企業や団体と互いに協力し合える関係を築き、地域活動に参加することで、豊かな地域づくりに貢献します。

**方針6：本館の総合力を最大限に活用し、多様なニーズに応えます。**

・本館の複合機能を活かした滞在体験の提供

博物館、美術館、情報センター、貸施設、ショップ、カフェなど多様な機能を有する施設の強みを活かし、お客様が見て、触れて、学べる体験や快適な滞在サービスを提供します。

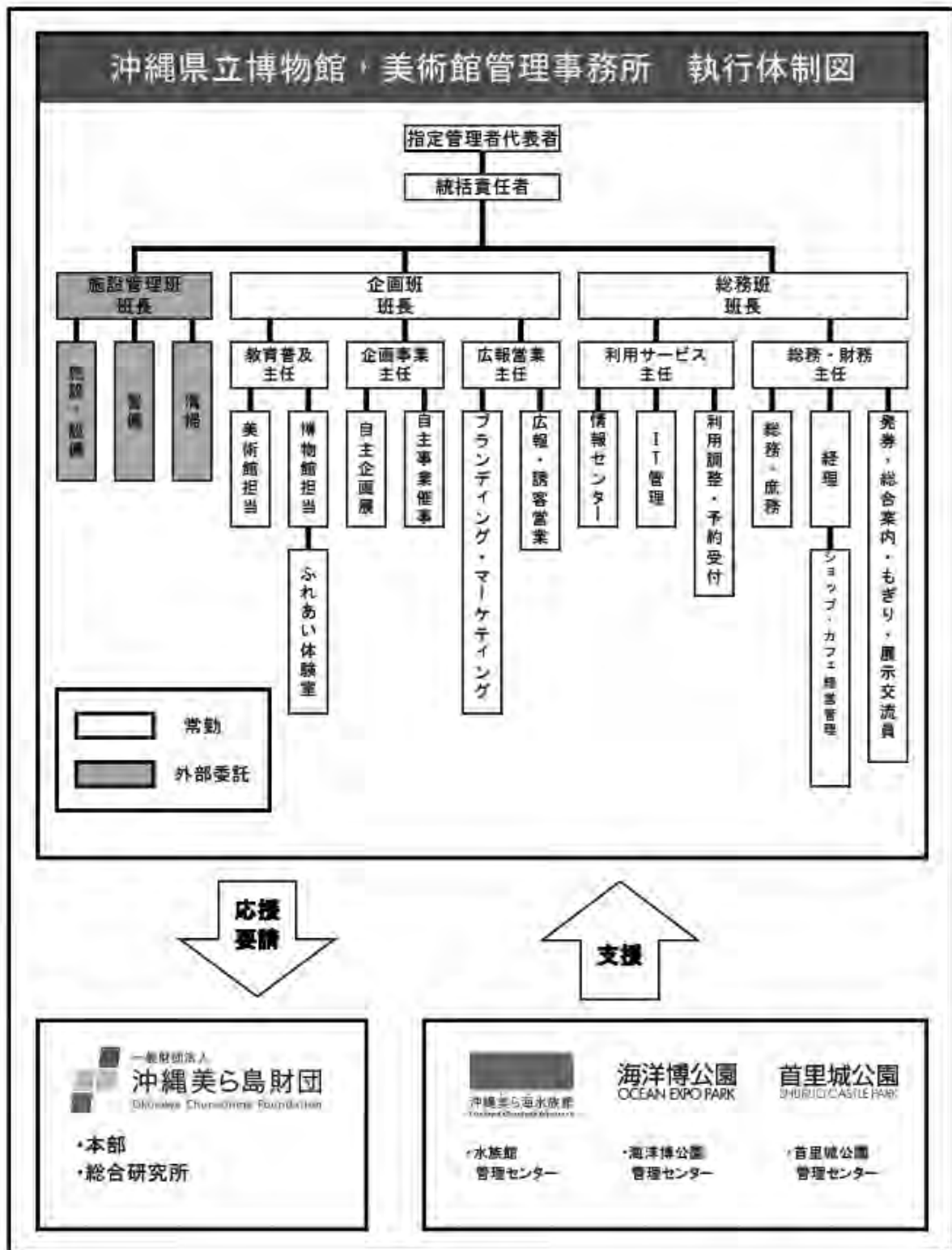
・本館の特長を活かした自主事業を新たに実施

本館が有するスペース、知名度、集客力といった有形無形の資源に、当財団の人材、ノウハウ、発信力を掛け合わせることで新たな自主事業を展開します。

・博物館常設展、美術館コレクション展の来館動機を高めるプロジェクト

複合的な機能を有する本館の施設特性を活用し、博物館常設展の「目玉」を広める「万国津梁の鐘」プロジェクト、アート鑑賞の素晴らしさを伝える「アートを身近に！」プロジェクトを推進します。

III 組織図



## IV 展示活動

### 1 展示活動概要

#### (1) 自主企画「キングダム展 -信-」

会 期：2024年3月22日（金）～5月12日（日）（開催日数46日間）

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

観 覧 料：一般1,500円（1,300円）、高校・大学生1,000円（800円）、小・中学生500円（400円）、  
未就学児無料

※（ ）は前売料金および20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額

入場者数：15,041名（1日平均417.8名）※4月1日～5月12日の人数

担当学芸員：國吉貴奈（沖縄美ら島財団）

#### 【開催形式】

主 催：沖縄美ら島財団／琉球新報社／宣伝

企 画：集英社／朝日新聞社

後 援：沖縄県／那覇市教育委員会／NHK沖縄放送局／沖縄テレビ放送／琉球放送／琉球朝日放送／沖縄  
ケーブルネットワーク／ラジオ沖縄／エフエム沖縄／那覇新都心通り会

#### 【開催趣旨】

『週刊ヤングジャンプ』に連載中の大人気漫画『キングダム』の圧倒的な迫力を体感できる展覧会を実施。第1話「無名の少年」から第438話「雄飛の刻」までのエピソードを取り上げ、感動の名場面を400点以上の直筆生原画と描き下ろしイラスト約20点、巨大グラフィックで再構成して見せた。

#### 【展示内容】

第1章 無名の少年

第2章 秦の怪鳥

第3章 馬陽防衛戦

第4章 王騎と龐煖

第5章 受け継ぐ者

第6章 大將軍を目指す者たち

第7章 山陽攻防戦

第8章 函谷関の戦い

第9章 大炎

第10章 葭の攻防

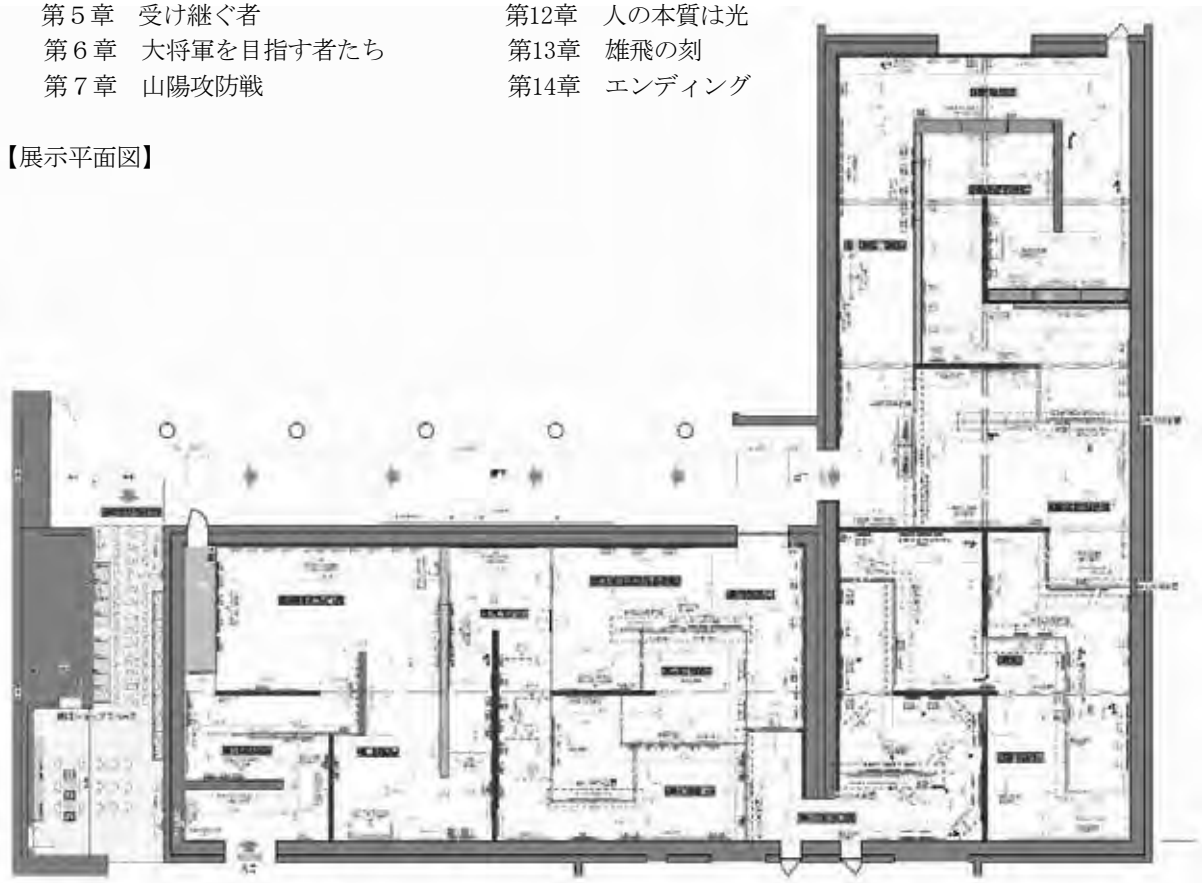
第11章 呂不韋の問い

第12章 人の本質は光

第13章 雄飛の刻

第14章 エンディング

#### 【展示平面図】



### 【関連催事】

#### ① キャラクターしおりプレゼント

期 間：2024年4月2日（火）～4月26日（金）の平日（火～金）、5月1日（水）、2日（木）、8日（水）、9日（木）、10日（金）

会 場：美術館企画ギャラリー入口

#### ② 山の民ナイト（お面のプレゼント）

日 時：2024年4月5日（金）、12日（金）、19日（金）、26日（金）、5月3日（金）、10日（金）

会 場：美術館企画ギャラリー入口

### (2) 自主企画 「アポロサイエンスプレゼンツ すべての虫ぎらいにお届けするアートと虫の美しい世界」

会 期：2024年4月2日（火）～5月6日（月）（開催日数31日間）

会 場：博物館特別展示室1

観 覧 料：一般 800円（640円）、高校・大学生 600円（480円）、小・中学生 300円（240円）、未就学児（3歳以上）100円（80円）、3歳未満無料

※（ ）は前売および20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額

入場者数：8,752名（1日平均282名）

担当学芸員：渡久地雅代（沖縄美ら島財団）

### 【開催形式】

主 催：沖縄美ら島財団／アポロサイエンス科学実験教室

協 力：琉球ガラス村

後 援：琉球放送／琉球新報／FMレキオ／エフエム那覇／NHK沖縄放送局／琉球朝日放送／沖縄テレビ／ラジオ沖縄

### 【開催趣旨】

アポロサイエンス科学実験教室の嶺井 聖太氏による昆虫とアートを融合させた美しい昆虫標本を約120点展示。虫が嫌いだと自覚する人たちが虫の美しい部分に着目できるよう工夫を凝らした展示となっており、種の多様性を受け入れる心のあり様を考えることを目的とした。

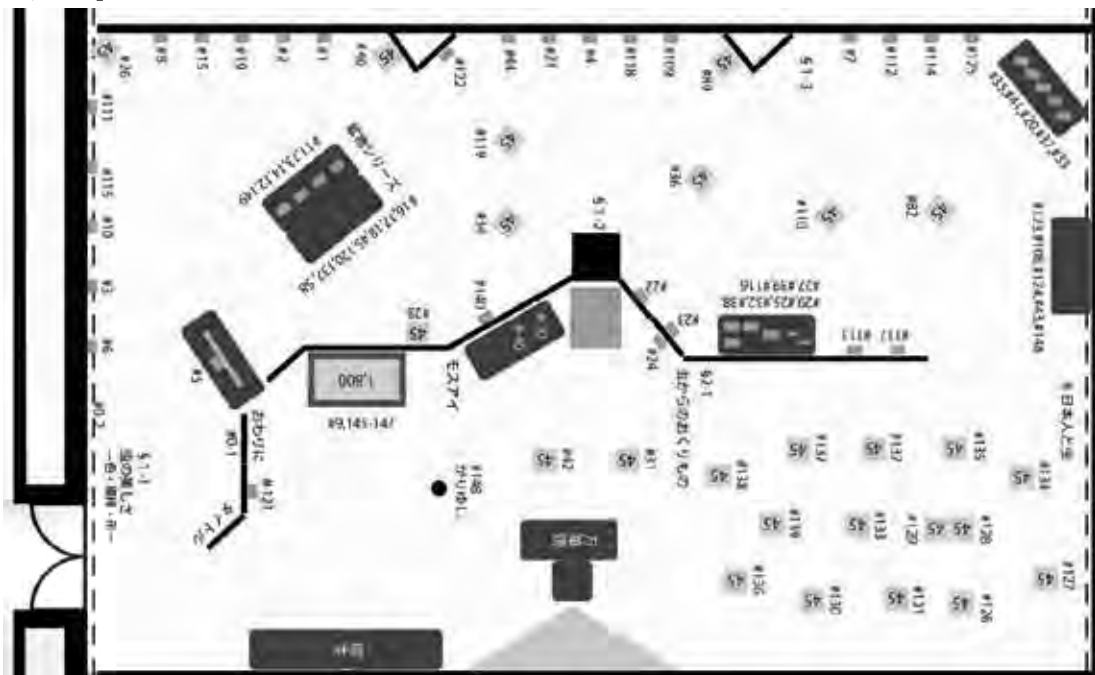
### 【展示内容】

第1章 虫の美しさ ー色・模様・形ー

インターミッション 「日本人と虫」

第2章 「虫からのおくりもの」

### 【展示平面図】



## 【関連催事】

### ① 開会式・内覧会

日 時：4月1日（月）14:00～15:00  
※開会式終了後 14:15～内覧会  
会 場：博物館特別展示室1入口  
参加者数：約16名

### ② 嶺井聖太氏による展示解説会

日 時：不定期開催  
会 場：博物館特別展示室1  
講 師：嶺井聖太（アポロサイエンス科学実験教室主宰）  
参加方法：随時受付

### ③ おきみゅーのゴールデンウィーク2024「ムシ・ムシワークショップ」

日 時：5月3日（金）～5月5日（日）  
10:00～12:00 / 14:00～16:00  
会 場：3階回廊  
参加方法：随時受付  
参加者数：のべ285名

### ④ おきみゅーのゴールデンウィーク2024

#### 「こども学芸員による展示解説会」

日 時：5月5日（日）10:30～11:15 / 14:00～14:45  
会 場：博物館特別展示室1  
参加方法：当日先着順 ※「アートと虫の美しい世界」当日有効の  
観覧券が必要。  
参加者数：66名（定員各回20名）



こども学芸員解説会の様子

## (3) 自主企画 「明和電機 ナンセンスマシン展 in 沖縄」

会 期：2024年7月13日（土）～9月16日（月）（開催日数57日）  
会 場：美術館企画ギャラリー1、2  
観 覧 料：一般1,300円（1,100円）、高校・大学生1,000円（900円）、小・中学生600円（500円）、  
未就学児（3歳以上）200円（150円）、3歳未満無料  
※（ ）は前売および20名以上の団体料金  
※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額  
入場者数：25,448名（1日平均446名）  
担当学芸員：渡久地雅代（沖縄美ら島財団）

## 【開催形式】

主 催：沖縄美ら島財団／琉球新報社  
協 賛：キューブ  
後 援：沖縄県教育委員会／那覇市教育委員会／浦添市教育委員会／沖縄テレビ放送／ラジオ沖縄／エフ  
エム沖縄／沖縄ケーブルネットワーク／那覇新都心通り会

## 【開催趣旨】

電気屋風アーティストユニット「明和電機」の展覧会。結成前から結成後30年間にわたる明和電機の作品をテーマごとに紹介し、爆発的ヒットを誇る「オタマトーン」をはじめ各製品の開発スケッチやプロトタイプを惜しみなく展示。ハンズオン展示、関連催事と合わせてアーティスト明和電機の「独創的な発想方法」「発想を形にするまで」に迫る展示となった。



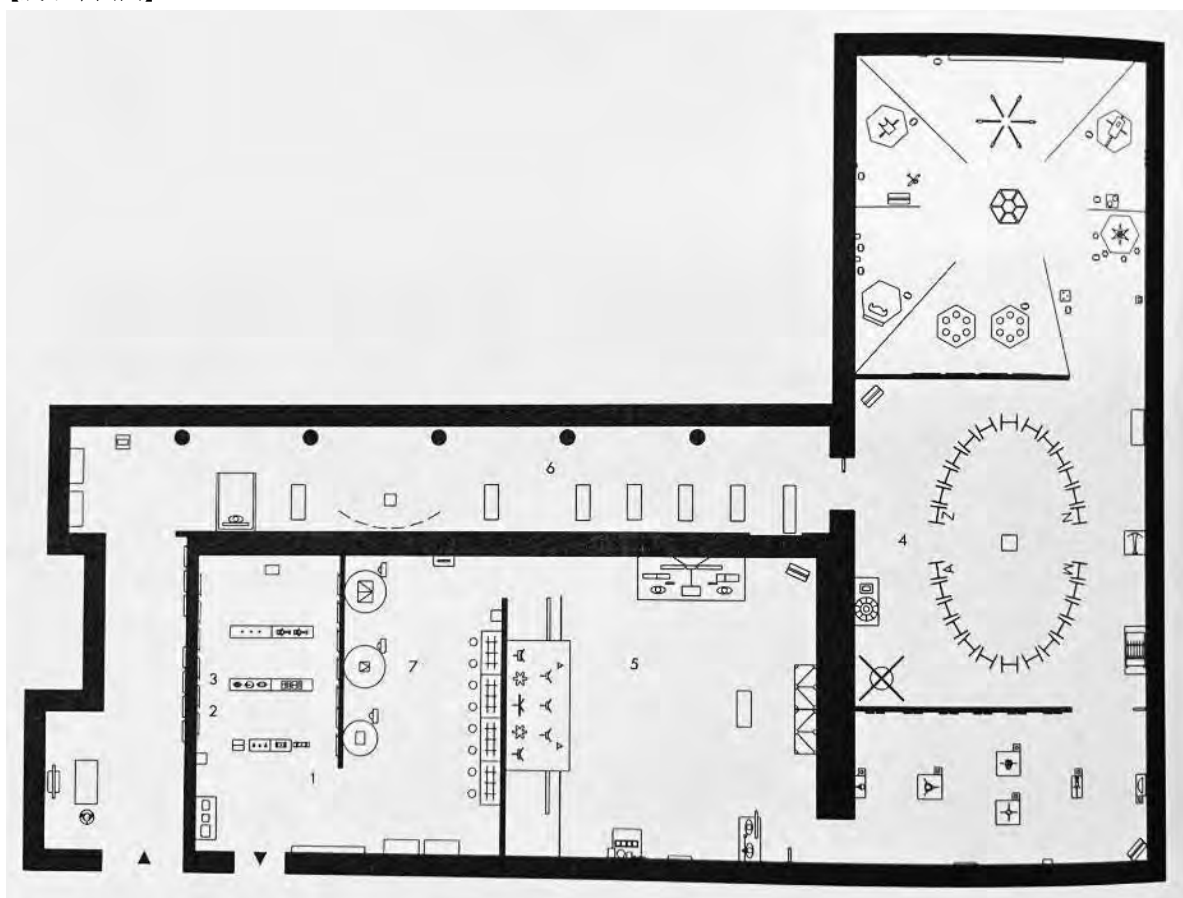
Naki 魚器（なき）シリーズ

## 【展示内容】

第1章 PAMM～明和電機ができるまで～  
第2章 Naki 魚器（なき）シリーズ  
第3章 EDELWEISSシリーズ

- 第4章 ボイスメカニクスシリーズ
- 第5章 Tsukubaシリーズ
- 第6章 CONTENAZON
- 第7章 TOYゾーン

【展示平面図】



【関連催事】

① プレイイベント「ナンセンス発想法ワークショップ」

日 時：7月5日（金）10:00～12:00

会 場：県内5学校とオンライン接続（安謝小学校、漢那小学校、座間味小学校、曙小学校、I.D.A）

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：約200名

② 開会式・内覧会

日 時：7月12日（金）14:00～15:00 ※開会式終了後 14:15～内覧会・製品説明会&ミニライブ

会 場：エントランスホール美術館側

参加者数：約95名

③ 製品説明会&ミニライブ

日 時：7月13日（土）10:30～11:30

7月14日（日）13:00～14:00／16:00～17:00

7月15日（月・祝）16:00～17:00

8月10日（土）10:30～11:30／16:00～17:00／18:30～19:30

8月11日（日）10:30～11:30／16:00～17:00

8月12日（月・祝）10:30～11:30／16:00～17:00

9月14日（土）10:30～11:30／16:00～17:00／18:30～19:30

9月15日（日）10:30～11:30／16:00～17:00

9月16日（月・祝）10:30～11:30／16:00～17:00

会 場：美術館企画ギャラリー1

参加者数：のべ4,180名

④ サイン会

日 時：7月13日（土）11:30～12:30／14:30～15:30  
7月14日（日）14:30～15:30／17:00～18:00  
7月15日（月・祝）11:30～12:30／14:30～15:30／17:00～18:00  
8月10日（土）11:30～12:30／14:30～15:30／19:30～20:00  
8月11日（日）10:30～11:30／17:00～18:00  
8月12日（月・祝）11:30～12:30／14:30～15:30／17:00～18:00  
9月14日（土）11:30～12:30／14:30～15:30／19:30～20:00  
9月15日（日）11:30～12:30／14:30～15:30／17:00～18:00  
9月16日（月・祝）11:30～12:30／14:30～15:30／17:00～18:00

会 場：エントランスホール

参加者数：のべ約3,600名

⑤ オタマトーンが弾けるワークショップ

日 時：a) 7月13日（土）、b) 8月10日（土）、c) 9月15日（日）13:00～14:00

会 場：a)、c) 博物館実習室、b) 美術館企画ギャラリー1

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：のべ60名（定員各回20名）

⑥ チワワ笛工作ワークショップ

日 時：7月14日（日）11:00～12:00

会 場：博物館講座室

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：60名（定員60名）

⑦ ゴムベース工作ワークショップ

日 時：a) 7月15日（月・祝）、b) 9月16日（月・祝）13:00～14:00

会 場：a) 美術館講座室 b) 博物館実習室

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：40名（定員各回20名）

⑧ セッションしよう！オタマトーン&沖縄SUSHI BEAT！

日 時：8月2日（金）、8月9日（金）18:00～18:30

会 場：美術館企画ギャラリー1

講 師：波平雄太（琉球新報社）

参加者数：のべ30名（定員なし）

⑨ ナンセンス発想法プロトタイプ展示&講評会

会 期：8月10日（土）～18日（日）

会 場：エントランスホール（一角）

講 評 会：8月11日（日）12:30～13:00

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：約80名

⑩ 明和電機×アートを身近に！プロジェクト「明和電機 超！経営塾」

会 期：8月11日（日）14:00～16:00

会 場：講堂

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：168名（定員200名）

⑪ チリリン工作ワークショップ

日 時：8月12日（月・祝）13:00～14:00

会 場：博物館実習室

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：20名（定員20名）

⑫ バウガン工作ワークショップ

日 時：8月16日（金）11:00～12:00

会 場：博物館講座室

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：20名（定員20名）

⑬ ナンセンス発想法

日 時：8月16日（金）13:00～14:00

会 場：博物館講座室

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

参加者数：50名（定員50名）

⑭ モリアゲボックスを作ろう！

日 時：9月10日（火）～13日（金）9:00～17:00

会 場：エントランスホール

参加者数：のべ104名

**（4）自主企画「Hello Kitty展 わたしが変わるとキティも変わる」**

会 期：2025年3月7日（金）～5月11日（日）（開催日数21日）※2025年3月31日時点は開催中

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

観 覧 料：一般1,800円（1,500円）、高校・大学生1,500円（1,200円）、小・中学生700円（550円）、  
未就学児（3歳以上）300円（250円）、3歳未満無料

※（ ）は前売料金および20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額

入場者数：19,475名（1日平均927名）※2025年3月末時点

担当学芸員：國吉貴奈（沖縄美ら島財団）

**【開催形式】**

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団／沖縄テレビ放送株式会社

企 画：ハローキティ展製作委員会

協 賛：フコク生命／brother／TOPPANクロレ

後 援：那覇市教育委員会／浦添市教育委員会／琉球新報社／沖縄タイムス社／NHK沖縄放送局／ラジオ  
沖縄／エフエム沖縄／那覇新都心通り会

**【開催趣旨】**

「キティは、いつも私たちのそばにいた」をコンセプトに、「キティとわたし」の50年をたどり、本展ではハローキティ展示史上最大量のグッズ展示をはじめ、個性あふれるアーティストとのコラボ作品やオリジナル映像コンテンツなど様々なコーナーでそのユニークさを紐解く内容とした。

**【展示内容】**

第1章 Hello! Memories

第2章 Hello! Style

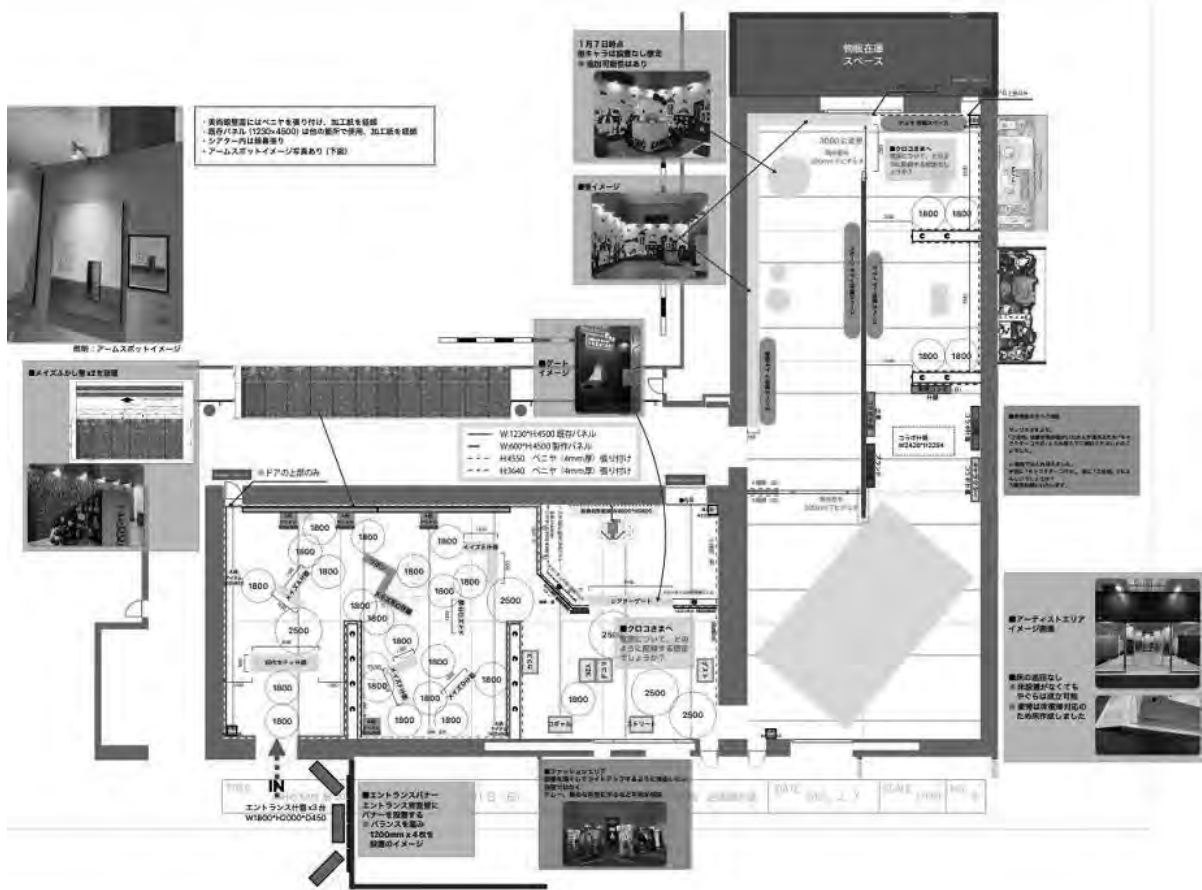
第3章 Hello! Evolution

第4章 Hello! Collaboration

第5章 Hello! Friends

第6章 フォトスポット

【展示平面図】



(5) 共催事業「タッチ・ザ・ダイナソー ～恐竜アドベンチャー展～」

会 期：2024年7月14日（日）～9月1日（日）（開催日数44日）  
 会 場：企画展示室、特別展示室1、2  
 観 覧 料：一般1,600円（1,500円）、高校・大学生1,200円（1,100円）、小・中学生900円（800円）、  
 未就学児（3歳以上）500円（400円）、3歳未満無料  
 ※（ ）は前売および20名以上の団体料金  
 ※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額  
 入場者数：59,710名（1日平均1,357名）

【開催形式】

主 催：琉球放送株式会社  
 共 催：一般財団法人沖縄美ら島財団  
 企画・制作：株式会社ドリームスタジオ  
 特別協賛：沖縄セルラー電話株式会社  
 協 賛：株式会社日商エステム／エールクリエイト株式会社／  
 三和金属株式会社／沖縄ホンダ株式会社／アサヒオ  
 リオン飲料株式会社／株式会社沖縄環境保全研究所  
 後 援：那覇市／那覇市教育委員会



【開催趣旨】

琉球放送創立70周年記念として開催された本展は、恐竜の化石や骨格の実物に触れることができたり、発掘体験できるコーナーが設置されたり、動いて吠える恐竜ロボットが展示されるなど、見て、触れて、遊んで、学べる内容であった。

## V 教育・イベント活動

子どもから大人まで幅広い世代の方が気軽に参加でき、楽しみながら学べるプログラムを企画立案し、実施した。一部のイベントは天候の影響により中止・変更した。

### 1 ワークショップ・イベント等

#### (1) ふれあい体験室ワークショップ

ふれあい体験室の体験キットの紹介や展覧会の充実および関心を高めることを目的として、年間4つのプログラムを提供。未就学児から大人まで楽しめるプログラムを実施した。

場 所：ふれあい体験室エントランスホール

講 師：藤田早苗、アリス・レジスター、金城絵舞、照屋りずむ（沖縄美ら島財団）

開催日数：50日（全95回）

参加者数：718名

#### ① 「ふれたい博士のでづくりおもちゃ」

体験キットNo.19「いろいろな玩具」に関連して、沖縄の昔ながらの草編み玩具を画用紙やソフトテープを使って制作した。

日 時：2024年4月～6月の毎週土曜日（全22回）

a)10:00～11:00 b)11:00～12:00

参加費：500円

参加者数：4月20日8名、27日14名

5月4日15名、11日11名、18日11名、25日11名

6月1日19名、8日17名、15日16名、22日11名、29日16名

合 計：149名（定員各日18名）



#### ② 「ふれたい博士の貝がらでコマあそび！」

体験キットNo.15「イノー ～海の食料庫～」に関連して、マガキガイの貝殻を使って昔のでづくりおもちゃ「カイガラゴマ」を制作した。

日 時：2024年7月～9月の毎週土曜日（全24回）

a)10:00～11:00 b)11:00～12:00

参加費：500円

参加者数：7月13日16名、20日18名、27日18名

8月3日20名、10日12名、17日16名、24日21名、

31日16名

9月7日18名、14日11名、21日8名

※8月3日、24日は英語のワークショップを実施

合 計：174名（定員各日18名）



#### ③ 「手織りプレスレットづくり」

体験キットNo.21「衣からわかること」に関連し、ダンボールでできた簡易織り機を使って「手織りプレスレット」を制作した。

日 時：2024年10月～12月の毎週土曜日（全27回）

a)10:00～11:00 b)11:00～12:00

参加費：500円

参加者数：10月5日17名、12日14名、19日6名、26日14名

11月2日23名、9日19名、16日11名、23日19名、30日27名

12月7日23名、14日11名、21日10名

※11月2日、30日、12月7日は英語のワークショップを実施

合 計：194名（定員各日18名）



#### ④ 「沖縄のおまもりサンストラップづくり」

博物館常設展の民俗部門に関連して、沖縄に昔から伝わるお守りや魔除けについて学びながら、“サン”と天然石のお守りを制作した。

日 時：2025年1月～3月の毎週土曜日（全22回）  
a) 10:00～11:00 b) 11:00～12:00

参加費：500円

参加者数：1月11日17名、18日13名、25日21名  
2月1日19名、8日12名、15日16名、22日21名  
3月1日21名、8日20名、15日21名、22日20名

合計：201名（定員各日18名）



#### (2) いつでも楽しめる子供向けプログラム「おきみゅー重ね押しスタンプラリー」

令和6年度から新たなプログラムとして「おきみゅー重ね押しスタンプラリー」を開発した。ポストカードにもなる台紙を2種類用意し、5種類のスタンプを重ねていくと絵ハガキが出来上がるスタンプラリーを館内の無料ゾーンにて実施した。

日 時：2024年4月1日（月）～2025年3月30日（日）

場 所：エントランスホール、正面玄関入口、サブエントランス、民家、湧田窯

参加費：無料

配布数：22,000枚

#### (3) 沖縄美ら島財団 総合研究所連携事業

##### ① 琉球菓子と琉球古典音楽を楽しむ

琉球王国時代に育まれた食文化と芸能のうち「琉球菓子」と「琉球古典音楽」を、鑑賞し味わいながら解説を聞くことができるイベントを実施した。

日 時：2024年11月23日（土） a) 15:00～15:40  
b) 16:40～17:20

場 所：博物館屋外展示場（民家）

講 師：琉球古典音楽

【歌三線】佐久本純（沖縄美ら島財団首里城公園）

三浦聖矢（沖縄美ら島財団首里城公園）

琉球菓子

【解説】久場まゆみ（沖縄美ら島財団総合研究所）

【菓子選定】平良智史（首里城公園）

参加費：1,500円

参加者数：40名 a) 20名 b) 20名（定員各回20名）



##### ② 大人のための植物講座4「自然史博物館の植物標本とはどうあるべきか」

自然史博物館の植物標本の整理の方法やコレクター・整理者の役割と責務について沖縄美ら島財団総合研究所の研究員が話した。

日 時：2024年12月1日（日）14:00～16:00

場 所：博物館講座室

講 師：米倉浩司（沖縄美ら島財団 総合研究所 植物研究室上席研究員）

参加費：500円

参加者数：14名（定員100名）



##### ③ サイエンストーク

今年度は、「科学の眼で見る美ら海の生き物展」（沖縄美ら島財団 総合研究所 動物研究室主催）に関連し、  
a) 科学の眼で深海生物の謎に迫る、 b) 画像診断技術をもちいた飼育生物の健康管理という内容で実施した。

日 時： a) 2024年4月7日(日)  
b) 2024年4月21日(日) いずれも14:00～15:00  
会 場：博物館実習室  
話 し 手： a) 宮本圭(沖縄美ら島財団 総合研究所 動物研究室)  
金子篤史(美ら海水族館 深海展示担当)  
b) 植田啓一(沖縄美ら島財団 附属動物病院 院長)  
参 加 費：500円  
参加者数： a) 15名 b) 7名(定員各回20名)



#### (4) 「万国津梁の鐘」プロジェクト

国指定重要文化財である「万国津梁の鐘(旧首里城正殿鐘)」を目玉展示の一つとして位置づけ、鐘の魅力を発信し博物館常設展の来場動機とするプロジェクトを実施した。

##### ① 「解体梵鐘」抜き刷り英訳パンフレット

令和5年度に制作した「解体梵鐘」の抜き刷り英訳パンフレットを今年度も配布。博物館常設展示室にて無料配布を行い、外国人観光客にも万国津梁の鐘の魅力を伝えた。

日 時：2024年4月1日(月)～2025年3月30日(日)  
場 所：博物館常設展示室  
配 布 数：3,000枚

##### ② 「万国津梁の鐘」ゆらゆらオーナメント

万国津梁の鐘と進貢船をモチーフにした、紙のオーナメント作りのワークショップを開催した。

日 時： a) 2024年11月3日(日)  
b) 2025年1月24日(金)～1月26日(日)  
c) 2025年2月1日(土)～2月2日(日)  
場 所： a) エントランスホール  
b) 多良間村コミュニティ施設 ふれあいフクギ館  
c) エントランスホール

参 加 費：無料  
参加者数：652名 a) 148名 b) 166名 c) 338名

##### ③ 「万国津梁の鐘」ぬり絵で銘文リレー

万国津梁の鐘に刻まれた銘文に親しみを感じてもらうため、リレー形式で一文字ずつ塗り絵をし、銘文を完成させていくワークショップを実施した。

日 時：2025年2月1日(土)～2月2日(日)  
場 所：エントランスホール  
参 加 費：無料  
参加者数：147名(随時参加)

##### ④ 解体梵鐘vol.13「意外と知らない万国津梁の鐘の歴史—正殿前から博物館行きになるまで」

当館元館長の安里進氏を講師に招き、「万国津梁の鐘」が王国時代どこに掛けられ、そしてどんな経緯で博物館へたどり着いたのかを、当時の絵図や研究資料を元に解説した。旧正月イベントの一環として実施。

日 時：2025年2月1日(土) 14:00～16:00  
場 所：博物館講座室  
講 師：安里進(琉球大学名誉教授)  
参 加 費：無料  
参加者数：76名(定員80名)

##### ⑤ 解体梵鐘vol.14「尚泰久王のウムイ～あの鐘を鳴らして～」

歴史探求家の賀数仁然氏を講師に招き、1458年の激動の琉球国と当時の国王尚泰久について、そして尚泰久の梵鐘づくりの背景について講演を行った。

日 時：2025年2月23日(日) 14:00～16:00  
場 所：美術館講座室  
講 師：賀数仁然(歴史探求家)  
参 加 費：無料

参加者数：54名（定員50名）

⑥ 解体梵鐘vol.6 「賀数仁然さんと首里城さんぽ」

歴史探求家の賀数仁然氏を講師に招き、首里城公園で万国津梁の鐘と関連する地を巡って解説をしていただく歴史散歩を実施した。

日 時：2025年3月2日（日）10:00～12:00

場 所：首里城公園内（有料区域含む）

講 師：賀数仁然（歴史探求家）

参加費：2,000円（保険料・入場料）

参加者数：20名（定員20名）



(5) 「アートを身近に！」プロジェクト

アートをより身近に感じ、美術館に親しみをもってもらうことを目的に、講座や展示、音声ガイドの提供を通して、誰でもアートを楽しめる仕組みや機会を提供した。

① 美術館コレクション展音声ガイド

来場者の満足度を高め、美術館への再訪を促す事を目的として、沖縄の歴史や美術の知識が無くても作品を楽しむ事が出来る音声ガイドを製作した。また地域連携や若年層の利用促進も意識し、沖縄県立那覇国際高等学校放送部にナレーションを依頼。更に海外の方にも沖縄の美術を楽しんでいただく目的で、英語のテキストと音声今年度で作成し、公開した。

期 間：2024年4月2日（火）～2025年3月30日（日）

② アートを身近に！プロジェクト×明和電機『超！経営塾』

普段美術館の利用が多いとは言えないビジネスパーソンをターゲットに、明和電機社長・土佐信道氏を講師に、アーティスト、経営者両方の側面から、働く人に必要なアート思考についての講座を実施した。

日 時：2024年8月11日（日）14:00～15:30

講 師：土佐信道（株式会社明和電機 代表取締役社長）

場 所：講堂

参加費：一般3,500円、学生2,000円（企画展チケット付き）

参加者数：168名（定員200名）



③ 美術館でyoga

展示室を利用したヨガイベントを実施した。美術館コレクション展のチケットをプラスし、美術館という特別感や癒やしを味わいながら、アートへの興味関心を刺激するイベントとなった。また昨年度のアンケートを元に、今年はヨガの後に星空の写真を投影しながら、天体解説を行った。

日 時：a) 2024年9月21日（土）14:00～15:30

b) 2024年9月22日（日）10:00～11:30

講 師：【ヨガ】新垣ロミ（ヨガインストラクター）

【天体解説】藤田早苗（沖縄美ら島財団）

場 所：美術館企画ギャラリー1

参加費：2,000円（美術館コレクション展チケット付き）

参加者数：a) 6名 b) 23名（各回定員20名）



④ おきみゅーものづくり部 「クリスマス群星オーナメント」

手軽に購入できる材料を中心に制作方法にこだわらず、簡単でありながら誰かに見せたい作品（星の刺繍のクリスマスオーナメント）を制作した。

日 時：2024年11月23日（土）14:00～15:30

講 師：保久村智恵（沖縄美ら島財団）

場 所：県民アトリエ、こどもアトリエ

参加費：2,000円（材料、美術館コレクション展チケット付き）

参加者数：5名（定員12名）



⑤ アートことはじめ にじみを楽しむ「たらし込み」を体験しよう！

アートをより楽しく身近に感じられる情報や知識を提供し、県民が美術作品や美術館に興味を持つきっかけをつくる目的で、当財団企画班の学芸員がそれぞれの得意分野を活かし、若年層やアートビギナーにも分かりやすい講座を実施。今年度は、日本絵画の中でも人気のある琳派の作品を題材に、鑑賞と講義、そして制作を体験する講座を実施した。

日 時：2025年3月22日（土）14:00～15:30  
講 師：金城美奈子（沖縄美ら島財団）、保久村智恵（沖縄美ら島財団）  
場 所：博物館実習室  
参 加 費：1,500円（材料、美術館コレクション展チケット付き）  
参加者数：18名（定員20名）

**(6) おきげい出前コンサート 琉球舞踊鑑賞会**

県立芸術大学音楽部琉球芸能専攻学生へ活動の場を提供すると同時に、琉球古典芸能の奥深さを伝え、さらには当館への集客につなげるイベントとしてエントランスホールを活用した無料の琉球舞踊公演会を開催した。今年度は「芭蕉布展」の関連催事として位置付け、芭蕉布の衣装を着て上演。展覧会との相乗効果を狙った。

日 時：2024年11月30日（日） a)15:30～16:00  
b)16:30～17:00  
場 所：エントランスホール  
出 演：沖縄県立芸術大学音楽部音楽学科琉球芸能専攻・学生6名  
嘉数道彦（准教授）  
参 加 費：無料  
参加者数：210名 a)110名 b)100名  
（定員各回30席。立ち見は自由）



## VI 広報事業に関する業務

令和6年度の広報・集客施策では、県民向けに博物館常設展の誘客コンテンツ漫画を発行し、那覇・浦添の小学生に配布した。国内外観光客向けでは、入域観光客数の増加を想定し日本語パンフレットや海外用パンフレットを増刷し、観光施設などに設置した。また海外観光客向け施策として、WEBページに自動翻訳機能を導入し、WEBサイト内の海外利用者の利便性の向上を図った。8月には沖縄通訳案内士会(OIGA) 会員向けの勉強会を開催し、特に海外観光客誘致につなげる取り組みを強化した。その他、10月、12月、1月はクルーズ船の市内巡回バスの実証実験が行われ、当館がその停留所となった結果、入館者数は同時期昨年比130%、観覧者数は博物館常設展162%、美術館コレクション展197%と増加した。

県主催の展覧会については、県内の小学校や博物館、美術館、図書館、公民館、銀行、病院などにチラシやポスターを発送、SNSでの告知、その他新たな取り組みとして既存の屋外掲示板に大型ポスターの掲示を行い、館周辺の告知強化を行った。その結果「新収蔵品展」（5/21～6/23 観覧者：4,241名）、「芭蕉布展」（10/1～12/1 観覧者：9,645名）、「『〇でも×でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～」（11/1～1/13 観覧者：6,093名）、「琉球列島 地質・化石展ーいのちのキ・セ・キ」（12/20～2/24 観覧者：13,000名）と、「新収蔵品展」を除いていずれも目標を上回る結果となった。指定管理者の自主企画展では「キングダム展-信-」（3/22～5/12 4月以降の観覧者：15,041名、累計：19,624名）「アートと虫の美しい世界（4/2～5/6 観覧者：8,752名）」「明和電機 ナンセンスマシーン展（7/13～9/16 観覧者：25,448名）」、「Hello kitty展ーわたしが変わるとキティも変わるー」（3/7～5/11 3月末までの観覧者：19,475名）を開催し、新聞広告やテレビCM、SNSなどを中心に広報した。

**(1) 新聞紙面（無料）・新聞広告（有料） 掲載198回**

沖縄タイムス「インフォ」、副読紙「週刊ほーむぷらざ」、琉球新報副読紙「週刊レキオ」の無料告知枠（パブリシティ）へ展覧会情報やイベント情報を提供し紙面での告知を図った。

**(2) テレビ 放送31回 ※放送回数取材のみカウント**

展覧会や関連催事情報のNRを配信し、ニュース番組や情報番組等で紹介してもらえるように努めた。

**(3) ラジオ 放送18回**

展覧会や関連催事情報のNRを配信し、ラジオ番組内で紹介された。

#### (4) 雑誌、情報誌 掲載89回

雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努めた。

#### (5) WEBサイト 掲載272回

様々なイベント情報サイトなどで広報展開した。

#### (6) おきみゅーのGW 2024 (2024年5月3日～5月5日)

クルーズ船の寄港や、3つの企画展が開催中だったということもあり、総入館者数は前年度比134.1%の7,959名、イベント参加者数は726名と多くの来館者で賑わった。

#### (7) おきみゅー誕生祭 (2024年11月3日)

「琉球列島 地質・化石展—いのちのキ・セ・キ」のプレイベントを開催したほか、「『〇でも×でもないもの!』～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～」展の関連イベントとして、FECオフィス所属のお笑い芸人をゲストにギャラリートーク、食イベント、音楽・お笑いライブなどを実施。今年度から博物館常設展、美術館コレクション展は入場有料となったため、総入館者数は3,881名（昨年度比61%）と昨年より減少したが、当日は多くの家族連れで賑わった。

#### (8) 旧正月はおきみゅーに行こう! 2025 (2025年1月29日・2月1日・2日)

1月29日に開催したプレイベント「小禄高校書道部 書き初めパフォーマンス」を皮切りに、安里進氏による万国津梁の鐘にまつわる講座やブクブク茶、琉球芸能公演等のイベントを実施し、総入館者数は4,000名（昨年度比112%）、イベント参加者数は852名と、県民や観光客で賑わった。

#### (9) プロムナードコンサート (9回開催 総観客数1,075名/平均119名)

当館に人々が集い親しまれる施設となることを目的に、来館者がエントランスで気軽に音楽を楽しむことができるコンサートを開催した。昨年度から本格始動した公募制による出演者選定を、本年度も引き続き実施し、様々なジャンルの楽曲や楽器演奏が行われた。

## VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動

### 1 調査・研究等

#### 國吉 貴奈 (企画班班長/学芸員)

##### ○調査・研究

- ・「Hello Kitty展 わたしが変わるとキティも変わる」：視察（東京都/東京国立博物館）（2024年11月14日）
- ・「あそびばとーはく」：視察（東京都/東京国立博物館）（2024年11月14日）

##### ○講演・発表等

- ・「展評 山川さやか展 - ibuki-」『沖縄タイムス』（2024年5月30日）

#### 渡久地 雅代 (学芸業務担当/学芸員)

##### ○調査・研究

- ・「ブラック・ジャック展」：視察（愛知県/中日ホール）（2024年8月20日）
- ・特別展「毒」：視察（愛知県/名古屋市科学館）（2024年8月20日）
- ・特別展「旅するタネ展」：視察（熊本県/熊本博物館）（2024年8月21日）
- ・おきなわブランド戦略トークイベント「世界が憧れる沖縄へ ポテンシャルを価値に」（沖縄県/ノボテル沖縄）（2025年3月6日）

#### 金城 正仁 (広報営業担当)

##### ○調査・研究

- ・「ブラック・ジャック展」：視察（愛知県/中日ホール）（2024年8月20日）
- ・特別展「毒」：視察（愛知県/名古屋市科学館）（2024年8月20日）
- ・「Hello Kitty展 わたしが変わるとキティも変わる」：視察（東京都/東京国立博物館）（2024年11月14日）

## 上地 彩夏（広報営業担当）

### ○調査・研究

- ・「Hello Kitty展 わたしが変わるとキティも変わる」：視察（東京都／東京国立博物館）（2024年11月14日）

## 2 職員研修

- ・情報セキュリティー研修（2024年4月～5月、21名参加）
- ・令和6年度 沖縄県博物館協会春の研修会（2024年5月30日、4名参加）
- ・日本博物館教育研究所（JILIM）主催 第9回JILIM PUB 地域密着型科学館の挑戦：板橋区立教育科学館の講演（2024年10月29日、2名参加）
- ・対話型鑑賞、ともの会presentsーミュージアムと対話、その「根っこ」をさぐる（2024年7月21日、1名参加）
- ・NPO birthWEB研修会、意見交換会（2024年9月6日、8日、3名参加）
- ・公益財団法人文化財虫菌害研究所主催「第13回文化財IPMコーディネータ資格取得のための講習会」（2024年12月12日・13日、1名参加）
- ・令和6年度 心のバリアフリー推進事業 障害理解促進講座オンライン（2025年1月15日、1名参加）
- ・シンポジウム「インクルーシブな博物館への取組みを考える～千葉盲学校と中央博物館の事例から～」（2025年1月19日、1名参加）
- ・文化財IPMコーディネータ資格登録（2025年1月24日、1名参加）
- ・令和6年度 心のバリアフリー推進事業 障害理解促進講座（2025年1月29日、4名参加）
- ・沖縄県主催「おきなわブランド戦略セミナー 第2回」（2025年1月30日、2名参加・2月7日、3名参加）
- ・令和6年度 沖縄県博物館協会秋の研修会（2025年2月6日、3名参加）
- ・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー主催「迷わないSNS運用！収益力を高める効果的な計画づくり」（2025年2月26日・3月5日・3月12日、2名参加）

# 全館共通事業

- I 学芸員実習
- II 国際博物館の日
- III 移動展
- IV 燻蒸・消毒処理
- V 全体研修
- VI 刊行物
- VII 展覧会一覧

# I 学芸員実習

## 1 博物館実習

当館では、1969年（昭和44）に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学ごとに個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年2回（6月、8月）に実施している。

しかし、2020～2022年度の3年間は新型コロナウイルス感染症防止のため、学芸員実習の実施方法を大幅に縮小せざる得なくなり、実習期間、実習生数ともに縮小し実施した。

2023年度以降は平常通り年2回実施している。2024年度は前期（6月4日～6月17日）、後期（8月13日～8月26日）に実施した。実習カリキュラムと実習生各自の課題研究のテーマは以下のとおりである。

### (1) 博物館学芸員実習カリキュラム

		実習内容（午前）	実習内容（午後）
1日目	火	開講式（博講座室）オリエンテーション	IPM研修 教育普及実習 常設展示見学
2日目	水	課題研究（班分け・役割分担）バックヤード見学	資料取扱実習①②（考古・民俗）
3日目	木	資料取扱実習③④（地学・歴史）	資料取扱実習⑤⑥（美術工芸）
4日目	金	資料取扱実習⑦⑧（人類・生物）	課題研究（資料調査、展示企画書作成）
5日目	月	課題研究（展示企画書提出）	課題研究（テーマ決定）展示ケース移動
6日目	火	課題研究（展示作業）	課題研究（展示作業）
7日目	水	課題研究（展示作業）	課題研究（展示作業）
8日目	木	課題研究（展示作業）	課題研究（展示作業）
9日目	金	課題研究（開会式／展示解説準備等）	課題研究（ミニ展示開会式／展示解説）
10日目	月	課題研究（展示撤収等・発表準備）	全体清掃、実習まとめ（発表）、閉講式

### (2) 実習生

前期 7名

	氏名	大学名	課題研究テーマ（◎は選出された代表テーマ）	指導
1	仲村 実優	琉球大学	旧石器時代の食べ物展～意外とグルメだった琉球の旧石器時代人たち～	澤浦
2	上戸 桃華		◎今は昔の料理てん～どきどき食のタイムスリップ～	澤浦
3	福島 周		みて・ふれて・きいて→考える	菊川
4	山川 葉		推し人類を見つけよう	澤浦
5	長谷川 竜也		標本	菊川
6	伊佐 慈竜	沖縄国際大学	◎見えない命	菊川
7	山城 陽太郎	広島大学	沖縄のたばこーたばこ産業の昔と今ー	大湾

後期 15名

	氏名	大学名	課題研究テーマ（◎は選出された代表テーマ）	指導
1	宮城 晴香	琉球大学	器から見る沖縄の食文化	伊禮
2	与儀 笑佳		ねえ知ってる？カタツムリーカタツムリはナニモノなのかー	菊川
3	植野 愛悠	沖縄県立芸術大学	大人の自由研究～海を渡る蝶を追って～	菊川
4	金城 佑佳		獅子舞	大湾
5	文澤 華那		沖縄の小さな宝箱～ミニミニ展示だけの世界	宇佐美
6	山田 鈴華	沖縄国際大学	イルカとクジラ ヒトとの共鳴	菊川
7	玉那覇 紗生		進化のなごり展	菊川
8	曾我 知史		最高サイエンス、今日からあなたも縄文人	澤浦

	氏名	大学名	課題研究テーマ (◎は選出された代表テーマ)	指導
9	高木 健人	沖縄国際大学	—	宇佐美
10	渡久地 七菜子		蝶々展	宇佐美
11	富名腰 朝哉		貝の一生～南島の宝～	菊川
12	松藤 和基		南の島からさらに南へ 東南アジアと琉球・沖縄展	菊川
13	譜久村 有珠		箱の中身はなに？	山本
14	宮里 政弥	鹿児島大学	Okinawa rock n roll!～オキナワロックのルーツをたどる～	大湾
15	大城 響	愛媛大学	◎化石を知ろう！	新山

(宇佐美 賢)

## 2 美術館実習

美術館では、開館3年目の2009年から学芸員実習の受け入れを行っている。受け入れに当たっては、例年、学芸員資格養成課程を有する県内の大学を優先し、人員枠にゆとりがある場合、県外大学に在籍する県出身の学生を優先的に受け入れ、定員は10名以内としている。時期は8月中旬から2週間で、美術館学芸員全員でそれぞれの専門分野の講義を行っている。今年度は、沖縄県立芸術大学10名、武蔵野美術大学1名、合計11名の学生を受け入れ、予定通り2週間実施することができた。

【美術館学芸員実習カリキュラム】 ●実施期間：2024年（令和6）8月19日（月）～8月30日（金）

		実習内容（午前）	実習内容（午後）
8月19日	月	開講式、オリエンテーション、学校支援プログラム等	アートカード・対話による鑑賞の実践、その他
20日	火	資料収集の概要、展示の実践	資料調査実習（平面資料）、資料の分類情報処理
21日	水	IPM講習、保存管理の概要	修復の実際、修復の実習
22日	木	展示公開の概要、展示公開の実際	資料調査実習（写真＋二次資料）
23日	金	共同研究（ミュージアムグッズの開発）	共同研究（ミュージアムグッズの開発）
24日	月	美術館額絵委員の調査・研究、調査研究の実際	解説パネル作成
25日	火	共同研究（ミュージアムグッズの開発）	共同研究（ミュージアムグッズの開発）
26日	水	共同研究（ミュージアムグッズの開発）	共同研究（ミュージアムグッズの開発）
27日	木	共同研究（ミュージアムグッズの開発）	共同研究（ミュージアムグッズの開発）
28日	金	共通課題研究の発表、閉講式	実習のまとめ→実習記録簿等の提出



教育普及講座



調査研究講座



資料収集講座



保存修復講座

(玉城 早苗)

### 3 職場体験

指定管理者が窓口となって、県内の中学校・高等学校などを対象に職場体験の受け入れを行っている。業務内容としては、資料整理など学芸員業務のサポート。また、もぎりや情報センター、ミュージアムショップでの接客など、来館者の対応にも挑戦する。さらに、当館が取り組んでいるIPM（総合的有害生物管理）について、文化財IPMコーディネーターの資格を有した職員が講義を行い、文化財保護の重要性を学ぶ機会を提供している。今年度は、高等学校2校7名、特別支援1校1名、中学校2校6名を受け入れ、それぞれ2～3日の職場体験を行った。

(保久村 智恵)

#### (1) 博物館体験内容

令和6年度は、中学校2校7名、高等学校2校の7名を受け入れた。中学校、高等学校の生徒たちは、もぎりやミュージアムショップでの接客業務や情報センターでの資料整理他などを体験した。

体験内容：もぎり（入場券の確認）、ふれあい体験室（ワークショップの準備）、ミュージアムショップ（接客、商品の管理）、情報センター（新聞の切り抜き作業・その他資料整理）、博物館・美術館班（バックヤードおよび学芸業務の見学）

受入校：4校14名（中学校2校 高等学校2校）

- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| ①沖縄県立沖縄水産高等学校3学年（4名） | 6月25日（火）  |
| ②沖縄県立沖縄工業高等学校2学年（3名） | 9月11日（水）  |
| ③那覇市立那覇中学校1学年（4名）    | 12月13日（金） |
| ④那覇市立鏡原中学校1学年（3名）    | 12月18日（水） |

(平川 信幸)

#### (2) 美術館体験内容

今年度、美術館では、中学校2校（7名）、高等学校1校（3名）の生徒を受け入れた。生徒の皆さんは、美術館の職員から事業内容や美術館の果たす役割、沖縄の美術やニシムイについて説明を受けた後、バックヤードを見学し、当館の学芸員がどのように仕事を進めているか等を学ぶことができた。

また、アートカードを使って様々な意見を交わしたり、対話をしながらコレクション展示室を巡るなど、美術作品の見方などを学ぶことができた。そして、最後に、新聞に掲載された美術関係の記事を切り抜き、整理するという大切な仕事を体験することができた。

- |               |         |           |             |
|---------------|---------|-----------|-------------|
| ①沖縄県立沖縄工業高等学校 | 2年生（3名） | 9月12日（木）  | 9：00～12：00  |
| ②那覇中学校        | 1年生（4名） | 12月12日（木） | 13：00～15：00 |
| ③鏡原中学校        | 1年生（3名） | 12月18日（水） | 9：00～12：00  |

(玉城 早苗)

## II 国際博物館の日

名称：「国際博物館の日 2024」

会期：2024年（令和6）5月14日（火）～6月2日（日）（18日間）

会場：パネル展／エントランスホールおよびパネル掲載情報の当館HP上での公開

#### 【開催趣旨】

毎年5月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ICOM：アイコム）によって「国際博物館の日」と定められています。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館・美術館活動を広く周知し、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行うものです。



#### 【実施内容】

博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるために、エントランスホールにてパネル展を開催するとともに関連イベントを実施した。また5月18日に無料入館日を設定し、常設展示を広く一般に開放した。

○パネル展 2024年5月14日（火）～6月2日（日）

ICOM・「国際博物館の日」の説明、（一財）沖縄美ら島財団紹介、指定管理者自主企画催事の紹介、博物館の調査研究・教育普及・展覧会の紹介（戦後沖縄の博物館／「南島文化の総合研究1954 70周年」／琉球王国文化遺産集積再興事業の概要紹介）、美術館の活動紹介・展覧会の紹介

○無料入館日 2024年5月18日（土）

※博物館常設展示室・美術館コレクション展のみ無料、企画展・特別展は有料

（山崎 真治）

### Ⅲ 移動展

名 称：第15回 沖縄県立博物館・美術館 移動展 in 多良間  
 会 期：2025年（令和7）1月24日（金）～1月26日（日）  
 開催時間：9:00～17:00（金曜日は11:00から）  
 開催地：多良間村（多良間村コミュニティ施設 ふれあいフクギ館 1F）  
 対 象：一般  
 観 覧 料：無料

#### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館、（一財）沖縄美ら島財団  
 共 催：多良間村教育委員会

#### 【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで収集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収蔵資料の展示を見ていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的として実施する。

#### （1）移動展の実施状況

展示内容・参加人数・関連催事（■博物館関連／□美術館関連）

内容	期 日	内 訳			
展示内容	博物館展示	■「沖縄の自然、歴史、文化」沖縄の地学・生物・人類・歴史・民俗・考古・美術工芸に関する総合展示 ■多良間村に関連する資料			
	美術館展示	□複製画「八重山風景（大嶺政寛）」「NOW・・・（川平恵造）」の展示 □「展覧会展示パネル」……………これまでの展覧会概要パネルの展示			
来場人数		1月24日（金）	1月25日（土）	1月26日（日）	計
	70歳以上	2	6	15	23
	一 般	64	57	62	183
	高 大	0	0	0	0
	小 中	74	44	40	158
	未就学児	17	14	8	39
	計	157	121	125	403
関連催事	1月23日（木）	■出前授業 場 所：多良間村立多良間小学校 対 象：1・2・3学年 民俗分野（学芸員 大城 沙織） 4・5学年 生物分野（主任学芸員 菊川 章） 6学年 歴史分野（館長 里井 洋一）			

内容	期 日	内 訳
関連 催事	1月24日(金)	<b>■星空観察会</b> 日 時：1月24日(金) 17:30～ 場 所：多良間村コミュニティ施設屋上 講 師：博物館班長 宇佐美賢、美ら島財団 藤田早苗 参加者：60名(24組) (自由参加)
	1月25日(土)	<b>■フィールドツアー(多良間島の地質や化石の観察)</b> 日 時：1月25日(土) 10:00～ 集 合：多良間村コミュニティ施設前 講 師：博物館班 学芸員 新山颯大(地質担当) 参加者：21名(申込制)
	1月24日(金) ～ 1月26日(日)	<b>■「万国津梁の鐘 ゆらゆらオーナメントづくり」</b> 日 程：1月24日(金)～1月26日(日) 会 場：多良間村コミュニティ施設 ふれあいフクギ館 講 師：藤田早苗 参 加：166名(合計人数) 参加費：無料

【展示品リストー博物館班ー】

[地 学]

No.	名 称	数	種別	No.	名 称	数	種別
1	プロバクトロサウルス	1	資料	13	三葉虫	1	資料
2	プロトケラトプス	1	資料	14	カルニオディスクス	1	資料
3	ケナガマンモス(頭骨)	1	資料	15	ナミネア	1	資料
4	イクチオサウルス	1	資料	16	マウソナイト	1	資料
5	アロサウルス歯レプリカ	1	資料	17	シダ種子植物	1	資料
6	ティラノサウルス歯レプリカ	1	資料	18	ストロマトライト	1	資料
7	ヴェロキラプトル爪レプリカ	1	資料	19	縞状鉄鋼	1	資料
8	マンモス臼歯	1	資料	20	琉球層群石灰岩(多良間島産)	1	資料
9	ギベオン隕石	1	資料	21	石灰質砂岩(多良間島産)	1	資料
10	コンブソグナトウス	1	資料	22	琉球層群石灰岩(多良間島産)	1	資料
11	シーラカンス	1	資料	23	多良間島の地形模型	1	資料
12	グロッソプテリス	1	資料				

[生 物]

No.	名 称	数	種別	No.	名 称	数	種別
1	チンパンジー	1	資料	12	オパビニア	1	資料
2	新人頭骨レプリカ	1	資料	13	大型昆虫 ナナフシ・ハチ	1	資料
3	オオコウモリ(親子)	1	資料	14	シャジクモ樹脂封入標本	1	資料
4	アルマジロの仲間	1	資料	15	進化展パネル(段ボール箱)	1	資料
5	ワタセジネズミ	1	資料	16	多良間のカタツムリ リアルフィギュア	1	資料
6	ジャコウネズミ	1	資料	17	ミフウズラ	1	資料
7	ヤンバルクイナ	1	資料	18	ツバメチドリ	1	資料
8	ハブ	1	資料	19	ツミ	1	資料
9	メソサウルス	1	資料	20	アカショウビン	1	資料
10	ヤツメウナギの一種(スナヤツメ)	1	資料	21	サシバ	1	資料
11	ピカイア	1	資料	22	サンコウチョウ	1	資料

No.	名 称	数	種別	No.	名 称	数	種別
23	ズアカアオバト	1	資料	24	新人頭骨レプリカ	1	資料

〔人 類〕

No.	名 称	数	種別	No.	名 称	数	種別
1	港川人復元模型	1	模型	8	ホモ・エレクトス（北京原人）頭骨模型	1	模型
2	港川人1号頭骨複製	1	複製				
3	アジア人頭骨模型	1	模型	9	ネアンデルタール人頭骨模型	1	模型
4	チンパンジー雄頭骨模型	1	模型	10	ホモサピエンスの拡散	1	パネル
5	サヘラントロプス・チャデンシス頭骨模型	1	模型	11	沖縄県内の出土人骨	1	資料
				12	大山盛保氏と港川人の発見	1	パネル
6	バラントロプス・ボイセイ頭骨模型	1	模型	13	琉球列島更新世の動物	1	パネル
7	アウストラロピテクス・アフリカヌス頭骨模型	1	模型				

〔考 古〕

No.	名 称	数	種別	No.	名 称	数	種別
1	首里城正殿遺構ジオラマ模型	1	模型	14	カヤウチバンタ式土器大山貝塚出土		資料
2	首里城出土高麗系軒平瓦	2	資料	15	大山式土器 大山貝塚出土	1	資料
3	首里城出土高麗系軒丸瓦	2	資料	16	石斧 残波岬付近採集	1	資料
4	首里城出土明朝系軒平瓦	2	資料	17	石斧 勝連グスク付近採集	1	資料
5	首里城出土明朝系軒丸瓦	1	資料	18	石斧 宮城島採集	1	資料
6	中国産青磁碗 ベニシ貝塚出土	2	資料	19	石斧模型	1	資料
7	中国産青磁碗 勝連城跡出土	1	資料	20	貝輪 清水貝塚	4	資料
8	中国産青磁皿 勝連城出土	1	資料	21	貝錘 津堅貝塚	5	資料
9	中国産青花碗	2	資料	22	貝斧レプリカ 浦底遺跡出土	10	資料
10	中国産青花皿	1	資料	23	カムイヤキ	1	資料
11	中国産白磁皿	2	資料	24	グスク土器	1	資料
12	無文土器 ヤジャーガマ遺跡出土	1	資料	25	中国銅銭	50	資料
13	荻堂式土器 嘉手納貝塚出土	1	資料	26	銭差	1	資料

〔歴 史〕

No.	名 称	数	種別	No.	名 称	数	種別
1	琉球王国の成立と海外貿易	1	パネル	12	山陽姓家譜	1	資料
2	首里城正殿〈鎌倉芳太郎氏撮影〉	1	パネル	13	宮古島下地大屋子の朱印状	1	資料
3	首里城北殿〈鎌倉芳太郎氏撮影〉	1	パネル	14	沖縄県立宮古中学校アルバム	1	資料
4	首里城南殿・番所〈鎌倉芳太郎氏撮影〉	1	パネル	15	本山桂川『琉球』上・下	1	資料
5	首里城開園	1	パネル	16	B円軍票	3	資料
6	尚円王御後絵〈鎌倉芳太郎氏撮影〉	1	パネル	17	差額補償付き1ドル紙幣	3	資料
7	王統系図	1	パネル	18	琉球切手初日カバー・切手	14	資料
8	海外交易図（15～16世紀）	1	パネル	19	1971年沖縄旅行関連資料	10	資料
9	旧首里城正殿鐘（万国津梁の鐘）（複製）	1	複製	20	復帰記念メダル	1	資料
10	廉姓家譜	1	資料	21	本山桂川写真スライドショー	1	映像
11	葛姓家譜	1	資料				

[美術工芸]

No.	名 称	数	種別	No.	名 称	数	種別
1	黒漆双龍螺鈿盆	1	資料	11	製作工程パネル	2	パネル
2	沖縄の漆器 (ミニパネル・A3)	1	パネル	12	琉球王国文化遺産集積再興事業についてパネル	2	パネル
3	螺鈿づくり用キット	3	資料				
4	金城次郎 線彫魚文抱瓶	1	資料	13	玉陵石彫獅子 (レプリカ)	2	複製
5	金城次郎 指描角瓶	1	資料	14	玉陵 (写真パネル)	2	パネル
6	金城次郎 線彫花文蓋物	1	資料	15	沖縄の彫刻 (ミニパネル・A3)	1	パネル
7	やきものについて (パネル)	1	パネル	16	木綿白地飛鳥に琉水蛇籠葵菖蒲文様衣裳 (複製)	1	複製
8	緑釉四方燭台	1	資料				
9	赤絵枝梅竹文碗	1	資料	17	紅型について (ミニパネル・A3)	1	パネル
10	赤絵枝梅竹文碗をつくるための道具	9	資料	18	紅型の道具キット	1	複製

[民 俗]

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	ウーバーラ	1	資料	11	ウッチリクブサー (張り子)	3	資料
2	芭蕉布	1	資料	12	琉球手毬	1	資料
3	芭蕉布ワンピース	1	資料	13	琉球手毬	1	資料
4	フクター	1	資料	14	ニシチー	1	資料
5	プーイリマグ	1	資料	15	八角凧 (八重山凧)	1	資料
6	苧麻	1	資料	16	ホートゥグワー (張り子)	1	資料
7	風弾	1	資料	17	ホートゥグワー (張り子型)	1	資料
8	マッター	1	資料	18	クムヤグワァー (張り子)	1	資料
9	チンチン馬グワー (張り子)	1	資料	19	獅子舞衣装一式	1	資料
10	虎グワー (張り子)	1	資料	20	民話の動画コンテンツ	1	資料

【展示平面図】

移動展IN多良間村 会場レイアウト

会場：多良間村コミュニティ施設 ふれあいフタギ館  
会期：令和7年1月24日(金)～1月26日(日)



(菊川 章・平川 信幸)

## IV 燻蒸・消毒処理

2024年度は、2007年度から実施している総合的有害生物管理（IPM）の運用を継続して行い、収蔵資料の適正な保存管理に努めた。主な活動は、年1回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理や、簡易燻蒸・消毒処理、IPMモニタリング等のほか、毎月1回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行った。

### (1) 2024年度 全館燻蒸・消毒処理

○全館燻蒸・消毒

期 間：2024年7月2日（火）～7月10日（木）9日間

使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブンガノン）

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

### (2) 簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置（博物館3か所、美術館2か所、県民ギャラリー搬入口1か所）を設置、毎日深夜にて散布（スミスリン乳剤）を行い、開閉する場所の害虫駆除を実施している。又、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろうくん」（二酸化炭素）を実施している。

（宮里 宗彦）

## V 全体研修

沖縄県立博物館・美術館では、県組織（総務班、博物館班、美術館班）と指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団、また博物館友の会など、館の運営に関わる全ての職員に対して、年に数回全体研修を行っている。

### (1) 新職員向け消防設備説明会

日 時：2024年4月8日（月）14:00～16:10

場 所：講堂

講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：10名

### (2) 消防総合訓練（火災）

日 時：2024年6月17日（月）9:30～11:30

場 所：全館

講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：100名

### (3) 夜間消防訓練

日 時：2024年6月24日（月）18:30～19:30

場 所：全館

講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：15名

### (4) 夜間消防訓練

日 時：2024年8月27日（火）19:30～20:30

場 所：全館

講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：14名

### (5) 救命講習

日 時：2024年10月7日（月）13:00～16:00

場 所：博物館講座室

講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：6名

#### (6) 地震訓練

日 時：2024年11月11日（月） 9：30～11：00  
場 所：全館  
講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）  
参 加 者：120名

#### (7) 夜間消防訓練

日 時：2024年11月27日（水） 19：30～20：30  
場 所：全館  
講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）  
参 加 者：15名

#### (8) 非常参集訓練

日 時：2024年12月18日（水） 7：00～ 8：00  
場 所：全館  
講 師：儀保 ゆかり（沖縄美ら島財団）  
参 加 者：19名

#### (9) 防犯接遇研修

日 時：2025年 2月17日（月） 9：30～11：30  
場 所：講堂及びエントランスホール  
講 師：金城 靖史（那覇警察警備課）、仲宗根 めぐみ（沖縄美ら島財団）  
参 加 者：121名

#### (10) 夜間消防訓練

日 時：2025年 2月25日（火） 19：30～21：00  
場 所：全館  
講 師：具志堅 春樹（沖縄美ら島財団）  
参 加 者：15名

## VI 刊行物

(全 体)

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規 格 (頁)	内 容
1	沖縄県立博物館・美術館 年報（令和4年度実績報告）No. 16	定 期	300	A 4 (192)	博物館・美術館の総括報告書

(博物館班)

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規 格 (頁)	内 容
1	企画展「新収蔵品展－ 令和3・4年度収蔵資料」	定 期	300	A 4 (22)	企画展図録
2	芭蕉布展－績まれる苧から生まれる思い	不 定 期	500	変形型20cm×22cm (120)	特別展図録
3	琉球列島 地質・化石展	不 定 期	500	A 4 (56)	企画展図録
4	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第17号	定 期	500	A 4 (126)	博物館学芸員の調査研究報告書
5	令和5年度 博物館教育普及活動報告書	定 期	ワイド公開	A 4 (86)	博物館教育活動の総括報告書

## (美術館班)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	『『○(マル)でも×(バツ)でもないもの!』 ～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～ 記録集	不定期	500	B5変形 (144)	企画展図録
2	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第13号	定期	500	A4 (48)	美術館学芸員の調査研究報告書
3	教育普及報告書	定期	700	B5 (42)	美術館教育普及活動の報告書

## (指定管理者)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	『奥武島のサバニ造船技術』	不定期	150	A4	展覧会図録増刷
2	アートと虫展チラシ	不定期	60,000	A4	チラシ
3	アートと虫展ポスター	不定期	2,000	A3	ポスター
4	『昆虫時間』	不定期	500	A5変形	展覧会図録
5	明和電機展子ども向けチラシ	不定期	70,000	A5	チラシ
6	明和電機展チラシ	不定期	40,000	A4	チラシ
7	明和電機展ポスター	不定期	1,200	B2	ポスター
8	Hello Kitty展チラシ	不定期	80,000	A4	チラシ
9	Hello Kitty展ポスター	不定期	1,500	B2	ポスター
10	沖縄県立博物館・美術館 2025年度年間行事案内リーフレット	年1回	15,000	W420×H210mm (3ヶ所折り加工)	年間行事案内
11	「琉球列島 地質・化石展」場内マップ	不定期	5,000	A4	ワークシート
12	『解体梵鐘』抜き刷り英訳パンフレット	年1回	2,300	A4折り	パンフレット

## VII 展覧会一覧 (2024年度) (※令和5年度から継続開催の展示会も含む)

	展示会名	場所	主催	期間
1	博物館常設展 海と島に生きる ー豊かさ、美しさ、平和を求めてー	博物館常設展示室 総合部門展示室	沖縄県(博物館班)	通年
2	博物館常設展部門展示 正月、清明、ユッカヌヒー、旧盆、十五夜、ムーチャー、冬至(仏前供物替え)	博物館常設展示室・ 民俗部門展示室	沖縄県(博物館班)	各時季
3	博物館常設展部門展示 「那覇港～往来する人とモノ～」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県(博物館班)	通年
4	大城皓也作品 修復報告展	コレクションギャラリー 1	沖縄県(美術館班)	1/23～6/30
5	大和コレクション展 vol.9 アートの 愉しみ	コレクションギャラリー 2	沖縄県(美術館班)	1/23～6/30
6	歴史部門展示「返還された沖縄の文化財」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県(博物館班)	3/15～6/30、 7/11～8/4 9/3～11/4、 3/25～6/15 (予定)
7	キングダム展ー信ー	企画ギャラリー1・2	沖縄美ら島財団、 琉球新報社、宣伝	3/22～5/21
8	美術工芸部門第1期展示「科学の目でみ る琉球王国の色とその色材」	博物館常設展示室・ 美術工芸部門展示室	沖縄県(博物館班)	4/2～6/30
9	身近なカタツムリ展	エントランスホール	沖縄県(博物館班)	4/2～3/30

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
10	企画展「アポロサイエンスプレゼンツ すべての虫ぎらいにお届けするアートと 虫の美しい世界」	博物館特別展示室1	沖縄美ら島財団	4/2～5/6
11	科学の眼で見る美ら海の生き物展	博物館企画展示室	沖縄美ら島財団	4/2～5/6
12	国際博物館の日 2024 パネル展	エントランスホール	沖縄県（博物館班・美術 館班）/沖縄美ら島財団	5/14～6/2
13	企画展「新収蔵品展 令和5年度 収蔵 資料」	博物館企画展示室、特 別展示室1	沖縄県（博物館班）	5/21～6/23
14	美術館・慰霊の日関連催事	エントランスホール	沖縄県（美術館班）	6/1～6/30
15	歴史部門展示「渡閩航路図」の世界」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	6/11～6/30
16	コレクション展 沖縄の彫刻たち【彫刻】	コレクションギャラ リー2	沖縄県（美術館班）	〔前期〕 7/13～1/19 〔後期〕 1/25～10/19 (予定)
17	コレクション展 2024年度「沖縄美術の 流れ」【映像】	コレクションギャラ リー1	沖縄県（美術館班）	7/13～1/29
18	コレクション展 2024年度「沖縄美術の 流れ」【絵画・彫刻・写真・現代美術】	コレクションギャラ リー3	沖縄県（美術館班）	〔前期〕 7/13～1/19 〔後期〕 1/25～10/19 (予定)
19	企画展「明和電機 ナンセンスマシーン 展 in 沖縄」	企画ギャラリー1・2	沖縄美ら島財団、 琉球新報社	7/13～9/16
20	美術工芸部門第2期展示「琉球美術工芸 の何だコレ！？～すごい！何で？どうや ったの！？な琉球美の世界～」	博物館常設展示室・ 美術工芸部門展示室	沖縄県（博物館班）	7/17～10/20
21	「さがそう！自由研究のタネ～あなたの 好奇心の花を咲かせます～」	県民ギャラリー1・ 2・3	沖縄美ら島財団	7/30～8/4
22	歴史部門展示「特別展示 金銅雲龍文簪」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	8/7～9/1
23	「おでかけ！沖縄県議会×おきみゅー～ 沖縄県議会の歩みと仕組み～」パネル展	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	8/27～9/1
24	パネル展「6月23日と9月7日」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	9/3～9/23
25	「壁の時代—宮古島クバカ城跡・狩俣集 落の発掘調査」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	9/25～10/1
26	特別展「芭蕉布展」	博物館企画展示室、特 別展示室1・2	沖縄県（博物館班）	10/1～12/1
27	美術工芸部門第3期展示「謝花雲石没後 50年展 ～復帰を迎える「沖縄」を記し た大書家の思い～」	博物館常設展示室・ 美術工芸部門展示室	沖縄県（博物館班）	10/29～2/24
28	企画展「○でも×でもないもの！」	企画ギャラリー1・2	沖縄県（美術館班）	11/1～1/13
29	歴史部門展示「琉球王国時代の葬墓制」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	11/12～1/13
30	歴史部門展示「本山桂川がみた100年前の 沖縄」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	11/12～1/13
31	首里城パネル展	エントランスホール	沖縄美ら島財団	11/19～12/22
32	企画展「琉球列島 地質・化石展」	博物館企画展示室、特 別展示室1・2	沖縄県（博物館班）	12/20～2/24
33	歴史部門展示「日本刀を科学する ～琉 大×おきみゅーの協同研究成果展～」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	1/12～3/16

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
34	コレクション展 岸本一夫 オキナワデザイン【デザイン】	コレクションギャラリー1	沖縄県（美術館班）	1/25～10/19 （予定）
35	Hello Kitty展 わたしが変わるとキティも変わる	企画ギャラリー1・2	沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送株式会社	3/7～5/11 （予定）
36	企画展「令和6年度 大嶺薫コレクション展」	博物館特別展示室2	沖縄県（博物館班）	3/25～5/11 （予定）
37	歴史部門展示「琉球王国の正史－『球陽』の世界－」	博物館常設展示室・歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	3/25～6/15 （予定）



# その他の活動

- I 沖縄県博物館協会
- II 全国組織との関わり
- III 沖縄県立博物館友の会

## I 沖縄県博物館協会

### 1 令和6年度 沖縄県博物館協会総会・春の研修会

- 日 時：2024年5月30日、31日  
場 所：沖縄県立博物館・美術館講堂、首里城公園  
参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、大城直也、大城沙織、菊川 章、山崎真治、新山颯大、伊禮拓郎、澤浦亮平、大湾ゆかり、篠原あかね、山本正昭、大底ひろみ、城間智子  
内 容：議案第1号 令和5年度事業実施報告について  
議案第2号 令和5年度収支決算報告について  
議案第3号 令和6年度事業計画案について  
議案第4号 令和6年度予算案について  
議案第5号 役員の改選について  
議案第6号 沖縄県博物館協会・春の研修会及び秋の研修会の割り当てについて  
その他 新規加入について  
顕彰者表彰

#### 研修会の部

- 基調講演 「博物館における模造復元の意義－失われた文化を取り戻す－」  
講 師：與那嶺一子 元沖縄県立博物館・美術館 主幹  
事例報告 「首里城跡を深く知る展示解説－歴史の証人になる事前・事後学習－」  
講 師：上江洲安亨 一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理センター 首里城事業課副参事  
2 日 目 現地研修 首里城公園

### 2 令和6年度 沖縄県博物館協会 秋の研修会

- 日 時：2025年2月6日・7日  
場 所：北谷町立博物館  
参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、菊川 章、新山颯大、大城直也、山崎真治、澤浦亮平、勝連涼子、大底ひろみ、亀海史明  
内 容：基調講演「史跡を活用した博物館活動のこれまでとこれから～リニューアルを終えて～」  
前迫亮一 （公財）鹿児島県文化振興財団上野原縄文の森園長  
報 告：「北谷町立博物館完成までの道のりとこれから」  
藤彰矩 北谷町立博物館  
施設案内：北谷町立博物館・伊礼原遺跡  
2 日 目：現地研修 北谷城

## II 全国の組織との関わり

### 1 日本博物館協会

#### (1) 令和6年度全国博物館長会議（第30回）

- 日 時：2024年7月3日  
場 所：文部科学省（東館3F講堂）  
参 加 者：里井洋一（館長）

#### (2) 第72回全国博物館大会

- メインテーマ：「文化観光と博物館～文化の魅力を伝えるために博物館ができること～」  
日 時：2024年11月27日～11月29日  
場 所：まつもと市民芸術館 ほか  
参 加 者：大城沙織

### 2 九州博物館協議会

#### (1) 令和6年度九州博物館協議会総会および現地研修

- 日 時：2024年5月16日・17日

場 所：鹿児島県立図書館、鹿児島県立博物館ほか  
参 加 者：里井洋一（館長）

#### (2) 令和6年度九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会

日 時：2024年11月18日・19日  
場 所：福岡市博物館、鴻臚館展示館、大宰府天満宮ほか  
参 加 者：大城直也

### 3 全国歴史民俗系博物館協議会

令和6年度の参加なし

### 4 全国科学博物館協議会

#### (1) 令和6年度第1回全国科学博物館協議会総会

日 時：2024年7月4日  
場 所：国立科学博物館（東京都）  
参 加 者：親富祖ちか（副館長）

#### (2) 令和6年度第2回全国科学博物館協議会総会

日 時：2025年2月12日  
場 所：兵庫県立人と自然の博物館  
参 加 者：当館からの参加なし


## Ⅲ 沖縄県立博物館友の会

沖縄県立博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年（昭和55年）に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員357名、家族会員46家族、賛助会員1ヶ所。

博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした講座を開催し、博物館常設展示室および美術館コレクション展（2024年6月～）への展示交流員事業を実施した。

2024年度（令和6年度）の事業内容は以下のとおり。

	事業名及び事業内容	
1	展示交流員事業開始（博物館常設展示室） 開始日：4月1日（月）～	
2	展示交流員事業開始（美術館コレクションギャラリー） 開始日：6月1日（土）～	
3	【地域散策】「福州園&久米村・孔子廟」 開催日：6月24日（月） 講 師：宮城保茂（会員・古都首里探訪会） 参加者：22名	

事業名及び事業内容		
4	<p>【文化講演会】 「中世の八重山・宮古と東アジアの海」  開催日：10月9日（水）  講 師：村木二郎（国立歴史民俗博物館 准教授）  会 場：講堂  聴講者：98名  共 催：沖縄県立博物館・美術館  一般財団法人沖縄美ら島財団</p>	
5	<p>「沖縄ふるさとづくり写真コンクール作品展示会」  受付・監視業務  開催日：12月10日（火）～14日（土）  主 催：一般社団法人 沖縄しまたて協会  場 所：県民ギャラリー</p>	
6	<p>【地域文化散策】 「末吉公園にある組踊関連史跡めぐり」  開催日：12月16日（月）  講 師：仲間孝藏（沖縄県立博物館友の会 会長）  参加者：20名</p>	
7	<p>【文化講演会】 「『冊封使行列図』を見る視点から博物館における学びを考える」  開催日：2025年1月19日（日）  講 師：里井洋一（沖縄県立博物館・美術館 館長）  会 場：講堂  聴講者：127名  共 催：一般財団法人沖縄美ら島財団  後 援：沖縄県立博物館・美術館</p>	
8	<p>「第14回 移動展 in 多良間村」 支援  開催日：2025年1月24日（金）～26日（日）  場 所：多良間村コミュニティ施設 ふれあいフクギ館1階  支援協力：4名</p>	
9	<p>友の会主催 展示室交流員研修・懇親会  研修場所：首里城  内 容：首里城スタッフによる復元作業現場解説  懇親会場所：首里杜館  1回目：1月20日（月） 参加者：33名  2回目：1月27日（月） 参加者：36名</p>	 

事業名及び事業内容		
10	<p>【学芸員講座】「南城市佐敷津波古の信仰とその背景 ～学芸員といっしょにめぐる土帝君と北山ゆかりの拝所と歴史～」            講 師：大城沙織（沖縄県立博物館・美術館学芸員〈民俗〉）            大城直也（沖縄県立博物館・美術館学芸員〈歴史〉）            開催日：2月21日（金）悪天候により座学に変更            場 所：博物館実習室            参加者：23名</p>	
11	<p>「沖縄科学技術大学院大学見学&amp;東村巡りバスツアー」            開催日：3月10日（月）            参加者：44名</p>	
12	<p>【学芸員講座】「南城市佐敷津波古の信仰とその背景 ～学芸員といっしょにめぐる土帝君と北山ゆかりの拝所と歴史～」            講 師：大城沙織（沖縄県立博物館・美術館学芸員〈民俗〉）            大城直也（沖縄県立博物館・美術館学芸員〈歴史〉）            開催日：3月23日（日）            場 所：南城市佐敷津波古            参加者：22名</p>	

(1) 総会

2024年度（令和6年度）総会（開催日：2024年5月22日（水））

(2) 会誌発行

年1回 博友（2024年度は休刊）

(3) 会員への情報提供

- ①友の会通信「ちゃーびら」 年9回発行（1月、3月～6月、8月、10月、12月）・送付
- ②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送

(4) サークル活動

- ・家譜サークル

(5) 博物館サポート

- ①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
- ②文化講演会および学芸員講座当日の受付支援
- ③「ボランティア通信」印刷・発送支援（毎月）
- ④博物館・美術館移動展支援



# 関係法規抄録

- 博物館法（抄）
- 博物館法施行令
- 博物館法施行規則（抄）
- 博物館の登録等に関する規則（抄）
- 沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（抄）
- 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
- 沖縄県立博物館・美術館管理規則
- 沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
- 沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領
- 沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱

# 関係法規抄録

## ○博物館法（抄）

昭和26年12月1日 法律第285号  
〔最終改正〕令和4年4月15日 法律第24号

### 第一章 総則

#### （目的）

第一条 この法律は、社会教育法（昭和24年法律第二百七号）及び文化芸術基本法（平成十三年法律第四百四十八号）の精神に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

#### （定義）

第二条 この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法（昭和二十五年法律第百十八号）による図書館を除く。）のうち、次章の規定による登録を受けたものをいう。

2 この法律において「公立博物館」とは、地方公共団体又は地方独立行政法人（地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第二条第一項に規定する地方独立行政法人をいう。以下同じ。）の設置する博物館をいう。

3 この法律において「私立博物館」とは、博物館のうち、公立博物館以外のものをいう。

4 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。次条第一項第三号において同じ。）を含む。）をいう。

#### （博物館の事業）

第三条 博物館は、前条第一項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- 一 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
  - 二 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
  - 三 博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること。
  - 四 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
  - 五 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
  - 六 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
  - 七 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
  - 八 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
  - 九 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
  - 十 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
  - 十一 学芸員その他の博物館の事業に従事する人材の養成及び研修を行うこと。
  - 十二 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。
- 2 博物館は、前項各号に掲げる事業の充実を図るため、他の博物館、第三十一条第二項に規定する指定施設その他これらに類する施設との間において、資料の相互貸借、職員の交流、刊行物及び情報の交換その他の活動を通じ、相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。
- 3 博物館は、第一項各号に掲げる事業の成果を活用するとともに、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力し、当該博物館が所在する地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光（有形又は無形の文化的所産その他の文化に関する資源（以下この項において「文化資源」という。）の観覧、文化資源に関する体験活動その他の活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光をいう。）その他の活動の推進を図り、もつて地域の活力の向上に寄与するよう努めるものとする。

#### （館長、学芸員その他の職員）

第四条 博物館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- 3 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- 4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- 5 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- 6 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

#### （学芸員の資格）

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

- 一 学士の学位（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものに限る。）を含む。）を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
- 二 次条各号のいずれかに該当する者で、三年以上学芸員補の職にあつたもの
- 三 文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めたる者

2 前項第二号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

#### **（学芸員補の資格）**

第六条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員補となる資格を有する。

- 一 短期大学士の学位（学校教育法第四百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものを除く。）及び同条第六項に規定する文部科学大臣の定める学位を含む。）を有する者で、前条第一項第一号の文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位の単位を修得したもの
- 二 前号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者として文部科学省令で定める者

#### **（館長、学芸員及び学芸員補等の研修）**

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、館長、学芸員及び学芸員補その他の職員に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

#### **（設置及び運営上望ましい基準）**

第八条 文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

#### **（運営の状況に関する評価等）**

第九条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

#### **（運営の状況に関する情報の提供）**

第十条 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力 の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

## **第二章 登録**

#### **（登録）**

第十一条 博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会（当該博物館（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市をいう。以下同じ。）の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会。第三十一条第一項第二号を除き、以下同じ。）の登録を受けるものとする。

#### **（登録の申請）**

第十二条 前条の登録（以下「登録」という。）を受けようとする者は、都道府県の教育委員会の定めるところにより、次に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県の教育委員会に提出しなければならない。

- 一 登録を受けようとする博物館の設置者の名称及び住所
  - 二 登録を受けようとする博物館の名称及び所在地
  - 三 その他都道府県の教育委員会の定める事項
- 2 前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。
- 一 館則（博物館の規則のうち、目的、開館日、運営組織その他の博物館の運営上必要な事項を定めたものをいう。）の写し
  - 二 次条第一項各号に掲げる基準に適合していることを証する書類
  - 三 その他都道府県の教育委員会の定める書類

#### **（登録の審査）**

第十三条 都道府県の教育委員会は、登録の申請に係る博物館が次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、当該博物館の登録をしなければならない。

- 一 当該申請に係る博物館の設置者が次のイ又はロに掲げる法人のいずれかに該当すること。
    - イ 地方公共団体又は地方独立行政法人
    - ロ 次に掲げる要件のいずれにも該当する法人（イに掲げる法人並びに国及び独立行政法人（独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三十三号）第二条第一項に規定する独立行政法人をいう。第三十一条第一項及び第六項において同じ。）を除く。）
      - （1）博物館を運営するために必要な経済的基礎を有すること。
      - （2）当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が博物館を運営するために必要な知識又は経験を有すること。
      - （3）当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が社会的信望を有すること。
  - 二 当該申請に係る博物館の設置者が、第十九条第一項の規定により登録を取り消され、その取消の日から二年を経過しない者でないこと。
  - 三 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。
  - 四 学芸員その他の職員の配置が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。
  - 五 施設及び設備が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。
  - 六 一年を通じて百五十日以上開館すること。
- 2 都道府県の教育委員会が前項第三号から第五号までの基準を定めるに当たっては、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。
- 3 都道府県の教育委員会は、登録を行うときは、あらかじめ、博物館に関し学識経験を有する者の意見を聴かなければならない。

#### (登録の実施等)

第十四条 登録は、都道府県の教育委員会が、次に掲げる事項を博物館登録原簿に記載してするものとする。

- 一 第十二条第一項第一号及び第二号に掲げる事項
- 二 登録の年月日

2 都道府県の教育委員会は、登録をしたときは、遅滞なく、その旨を当該登録の申請をした者に通知するとともに、前項各号に掲げる事項をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

#### (変更の届出)

第十五条 博物館の設置者は、第十二条第一項第一号又は第二号に掲げる事項を変更するときは、あらかじめ、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る登録事項の変更登録をするとともに、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

#### (都道府県の教育委員会への定期報告)

第十六条 博物館の設置者は、当該博物館の運営の状況について、都道府県の教育委員会の定めるところにより、定期的に、都道府県の教育委員会に報告しなければならない。

#### (報告又は資料の提出)

第十七条 都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館の適正な運営を確保するため必要があると認めるときは、当該博物館の設置者に対し、その運営の状況に関し報告又は資料の提出を求めることができる。

#### (勧告及び命令)

第十八条 都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館が第十三条第一項各号のいずれかに該当しなくなつたと認めるときは、当該博物館の設置者に対し、必要な措置をとるべきことを勧告することができる。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定による勧告を受けた博物館の設置者が、正当な理由がなくてその勧告に係る措置をとらなかつたときは、当該博物館の設置者に対し、期限を定めて、その勧告に係る措置をとるべきことを命ずることができる。

3 第十三条第三項の規定は、第一項の規定による勧告及び前項の規定による命令について準用する。

#### (登録の取消し)

第十九条 都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館の設置者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該博物館の登録を取り消すことができる。

- 一 偽りその他不正の手段により登録を受けたとき。
- 二 第十五条第一項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をしたとき。
- 三 第十六条の規定に違反したとき。
- 四 第十七条の報告若しくは資料の提出をせず、又は虚偽の報告若しくは資料の提出をしたとき。
- 五 前条第二項の規定による命令に違反したとき。

2 第十三条第三項の規定は、前項の規定による登録の取消しについて準用する。

3 都道府県の教育委員会は、第一項の規定により登録の取消しをしたときは、速やかにその旨を、当該登録に係る博物館の設置者に対し通知するとともに、インターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

#### (博物館の廃止)

第二十条 博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、速やかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る博物館の登録を抹消するとともに、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

#### (都道府県又は指定都市の設置する博物館に関する特例)

第二十一条 第十五条第一項、第十六条から第十八条まで及び前条第一項の規定は、都道府県又は指定都市の設置する博物館については、適用しない。

2 都道府県又は指定都市の設置する博物館についての第十五条第二項、第十九条第一項及び第三項並びに前条第二項の規定の適用については、第十五条第二項中「前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る登録事項」とあるのは「その設置する博物館について第十二条第一項第一号又は第二号に掲げる事項に変更があるときは、当該事項」と、第十九条第一項中「登録に係る博物館の設置者が次の各号のいずれかに該当する」とあるのは「設置する博物館が第十三条第一項第三号から第六号までのいずれかに該当しなくなつたと認める」と、同条第三項中「その旨を、当該登録に係る博物館の設置者に対し通知するとともに、」とあるのは「その旨を」と、前条第二項中「前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る」とあるのは「その設置する博物館を廃止したときは、当該」とする。

#### (規則への委任)

第二十二条 この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。

### 第三章 公立博物館

#### (博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十四条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第二十五条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団

体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

#### (入館料等)

第二十六条 公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。ただし、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

#### (博物館の補助)

第二十七条 国は、博物館を設置する地方公共団体又は地方独立行政法人に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

#### (補助金の交付中止及び補助金の返還)

第二十八条 国は、博物館を設置する地方公共団体又は地方独立行政法人に対し前条の規定による補助金の交付をした場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消しが第十九条第一項第一号に該当することによるものである場合には、既に交付した補助金を、第三号又は第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- 一 当該博物館について、第十九条第一項の規定による登録の取消しがあつたとき。
- 二 地方公共団体又は地方独立行政法人が当該博物館を廃止したとき。
- 三 地方公共団体又は地方独立行政法人が補助金の交付の条件に違反したとき。
- 四 地方公共団体又は地方独立行政法人が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

## 第四章 私立博物館

#### (都道府県の教育委員会との関係)

第二十九条 都道府県の教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

#### (国及び地方公共団体との関係)

第三十条 国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

## 第五章 博物館に相当する施設

第三十一条 次の各号に掲げる者は、文部科学省令で定めるところにより、博物館の事業に類する事業を行う施設であつて当該各号に定めるものを、博物館に相当する施設として指定することができる。

- 一 文部科学大臣 国又は独立行政法人が設置するもの
  - 二 都道府県の教育委員会 国及び独立行政法人以外の者が設置するもののうち、当該都道府県の区域内に所在するもの(指定都市の区域内に所在するもの(都道府県が設置するものを除く。))を除く。
  - 三 指定都市の教育委員会 国、独立行政法人及び都道府県以外の者が設置するもののうち、当該指定都市の区域内に所在するもの
- 2 前項の規定による指定をした者は、当該指定をした施設(以下この条において「指定施設」という。)が博物館の事業に類する事業を行う施設に該当しなくなつたと認めるときその他の文部科学省令で定める事由に該当するときは、文部科学省令で定めるところにより、当該指定施設についての前項の規定による指定を取り消すことができる。
- 3 第一項の規定による指定をした者は、当該指定をしたとき又は前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。
- 4 第一項の規定による指定をした者は、指定施設の設置者に対し、その求めに応じて、当該指定施設の運営に関して、専門的、技術的な指導又は助言を与えることができる。
- 5 指定施設は、その事業を行うに当たつては、第三条第二項及び第三項の規定の趣旨を踏まえ、博物館、他の指定施設、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。
- 6 国又は独立行政法人が設置する指定施設は、博物館及び他の指定施設における公開の用に供するための資料の貸出し、職員の研修の実施その他の博物館及び他の指定施設の事業の充実のために必要な協力を行うよう努めるものとする。

## 附 則

この法律は、公布の日から起算して三箇月を経過した日から施行する。

附 則 (昭和二七年八月一四日法律第三〇五号) 抄

附 則 (令和四年四月一五日法律第二四号) 抄

#### (施行期日)

第一条 この法律は、令和五年四月一日から施行する。ただし、附則第三条の規定は、公布の日から施行する。

#### (経過措置)

第二条 この法律の施行の際現に学芸員となる資格を有する者は、この法律による改正後の博物館法(以下この条において「新博物館法」という。)第五条に規定する学芸員となる資格を有する者とみなす。

2 この法律の施行の際現に博物館において学芸員補の職にある者は、新博物館法第六条の規定にかかわらず、この法律の施行

の日（次項及び第四項において「施行日」という。）以後も引き続き当該博物館において、学芸員補となる資格を有する者としてその職にあることができる。

- 3 施行日前にされたこの法律による改正前の博物館法（次項及び第六項において「旧博物館法」という。）第十一条の登録の申請であって、この法律の施行の際、まだその登録をするかどうかの処分がされていないものについての登録の処分については、なお従前の例による。
- 4 この法律の施行の際現に旧博物館法第十条の登録を受けている又は施行日以後に前項の規定によりなお従前の例によることとされる同条の登録を受ける博物館は、施行日から起算して五年を経過する日までの間は、新博物館法第十一条の登録を受けたものとみなす。当該博物館の設置者がその期間内に同条の登録の申請をした場合において、その期間を経過したときは、その申請について登録をするかどうかの処分がある日までの間も、同様とする。
- 5 前項の規定により新博物館法第十一条の登録を受けたものとみなされる博物館が同条の登録を受けるまでの間における当該博物館についての新博物館法第十八条第一項及び第二十一条第二項の規定の適用については、新博物館法第十八条第一項中「第十三条第一項各号」とあり、及び新博物館法第二十一条第二項中「第十三条第一項第三号から第六号まで」とあるのは、「博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号）による改正前の第十二条各号」とする。
- 6 この法律の施行の際現に旧博物館法第二十九条の指定を受けている施設は、新博物館法第三十一条第一項の指定を受けたものとみなす。

#### （政令への委任）

第三条 前条に定めるもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置は、政令で定める。

### ○博物館法施行令

昭和 27 年 3 月 20 日 政令第 47 号  
〔最終改正〕令和 5 年 2 月 10 日 政令第 35 号

内閣は、博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十五条第二項の規定に基づき、及び同条の規定を実施するため、この政令を制定する。

博物館法第二十七条第一項に規定する博物館の施設及び設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

- 一 施設費 施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費
- 二 設備費 博物館に備え付ける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費

#### 附 則

この政令は、公布の日から施行する。

#### 附 則（昭和三〇年八月二四日政令第一九二号）抄

- 1 この政令は、公布の日から施行し、昭和三十年七月二十二日から適用する。

#### 附 則（昭和三十一年六月三〇日政令第二二二号）抄

##### （施行期日）

- 1 この政令は、昭和三十一年十月一日から施行する。

#### 附 則（昭和三十四年四月三〇日政令第一五七号）抄

##### （施行期日）

- 1 この政令は、公布の日から施行する。

#### 附 則（令和五年二月一〇日政令第三五号）

この政令は、令和五年四月一日から施行する。

### ○博物館法施行規則（抄）

昭和 30 年 10 月 4 日 文部省令第 24 号  
〔最終改正〕令和 5 年 2 月 10 日 文部科学省令第 2 号

博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第五条及び第二十九条の規定に基づき、博物館法施行規則（昭和二十七年文部省令第十一号）の全部を改正する省令を次のように定める。

#### 目次

- 第一章 博物館に関する科目の単位（第一条・第二条）
- 第二章 学芸員及び学芸員補の資格（第三条―第十八条）
- 第三章 博物館の登録に係る基準を定めるに当たって参酌すべき基準（第十九条―第二十一条）
- 第四章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準（第二十二条）
- 第五章 博物館に相当する施設の指定（第二十三条―第二十七条）

#### 附則

## 第一章 博物館に関する科目の単位

### （博物館に関する科目の単位）

第一条 博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号。以下「法」という。）第五条第一項第一号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	3

- 2 博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第六条第三項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもって、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

### (博物館実習)

第二条 前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第二条第一項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第三十一条第一項の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県若しくは指定都市（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市をいう。以下同じ。）の教育委員会が博物館に相当する施設として指定した施設（大学においてこれに準ずると認められた施設を含む。）における実習により修得するものとする。

2 博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

## 第二章 学芸員及び学芸員補の資格

### (学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者)

第三条 法第五条第一項第三号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）第一百五十五条第一項各号のいずれかに該当する者であつて、大学において博物館に関する科目の単位を修得したもの
- 二 この章に定める試験認定又は審査認定（以下「資格認定」という。）の合格者

### (資格認定の施行期日等)

第四条 資格認定は、少なくとも二年に一回、文部科学大臣が行う。

2 資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、インターネットの利用その他の適切な方法により公示する。

### (試験認定の受験資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。

- 一 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第二百一条第一項本文の規定により大学院に入学することができる者
- 二 大学に二年以上在学して六十二単位以上を修得した者（学校教育法施行規則第一百五十五条第二項各号のいずれかに該当する者を含む。第九条第三号ロにおいて同じ。）であつて、二年以上博物館における博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業に関する実務（法第五条第二項に規定する職の実務を含む。以下「博物館資料関係実務」という。）を行つた経験を有するもの
- 三 学校教育法第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者であつて、四年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
- 四 教育職員免許法（昭和二十四年法律第四百七号）第二条第一項に規定する教育職員の普通免許状を有し、二年以上教育職員の職にあつた者
- 五 その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

### (試験認定の方法及び試験科目)

第六条 試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。

- 2 試験認定は、二回以上にわたり、それぞれ一以上の試験科目について受けることができる。
- 3 試験科目は、次表に定めるとおりとする。

試験科目
生涯学習概論
博物館概論
博物館経営論
博物館資料論
博物館資料保存論
博物館展示論
博物館教育論
博物館情報・メディア論

### (試験科目の免除)

第七条 大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。

第八条 削除

### (審査認定の受験資格)

第九条 次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。

- 一 次のいずれかに該当する者であつて、二年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
  - イ 学位規則（昭和二十八年文部省令第九号）による修士の学位又は専門職学位を有する者（学校教育法施行規則第一百五十六条各号のいずれかに該当する者を含む。）
  - ロ 学位規則による博士の学位を有する者（旧学位令（大正九年勅令第二百号）による博士の称号を有する者及び外国において博士の学位に相当する学位を授与された者を含む。）
- 二 大学において博物館に関する科目（生涯学習概論を除く。）に関し二年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、二年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
- 三 次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦するもの
  - イ 学校教育法第二百一条第一項本文の規定により大学院に入学することができる者であつて、四年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
  - ロ 大学に二年以上在学し、六十二単位以上を修得した者であつて、六年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
  - ハ 学校教育法第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者であつて、八年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
- 四 その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

### (審査認定の方法)

第十条 審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

### (受験の手続)

第十一条 資格認定を受けようとする者は、受験願書（別記第一号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法（昭和四十二年法律第八十一号）第三十条の九の規定により機構保存本人確認情報（同法第七条第八号の二に規定する個人番号を除く。）の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第三号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。

- 一 受験資格を証明する書類
  - 二 履歴書（別記第二号様式により作成したもの）
  - 三 戸籍抄本又は住民票の写し（いずれも出願前六月以内に交付を受けたもの）
  - 四 写真（出願前六月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの）
- 2 前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもって代えることができる。
- 3 第七条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願ひ出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。
- 4 審査認定を願ひ出る者については、第一項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。
- 一 第九条第一号又は同条第二号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
  - 二 第九条第三号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類
  - 三 第九条第四号により出願する者にあつては、前二号に準ずる資料又は書類

**（筆記試験及び試験認定合格者）**

第十二条 試験科目（試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。）の全部について合格点を得た者（試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下「筆記試験合格者」という。）であつて、一年間博物館資料関係実務を行った後に文部科学大臣が認定したものを試験認定合格者とする。

- 2 筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第三号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

**（審査認定合格者）**

第十三条 第十条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

**（合格証書の授与等）**

第十四条 試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第四号様式によるもの）を授与する。

- 2 筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第五号様式によるもの）を授与する。
- 3 合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願ひ出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

**（合格証明書の交付等）**

第十五条 試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願ひ出たときは、合格証明書（別記第六号様式によるもの）を交付する。

- 2 筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第七号様式によるもの）を交付する。
- 3 一以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第十七条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の証明を願ひ出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第八号様式によるもの）を交付する。

**（手数料）**

第十六条 次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上欄	下欄
一 試験認定を願ひ出る者	一科目につき 1,300 円
二 審査認定を願ひ出る者	3,800 円
三 試験認定の試験科目の全部について免除を願ひ出る者	800 円
四 合格証書を書き換え又は再交付を願ひ出る者	700 円
五 合格証明書の交付を願ひ出る者	700 円
六 筆記試験合格証明書の交付を願ひ出る者	700 円
七 筆記試験科目合格証明書を願ひ出る者	700 円

- 2 前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書に貼るものとする。ただし、情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律（平成十四年法律第五十一号）第六条第一項の規定に基づき申請等を行った場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。
- 3 納付した手数料は、これを返還しない。

**（不正の行為を行った者等に対する処分）**

第十七条 虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行った者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

- 2 試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになつたときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

**（学芸員補となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者）**

第十八条 法第六条第二号に規定する学芸員補となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者として文部科学省令で定める者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 大学に二年以上在学し、博物館に関する科目の単位を合せて六十二単位以上を修得した者
- 二 学校教育法施行規則第一百五十五条第二項各号のいずれかに該当する者であつて、大学において博物館に関する科目の単位を修得したもの

**第三章 博物館の登録に係る基準を定めるに当たつて参酌すべき基準**

**（博物館の体制に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準）**

第十九条 法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第三号に規定する博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

- 一 博物館資料の収集、保管及び展示（インターネットの利用その他の方法により博物館資料に係る電磁的記録を公開することを含む。第四号、第二十一条第一号及び第二十四条第一項第二号において同じ。）並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針を策定し当該方針を公表するとともに、当該方針に基づき、相当の公益性をもつて博物館を運営する体制を整備していること。
- 二 前号の基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。
- 三 前号に規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切

に管理し、及び活用する体制を整備していること。

四 一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。

五 単独で又は他の博物館若しくは法第三条第一項第十二号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。

六 博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。

七 法第七条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。

#### **(博物館の職員に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準)**

第二十条 法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第四号に規定する学芸員その他の職員の配置に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

一 前条第一号の基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。

二 学芸員が置かれていること。

三 同条第一号の基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。

#### **(博物館の施設及び設備に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準)**

第二十一条 法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第五号に規定する施設及び設備に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

一 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。

二 防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。

三 博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。

四 高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。

### **第四章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準**

第二十二条 法第二十五条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

### **第五章 博物館に相当する施設の指定**

#### **(申請の手続)**

第二十三条 法第三十一条第一項の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の指定を受けようとする場合は、次に掲げる事項を記載した指定申請書(別記第九号様式により作成したもの)を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人(独立行政法人通則法(平成十一年法律第百三十三号)第二条第一項に規定する独立行政法人をいう。第二十五条において同じ。)が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県又は指定都市が設置する施設にあつては当該施設の長(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が、地方独立行政法人(地方独立行政法人法(平成十五年法律第百十八号)第二条第一項に規定する地方独立行政法人をいう。第二十五条において同じ。)が設置する施設にあつては当該地方独立行政法人の長が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が当該施設の所在する都道府県の教育委員会(当該施設(都道府県が設置するものを除く。))が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会。第二十五条において同じ。)に、それぞれ提出しなければならない。

一 指定を受けようとする施設の設置者の氏名及び住所(法人にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

二 指定を受けようとする施設の名称及び所在地

三 その他指定を行う者が定める事項

2 前項の指定申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

一 当該施設の運営に関する規則のうち、目的、開館日、運営組織その他の施設の運営上必要な事項を定めたもの

二 次条第一項各号に掲げる基準に適合していることを証する書類

三 その他指定を行う者が定める書類

#### **(指定の審査)**

第二十四条 文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、前条第一項の指定申請書の提出があつたときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。

一 当該施設の設置者が、その設置する博物館について法第十九条第一項の規定により登録を取り消され、その取消の日から二年を経過しない者でなく、かつ、その設置する施設について法第三十一条第二項の規定により指定を取り消され、その取消の日から二年を経過しない者でないこと。

二 当該施設における資料の収集、保管及び展示並びに資料に関する調査研究を行う体制が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

三 当該施設における職員の配置が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

四 当該施設の施設及び設備が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

五 一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。

六 一年を通じて百日以上開館すること。

2 文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、前項第二号から第四号までに規定する基準を定めるに当たつては、第十九条から第二十一条までの規定を参照して定めるものとする。この場合において、第十九条(第七号を除く。)中「博物館資料」とあるのは「資料」と、同条第一号中「博物館を運営する」とあるのは「法第三十一条第一項の規定による指定を受けた施設(次条及び第二十一条において「指定施設」という。)を運営する」と、第二十条第一号及び第三号中「博物館」とあるのは「指定施設」と、同条第二号中「学芸員」とあるのは「学芸員に相当する職員」と、第二十一条第一号中「博物館資料」とあるのは「資料」と、同条第三号及び第四号中「博物館」とあるのは「指定施設」とする。

3 前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

### (報告)

第二十五条 法第三十一条第一項の規定に基づき文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会が博物館に相当する施設として指定した施設（以下「指定施設」という。）が前条第一項に規定する要件を備えなくなつたときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県又は指定都市が設置する施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、地方独立行政法人が設置する施設にあつては当該地方独立行政法人の長が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

第二十六条 文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、自ら法第三十一条第一項の規定により指定した指定施設に対し、第二十四条第一項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

### (指定の取消し)

第二十七条 法第三十一条第二項に規定する指定施設の指定を取り消すことができる事由は、次のとおりとする。

- 一 博物館の事業に類する事業を行う施設に該当しなくなつたと法第三十一条第一項の規定による指定をした者が認めるとき。
- 二 偽りその他不正の手段により法第三十一条第一項の規定による指定を受けたとき。
- 三 第二十五条の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。
- 四 前条の規定による文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の求めに対して報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。

### 附 則

- 1 この省令は、公布の日から施行する。
- 2 試験認定を受ける者のうち、博物館法の一部を改正する法律（昭和三十年法律第八十一号）附則第三項の規定により学芸員となる資格を有する者にあつては、第六条第二項の規定にかかわらず、選択科目の試験を免除する。

### 附 則（令和五年二月一〇日文部科学省令第二号） 抄

#### (施行期日)

第一条 この省令は、令和五年四月一日から施行する。

#### (経過措置)

第二条 博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号。以下この項において「改正法」という。）附則第二条第六項の規定により、改正法による改正前の博物館法第二十九条の指定を受けている施設で、改正法による改正後の博物館法第三十一条第一項の指定を受けているものとみなされるもの（文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会が、この省令による改正後の博物館法施行規則（以下この条において「新規則」という。）第二十四条第一項の要件を備えていると認めるものを除く。以下この条において「みなし指定施設」という。）についての新規則第二十五条の規定の適用については、同条中「前条第一項」とあるのは、「前条第一項（令和十年三月三十一日までの間は、博物館法施行規則の一部を改正する省令（令和五年文部科学省令第二号）による改正前の博物館法施行規則（次条において「旧規則」という。）第二十条）」とする。

- 2 みなし指定施設についての新規則第二十六条の規定の適用については、同条中「法第三十一条第一項」とあるのは「博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号）による改正前の法（次条において「旧法」という。）第二十九条」と、「第二十四条第一項」とあるのは「第二十四条第一項（令和十年三月三十一日までの間は、旧規則第二十条）」とする。
- 3 みなし指定施設についての新規則第二十七条の規定の適用については、同条第一号中「法第三十一条第一項」とあるのは、「旧法第二十九条」とする。
- 4 みなし指定施設は、令和十年三月三十一日までに、新規則第二十四条第一項の要件を備えている旨の文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の確認を受けるよう努めなければならない。

## ○博物館の登録等に関する規則

昭和50年5月8日 教育委員会規則第5号  
〔最終改正〕 令和5年3月31日 教育委員会規則第3号

博物館の登録に関する規則をここに公布する。

博物館の登録等に関する規則

### 第1章 総則

#### (趣旨)

第一条 この規則は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）に基づく博物館の登録及び博物館に相当する施設の指定に関し、博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号。以下「施行規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

### 第2章 博物館の登録

#### (登録の申請)

第二条 法第12条第1項の規定による登録申請書の提出は、博物館登録申請書（第1号様式）により行うものとする。

- 2 前項の博物館登録申請書には、法第12条第2項第1号及び第2号に掲げる書類のほか、次に掲げる書類を添付するものとする。
  - (1) 博物館資料目録（第2号様式）
  - (2) 職員名簿（第3号様式）
  - (3) 学芸員の資格を証する書類

#### (登録の審査)

第三条 沖縄県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、法第13条の規定による登録の審査に当たっては、必要に応じて登録の申請に係る博物館の実地について審査するものとする。

#### (博物館の体制に関する基準)

第四条 法第13条第1項第3号に規定する博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。

- (1) 博物館資料の収集、保管及び展示（インターネットの利用その他の方法により博物館資料に係る電磁的記録を公開することを含む。第4号及び第6条第1号において同じ。）並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するとともに、基本的運営方針に基づき、相当の公益性をもって博物館を運営する体制を整備していること。

- (2) 基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。
- (3) 前号に規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切に管理し、及び活用する体制を整備していること。
- (4) 一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。
- (5) 単独で又は他の博物館若しくは法第3条第1項第12号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。
- (6) 博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。
- (7) 法第7条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。

**(博物館の職員に関する基準)**

第5条 法第13条第1項第4号に規定する学芸員その他の職員の配置に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。

- (1) 基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。
- (2) 学芸員が置かれていること。
- (3) 基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。

**(博物館の施設及び設備に関する基準)**

第6条 法第13条第1項第5号に規定する施設及び設備に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。

- (1) 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。
- (2) 防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。
- (3) 博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。
- (4) 高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。

**(博物館登録原簿の様式)**

第7条 法第14条第1項の規定により教育委員会が記載する博物館登録原簿は、第4号様式とする。

**(公表)**

第8条 教育委員会は、法第14条第2項、法第15条第2項、法第19条第3項及び法第20条第2項の規定による公表をインターネットを利用する方法により行うものとする。

**(登録事項の変更)**

第9条 法第15条第1項の規定による変更の届出は、博物館登録事項変更届出書（第5号様式）により行うものとする。

**(定期報告)**

第10条 法第16条の規定による定期報告は、教育長が定めるところにより行うものとする。

**(博物館の廃止)**

第11条 法第20条第1項の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届（第6号様式）により行うものとする。

### 第3章 博物館に相当する施設の指定

**(指定の申請の書類)**

第12条 施行規則第23条第1項の規定により提出する指定申請書には、同条第2項第1号及び第2号に掲げる書類のほか、次に掲げる書類を添付するものとする。

- (1) 資料目録（第7号様式）
- (2) 職員名簿（第3号様式）

**(博物館に相当する施設の体制等に関する基準)**

第13条 施行規則第24条第1項第2号に規定する資料の収集、保管及び展示並びに資料に関する調査研究を行う体制に関する教育委員会の定める基準については第4条の規定を、同項第3号に規定する職員の配置に関する教育委員会の定める基準については第5条の規定を、同項第4号に規定する施設及び設備に関する教育委員会の定める基準については第6条の規定をそれぞれ準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

読み替える規定	読み替えられる字句	読み替える字句
第4条各号(第7号を除く。)及び第6条第1号	博物館資料	資料
第4条第1号	博物館を運営する	法第31条第1項の規定による指定を受けた施設(次条及び第6条において「指定施設」という。)を運営する
第5条第1号及び第3号並びに第6条第3号及び第4号	博物館	指定施設
第5条第2号	学芸員	学芸員に相当する職員

**(公表)**

第14条 教育委員会は、法第31条第3項の規定による公表をインターネットを利用する方法により行うものとする。

### 第4章 雑則

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の登録及び博物館に相当する施設の指定に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

**附 則**

この規則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

**附 則 (令和5年3月31日教育委員会規則第3号)**

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（抄）

平成 23 年 3 月 31 日 教育委員会規則第 2 号  
改正 令和 5 年 3 月 31 日 教育委員会規則第 7 号

沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則をここに公布する。

沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則

**（趣 旨）**

第 1 条 この規則は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 7 の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。

**（委 任）**

第 2 条 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和 47 年沖縄県条例第 32 号）第 2 条第 9 号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成 19 年沖縄県教育委員会規則第 1 号）第 2 条第 3 項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。

（1） 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成 18 年沖縄県条例第 72 号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。

（2） 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 24 条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第 13 条第 1 項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。

（3） 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第 8 条第 4 講の規定による沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会の委員の任免に関すること

**（合議等）**

第 3 条 前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規程により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等を行わなければならない。

2 前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

**附 則**

**（施行期日）**

1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

**（経過措置）**

2 この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

**（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）**

3 沖縄県教育庁組織規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 11 条第 8 号を次のように改める。

（8） 博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成 23 年沖縄県教育委員会規則第 2 号）により委任される事務に関するものを除く。）。

**（沖縄県立教育機関組織規則の一部改正）**

4 沖縄県立教育機関組織規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則第 2 号）の一部を次のように改正する。

第 1 条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成 18 年沖縄県条例第 72 号）」を削る。

第 4 条を削り、第 4 条の 2 を第 4 条とする。

第 6 条を次のように改める。

**（職制等）**

第 6 条 総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。

2 所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。

第 7 条及び第 8 条を削り、第 9 条を第 7 条とする。

第 9 条の 2 の表中「総合教育センター（総務班を除く。） 博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を除く。）」に改め、同条を第 8 条とする。

第 10 条を第 9 条とし、第 11 条を第 10 条とし、第 11 条の 2 を第 11 条とする。

第 12 条第 1 項中「及び博物館・美術館」を削る。

第 21 条を第 23 条とし、第 20 条を第 22 条とし、第 19 条を第 21 条とする。

第 18 条中「第 7 条から第 16 条まで」を「第 6 条から第 18 条まで」に改め、同条の表中

「 | 学芸員 | 上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。 |」

及び

「 | 学芸員補 | 上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。 |」

を削り、同条を第 20 条とする。

第 17 条を第 19 条とする。

第 16 条中「第 7 条」を「第 6 条」に改め、同条を第 18 条とする。

第 15 条を第 17 条とし、第 14 条を第 16 条とし、第 13 条を削り、第 12 条の 4 を第 15 条とする。

第 12 条の 3 第 1 項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第 14 条とする。

第 12 条の 2 を第 13 条とする。

**（沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正）**

5 沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則第 22 号）の一部を次のように改正する。

第 4 条第 2 項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

附則（令和 5 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号）

この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

## ○沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

平成 23 年 3 月 31 日 規則第 8 号

〔一部改正〕令和 2 年 3 月 31 日 規則第 29 号

沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則をここに公布する。

沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

### (趣 旨)

第 1 条 この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成 23 年沖縄県教育委員会規則第 2 号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第 2 条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成 19 年沖縄県条例第 72 号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

### (博物館・美術館の管理に関する事務の所掌)

第 2 条 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第 2 条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和 49 年沖縄県規則第 18 号。以下「行政組織規則」という。）第 76 条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。

2 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。

### (内部組織)

第 3 条 博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。

### (所掌事務)

第 4 条 総務班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 予算、決算その他会計事務に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (4) 博物館・美術館協議会に関すること。
- (5) 指定管理者との連絡調整に関すること。
- (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。

2 博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の博物館施設に係る資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
- (4) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。

3 美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の美術館施設に係る資料（以下「美術館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術館資料の利用に関すること。
- (3) 美術館施設の利用に関すること。
- (4) 美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。

### (職の設置)

第 5 条 博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。

2 博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。

### (職の職務内容)

第 6 条 前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- (2) 副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
- (3) 班長は、班の事務を処理する。
- (4) 主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
- (5) 主事は、一般的な事務を処理する。
- (6) 学芸員は、学芸業務に従事する。
- (7) 主任学芸員は、学芸業務を処理する。
- (8) 主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務を処理する。
- (9) 主任は、一般的な事務を分掌する。
- (10) 専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。

### (その他組織に関する事項)

第 7 条 第 3 条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第 5 条に規定する公の施設を管理する機関とみなして、同規則の規定を適用する。

### (委任された事務に係る決裁等)

第 8 条 教育委員会事務委任規則第 2 条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規程（昭和 48 年沖縄県訓令第 89 号）の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。

2 教育委員会事務委任規則第 2 条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則（昭和 53 年沖縄県規則第 67 号）の規定（第 3 条、第 5 条及び第 13 条を除く。）を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるも

のとする。

- 3 前2項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第2条の規定により委任された事務の執行に重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。
- 4 館長は、前2項の規定又は教育委員会事務委任規則第3条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。

**(委任された事務以外の事務の委任及び決裁)**

第9条 博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第2条第1項第1号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じたときは、知事に協議しなければならない。

**(委任)**

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については館長がそれぞれ定める。

**附 則**

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

**附 則 (令和2年3月31日規則第29号抄)**

**(施行期日)**

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。(後略)

**○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例**

平成18年12月27日 条例第72号  
〔最終改正〕令和5年3月31日 条例第2号

沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例をここに公布する。

沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例

**(設 置)**

第1条 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料(以下「博物館・美術館資料」という。)を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。)を設置する。

**(位置及び施設)**

第2条 博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち3丁目1番1号とする。

2 博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 博物館施設
- (2) 美術館施設
- (3) その他施設

**(事 業)**

第3条 博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館・美術館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館・美術館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館・美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

**(博物館・美術館の管理)**

第4条 博物館・美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

**(指定管理者の業務)**

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務
- (2) 第12条の規定による観覧料の収受に関する業務、第13条の規定による観覧料の減免に関する業務、第14条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務
- (3) 第15条の規定による利用の許可に関する業務、第18条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第19条第2項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務
- (4) 第20条及び同条第3項において準用する第12条第5項から第7項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第20条第3項において準用する第13条の規定による利用料金の減免に関する業務、第20条第3項において準用する第14条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務
- (5) 博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (6) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

**(指定管理者の指定の申請)**

第6条 第4条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会規則で定める書類(以下「事業計画書等」という。)を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

**(指定管理者の指定等)**

第7条 教育委員会は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

と。

- 2 教育委員会は、前条の規定による選定をしようとするときは、あらかじめ、沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会の意見を聴かなければならない。
- 3 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消そうとする場合に準用する。

#### (沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会)

第8条 この条例の規定に基づく諮問に応じて調査審議を行わせるため、沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）を置く。

- 2 運用委員会は、この条例に定めるもののほか、博物館・美術館に係る指定管理者の選定及び指定管理者が行う博物館・美術館の管理に関する重要事項について、教育委員会の諮問に応じて答申し、または建議することができる。
- 3 運用委員会は委員5人いないで組織する。
- 4 委員は、学識経験のある者及其他教育委員会が適当と認める者のうちから、教育委員会が任命する。
- 5 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 8 前各項に定めるもののほか、運用委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### (指定管理者の指定等の告示)

第9条 教育委員会は、第7条第1項の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

- 2 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

#### (休館日)

第10条 博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 前項第1号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

#### (開館時間)

第11条 博物館・美術館の開館時間は、午前9時から午後6時（金曜日及び土曜日にあつては、午後8時）までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

#### (観覧料)

第12条 常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

- 2 常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第1に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,150円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定めるものとする。
- 4 前2項の規定にかかわらず、1年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第2に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 5 指定管理者は、第2項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。
- 6 教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。
- 7 観覧料は、指定管理者の収入とする。

#### (観覧料の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

#### (観覧料の返還)

第14条 既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

#### (利用の許可)

第15条 別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の許可をしないことができる。
  - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
  - (2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。
  - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

#### (利用期間)

第16条 施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

#### (権利の譲渡等の禁止)

第17条 利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

#### (許可の取消し等)

第18条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第15条第1項の許可を取り消し、又は施設

等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第15条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

#### (原状回復の義務)

第19条 利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。

2 指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

#### (利用料金)

第20条 利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 利用料金は、別表第3に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

3 第12条第5項から第7項まで、第13条及び第14条の規定は、利用料金について準用する。

#### (事業報告書の提出)

第21条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

#### (博物館・美術館協議会)

第22条 博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

3 委員の定数は、15人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 第2項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### (教育委員会規則への委任)

第23条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### 附 則

##### (施行期日)

1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（平成19年6月教育委員会規則第11号で、同19年11月1日から施行）

##### (準備行為)

2 第7条の規定による指定管理者の指定、第12条第5項の規定による観覧料の承認及び第20条第3項において準用する第12条第5項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第6条から第8条まで、第12条第2項から第6項まで並びに第20条第2項並びに同条第3項において準用する第12条第5項及び第6項の規定の例により行うことができる。

##### (沖縄県立教育機関設置条例の一部改正)

3 沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年沖縄県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。

第5条及び第6条を削り、第6条の2を第5条とし、第7条を第6条とし、第7条の2を第7条とする。

第8条中「、第5条及び第6条の2」を「及び第5条」に改める。

##### (沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正)

4 沖縄県立教育機関使用料徴収条例（昭和47年沖縄県条例第37号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「別表第1又は別表第2」を「別表」に改め、同条第2項を削る。

別表第1を削り、別表第2を別表とする。

#### 附 則（平成24年3月30日条例第46号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成26年3月31日条例第11号抄）

##### (施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成31年3月29日条例第5号）

##### (施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

##### (経過措置)

2 この条例による改正後のそれぞれの条例規定は、この条例の施行の日以後に徴収し、又は納めるべき使用料、採取料、占用料、着陸料等及び駐車料について適用し、同日前に徴収し、又は納めるべき使用料、採取料、占用料、着陸料等及び駐車料については、なお従前の例による。

#### 附 則（令和5年3月31日条例第2号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

#### 別表第1（第12条関係）

区分	基準額（1人につき）		
	個人の場合	団体の場合	
博物館施設	一般	420円	340円
	大学生及び高校生	270円	210円
	中学生及び小学生	150円 (県外の中学生及び小学生に限る。)	120円 (県外の中学生及び小学生に限る。)
美術館施設	一般	320円	260円
	大学生及び高校生	210円	170円

	中学生及び小学生	100 円 (県外の中学生及び小学生に限る。)	80 円 (県外の中学生及び小学生に限る。)
--	----------	----------------------------	---------------------------

備考

- 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。
- 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。
- 「団体の場合」とは、20 人以上の団体で観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

**別表第 2**（第 12 条関係）

区分		基準額（1 人につき）		
		一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生
博物館施設	常設展	1,250 円	780 円	470 円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展、企画展及び特別展	4,400 円	2,720 円	1,680 円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,200 円）
美術館施設	常設展	950 円	630 円	320 円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展及び企画展	4,080 円	2,720 円	1,370 円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,050 円）

備考

- 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。
- 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

**別表第 3**（第 15 条、第 20 条関係）

1 施設利用料金

(1) 博物館施設利用料金

区分		基準額（1 日につき）
企画展示室	入場料を徴収しない場合	30,480 円
	入場料を徴収する場合	91,450 円
特別展示室	入場料を徴収しない場合	39,920 円
	入場料を徴収する場合	119,750 円
実習室	入場料を徴収しない場合	9,430 円
	入場料を徴収する場合	28,280 円
講座室	入場料を徴収しない場合	16,650 円
	入場料を徴収する場合	49,970 円

(2) 美術館施設利用料金

区分		基準額（1 日につき）
県民ギャラリー 1		8,480 円
県民ギャラリー 2		7,850 円
県民ギャラリー 3		7,850 円
県民ギャラリースタジオ		8,590 円
県民アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,330 円
	入場料を徴収する場合	22,000 円
子供アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,850 円
	入場料を徴収する場合	23,570 円
企画展示室 1	入場料を徴収しない場合	34,370 円
	入場料を徴収する場合	103,080 円
企画展示室 2	入場料を徴収しない場合	42,640 円
	入場料を徴収する場合	127,920 円
講座室	入場料を徴収しない場合	9,530 円
	入場料を徴収する場合	28,600 円

(3) その他施設利用料金

区分		基準額（1 時間につき）
講堂	入場料を徴収しない場合	3,570 円
	入場料を徴収する場合	10,680 円

2 附属設備利用料金

種別	単位	基準額
舞台器具	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	1 時間につき	3,000 円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設備	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額

備考

- 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。
- 利用料金の基準額が 1 時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。
  - 午前 9 時から午後 6 時（金曜日及び土曜日においては、午後 8 時）までの間は、超過時間 30 分間（30 分間に満たない端数は、これを 30 分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の 2 分の 1 の額に 100 分の 120 を乗じて得た額

- (2) 午後6時(金曜日及び土曜日にあつては、午後8時)後は、超過時間30分間(30分間に満たない端数は、これを30分間とする。)につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の150を乗じて得た額

## ○沖縄県立博物館・美術館管理規則(抄)

平成19年3月16日 教育委員会規則第1号  
〔最終改正〕令和5年3月31日 教育委員会規則第5号

沖縄県立博物館・美術館管理規則をここに公布する。

沖縄県立博物館・美術館管理規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例(平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。)の規定及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第21条第1号の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

### (寄贈及び寄託)

第2条 博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書(第1号様式)又は博物館・美術館資料寄託申請書(第2号様式)を提出しなければならない。

2 受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書(第3号様式)又は博物館・美術館資料受託承認書(第4号様式)を交付するものとする。

3 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長(以下「館長」という。)が必要と認めた場合はこの限りでない。

4 第2項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。

5 第2項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

### (寄贈資料及び寄託資料の管理等)

第3条 寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

2 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

### (指定管理者の指定の申請)

第4条 条例第6条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書(第5号様式)によるものとする。

2 条例第6条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書(市区町村長が発行するものに限る。)

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類(申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録)

(5) 役員の名簿、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

### (沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会の組織等)

第5条 沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会(以下「運用委員会」という。)に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、運用委員会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

4 運用委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

5 運用委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

6 運用委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 特定の事件につき特別の利害関係を有する委員は、運用委員会の決議があつたときは、当該事件に係る議決に参加することはできない。

8 運用委員会は、必要があると認めるときは、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

9 運用委員会の行う指定管理者の選定に係る調査審議の手続は、公開しない。

10 運用委員会の庶務は、沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則(平成23年沖縄県規則第8号)第2条第1項の規定により文化観光スポーツ部文化振興課において処理する。

11 その他運用委員会の運営に関し必要な事項は、会長が運用委員会に諮って定める。

### (観覧券の交付)

第6条 指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

### (観覧料の免除)

第7条 条例第13条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書(第6号様式)を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

2 条例第13条第2項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

(2) 県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

(3) 70歳以上の者が常設展を観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

### (入館の禁止等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者

(2) その他指定管理者が適当でないと認める者

**(施設利用の許可等)**

第9条 条例別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書(第7号様式)を提出しなければならない。

**(利用期間)**

第10条 条例第16条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。

(1) 博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室1及び企画展示室2並びにこれらの施設の冷房設備 6月

(2) 前号に掲げる施設等以外の施設 7日

2 条例第16条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願(第8号様式)を指定管理者に提出しなければならない。

**(利用料金の免除)**

第11条 条例第20条第3項において準用する条例第13条第2項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第3条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。

2 条例第20条第3項において準用する条例第13条第2項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書(第9号様式)を指定管理者に提出しなければならない。

3 指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書(第10号様式)を利用者に交付するものとする。

**(事業報告書の内容等)**

第12条 条例第21条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

(1) 博物館・美術館の管理運営に関する業務(以下「業務」という。)の実施状況

(2) 業務に係る収支状況

(3) 博物館・美術館の利用状況

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

**(博物館・美術館協議会の組織等)**

第13条 博物館・美術館協議会(以下「協議会」という。)の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。

2 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

5 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

6 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

7 協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

8 協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

9 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

10 協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。

11 その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

**(観覧料の割引)**

第14条 条例別表第1備考4に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

**(附属設備の利用料金の基準額)**

第15条 条例別表第3第2項の表に規定する教育委員会規則で定める額は、別表に掲げるとおりとする。

**(補則)**

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

**附 則**

**(施行期日)**

1 この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月1日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

**(準備行為として行う申請に必要な申請書等)**

2 条例附則第2項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第4条の規定の例による。

**(沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止)**

3 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 沖縄県立博物館の管理に関する規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号)

(2) 沖縄県立博物館協議会規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号)

**(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)**

4 沖縄県教育庁組織規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。

第31条第3号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

第33条第4号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

**附 則(平成24年2月21日教育委員会規則第1号)**

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則(平成27年3月24日教育委員会規則第4号抄)**

**(施行期日)**

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

**附 則(令和5年3月31日教育委員会規則第5号)**

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

**別表(第15条関係)**

1 附属設備(冷房設備を除く。)の利用料金

種別	品名	単位	基準額
舞台器具	演台	1台	320円
	花台	1台	100円
	司会台	1台	150円
音響器具	メインスピーカー	1式	1,050円
	コンデンサーマイク	1本	320円
	ワイヤレスマイク	1本	630円
	ダイナミックマイク	1本	210円
	ビデオテープレコーダー	1台	730円
	DVDプレーヤー	1台	1,310円
	CD、MDプレーヤー	1台	420円
照明器具	HD/DVDレコーダー	1台	1,310円
	ボーダーライト	1列	320円
	サスペンションライト	1列	520円
	アッパーホリゾントライト	1列	730円
	シーリングライト	1列	630円
その他	センターピンスポットライト	1台	420円
	書画カメラ	1台	840円
	ビデオプロジェクター	1台	1,470円
	電動スクリーン	1式	1,150円
	35ミリフィルム映写機	1式	5,240円

備考 附属設備利用料金の基準額は、1ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

## 2 冷房設備の利用料金

	区分	単位	基準額
博物館施設	企画展示室	1時間までごとに	660円
	特別展示室	1時間までごとに	870円
	実習室	1時間までごとに	200円
	講座室	1時間までごとに	360円
美術館施設	県民ギャラリー1	1時間までごとに	180円
	県民ギャラリー2	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリー3	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリースタジオ	1時間までごとに	190円
	県民アトリエ	1時間までごとに	150円
	子供アトリエ	1時間までごとに	170円
	企画展示室1	1時間までごとに	740円
	企画展示室2	1時間までごとに	930円
その他施設	講座室	1時間までごとに	210円
	講堂	1時間までごとに	620円

第1号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料寄贈申込書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申込者  
住 所  
氏 名

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。

記

- 1 種 別
- 2 作者名
- 3 作品名
- 4 製作年月日
- 5 附属品
- 6 資料の所在地
- 7 時価見積額
- 8 寄贈の理由

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第2号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料寄託申請書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申請者  
住 所  
氏 名

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。

記

- 1 種 別
- 2 作者名
- 3 作品名
- 4 製作年月日
- 5 附属品
- 6 資料の所在地
- 7 寄託期間 年 月 日 から  
年 月 日 まで

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第3号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料受贈承諾書

年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長 印

年 月 日付け申込のあった博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第2条第4項の規定により返却されません。

記

- 1 種別
- 2 作者名
- 3 作品名
- 4 製作年月日
- 5 附属品
- 6 資料の所在地
- 7 時価見積額
- 8 寄贈の理由

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第4号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料受託承認書

年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長 印

年 月 日付け申請のあった博物館・美術館資料の寄託については下記により受託します。

記

- 1 種別
- 2 作者名
- 3 作品名
- 4 製作年月日
- 5 附属品
- 6 受託期間 年 月 日 から  
年 月 日 まで
- 7 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第5号様式（第4条関係）

年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

申請者 所在地  
団体の名称  
代表者の氏名

指 定 管 理 者 指 定 申 請 書

沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、  
沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第6条の規定により申  
請します。

添付書類

- 1 事業計画書
- 2 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- 3 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代  
表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る）
- 4 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- 5 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産  
目録その他経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日に属す  
る事業年度  
に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- 6 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- 7 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第6号様式（第7条関係）

観 覧 料 免 除 申 請 書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 殿

申 請 者 住 所  
氏 名  
電 話

下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立  
博物館・美術館管理規則第6条第1項の規定に基づき申請します。

記

- 1 観覧者 団体名  
引率者名
- 2 観覧者数 人
- 3 観覧日時 年 月 日（ 曜日 ） 時～ 時
- 4 申請理由

---

承 認 証

殿

年 月 日付け申請の博物館・美術館の観覧料免除の件、申  
請どおり承認します。

年 月 日 沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 印

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第7号様式（第9条関係）

博物館・美術館施設利用許可申請書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 殿

申 請 者 氏 名 \_\_\_\_\_  
電 話 \_\_\_\_\_

下記により貴館施設を利用したいので、申請します。

記

- 1 利用者 団体名 \_\_\_\_\_  
代表者名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_  
( \_\_\_\_\_ )  
住 所 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_
- 2 利用目的 \_\_\_\_\_
- 3 利用する施設 \_\_\_\_\_
- 4 利用する日時及び期間  
自： 年 月 日 午 時 分 } ( ) 日間  
至： 年 月 日 午 時 分 }
- 5 予定参加人数 \_\_\_\_\_ 人

---

許 可 証

月 日付け申請の ( ) 使用の件、申請どおり許可します。

年 月 日 沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 印

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第8号様式（第10条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 殿

申 請 者  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話 番 号

沖縄県立博物館・美術館管理規則第9条第2項の規定により次のとおり利  
用期間の変更を願います。

記

- 1 催物の名称
- 2 利用する日時及び期間  
自： 年 月 日 午 時 分 } ( ) 日間  
至： 年 月 日 午 時 分 }
- 3 利用期間の変更を願う理由
- 4 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第9号様式（第11条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 殿

申 請 者  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電話番号

次のとおり利用料金の免除を申請します。

記

1 催物の名称  
2 利用目的  
3 催物の内容  
4 利用する日時及び期間  
自： 年 月 日 午 時 分 } ( ) 日間  
至： 年 月 日 午 時 分 }  
5 減額・免除を申請する理由  
6 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第10号様式（第11条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書

年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 印

次のとおり利用料金の免除を承認します。

記

1 催物の名称  
2 利用目的  
3 催物の内容  
4 利用する日時及び期間  
自： 年 月 日 午 時 分 } ( ) 日間  
至： 年 月 日 午 時 分 }  
5 利用料金免除額  
6 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領

平成 14 年 3 月 14 日 教育長決裁  
平成 28 年 12 月 28 日改正

（目的）

第1条 この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。

- (1) 展示会等における原資料等の借用。
- (2) 同資料の撮影。
- (3) 原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。
- (4) 撮影等による複製品の製作。
- (5) 原資料等の閲覧。
- (6) 教育普及資料の借用。

（許可の基準）

第3条 博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。
- (2) 好ましくない用途に供されると認められる場合。
- (3) 館の事務処理に支障が生じると認められる場合。
- (4) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (5) 過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。
- (6) その他、許可することが適当でないと思われられる場合。

（許可申請の手続き）

第4条 資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

- (1) 原資料等の借用（第1号様式）
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2号様式）
- (3) 複製品の製作（第3号様式）
- (4) 原資料等の閲覧（第4号様式）
- (5) 教育普及資料の借用（第5号様式）

（審査及び決定）

第5条 前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨及び内容。
- (2) 事業の主体者。
- (3) 事業計画。
- (4) その他必要な事項。

**(許可書の交付)**

第6条 資料利用を許可する決定を行ったときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおり条件を付した資料利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認められた軽微なものについては、その限りでない。

- (1) 原資料等の借用（第1-1号様式）
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2-1号様式）
- (3) 複製品の製作（第3-1号様式）
- (4) 原資料等の閲覧（第4-1号様式）
- (5) 教育普及資料の借用（第5-1号様式）

2 館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

**附 則**

この要領は、平成14年4月1日から実施する。

**附 則**

この要領は、平成19年11月1日から実施する。

**別表（第6条関係）各申請の資料利用の許可条件**

利用申請の内容 (各申請様式)	資料利用の許可条件	
	共通条件	個別条件
原資料等の借用 (第1号様式)	①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。	①資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。 ④借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。
写真撮影、原板・印画の借用 (第2号様式)		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②製作された写真デューブやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ③写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 ④郵送費は申請者が負担すること。 ⑤資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
複製品の製作 (第3号様式)		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。 ③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。 ④製作された写真デューブやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ⑤写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 ⑥資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
原資料等の閲覧 (第4号様式)		①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 ②閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。 ③閲覧によって得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。
教育普及資料の借用 (第5号様式)		①貸与期間は1週間以内とする。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。 ④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。

第1号様式（第4条関係）

資料利用申請書  
(原資料等の借用)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： \_\_\_\_\_ 印  
 申請者 団体名： \_\_\_\_\_  
 (担当者氏名 \_\_\_\_\_)  
 住 所：〒 \_\_\_\_\_  
 TEL： \_\_\_\_\_  
 FAX： \_\_\_\_\_

下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いします。

記

事業名		
借用希望期間	年 月 日 ~ 月 日	
目的		
展示等場所		
資料名	員数	備考
1.		
2.		
3.		
4.		

※留意事項  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
 ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。  
 ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 ⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。  
 ⑨借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第1-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書  
(原資料等の借用)

博 美 第 号  
令和 年 月 日

殿  
沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付で申請のあった資料の館外利用については、下記により許可します。

記

事業名		
借用期間	年 月 日 ~ 月 日	
目的		
展示等場所		
資料名	員数	備考
1.		
2.		
3.		
4.		

※許可条件  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
 ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。  
 ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 ⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。  
 ⑨借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第2号様式（第4条関係）

資料利用申請書  
(写真撮影、原板・印画の借用)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印  
申請者 団体名：  
(担当者氏名 )  
住 所：〒  
TEL：  
FAX：

下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いします。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
希望日時・期間	年 月 日 ~ 月 日	時 ~ 時		
目 的	事項	名称	部数	制作予定日
目 的	出版物			
	映画			
	テレビ			
	DVD			
	CD			
	その他			
	資料名	数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※留意事項  
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
⑦製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。  
⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
⑨郵送費は申請者が負担すること。  
⑩資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。  
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第2-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書  
(写真撮影、原板・印画の借用)

博 美 第 号  
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
日時・期間	年 月 日 ~ 月 日	時 ~ 時		
目 的	事項	名称	部数	制作予定日
目 的	出版物			
	映画			
	テレビ			
	DVD			
	CD			
	その他			
	資料名	数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※許可条件  
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
⑦製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。  
⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
⑨郵送費は申請者が負担すること。  
⑩資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。  
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3号様式（第4条関係）

資料利用申請書  
(複製品の製作)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印  
申請者 団体名：  
(担当者氏名 )  
住 所：〒  
TEL：  
FAX：

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
希望日時・期間	年 月 日 ~ 月 日	時 ~ 時		
目 的	事項	名称	部数	制作予定日
目 的	出版物			
	映画			
	テレビ			
	DVD			
	CD			
	その他			
	資料名	数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※留意事項  
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
⑦撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。  
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。  
⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。  
⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
⑪資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。  
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書  
(複製品の製作)

博 美 第 号  
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
日時・期間	年 月 日 ~ 月 日	時 ~ 時		
目 的	事項	名称	部数	制作予定日
目 的	出版物			
	映画			
	テレビ			
	DVD			
	CD			
	その他			
	資料名	数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※許可条件  
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
⑦撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。  
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。  
⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。  
⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
⑪資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。  
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第4号様式（第4条関係）

資料利用申請書  
(原資料等の閲覧)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申請者 代表者名： 印  
 団体名：  
 (担当者氏名 )  
 住 所：〒  
 TEL：  
 FAX：

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いします。

記

目 的			
閲覧希望日時	令和 年 月 日 時～ 時	閲覧人員	
資料名	員数	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			

※留意事項  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること  
 ⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。  
 ⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。  
 ⑧閲覧によって得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。  
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第4-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書  
(原資料等の閲覧)

博 美 第 号  
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料の閲覧については、下記により許可します。

記

目 的			
閲覧日時	令和 年 月 日 時～ 時	閲覧人員	
担当学芸員			
資料名	員数	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			

※許可条件  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること  
 ⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。  
 ⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。  
 ⑧閲覧によって得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。  
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第5号様式（第4条関係）

資料利用申請書  
(教育普及資料の借用)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申請者 代表者名： 印  
 団体名：  
 (担当者氏名 )  
 住 所：〒  
 TEL：  
 FAX：

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利用区分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
希望日時・期間	年 月 日 ( 時 ) ～ 年 月 日 ( 時 )		
行事名		参加人員	
目 的			
資料名	数量	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			

※留意事項  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
 ⑥貸与期間は1週間以内とする。  
 ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 ⑧資料の利用にあつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。  
 ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。  
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第5-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書  
(教育普及資料の借用)

博 美 第 号  
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
日時・期間	年 月 日 ( 時 ) ～ 年 月 日 ( 時 )		
行事名		参加人員	
目 的			
資料名	数量	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			

※許可条件  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
 ⑥貸与期間は1週間以内とする。  
 ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 ⑧資料の利用にあつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。  
 ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。  
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

**(目的)**

第 1 条 この要領は、沖縄県立博物館・美術館が共催又は後援等を行う行催事について必要な事項を定めるものとする。

**(用語の定義)**

第 2 条 この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 共催 行催事の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該行催事について責任の一部を負担することをいう。
- (2) 後援等 後援、協力、協賛等で、行催事の趣旨に賛同し、当該行催事の実施について協力することをいう。

**(名義)**

第 3 条 この要領による共催又は後援等の名義は「沖縄県立博物館・美術館」とする。

**(承認基準)**

第 4 条 共催又は後援等の承認基準は別表 1 のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館・美術館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

**(申請手続き)**

第 5 条 共催又は後援等の承認を受けようとする者は、行催事の共催・後援等承認申請書（第 1 号様式）又は次の事項を記載した書面を、原則として行催事開催の 1 4 日前までに、沖縄県立博物館・美術館長に提出するものとする。

- (1) 主催者の住所・氏名・連絡先（団体の場合は代表者の役職・氏名及び事務局担当者氏名を併記）
- (2) 行催事の名称・趣旨・内容
- (3) 開催日程(日時・期間)及び場所
- (4) 主催者、共催者及び後援者等
- (5) 参加対象者・想定人数・入場料の有無等
- (6) 事業費及び経費の負担方法
- (7) 広報の方法・その他参考

**(決定)**

第 6 条 前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館・美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは行催事の共催・後援等承認書（第 2 号様式）により、承認できないときはその旨を、それぞれ当該申請者に通知するものとする。

**(事業計画の変更)**

第 7 条 共催又は後援等を承認した行催事であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やかに当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

**(承認の取消)**

第 8 条 共催又は後援等を承認した行催事であっても、その内容が第 4 条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。

2 前項の規定による承認の取消については、第 6 条の規定を準用する。

**(行催事の実施結果報告)**

第 9 条 共催又は後援等を承認した行催事のうち、必要があると認める場合は、行催事の実施結果報告書（第 3 号様式）もしくはそれに変わる書面で報告を求めることができる。

**(雑則)**

第 10 条 共催又は後援等の承認の手続きを経ずに、第 3 条に規定する名義を無断使用した場合（承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。）は、警告書を出すとともに、以後の共催又は後援等の承認は認めないものとする。

**附 則**

- 1 この要領は、平成 23 年 5 月 23 日から施行する。
- 2 この要領は、令和 3 年 12 月 28 日から施行する。

**別表 1（第 4 条関係）**

共催又は後援等の承認基準

主催者についての承認基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体</li> <li>2 教育機関及び教育研究団体</li> <li>3 新聞社、放送局等報道関係</li> <li>4 公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に寄与する事業を行う団体(宗教団体又は政治団体を除く。)</li> </ol>
事業内容についての承認基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、県及び県教育委員会の施策上からの効果が期待できるものであること。</li> <li>2 博物館・美術館の所掌業務と関連するもので、高い公益性を有すると認められるもの。</li> <li>3 政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を意図するものでないこと。</li> <li>4 特定の団体の利益を目的とするものでないこと。</li> <li>5 行催事内容及び規模からみて、営利を目的とするものでないと客観的に判断されるものであること。</li> </ol>

備考

- 1 主催者については、主催者についての承認基準の 1 から 4 までのいずれかに該当するものでなければならない。
- 2 事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでなければならない

第1号様式

第 号  
年 月 日

沖縄県立博物館・美術館 館長 殿

申請者  
住 所  
団体等名称  
代表者役職・氏名  
(担当者名 / 連絡先 )

行催事の共催・後援等承認申請書

下記のとおり行催事を開催することについて、沖縄県立博物館・美術館の(共催・後援・協力・協賛)の承認を受けたいので、申請します。

記

1	行催事の名称	
2	行催事の趣旨・内容 (具体的に記入すること。)	
3	開催日程及び場所	
4	主催者、共催者及び後援者等	
5	参加対象者、想定人数、入場料の有無等	
6	事業費及び経費の負担方法	
7	広報の方法	
8	その他参考	

第2号様式

博美第 号  
年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館  
館長

行催事の共催・後援等承認書

年 月 日付け 第 号で申請のあった標記の件については、下記の条件を付して承認します。

記

- 1 行催事名
- 2 名義使用の方法
- 3 名義使用の期間
- 4 経費
- 5 実施結果の報告の有無
- 6 その他

第3号様式

第 号  
年 月 日

沖縄県立博物館・美術館 館長 殿

申請者  
住 所  
団体等名称  
代表者役職・氏名  
(担当者名 / 連絡先 )

行催事の実施結果報告書

年 月 日付博美第 号により承認のあった標記の行催事の結果について、下記のとおり報告します。

記

1	行催事の名称	
2	実施内容	
3	開催日程及び場所	
4	参加人数	
5	収支決算の状況	<収入> 円 <支出> 円 収支差額 円
6	所見 (行催事の効果など)	
7	その他参考	

○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱

平成20年2月19日 教育長決裁

改正 平成24年2月27日 文化観光スポーツ部長決裁

(設置)

第1条 沖縄県立博物館・美術館が収集しようとする美術品等(以下「美術品等」という。)に関し、必要な事項を検討するため、沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会(以下「委員会」という。)を設置する

(任務)

第2条 委員は次の事項について意見を述べる。

- (1) 美術品等の評価に関すること。
- (2) その他美術品等の収集に関すること。

**(組 織)**

第3条 委員会は、委員7人以内で組織する。

2 委員は次の各号にそれぞれ該当する者のうちから、会議毎に文化観光スポーツ部長が選任する。

- (1) 美術品等について専門的な知識及び学識経験を有する者。
- (2) 美術品等と利害関係が無く、公正な判断ができる者。

**(会長及び副会長)**

第4条 委員会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある場合には、その職務を代理する。

**(会 議)**

第5条 委員会は文化観光スポーツ部長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

**(守秘義務)**

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

**(庶 務)**

第7条 委員会の庶務は、沖縄県立博物館・美術館において処理する。

**(雑 則)**

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、沖縄県立博物館・美術館長が別に定める。

**附 則**

この要領は、平成24年1月14日から実施する。

沖縄県立博物館・美術館年報 No.18 (令和6年度実績)

2026年(令和8)3月13日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館

住 所：〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

T E L：098-941-8200 (代表)

F A X：098-941-2392 (代表)

ホームページ：<https://okimu.jp>

(沖縄県立博物館・美術館ホームページ)

印 刷：文進印刷株式会社

住 所：〒901-0416

沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次 706-4